北川村文教施設・子育て教育環境等整備事業

基本計画報告書（資料編）

北川村教育委員会

目次

１．基本計画検討委員会議事録 1

２．小学生及び中学生ワークショップ内容 50

３．教職員及び地域ワークショップ内容 94

４．ワークショップ及び検討委員会における意見まとめ 117

５．アンケート内容 157

６．アンケート集計結果 162

７．内閣府「簡易な検討の計算表」（ＶＦＭ計算） 171

第１回北川村文教施設・子育て環境等整備事業基本計画検討委員会　議事録

開催日時	令和３年７月２８日（水）１９：１５～２０：４５
開催場所	北川村立北川小学校　多目的ホール
出席者	■委　員　永野委員、森本委員、小笠原委員、田中委員、山﨑（美）委員、 山﨑（和）委員、小松委員、弘田委員、阿部委員、田所委員 倉斗委員及び中山委員（リモート参加）　　計１２名 ■アドバイザー　柳川アドバイザー ■文部科学省　　小林様　鈴木様（リモート参加） ■村幹部　上村村長 ■事務局　野見山副村長、西岡教育次長、百々次長補佐
議題	（１）委員長、副委員長の選出 （２）今後の検討に向けて ・報告書目次案について ・検討スケジュールについて （３）北川村の概要、教育方針、教育関連施設の現状について （４）進捗状況の報告 ・教員、保育士ワークショップ ・住民ワークショップ
配付資料	・議事次第　　・配席図　　検討委員会名簿　　・検討委員会設置要綱 ・報告書目次案（資料１） ・検討スケジュール案（資料２） ・北川村の概要、教育方針（資料３） ・教育関連施設の現状（資料４） ・教員、保育士ワークショップ報告（資料５－１） ・住民ワークショップ報告（資料５－２）
議事経過	・上村村長挨拶 ・小林様挨拶（文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部施設企画課課長補佐） ・委員の紹介
	（１）委員長、副委員長の選出 ・設置要綱第５条により、委員による互選とする ・事務局案として、永野委員に委員長、副委員長に田所委員を提示 ・委員一同賛成挙手により事務局案に決定 ・永野委員長より挨拶

議事経過	（２）今後の検討に向けて（報告書目次案、検討スケジュール） 【柳川アドバイザー】 ・目次案及び検討スケジュール案を基に説明 【小笠原委員】 ・第１章の計画の背景では、村全体のことや教育の概要・背景をお示しする章である。この章にこれから目指していこうとする姿や教育のあり方を明記するようになっているが、これは背景や現状に該当するものではないのではないか？ 【柳川アドバイザー】 ・お伝えいただいたとおり、これから目指す方向性やあり方については、第２章に組み入れて再構成してまいりたい。 【小笠原委員】 ・第４章の中で、災害拠点という標記があるが、防災という表記に変更していただきたい。 【柳川アドバイザー・事務局】 ・了解しました。
	（３）北川村の概要、教育方針、教育関連施設の現状について 【西岡次長（事務局）】 ・村の概要及び教育方針について資料を基に説明 【柳川アドバイザー】 ・教育関連施設の現状について資料を基に説明 【山﨑委員】 ・北川学は地域資源を活用しながら子ども達が探究的な学習を深めており、聞いたり伝えたり表現したりする力も身についてきている。この活動を行うに当たっては、地域の方々の協力を得て活動が成り立っており、大変感謝している。また、オンライン英会話では、保育から中学校までネイティブの方との会話を通してスピーキングやヒアリングの力を高めている。今後も特色ある取組として継続して取り組んでいきたい。 【田所委員】 ・今後のあり方を我々委員が検討しあり方について判断していくには、大変ハードルが高いと感じている。事務局としてどのように進めていくのか聞かせていただきたい。 【西岡次長（事務局）】 ・シュミレーションを行い、複数の案を提示しながら委員の皆様に検討していただくことも考えている。

議事経過	【柳川アドバイザー】 ・ワークショップで出された意見を検討委員会でも紹介し、適宜反映しながら案を提示させていただきたい。いずれにしても、建物の配置や予算など複数提示するなど、判断材料となる資料は事務局で提示させていただきながら判断を仰ぎたいと考えている。
	（４）進捗状況の報告（教員・保育士ワークショップ、住民ワークショップ） 【柳川アドバイザー】 ・それぞれのワークショップ報告資料を基に説明 【委員一同】 ・質疑なし
	・田中委員（北川村教育長）挨拶

第２回北川村文教施設・子育て環境等整備事業基本計画検討委員会　議事録

開催日時	令和９年２９日（水）１９：００～２０：４５
開催場所	北川村立北川小学校　多目的ホール（オンライン併用）
出席者	■　委員　森本委員、小笠原委員、田中委員、山﨑（美）委員、 山﨑（和）委員、小松委員、阿部委員、田所委員 伊庭委員、倉斗委員及び中山委員（リモート参加）　計１１名 ■　アドバイザー　柳川アドバイザー ■　GPMO　湯川 ■　事務局　野見山副村長、西岡教育次長、百々次長補佐、溝渕主幹
議題	（１）開会 （２）今後のスケジュールについて （３）前回の検討内容の確認 （４）PPP/PFIとは？ （５）第１回地域ワークショップから考える複合化の可能性について （６）現在の進捗状況のご報告 ・小中学校ワークショップ ・教職員第１回ワークショップ　等 （７）次回の検討委員会について
配布資料	・議事次第　・検討委員会名簿 ・基本計画策定スケジュール【資料１】 ・第１回検討委員会議事録【資料２】 ・基本計画報告書　目次（修正案）【資料３】 ・複合化の検討にむけて【資料４】 ・PPP/PFIについて【資料５】 ・ワークショップ等の報告【資料６】 6-1　第１回小学生ワークショップ 6-2　第１回中学生ワークショップ 6-3　第１回教職員ワークショップ 6-4　住民アンケート

議事経過	**（1）開会** 【事務局】 ・事務局挨拶 ・新委員の紹介 ・GPMOの紹介

議事経過	**（2）今後のスケジュールについて（基本計画策定スケジュール【資料１】）** 【事務局】 ・10月12日から順次各ワークショップを開催する。 ・第３回基本計画検討委員会は10月13日19時～開催する。都合が悪い場合は、オンライン併用で進める。（伊庭委員、倉斗委員はオンライン参加）

議事経過	**（3）前回の検討内容の確認（第１回検討委員会議事録【資料２】基本計画報告書目次（修正案）【資料３】）** 【事務局】 ・【資料２】を基に説明 【柳川アドバイザー】 ・【資料３】を基に説明 ・文教施設の基本計画である前提を踏まえた結果、北川村まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要については第１章１－１村の概要に記載する。 ・１－２教育の概要については、これから目指す教育のあり方はここに記載する。 ・第２章の文教施設の計画の箇所について、前回までは「これから目指すもの」という書き方だったが、「これから目指す施設のあり方」に変更する。 ・人口動態については、村の概要の中に入れさせてもらうことになっていたが、15歳以下の推計、保・小・中の人数については村の教育のあり方に入れさせてもらう。 ・災害→防災と言葉の使い方は変更している。 【事務局】 ・配布しているお手元の資料と柳川アドバイザーの資料に違いがありました。１－１村の概要の人口動態の箇所「15歳以下の推計」は削除し、１－２村の教育の概要の箇所で示すことになる。 ・災害という言葉を防災に変更する。

	・第２章「基本理念　これから目指すもの」→「基本理念　これから目指す施設」に変更する。 ・第４章の部分について、「防災拠点」という言葉に修正済みである。 【全委員】 ・承認

議事経過	**（４）PPP/PFIとは？（PPP/PFIについて【資料５】）** 【GPMO 湯川】 ・【資料５】を基に説明 【伊庭委員】 ・官民連携でポイントとなるのは、「行政改革」であるという点である。 ・地方自治法で定められていた規制を緩和し、より効率的な公共サービスを提供するといった視点である。行政財産の多目的利用がPFIでは可能になったことや、行政財産において収益事業を行うことはPFIの枠組みでは可能になった。 ・地方自治体は、民間事業者に債務を負うことができないという地方自治法上の規定があるが、これもPFIでは可能になる。例えば、民間事業者に20億円の支払いがある場合、今は払えないので20年間の割賦払いにするのはPFI法でしかできない。 ・小学校の中に、売店やママカフェなど入れる場合、それが収益施設にあたると地方自治法上不可能であるため、PFI法でしかできないということとなる。 ・つまり、地方自治法上でできないことはPFI法でやってくださいという立て付けになっている。 ・3年前から公民連携の優先的検討規定が定められている。これは公共発注をする場合は、公民連携を優先的に検討してくださいという規定になる。人口20万人以上の大規模は義務化されている。 ・現時点の理解においては、公民連携を活用して、できるだけ税金を使わないようにすることや職員の負担を減らすために制度設計しているということを押さえておくので十分である。 ・事例紹介にあった「ユクサ海の学校」は知り合いが事業をしているため、視察可能である。 ・事例紹介にあった「指宿市彩花菜館」は２巡目のPFIになっている。昔はインバウンドで活況であったが、今はコロナの影響など社会情勢に振り回されていると聞いている。 ・【資料５】は座右の書としていつでも見ることができるようにしておくことが重要と思う。 【倉斗委員】 ・行政にとってメリットが多いということは理解できたが、今回の北川村の事業の中で民間事業者にとってどんな収益・メリットがあるのかを教えてもらいたい。

	【GPMO 湯川】 ・今回は保小中の施設の建設・維持管理になるので、そこが収益になる。ポイントは、民間事業者にとってその額が魅力的かどうかである。今後、民間事業者とのサウンディングを通じて、実現可能な諸条件を整理していくことになる。 【倉斗委員】 ・教育施設は収益がなかなか見込めないと考えている。教育環境を安定して保ちつつ、北川村オリジナルなPFIのかたちが検討されていると思っている。 【事務局（野見山副村長）】 ・現在、村で連携している企業など、ソフトも含めいかに多くの企業を巻き込めるかが重要であるため、今後は広くサウンディングで民間事業者の声を聞いていきたい。今後のスケジュールについて、最後に説明いただけるか。 【GPMO 湯川】 ・今後、10月の第３回、第４回の検討委員会の議論を踏まえて、サウンディングを11月下旬に実施したいと考えている。最終的には年内には完了させ、検討委員会で報告させてもらうという流れを想定している。報告書は年明け1月、2月でまとめていく。

議事経過	**（５）第１回地域ワークショップから考える複合化の可能性について（複合化の検討にむけて【資料４】）** 【柳川アドバイザー】 ・【資料４】に基に説明 【倉斗委員】 ・複合化のイメージを共有したいのでお見せする。複合というと、１つ１つの施設を同じ施設に入れるとイメージしがちであるが、パレットに色んな色が混ざるように保小中の施設を混ぜることで北川村色がでるようにするのが今回目指す複合化と思っている。こういうイメージでワークショップを実施してもらえればと考えている。例えば、技術室の横で、村の方々が日曜大工をやっているような状況がいいのではと思っている。 【柳川アドバイザー】 ・ここでしかできないことを区別して、いろんな可能性を探っていければと思っている。

議事経過	**（６）進捗状況の報告（小中学校ワークショップ、教職員第１回ワークショップ等）** **（ワークショップ等の報告【資料６】）** 【柳川アドバイザー】 ・それぞれのワークショップ報告資料を基に説明 【小笠原委員】 ・資料６について、各ワークショップででた意見は他のワークショップで活用がされているのか。 【柳川アドバイザー】 ・7月29日の教職員ワークショップでは、子どもたちの状況を分析したものを反映して進めてはいない。これからの検討委員会の進め方にもなるが、各ワークショップの内容をこの検討委員会で掛け合わすようなことを実施できればと考えている。 【小笠原委員】 ・参加者によって価値観が異なると思うので、少数意見でも良いものは吸い上げて検討委員会で検討できればと考えている。

議事経過	**（７）次回の検討委員会について** 【事務局】 ・次回は10月13日（水）19時～になる。

第３回北川村文教施設・子育て環境等整備事業基本計画検討委員会　議事録

開催日時	令和３年１０年１３日（水）１９：００～２０：４５
開催場所	北川村立北川小学校　多目的ホール（オンライン併用）
出席者	■　森本委員、小笠原委員、田中委員、山﨑（美）委員、山﨑（和）委員、小松委員、阿部委員、田所委員、弘田委員 永野委員長、伊庭委員、倉斗委員及び中山委員（リモート参加）　計１３名 ■　アドバイザー　柳川アドバイザー ■　GPMO　湯川 ■　Founding Base　真鍋 ■　事務局　野見山副村長、西岡教育次長、百々次長補佐、溝渕主幹
議題	（１）開会 （２）前回内容の確認 （３）ワークショップのご意見に見る北川っ子の現状 （４）北川村における教育の方向性について ・本村の教育の方向性 ・企業と連携した取り組み（公営塾：株式会社 Funding Base より） （５）今後のスケジュールについて ・PPP/PFI に係る検討スケジュール（株式会社 GPMO より） ・次回の日程について
配布資料	・第２回検討委員会議事録【資料１】 ・基本計画報告書　目次（修正案）【資料２】 ・北川っ子の現状について～地域・教職員ワークショップからの分析～【資料３】 ・北川村における教育の方向性【資料４】 ・企業と連携した取り組み　Founding Base 資料【資料５】 ・PPP/PFI に係る検討スケジュール案【資料６】

議事経過	（１）<u>開会</u> 【事務局】 ・事務局挨拶

議事経過	（２）<u>前回内容の確認について（第２回検討委員会議事録【資料１】・基本計画報告書　目次（修正案）【資料２】）</u> 【事務局】 ・【資料１】【資料２】に基づいて説明 ・目次（修正案）について委員了承

議事経過	（３）<u>ワークショップのご意見に見る北川っ子の現状（北川っ子の現状について～地域・教職員ワークショップからの分析～【資料３】）</u> 【柳川アドバイザー】 ・【資料３】を基に説明 【山﨑美砂委員】 ・北川の子は、素直で真面目で、人懐っこい部分や人を信じている部分など良さがある。課題としては、北川村のような良い環境ではなく、不慣れな環境になった場合に、自分の力が発揮できないことや人見知りになってしまう部分もあると感じている。 ・自分を小さい頃から知っている大人たちに対して恥ずかしがったりする部分もあるので、そういったものを克服できるような、チャレンジ精神を養う環境を整えられたらと考えている。 【山﨑和美委員】 ・中学生の時期にでてくる課題において、乳幼児期に何か対応できることがあれば、保小中一体化は意味があると考えている。 【伊庭委員】 ・学童保育について何か課題はないか。 【柳川アドバイザー】 ・ワークショップではそういった課題はまだでていない。小規模多機能施設「ゆずの花」という場所は、子どもの居場所になっている。また、公営塾の存在など、学校以外に子どもの居場所があることは重要ではないかと考えている。 【伊庭委員】 ・学童保育も一体的に考えていかないといけないと考えている。 ・私の 50 年前の和歌山県での経験であるが、個人図書館の取り組み（大人の生き様や年上の人間が生徒に話をするなど）は意味があったと感じている。そういった取り組みを企画・運営するコーディネーターの存在は重要である。

	【事務局】 ・現在、放課後こども教室においては20名ほどが参加している。また、学力ステップアップ教室も村民会館で開催していて、そちらにも自分の学年の対象日に児童が参加している。子ども会の卓球やバレーに所属している子は、週２～３回体育館の方で活動しており、これが放課後の小学生の過ごし方になる。中学生公営塾は7月から夜間に開催している。活動などのコーディネーターについては配置に向けて検討していく。 【倉斗委員】 ・小規模校では、地域との繋がりが強くて、その地域の活動が伝統的になったりしている事例は多い。一人の子どもに関わる地域の方、大人の数は都市部よりも多いのではないかと考えている。 ・先生方が気になっている集団行動などの能力の部分については、多様性や個別最適といった言葉があるように、国際的に活躍できる人材を育てるような観点もある。そういう点では、北川村の子どもたちの人懐っこさなど素晴らしいと思っていて、北川村のブランド・特性としてあるのではないかと感じている。 【永野委員】 ・中山間地域の教育の現状をみてきた経験から、子どもは素直に育っているが自分のことを表現しながらコミュニケーションを取ることがなかなかできないという似たような中山間地域の子ども達の実態がある。そのような環境の中で、学校でどのように育てていくのかが先生方の悩みだと認識している。 ・一旦、教育課程の網を外して、多角的に教育を捉えてもいいのではないか。もっと言えば、学習指導要領に基づかず、中山間地域なりの教育のあり方を検討して、今ある常識を外して中山間地域の子どもの課題解決を図るようなチャレンジをしていただきたいと考えている。 【事務局】 ・北川学を本格的に初めて3年目になるが、いわゆる地域学としての学びの他、企業と連携した様々な活動などを通して、北川村ならではの学びの有り様を構築していきたいと考えている。 【小笠原委員】 ・4月28日に開催された保小中教職員が参加されたワークショップでされた意見「ICTの活用が進んでいるからこそ、子どもたち同士の繋がりや本物に触れるという体験を大切にしてもらいたい」という意見に注目している。自然に囲まれている、一次産業があるのは北川村「だからこそ」である。少人数の環境などは高知市とは違う環境に恵まれている。そういう点が保小中教職員ワークショップででたのではないかと理解している。

議事経過	（４）<u>北川村における教育の方向性について（北川村における教育の方向性【資料４】・企業と連携した取り組み　Founding Base資料【資料５】）</u> 【事務局】 ・【資料４】を基に説明 【Founding Base株式会社】 ・【資料５】を基に説明 【小笠原委員】 ・質問であるが、北川村子育て教育ビジョンにおいて、Founding Baseの提案にある農業プロジェクトがどのように関係し、位置付けられているのか。

	【事務局】 ・ビジョンには、ファウンディングベースさんから今回御提案いただいた事業は現在明確には位置付けられていない。基本計画や今後改定していくビジョンの中に北川村ならではの特色ある教育の内容として盛り込んでいくことを見据えて御提案いただいたもの。ただ、全く関係ないわけではなく、北川学でも現在小４と中２がゆずの学習をしていたり、今年度からファウンディングベースさんに中学生向けの公設公営塾を運営していただいたり、何よりも村の総合戦略でゆず農家の担い手育成や産業化が謳われている中で、教育的な側面からも支えていかなければならいという観点も意識して御提案いただいたものであり、今後の改定に向けて検討していきたいと考えている。 【小笠原委員】 ・基本計画を検討している中で、今回御提案いただいた農業プロジェクトの目的や目標については北川村の農業プロジェクトとしてはトーンが低いのではないか。本村の実態や総合戦略の方向性も踏まえて基本計画を検討しているという側面もあることから、今後提案をいただければありがたい。 【中山委員】 ・小１プロブレムについて、いま具体的に現れている問題などがあれば教えてほしい。また、保育所は家庭で保育できない子どもを受け入れる施設であり公的にサポートできるが、保護者が就労していなくて家庭にいる場合の子のサポートは現状ではどうなっているのか。 【事務局】 ・小１プロブレムについては、近年小学校へは５名ほどの入学になっているが、教職員が温かく迎え入れて、教職員同士の連携は具体的に進んでいるので、現在はそこまで問題は少なくなってきていると認識している。 ・保育については待機児童なく６ヶ月、１年から対象の方々を預かっていると把握している。 【山﨑美砂委員】 ・スタートプログラムを実施していく中で、入学後徐々に子どもたちが学校生活に慣れてくると考えている。 【山﨑和美委員】 ・保護者のみなさんは、お仕事に行かれる方がほとんどで子どもを預かってほしいというニーズが高い。 【中山委員】 ・学校教育法に基づく幼稚園機能も併設することで、就労していない層（保育所の利用をしない層）にもアプローチしていくことも重要ではないか。 【伊庭委員】 ・官民連携において雇用、教育、医療福祉、エンタメがキーワードの中で、難しいのは教育分野である。より視野の広い子どもを育てているが、逆に子ども達の中では自分を縛り付けている地域に対して嫌悪感を持ち始めるという状況もでてくるし、教育を素晴らしくすればするほど、子どもが村外へ出て行くという状況はある。そういうこともあるという認識を持って、良い教育が裏目に出ないような取り組みも必要ではないかと感じている。

議事経過	（５）<u>今後のスケジュールについて（PPP/PFI に係る検討スケジュール案【資料６】）</u> 【GPMO 湯川】 ・【資料６】に基に説明 【伊庭委員】 ・サウンディングがあることで手続きはより煩雑になってくることも想定しており、そのような中でサウンディングと公募を一緒にできないか。国土交通省の方では、民間提案を受け付けてからその後予算を取って進めていくという手法も検討されている。成功報酬型などの様々な形態もある。できるだけ簡素化した手法が重要なのではないかと考えている。北川村の場合は、事業費は大きくならないと考えているので、できるだけコストをかけないようにするのが良いと考えている。そうではないと、結局行政コストが高くなってしまって、本末転倒になってしまう。 ・また、サウンディングにおいて、ハード面は民間提案においてコスト削減をするなどある程度意味があると考えているが、ソフト面はすでに北川村で様々な取り組みを行っているので、現在行っている村の取り組みを重要視した方が良いのではないかと考えている。 【GPMO 湯川】 ・現状、DMM さんなどとの具体的な教育サービスの官民連携が進んでいるが、さらなる教育サービスについて様々な事業者から提案をもらえないかと整理しているところである。 【小笠原委員】 ・サウンディングのスケジュールを見ると、地域住民のワークショップが終わった後にサウンディングの実施結果が出ることになっているので、地域住民からすると自分たちの意見がどういった形で反映されて計画に反映されたのかがわからないのではないか。何らかの形で地域住民にどういった内容だったのかを周知する必要があるのではないか。 【事務局】 ・現状のスケジュールでは、おっしゃる通りであるため、全戸一斉配布や第４回目の地域住民ワークショップを開催するなど何らかの方法で地域住民のみなさんに知らせる方法を取りたいと考えている。その点については、柳川アドバイザーやＧＰＭＯ様と相談しながら進めていきたい。 【田中委員】 ・ここ数年、保小中の連携は深まり、学校が活性化していると理解している。それぞれの先生が現場に出向いていただいて交流も進んでいる。北川学においても、地域住民も喜び、子どもたちも元気になっているという状態だと思っている。また、映像コンテストや新聞づくりコンクールの受賞が世間に認められたことは、学校の先生や子どもたちの努力でできたことではあるが、現状の施設の中でもできたことである。今の取り組みが良いとするならば、新しい学校をつくることでその取り組みがさらに効率的に、より良いものにならないといけないと思っており、さらなる取り組みに期待したいと思っている。

	・また、人口が減っていく中、全ての学級で複式学級になると、あまり良い印象を持っていない人もいる中で、その対応としてＩＣＴを活用して他の学校の子どもたちと繋がって、複式学級特有の状況を和らげていくことなどが求められる。子どもたちの教育を本当に支援していく空間を作ってもらいたいし、地域から受け入れられるエリアであり、保育や学校であるというような構想をとりまとめていただくことを期待している。

議事経過	（７）<u>次回の検討委員会について</u> 【事務局】 ・次回は 10 月 27 日（水）19 時～になる。

第４回北川村文教施設・子育て環境等整備事業基本計画検討委員会　議事録

開催日時	令和３年１０年２７日（水）１９：００～２１：００
開催場所	北川村立北川小学校　多目的ホール（オンライン併用）
出席者	■　森本委員、小笠原委員、田中委員、山﨑（美）委員、田所委員、弘田委員 永野委員長、伊庭委員、倉斗委員及び中山委員（リモート参加）　計１０名 ■　アドバイザー　柳川アドバイザー ■　GPMO　湯川 ■　事務局　野見山副村長、西岡教育次長、百々次長補佐、溝渕主幹
議題	（１）開会 （２）前回内容の確認 （３）社会とつながる学びの空間や複合化に向けて ・ワークショップ及びアンケート報告と方向性 ・サウンディングの実施について （４）就学前教育のあり方について ・北川村の教育の方向性 ・認定こども園の概要 （５）次回の検討委員会について
配布資料	・資料１　第３回検討委員会議事録 ・資料２　ワークショップ・住民アンケート報告、今後の方向性 ・資料３―１サウンディング実施要領案 ・資料３―２サウンディング概要 ・資料４―１北川村の教育の方向性 ・資料４―２認定こども園の概要

議事経過	（１）<u>開会</u> 【事務局】 ・事務局挨拶

議事経過	（２）<u>前回内容の確認について（第３回検討委員会議事録【資料１】）</u> 【事務局】 ・【資料１】に基づいて説明 【小笠原委員】 ・議事録の修正をお願いしたい。４月 28 日に開催された保小中教職員が参加されたワークショップでだされた意見と申し上げた。文中にある 7 月 28 日ではありません。また、鍵かっこの箇所ですが、「ICT の活用が進んでいるからこそ、子どもたち同士の繋がりや本物に触れるという体験を大切にしてもらいたい」と発言させていただきましたので、修正をお願いしたい。それと、最後の「それは北川村の子ども同士のつながりを育む特性なのだと理解している」の部分は私の意図するところとは違うので、確認し修正をお願いしたい。 【事務局】 ・わかりました。内容を確認させていただき反映してまいりたい。 【小笠原委員】 ・（４）の発言であるが、企業の取り組みではなく、Founding Base の農業プロジェクトの取り組みと子育て教育ビジョンの中での関連性についてお聞きしたものです。 【事務局】 ・承知しました。

議事経過	（３）<u>社会とつながる学びの空間や複合化に向けて・ワークショップ及びアンケート報告と方向性（資料２　ワークショップ・住民アンケート報告、今後の方向性）</u> 【柳川アドバイザー】 ・【資料２】を基に説明 【倉斗委員】 ・学校を拠点にして交流することを考えたとき、交流施設があるというよりは、家庭科室とランチルームみたいな場所が放課後になるとフードラボになって村の方々も来ることができたり、田舎寿司のような郷土料理をつくるところに子どもも来ていいよとか、また、図工室や技術室のような設備がある場所についても、ファブラボみたいに３D プリンターなどデジタル系のものとかが置かれていることで村の方々も使えるようにするなどが考えられる。同じように、ミュージックラボとか、サイエンスラボ、スポーツラボなど学校全体が村のラボになっていくようなこともできるのではないかと考えている。大きな学校だと学校で使われる時間が多くなってしまうのでなかなか難しいが、少ない人数であればやりやすいと思っている。村の大

	人たちも学ぶ場所であるという考え方で特別教室を活用していくことは、PFI を検討し民間事業者に運営を任せるのであれば可能ではないかと考えている。 ・アンケートについては、１ページ目の年齢構成は回答者の比率だと思うが、村民の年齢比率も参考値として入れてもらうとよりクリアになるのではないか。 ・居住エリアを聞けているのかは気になる。集落によって偏りがあるのかどうかは気になっている。 ・問５については、どういうものが欲しいのかは確認できたが、今後整備していく施設についてはまだ誰も見た事もないものなので、ここには出てこないだろうと思っている。図書館、スポーツという活動のイメージをここから引き出しながら、新しいものを生み出していくことでもいいと思っている。 【柳川 AD】 ・特別教室の活用については、私もその可能性が非常に高いと考えている。今までの特別教室というのはありきたりの実験設備やありきたりの調理台などそういうものを入れて特別教室にしているところがあるが、これからは大きく変化していくことになるのだろうと思う。実は、子どもたちのワークショップの中で工作室の人気が高かった。これは図画工作室が小学校に無いということもあって、ものづくりをやりたい、休み時間でも作りたいといういろんな話がでていた。そういう意味でも授業の合間、昼休みなどにおじいちゃんと一緒に何か作ってみるというような場面もあってもいい。また、活用を考えていくという一方で、先生方が使いたいときにしっかりと使えるというようなことが非常に重要だと考えている。今までも、地域開放をやろうと思っても進んで行かなかったのは、先生と地域の方が使えるタイミングがなかなかうまく調整できないということがあった。今倉斗先生がおっしゃってくださったように、ＰＦＩというものを活用して調整ができれば格段に活用が広がると考えている。 【倉斗委員】 ・学校の地域開放について、地域の人が使っているときは子ども達が使えないとか子ども達が使っているときは地域が使えないっていうイメージを持たれがちだが、それも空間の作り方によっては、あっちでおじいちゃんがやっているけど、こっちでは授業をやっているとかっていうようなこともあり得る。「あの人はいつも何を作っているのだろう」みたいなことから、子どもたちが自然と交流して行く環境っていうのは作っていけると思うので、そのあたりの可能性を広げていけるといいと思う。 【柳川 AD】 ・アンケート内容につきましてはまた報告書を作成する中で反映させていただきたいと思っている。 【伊庭委員】 ・教育施設でも、使っていない場合は単なる箱であるため、そういった使っていない時間は自由に使える仕組みを作ることは、これからの複合化のあり方のひとつなのだと思う。

	・PFIについては、民間企業からすると収入が得られることが重要になるので制約がない方が良い。京都の御池中学校の事例を見れば、カフェレストラン、イタリアンレストラン、高齢者施設や保育園もあって乳児園も様々ある。そういった事例を踏まえれば難しくはない。 ・子どもって非常に大変で忙しいだろうなって言うのがよくわかった。我々の子どもの頃は、大人のいないところに行きたくてしょうがなかった。いろんなことをやらされるという思いがあったが、今は大人の人たちが自分たちを守ってくれてなんかいいことをやってくれてるんだっていう感覚をもっている。昔は自分が子供の頃は1クラス55人教室で、自分が通っていた学校は小学校だけで1200人いた。自分のクラスの友達の中には20人ぐらいは名前も顔もわからない人がいた。今では与えられてくるものが多くなって情報量も多くなってくる中で、子どもたちがこれから本当に育っていくのに何が必要なのかいつも迷っている。ただ、我々の育った60年前とはずいぶん違う状況も確かなので、今の子どもたちのために何が出来るのか真剣に考えなければいけないと考えている。 【柳川AD】 ・この街だからこそ続けられることを続けていかないとならないというのも正直な気持ちである。新しいことを作っていくことも大事だが、それが村の文化に馴染めずに途中で終わってしまうというわけにはいかない。まだ計画段階であるが、実際にこれが建てられるということになれば、設計段階でより深く進めていかなければならない。いずれにしても、教育で先生方も悩み、地域の方もいろんなご心配をおかけしていることもあるかと思うが、その中でもみんなで子ども達のために何か取り組んで行けるようにする必要があると考えている。 【小笠原委員】 ・アンケートの住民へのフィードバックはどのように行われるのか。 【柳川AD】 ・いつも出している通信を発行しようと考えている。また、12月ごろに説明会という形など何らかの形で内容を報告したいと考えている。 【小笠原委員】 ・回答率が１８％という低い数字のまま返すのはどうなのかというのが１つ疑問点である。 ・問４の分析について、子どもたちが忙しいということは、気の合う仲間と放課後の集まりたいという意味で公園と回答しているのではないか。学校にいる友達と一緒にいたいというわけではないのではないか。 ・問４の⑥「子どもたちが村民と触れ合える場所」で全体集計では50名ほどいるが、高校生以下の集計では0名になっているのをどのように分析するかはポイントではないか。高校生以下は、もう村民と触れ合える場所があると考えているから、他の選択肢を選んだとも考えられる。逆に全体では不十分であるから必要であると考えているのか。見方によっては現状を維持してほしいという方もいらっしゃるのかもしれない。ここの分析をしっかりとしてほしい。

	・問６【傾向・分析】２つめのポツであるが、若者は「場所」を求めているのだろうか。他の選択肢を見ると、住環境は低くなっているので、環境整備ではなく、一歩手前にある結婚に向けたプロセスとか意識・意欲の醸成、機会が必要になるのではないか。 【柳川アドバイザー】 ・18%をどう考えるかは難しいと感じている一方で、大都市では 18%は起こり得ないのと、この 18%はこの事業に関心を持っている方々の 18%ということを踏まえて意見を尊重していきたい。地域ワークショップなどの意見も重ね合わせて総合的に話し合っていきたいと考えている。 【柳川アドバイザー】 ・機能について、個人的な意見をいただけないか。 【小笠原委員】 ・規模や財源などの制約を置いておいて、２−１に記載している機能はすべてほしい。ただ、15 年一貫教育をする際に、軸みたいなものはほしいと考えている。例えば、ゆずを育てるというだけではなく、収穫する加工する販売するなど 1 次産業 2 次産業 3 次産業、6 次産業までの仕組みをある程度学べる経験できるそういう教育現場を作っていくんだとすれば、拾っていくものがまた出てくると考えている。そういう意味でも教育ビジョンの軸はほしいと考えている。 ・ゆずをきっかけに様々な職業があるのだと知ってもらう複合施設になれば良いのではないかと思っている。PFI の話もあったが、収入が得られるようにするなどそこをどのように組み合わせていくのかになる。 【永野委員】 ・モネの庭という財産をどのように捉えるのか。雑談レベルではあるが、名称を北川学園ではなく、モネの庭学園がいいのではと話したこともあった。コンセプトの中に、芸術とか文化がテーマとして入っても良いのではと思っている。 ・学びの保証というのが当初のスタートだったと考えている。学びがしっかりできる施設が基本中の基本だと考えている。その中で、コミュニティスクールを標榜していく中で、病院や診療所やカフェもあってもいいが、まずは子どもたちが安心していられる場所であってほしいし、学びが確立される空間を作ってほしい。 【柳川 AD】 ・モネの庭を子どものワークショップで入れていったが、植物までは関心が出るが芸術までは関心を寄せてはいないという感覚もみてとれた。今後検討していきたい。 ・公園という中では、モネの庭は庭園だけども公園ではないという意見がある。庭園を公園にしていくのか、地域の方にとって望ましい姿にしていく必要がある。

議事経過	（４）<u>（３）社会とつながる学びの空間や複合化に向けて・サウンディングの実施について【資料３―１】サウンディング実施要領案・【資料３―２】サウンディング概要）</u> 【GPMO 湯川】 ・【資料３―１】【資料３―２】を基に説明 【小笠原委員】 ・資料２―１の７ページ【多様な集団・多様な人・多様な場所】の解決策に幼少中の一体化となっている。認定こども園の話も出ている。サウンディング実施要項では保小中となっているが、どうなるのか。 【柳川 AD】 ・現在は、保小中で記載していますが、本日の内容を踏まえて修正していく。 【小笠原委員】 ・事務局側としてどのようなスタンスで進めるのかが大事だと考えている。 【事務局】 ・今後としては、幼稚園機能を付加して１５年一貫教育を進めていきたいというのが目指す姿だと考えている。 【小笠原委員】 ・山﨑委員の方から仕事が忙しくてこどもを預かってほしいという保護者の方もいるというご意見を考えると、幼に絞るとそういった方々を受け入れられなくなる。 【事務局】 ・そのため認定こども園制度を検討している。保を置き去りにしているわけではなく、制度の中で、幼も含めて 15 年通して一貫で学んでいくというメッセージを出したいと考えている。 【小笠原委員】 ・実施要領では、それを読めるようにした方が良い。 【伊庭委員】 ・サウンディングをなぜやるのかについては、これから北川村さんが文教中核地域みたいなものを作っていきたいと考えている中で、それを整備するのにおそらく北川村に十分な資源・資金がないが、民間企業が本当に参画して頂けるかどうかを確認するというところになる。北川村としては、民間企業が少なくとも何グループか出てくれるということを確認したいというのがサウンディングの目的だと理解している。要するにその文教中核地域というものをどのように考えて、そこでどのようなソフトを展開して、どのようなインフラ整備を考えていただけるのかと言うことを聞いた方がいいと考えている。民間企業がいろんなことを言い散らかして帰るようなサンディングはやっても結局意味がないと思っている。「あなたが言うんだったらそれやりなさいよ」っていうところまで確認しないとサウンディングの目的が十分に果たせないということだと思う。 ・PFI 法の中に民間提案制度というのがあり、民間事業者が対象になっている。北川村が考えている公共施設の整備計画があって、それを実際に俺達はやりたいんだという人たちに来てもらいたい、あるいはその人たちから意見が聞きたいというようなニュアンスを少し発注文書の中には盛り込んで行った方がいいのではと思う。 【GPMO 湯川】 ・やる気のある企業に来てもらうための仕掛けをどうするかについて、前回の発言でもありました公募と一体化していくのもそういったご趣旨の話だったと理解している。最近、国交省の方でサウンディングのやり方という資料も出しているが、大き

	く２つに分かれると言っている。１つは、公募資料の中身について聞いておきたいといったものと、もう１つは少し幅広く基本計画の部分についてどんなアイデアやノウハウがあるのかを聞いていくというものである。今回は後者の方にあたると思っており、まずはその上流の部分をおさえていくということをポイントにしつつ、2 つ目のご意見については、これまで検討委員会や地域ワークショップでご意見を伺っているので、そういった意見をしっかりとアナウンスし、意思表示しながらこういうプロジェクトだから関わってくれないかという内容にするべきだと私も思う。そこを踏まえて少し文言を整理してみたい。

議事経過	（４）**就学前教育のあり方について・北川村の教育の方向性・認定こども園の概要** **（資料４―１北川村の教育の方向性・資料４―２認定こども園の概要）** 【事務局】 ・【資料４―１】を基に説明 【中山委員】 ・【資料４―２】を基に説明 【事務局】 ・今後、関係者の方向性を合わせ、制度や実際の運用についても学んでいく。 【伊庭委員】 ・民営化についても検討しないといけないと考えている。民間型にすると自治体の負担が大分軽くなる国の制度になっていると思うが、事業者が出てきたときに一体型の施設整備を行うとともに運営そのものについてもそういう提案が出てきた時、受け入れるのかどうかを検討しておく必要があると考えている。

議事経過	（７）**次回の検討委員会について** 【事務局】 ・次回は 11 月 17 日（水）19 時～になる。

第５回北川村文教施設・子育て環境等整備事業基本計画検討委員会　議事録

開催日時	令和３年１１年１７日（水）１９：００～２１：００
開催場所	北川村立北川小学校　多目的ホール（オンライン併用）
出席者	■　小笠原委員、田中委員、山﨑（美）委員、山﨑（和）委員、田所委員、小松委員 永野委員長、伊庭委員、倉斗委員及び中山委員（リモート参加）　計１０名 ■　アドバイザー　柳川アドバイザー ■　GPMO　湯川 ■　事務局　野見山副村長、西岡教育次長、百々次長補佐、溝渕主幹
議題	（１）開会 （２）前回内容の確認 （３）保小中一体化を目指す学校施設の機能と既存施設活用の可能性について （４）その他 ・電子図書について ・次回の検討委員会について
配布資料	・資料１　第４回検討委員会議事録 ・資料２　保小中一体化を目指す学校施設の機能と既存施設活用の可能性について ・資料３　電子図書について

議事経過	**（１）<u>開会</u>** 【事務局】 ・事務局挨拶

議事経過	**（２）<u>前回内容の確認について（第４回検討委員会議事録【資料１】）</u>** 【事務局】 ・【資料１】に基づいて説明 ・質疑は特になし

議事経過	**（３）<u>保小中一体化を目指す学校施設の機能と既存施設活用の可能性について（資料２　保小中一体化を目指す学校施設の機能と既存施設活用の可能性について）</u>** 【柳川 AD】 ・【資料２】に基づいて説明 【山﨑美砂委員】 ・図書館など、魅力的な提案であると思う。一方で、普通教室が現在よりも狭くなるというイメージがつきにくい。特に中学生は体が大きくなる時期であり、現在はゆ

	ったりと学習ができる環境だが、それが狭くなることによって少し窮屈になるのではないかという印象を持った。 ・また、オープンスペースは小学生低学年にとっては魅力的であるが、中学生がそれと同じようなものが必要なのかは考える必要があると思う。 ・家庭科室が現在は別々である調理室と被服室とをまとめて一緒にして、地域の方も活用できるというのはとても良いと思う。 【柳川 AD】 ・特別教室の利用率については、私の感触として、地域がいつでも自由に使えるという状況ではない部分があると考えている。先生方が存分に「今日そうだこれを使おう」と思った時に使える状況を作っておくことが必要と考え、今の面積を現行と同じ広さに揃えている。その辺りを踏まえて使い合わせて行く環境を整えていくというのが１つ大きな課題になると考えている。 【倉斗委員】 ・今日柳川先生が示していただいた供用の案というのは１つの考え方だと思う。同じような小規模の学校だと小中一貫になっているところがあり、こんな学校もあるという例を今手元にあるのでお見せしたい。（画面共有） ・目黒区小学校は現在学年２クラスの学校だが、ここはワーキングスペースという名前で理科室と家庭科室を１つの教室で作っている。小学校だけなので調理実習が大変少ないと言うこともあり、理科と兼用で使うということは全く問題ない状況である。 ・もう１つは吉備高原小学校で、こちらも学年１クラスの学校で、ちょうどここの部分（画面共有の図を示しながら）がワークスペースになっており、様々な活動ができる。また、ここに理科室兼家庭科室を取っていて、空いている方を使ったり、どちらかが空いてれば広げて使ったりという形で運用している。調理室はランチルームの奥にあり、ここで調理実習をしてランチルームで試食をするという使い方をしている。このような形で効率的に使用頻度を考えて作っている例もあるので、柔軟に考えていけたらいいと感じた。 ・また、例えば音楽室みたいな音を出す部屋はオープンでなく閉めきっておく構造が必要になるし、外国語教室も音を出す部屋であり、逆に音が外から入ってきても嫌である。そういうことから、音を遮る機能をどういう部屋につけるのかも考えておく必要があると思った。 ・今資料がないが、小学校の図工は、イメージだとアートなので一般的に美術室となるが、技術家庭の学習として技術室を兼用している例もある。これだと現在木工金工などものづくりの学習を扱う授業時数が減ってきているので、図工と技術家庭の学習を１つの教室で使用するという例もある。教室というのは教科名で付けられてしまうところがあるが、そこでは何をやる部屋なのかという観点で、改めて特別教室のあり方を考えるなかで、一緒にしておいた方がいいものが見えてくると思っている。

	【柳川 AD】 ・カリキュラムあるいは先生方がどういうことを大事に授業を行うのかによっても組み合わせは変わってくるのだろうと考えている。今は基本計画なので、いろんな可能性があるというところを考えながら進めさせていただくのも１つであり、その中で、最終的にはこの組み合わせがいいのではないかというようなところを見つけていけるといいのではないかと思っている。 ・吉備高原学校のワークスペースについては、自分も本当に素晴らしく、有効に活用できる場所ではないかと考えている。 【永野委員】 ・北川村の子どもの特性がどのように反映されているのか。子どものコミュニケーションを課題と感じているのであれば、交流する場や経験をする場などがどこに、どのように反映されていくのかをお伺いしたい。 ・また、子どもが何かしら相談する場所があったらいいではないかと思う。 ・パソコンルームを面積の中で計算して提案いただいている。これまでであれば情報関係の部屋が必要だったが、もう通常の教室の中でパソコンを使って学習できるので、情報の部屋は必要がないと思ったがどうか。 【柳川 AD】 ・北川村の子どもたちの特性について、大事にしたいと考えているのは図書館だと考えている。友達や先生だけではなく、村内外の大人と学習を深めたり相談したりしながら探究的な学びを展開できる空間として、従来の図書館とは違う機能を持たせた空間を考えている。 ・子ども達の学びを考えたときに、必ずしも地域の方たちといつも触れ合っていることは適切ではないということもあり、空間構成については追って示していきたいし、メリハリを効かせた空間を整理して提案していきたい。基本計画を踏まえて、設計者のイメージが膨らむようなものを作っていけたらと思っている。 ・先ほどのパソコンの部屋も同様で、私も現状から見てどうかと思うところもある。それも含めて検討させていただきたい。 【伊庭委員】 ・倉斗委員が示した写真の中に、全校生徒がご飯を食べている写真があったが、今回のプロセスの中で給食をどうお考えになっているのか。全校生徒で食べると自校式のようになるのかという点で、ランチルームと調理室がどういう感じになるのか教えていただければと思う。 【柳川 AD】 ・現在北川は自校給食であり、今はコロナで中断しているが、基本的に小中みんな一緒に食事をしている状況である。子どもたちからもこのランチルーム的な環境を守っていきたいという声が上がっていたので、そこはこれまでと同じように作っていきたいと考えている。地域の方からも、そこに入って一緒に給食を食べるようなことができないかというようなお話も出ているので、１つの案としてまた改めてお示しをさせていただきたい。この多目的ホールを地域も含めた食堂のような形にさせていただくのもいいのではないかと考えている。 ・現状の面積比較をすると、この多目的ホールと現行のランチルームはほぼ同じ大きさである。なおかつ、この多目的ホールの隣の技術室が調理室と同じ大きさになっている。そういう意味ではこちらに少し改良を加えると、自校給食がそのままできてしまうというようなことも可能なのではないかと考える。 ・一方、この多目的ホールの隣にプールがあるが、そのプールの隣に道路がある。このプールは年代的にはもう解体すべき時が来ているので、解体して広場にして外につながっていくような場所にしていくというようなことも可能なのではないかと考

えており、そういうことを含めると、地域交流拠点というような形でのランチルームの有り様というものが可能性として開けていくのではないかと思う。

【柳川 AD】

・【資料２−３】～【資料２−４】に基づいて説明。

【永野委員】

・学校と村民会館の合築は大賛成である。地域の中で暮らしている中で、特に調理室はよく使うと思うが、別々でなくとも学校にあれば十分足りるのではないかという気持ちもある。交流と言う観点からも同じような発想で良いのではないかと思う。

【柳川 AD】

・現在、教育委員会の事務局が村民会館に入っているので、これをどう考えていくかということが１つ重要なポイントになる。また、その時役場をどう考えていくのかということにも関わってくる内容なのではないかと思っている。

・特別教室の住民利用を考える際に、日中は貸館により様々な教室をそこで行いたいという話も出ているが、学校と住民参加の調整をきちんとコーディネートできる人の常駐というものは大事になってくる。ソフトのマネジメントが大変重要になってくる中で、どういう運営体制を組んでいくのかは PPP も関連してくる内容になると考えており、この辺りを精査して行くことが今後大切になってくると考えている。

【伊庭委員】

・公共施設マネジメントの考え方で、アセットマネジメント（※実際の所有者に代わって管理・運用を行う業務）の観点からも良いと考えている。大人と子どもの活動時間は異なるので、多目的ルームが使えそうであるし、学校と村民会館と一緒にするのは私も良い考えだと思う。

【柳川 AD】

・今も北川村文化祭として村民会館で長い期間展示をしているが、そういうのも学校空間の一角で行っていくというのも１つあるのではないか。その期間が、例えば子供たちの様子を見る授業参観の期間になるということもある。あるいはイベントや発表会みたいなものを学校の体育館を使って、子供たちが運営をサポートする側になって、例えばフランクフルトを焼いてお爺ちゃんお婆ちゃんに提供するなどの機会にも使っていける可能性が広がっていく。教育の方にも大変効果が出てくると考えている。特に、北川村の課題になっている新しいチャレンジあるいは自分でいろんな機会をつくっていける場面も増えていく学校になっていくのではないかということを感じている。

【伊庭委員】

・以前、美術館を検討したときには、美術館は廊下でいいのではという考えもあった。そういう意味では、学校が美術館になっていって、ビエンナーレやトリエンナーレが行われていくのは非常に面白いと思う。

【柳川 AD】

・そういう意味では、モネの庭もあるので、アートと絡めた取り組みもできるのではないかと考えている。

【田所委員】

・同じような施設は不要だと思っていたが、村民会館を学校に複合化させるのは良い案だと思う。ただ、村民会館が野友地区の災害避難拠点になっているので問題ないのかは気になるところである。

【柳川 AD】

・【資料２−５】に基づいて説明。

	【田所委員】 ・素晴らしい考えだと思う。 【山﨑美砂委員】 ・防災については、子どもにとって重要である。学校施設の中で普段から防災のことを学べるのは大切だと考えている。 【山﨑和美委員】 ・園として防災を地域の方と一緒に取り組むのは少ない。みんなで一緒にできることとなれば望ましい。 【小笠原委員】 ・阪神淡路大震災などの経験を踏まえて、こういった防災備品が増えてきているのは実感している。実際、災害が発生した際にはモノに頼らない対応が重要である。 ・村民会館にある教育委員会についてであるが、役場自体は耐震補強もしているので、立て直すなどはもったいない話である。ただ、役場（施設）の機能の見直しについては現在検討事項に入っており、教育委員会の場所についても平行して検討していきたい。 【小松委員】 ・防災学習を学校でやっていくのは良いと思った。

議事経過	（４）<u>その他（電子図書について・次回検討委員会について）</u> 【メディアドゥ】 ・【資料３―１】を基に説明 【伊庭委員】 ・図書館コンテンツについて、子どもたちの作成した本を載せることは可能なのか。 【メディアドゥ】 ・デジタルデータになっていれば可能である。八王子市工学院大学附属中学校・高等学校の事例では、子どもたちが作成した本を電子図書館上に登録し、中学校３年生が英語で書いた小説をこの電子図書館上にあげるという取り組みを行っている。 【小笠原委員】 ・この電子図書と施設整備との関係性を説明してほしい。 【事務局】 ・施設整備において、図書館が入ってくると考えているが、大規模な施設整備は難しいため、北川村だからこそ、本当に必要な図書のみを図書館に置くということを考えたときに、残りのものは電子書籍でいいのではないかと考えている。そういう観点から今回ご提案いただいている。 【小笠話委員】 ・図書館をどういう整備にするのかについては、村民にも実際に来ていただき、交流の場とするにはそれなりの図書が必要になると考えている。書籍としての図書をどう捉えるのか、時代に合わせて電子図書をどう捉えるのか、それによって図書館のあり方が変わってくるのではないかと考える。 【伊庭委員】 ・学校の公民連携を考えていく際、現状の文科省の方針だけではなく、将来を見据えた観点で整備しないといけない。これから 30 年～50 年のスパンで考えていくと、これからの教育がどのようになっていくのか、メディアドゥの技術などをどう捉え反映していくのか、考えていくことが大切である。電子図書館と名前がついているが、これは情報を出版し発信する技術であり、これから北川学などの学習の中にそ

	のような先端技術を取り込むことも検討しながら、将来を見据えた学校施設を考えていければと思う。 その中の１つの手段として面白いと思ったのが、子供たちが自分たちでいつでも本を作って出版できるという可能性を秘めていること。図書館という場所は、本を読むだけではなくて本を作るところだと整理していくと面白いことができてくるだろうと思う。 ・北川村の基本計画検討委員会について、私はすごいと思っていて、多分民間に公募してもこれ以上のアイデアが出てくる民間企業はそんなにないと思う。だから、今後公募していろんな施設を公民連携で整備を行うにしても、通常のやり方で公共が発注して民間が提案を出してから、提案の中から選ぶというやり方ではどうもうまくいかないなという認識をすごく持っている。民間の方々と公共だけでなく、住民の方々などいろんな人が集まってきてみんなで作り上げるようなプロセスが大切だと思う。今までの公民連携と違うスキームを考えなきゃいけないと思ってちょっと悩ましくなっている。今日参考になったのは、子供の創作に使える点であり、本を子供達が作る教育など面白いことができると感じた。 【柳川 AD】 ・面積指標について、圧倒的に足りないという認識を持っており、検討する中で場所・コストなどいろんな問題も出てくると思う。そういう中で、手にとって読める書籍も平行して置くことも必要。みんな家で閉じこもって読むだけではなく、一緒にその辺で寝っ転がりながら読み、あるいは本を作るというような１つのラボのような場所にもなりうる可能性があり、それが新しい図書館のあり方となる。しかも、そこから発信して外につながっていける可能性もあり、北川村の子ども達だからこそ、図書館の使い方によって有効に働く可能性が広がるのではないかなという印象をもった。 【小笠原委員】 ・手に取る子どもによっては変わると思う。場所について、自分たちが経験した図書館、図書室という場所ではなく、新しい図書館のあり方というのはキーワードになると思った。 【メディアドゥ】 ・関市での取り組み事例の紹介 【柳川 AD】 ・出版社や作家に出会うイベントなどの企画は、図書館だと司書の方が企画するということになると思うが、誰が行っているのか。 【メディアドゥ】 ・司書がいる場合、司書自らが企画運営するケースもあるが、紹介した事例では企画提案は我々の方で実施している。図書館が公民館と併設されている場合もあり、その職員の方々に企画書を作ってもらうのは大変だと思うので、我々で企画書を提供している。今日参加している片平（メディドゥ社員）は学校司書の資格を持っており、他にも公共図書館の中で働いていたメンバーもいるので、連携は図りやすい。 【伊庭委員】 ・メディアドゥさんはどのように収入を得ているのか。 【メディアドゥ】 ・電子書籍の取次が本業である。サービスを契約する場合は、相手方からお支払いいただいている。 【事務局】 ・次回検討委員会は、12 月 15 日（水）19 時～になる。

第６回北川村文教施設・子育て環境等整備事業基本計画検討委員会　議事録

開催日時	令和３年１２年１５日（水）１９：１０～２１：００
開催場所	北川村立北川小学校　多目的ホール（オンライン併用）
出席者	■　永野委員長、森本委員、小笠原委員、田中委員、山﨑（美）委員、山﨑（和）委員、田所委員、弘田委員、阿部委員 伊庭委員、倉斗委員及び中山委員（リモート参加）　計１２名 ■　アドバイザー　柳川アドバイザー ■　GPMO　湯川 ■　事務局　野見山副村長、西岡教育次長、百々次長補佐、溝渕主幹
議題	（１）開会 （２）前回内容の確認及び基本計画（案） （３）保小中一体化及び複合化を実現する建物の可能性について （４）サウンディング結果報告 （５）その他 ・次回の検討委員会について
配布資料	・資料１　第５回検討委員会議事録、基本計画（案） ・資料２　保小中一体化及び複合化を実現する建物の可能性について（面積規模の試算等） ・資料３　サウンディング結果報告

議事経過	（１）<u>開会</u> 【事務局】 ・事務局挨拶

議事経過	（２）<u>前回内容の確認及び基本計画（案）（第５回検討委員会議事録、基本計画（案）【資料１】）</u> 【事務局】 ・【資料１】に基づいて説明 【山﨑美砂委員】 ・子どもたちの特性を踏まえて、地域の方に開かれた交流施設をつくっていく方向性は、現状の子どもたちの課題を解決するのに向いていると思った。 【山﨑和美委員】 ・これまでの議論を踏まえてわかりやすくまとめてくださっている。 【弘田委員】 ・わかりやすくまとめてくださっている。少ない人数であるので、小さいときからお兄ちゃんお姉ちゃんと交流できる方がよりよく学習できると思う。 【阿部委員】 ・これまで学校というのは入りづらいイメージがあったが、外部と交流できるようになると親近感もわき、地域でも子どもに声をかけやすくなると思う。 【田所委員】 ・一貫教育はぜひやってもらいたいと考えている。小学生や中学生が小さい子とふれ合い、労ることを知ることは重要である。また、世代間交流を行い、お互いを知れることはいいことだと思う。一方で、保育所がどのように関わるのかはわからない部分もあり、一体的な校舎について今後具体的に進めていってもらえればと思う。 【倉斗委員】 ・そもそも村として一貫校化することや複合化をするのは、手段であって、目的があると理解している。その目的をみなさんと共有していくことが重要であると理解している。 ・また、保育所を一緒にすることの意味についてご発言があったが、今後一貫校や複合化に舵を切っていく場合は、全国で一貫校化などの事例がたくさんあるので、そういった事例も踏まえて検討していければと思う。 【伊庭委員】 ・いま目的の話があったが、教育を通じて子育て世代を呼び込むことと子どもたちの教育をより良くすることが目的だと理解している。前者については、教育だけひとを呼び込むのは非常に難しい。そのため、就業環境や医療などの北川村のファンダメンタルズ（基礎的な要素）が整備されないと難しい。後者については、一貫校化は、子どもたちにとって、各校種の接続をスムーズにするというのが大きい。上級生が下の子どもたちとの交流することで、人の繋がりとか人の豊かさみたいなものが育まれるメリットがあると思う。一貫校化することが、どのような効果を得られるのかという分析はしっかり検討すべきであると思っている。加

	えて、２つの目的に対して北川村の子どもたちにとって、どのような効果があるのかを分析できればと思っている。 【小笠話委員】 ・基本計画（案）P. ９の「IT 化～」部分について、ニュース等の見聞きする全国の事例をみるともはや当たり前になっていると理解しているが、そう考えると、この部分が魅力的かつ特色ある教育活動の創造の箇所にあるのは違和感がある。 【事務局】 ・外国語教育については英語が当たり前のように進められているが、北川村については、モネの庭があり、フランスとの交流がある。そのため、英語と同じようにフランス語もできるようになっていったら良いと考えている。 【柳川アドバイザー】 ・異動がある公立学校の特色を踏まえて、大きく進めすぎてしまうと新しく赴任した先生が追いつかなくなるようなことも考えられる。そこが、私立と大きく異なる点であると考えている。そのため、新しく赴任してきた方も対応できるような、地域に根付かせていくようなシステム、仕組みを構築することが必要であり、今後の課題でもある。 【中山委員】 ・全体的な意見として、教育の内容を検討する際に、保育所の学びが小学校、中学校の学びに対して後で付け足されている印象がある。自主的、主体的な学びというのは、幼児期からある学びの１つである。保育所にもしっかりとした学びがあるのだという位置付けをしてもらって、保小中の学びを連携させてほしい。 ・建物については、学校施設内だけではなく、園庭や外の学びも重要であり、乳幼児にとって大切な遊具も検討してもらいたいと考えている。

議事経過	（３）<u>保小中一体化及び複合化を実現する建物の可能性について（保小中一体化及び複合化を実現する建物の可能性について（面積規模の試算等）【資料２】）</u> 【柳川 AD】 ・【資料２】を基に説明 【山﨑美砂委員】 ・写真をみた感じでは狭くないと思ったが、電子黒板など多くの備品があるので少し狭くなると感じている。可動式については、防音ができていれば可動式の間仕切りは使い勝手が良くて魅力的である。 【柳川 AD】 ・電子黒板は、過渡期があって様々な用法があったが、設計の段階で壁面につけていくことで、対応できるのではないかと考えている。 【田中委員】 ・タブレット端末が導入されたことで机が狭くなっているのではないかと感じている。どう対応するかは気になっている。 ・これまで特別支援学級ができるたびに、中を改修してきた経緯があるので、レイアウトを簡単に変えられるのはいいと考えている。

	【柳川 AD】 ・国の委員会でも、机が小さいという意見はでているので、今後そういった意見を基本計画にコメントとして付記していくことも考えている。 ・特別支援学級についても、間仕切りを設けると同時に、どこの場所に設置するのかも重要である。プライバシーの観点からも、落ち着いた空間も重要であるので、そういった内容も追記していきたい。 【山﨑和美委員】 ・施設の広さについて、現在の年長が６名、年中４名、年少３名で人数も少なく、現在の状況で十分ではないかと考えている。ただ、今後人数がさらに減ることで、年長も一緒になると、その状況に合わせて用途が変更できるようになると良い。 【倉斗委員】 ・机の大きさについて、現在、文部科学省省の委員会でもタブレットが導入されてどうなるのかという議論は継続して行っている状況である。タブレットが全員に配られている段階で全員同時に自分の手元で何かを見るということもできるとなった時に、一斉に同じ方向を向いている机ということも将来的にどうなるのかわからないというような議論もある。現にヨーロッパなど他の外国の学校を見てみると、低学年ではテーブル形式で 4 人とか 6 人とかで学習するスタイルもあり、その辺りは現在過渡期なので議論しにくい部分もあるが、少し柔軟に考えてもいいのではないかというふうに思っている。北川村のことで言えば、児童生徒数が非常にコンパクトな規模感ということは、逆に捉えると非常に柔軟な運用ができることにもなるので、例えば一斉的な全員で前を向いて先生の黒板の場面を見るような授業をする空間もあれば、グループで行う部屋もあるというような空間も可能だと思っている。なので、個別最適の学びということが今後空間的にどうなっていくのかということも同時にイメージしながら議論を行っていきたい。 【伊庭委員】 ・20 億円程度の試算がなされているが、1000 人規模の村のため、1 人当たり 200 万円の負担、4 人家族の方で 800 万円の負担をして、 子どもたちの教育のための建物だけではなくて、ソフトの方もお金かかっていく中で、将来のあるべき姿の議論を行い、どんな教育を行っていくのかということから建物を考えないといけないと思っている。英語、フランス語の教育でも、自動通訳みたいなことができるようにもなってしまったりして勉強すること自身の意味がなくなってくる可能性だってないことはない。建物の形状とかっていう議論はまた後にして、将来の教育ってどうなっていくのかということを北川村で考えるべきである。北川村特有のここで自分の人生捨てても子どもたちをここで育てたいと思うような教育というのは一体何なのかという議論をするべきではないか。もう少し先鋭的な議論を行って、そこから導き出されるあるべき建物っていうのは何かを考えたい。学校を立てて改築すると 40 年先 50 年先の話なので、議論を深めたほうがいいのではないかなと思っている。 【柳川 AD】 ・地域住民の感覚というものと先進的な学びというものをどうすりあわせて行くのかがそこもすごく大事になってくると思う。保護者からすると、夢もあるかもしれないけど不安もあり、そのあたりは村をあげて議論していけるような環境になっていけると良いのではないかと感じている。 【柳川 AD】 ・【資料２－２】に基づいて村民会館の複合化について説明。 【阿部委員】 ・畳の空間はリラックスでき、子どもを安全に遊ばすことができるのではないか。

	【弘田委員】 ・公園に砂場があると、ありがたいと感じている。内部というよりも外部の環境も大切にしてもらいたい。 【森本委員】 ・図書館のイメージは良いので、村外からも来てくれるのではないか。 【柳川 AD】 ・図書館もこれまでの図書館とは性質が変わってきていて、今までだと本を読む場所であったが、学びの中で授業の中で子どもたちがやってきて、司書の先生がアドバイスをするような学び、教育的な観点が重要であり、また、土日曜日も利用できるような環境もどうだろうかと考えている。 【山﨑美砂委員】 ・家庭科室や理科室は子どもたちや先生が使用していないときに、村民の方に開放することは良いと感じている。図書館については、村民全体の図書館として、調べたりパソコンをしたりなどいろんな機能を備えていくのは良いと感じている。 【柳川 AD】 ・これまで子どもたちが作成していったものを保管するなど博物館的な機能を付加することも考えている。 【山﨑美砂委員】 ・管理の面は検討しないといけないが、そういった環境は良いと思う。放課後に子どもたちが宿題をしたりするような個室などもあると良いのではないか。 【山﨑和美委員】 ・図書室に関しては、年長になると、遊びの中で気になったことを調べ物をする際にすぐに調べられる状況にするのが良いと感じているが、大きいライブラリーだとその機能が果たせるのか気になっている。 ・食育の面で、料理ができるような空間があったら良いと思う。 【倉斗委員】 ・今回柳川アドバイザーからご提示していただいた写真は、イメージを持ってもらうために出されたものであると理解しており、逆に言えば、教育ビジョンさえ整っていればどういった施設が良いのかが専門家から出てくるものだと考えている。なので、検討委員会では、北川村の教育ビジョン、教育サービスなどソフトの部分を具体的に考えていかないといけないと考えている。そこがクリアになれば、様々な設計を含めて手段を検討できる。今見せて頂いた写真に対して、北川村だとどうなるかという話について、頭の中に「北川村ではこういう教育したいな」ということがあるから、この写真に対する評価が出てくるのだと思うので、その部分をうまくまとめていく作業がこれから重要であると考えている。 【伊庭委員】 ・ソフトの面でお金がかかってくるので、基本的に公民連携の考え方からすると、行政行財政改革っていう視点がどうしても外せない。これから 30 年 40 年という長い期間にわたって北川村さんが財源的にもつのかという検討も一方では必要になってくる。先ほどの事例の双葉町や富岡町にしても、東北の震災のあとの復興資金や原発事故によるお金が非常に潤沢に入ってきている。ふたばの自由学園にしても非常に素晴らしい学校になっているが、これから何 10 年もあの町で維持できるのかという危惧がある。北川村さんの場合も、財源の検討は一方でしっかりとやっておく必要があると感じている。

	【中山委員】 ・　教育の内容について議論をして行く際に現場の先生方が豊かにそのイメージが持てるのかはすごく大事だと考えている。県内で言うと、例えば香美市大宮小学校は国際バカロレア教育を導入し、特色ある教育を行っているので、異動のある先生方がそういった特色のある学校に異動した際に、どう向き合えているのかといったことが学べるのではないか。そこでは、もうすでに机が四角ではなく台形の形が使われていて、廊下との間の壁がなくオープンスペースがある状況だった。そういうものを見聞きしてくるとイメージもより豊かになって議論が深まっていくと感じた。 【柳川 AD】 ・サウンディングは先週終わったところであるので、今回お示しする予定だったサウンディング結果については、次月に予定していた PFI の定量的な部分の情報と併せてお示ししたいと考えている。 【事務局】 ・【資料３】サウンディング結果報告について簡単に説明。 【GPMO】 ・サウンディングの内容は、１３社からご意見を頂戴しましたが、このサウンディングはあくまでこの議論の検討過程をお伝えしてアイデアをお伺いした内容になっている。そのため、少し空想的であったりする内容もあるかもしれないが、この時点でのご意見として整理して読んでいただければと思う。 【事務局】 ・今後サウンディングの内容は公表するが、内容については企業が特定されないように配慮した形で簡素で公表することはご承知おきいただければと考えている。また、資料の取り扱いにはご注意いただければと思う。 ・次回検討委員会は、1 月 19 日（水）19 時～になる。

第６回北川村文教施設・子育て環境等整備事業基本計画検討委員会　議事録

開催日時	令和３年１２年１５日（水）１９：１０～２１：００
開催場所	北川村立北川小学校　多目的ホール（オンライン併用）
出席者	■　永野委員長、森本委員、小笠原委員、田中委員、山﨑（美）委員、山﨑（和）委員、田所委員、弘田委員、阿部委員 伊庭委員、倉斗委員及び中山委員（リモート参加）　計１２名 ■　アドバイザー　柳川アドバイザー ■　GPMO　湯川 ■　事務局　野見山副村長、西岡教育次長、百々次長補佐、溝渕主幹
議題	（１）開会 （２）前回内容の確認及び基本計画（案） （３）保小中一体化及び複合化を実現する建物の可能性について （４）サウンディング結果報告 （５）その他 ・次回の検討委員会について
配布資料	・資料１　第５回検討委員会議事録、基本計画（案） ・資料２　保小中一体化及び複合化を実現する建物の可能性について（面積規模の試算等） ・資料３　サウンディング結果報告

議事経過	（１）<u>開会</u> 【事務局】 ・事務局挨拶

議事経過	（２）<u>前回内容の確認及び基本計画（案）（第５回検討委員会議事録、基本計画（案）【資料１】）</u> 【事務局】 ・【資料１】に基づいて説明 【山﨑美砂委員】 ・子どもたちの特性を踏まえて、地域の方に開かれた交流施設をつくっていく方向性は、現状の子どもたちの課題を解決するのに向いていると思った。 【山﨑和美委員】 ・これまでの議論を踏まえてわかりやすくまとめてくださっている。 【弘田委員】 ・わかりやすくまとめてくださっている。少ない人数であるので、小さいときからお兄ちゃんお姉ちゃんと交流できる方がよりよく学習できると思う。 【阿部委員】 ・これまで学校というのは入りづらいイメージがあったが、外部と交流できるようになると親近感もわき、地域でも子どもに声をかけやすくなると思う。 【田所委員】 ・一貫教育はぜひやってもらいたいと考えている。小学生や中学生が小さい子とふれ合い、労ることを知ることは重要である。また、世代間交流を行い、お互いを知れることはいいことだと思う。一方で、保育所がどのように関わるのかはわからない部分もあり、一体的な校舎について今後具体的に進めていってもらえればと思う。 【倉斗委員】 ・そもそも村として一貫校化することや複合化をするのは、手段であって、目的があると理解している。その目的をみなさんと共有していくことが重要であると理解している。 ・また、保育所を一緒にすることの意味についてご発言があったが、今後一貫校や複合化に舵を切っていく場合は、全国で一貫校化などの事例がたくさんあるので、そういった事例も踏まえて検討していければと思う。 【伊庭委員】 ・いま目的の話があったが、教育を通じて子育て世代を呼び込むことと子どもたちの教育をより良くすることが目的だと理解している。前者については、教育だけひとを呼び込むのは非常に難しい。そのため、就業環境や医療などの北川村のファンダメンタルズ（基礎的な要素）が整備されないと難しい。後者については、一貫校化は、子どもたちにとって、各校種の接続をスムーズにするというのが大きい。上級生が下の子どもたちとの交流することで、人の繋がりとか人の豊かさみたいなものが育まれるメリットがあると思う。一貫校化することが、どのような効果を得られるのかという分析はしっかり検討すべきであると思っている。加

	えて、２つの目的に対して北川村の子どもたちにとって、どのような効果があるのかを分析できればと思っている。 【小笠話委員】 ・基本計画（案）P. ９の「IT 化～」部分について、ニュース等の見聞きする全国の事例をみるともはや当たり前になっていると理解しているが、そう考えると、この部分が魅力的かつ特色ある教育活動の創造の箇所にあるのは違和感がある。 【事務局】 ・外国語教育については英語が当たり前のように進められているが、北川村については、モネの庭があり、フランスとの交流がある。そのため、英語と同じようにフランス語もできるようになっていったら良いと考えている。 【柳川アドバイザー】 ・異動がある公立学校の特色を踏まえて、大きく進めすぎてしまうと新しく赴任した先生が追いつかなくなるようなことも考えられる。そこが、私立と大きく異なる点であると考えている。そのため、新しく赴任してきた方も対応できるような、地域に根付かせていくようなシステム、仕組みを構築することが必要であり、今後の課題でもある。 【中山委員】 ・全体的な意見として、教育の内容を検討する際に、保育所の学びが小学校、中学校の学びに対して後で付け足されている印象がある。自主的、主体的な学びというのは、幼児期からある学びの１つである。保育所にもしっかりとした学びがあるのだという位置付けをしてもらって、保小中の学びを連携させてほしい。 ・建物については、学校施設内だけではなく、園庭や外の学びも重要であり、乳幼児にとって大切な遊具も検討してもらいたいと考えている。

議事経過	（３）<u>保小中一体化及び複合化を実現する建物の可能性について（保小中一体化及び複合化を実現する建物の可能性について（面積規模の試算等）【資料２】）</u> 【柳川 AD】 ・【資料２】を基に説明 【山﨑美砂委員】 ・写真をみた感じでは狭くないと思ったが、電子黒板など多くの備品があるので少し狭くなると感じている。可動式については、防音ができていれば可動式の間仕切りは使い勝手が良くて魅力的である。 【柳川 AD】 ・電子黒板は、過渡期があって様々な用法があったが、設計の段階で壁面につけていくことで、対応できるのではないかと考えている。 【田中委員】 ・タブレット端末が導入されたことで机が狭くなっているのではないかと感じている。どう対応するかは気になっている。 ・これまで特別支援学級ができるたびに、中を改修してきた経緯があるので、レイアウトを簡単に変えられるのはいいと考えている。

	【柳川 AD】 ・国の委員会でも、机が小さいという意見はでているので、今後そういった意見を基本計画にコメントとして付記していくことも考えている。 ・特別支援学級についても、間仕切りを設けると同時に、どこの場所に設置するのかも重要である。プライバシーの観点からも、落ち着いた空間も重要であるので、そういった内容も追記していきたい。 【山﨑和美委員】 ・施設の広さについて、現在の年長が６名、年中４名、年少３名で人数も少なく、現在の状況で十分ではないかと考えている。ただ、今後人数がさらに減ることで、年長も一緒になると、その状況に合わせて用途が変更できるようになると良い。 【倉斗委員】 ・机の大きさについて、現在、文部科学省省の委員会でもタブレットが導入されてどうなるのかという議論は継続して行っている状況である。タブレットが全員に配られている段階で全員同時に自分の手元で何かを見るということもできるとなった時に、一斉に同じ方向を向いている机ということも将来的にどうなるのかわからないというような議論もある。現にヨーロッパなど他の外国の学校を見てみると、低学年ではテーブル形式で 4 人とか 6 人とかで学習するスタイルもあり、その辺りは現在過渡期なので議論しにくい部分もあるが、少し柔軟に考えてもいいのではないかというふうに思っている。北川村のことで言えば、児童生徒数が非常にコンパクトな規模感ということは、逆に捉えると非常に柔軟な運用ができることにもなるので、例えば一斉的な全員で前を向いて先生の黒板の場面を見るような授業をする空間もあれば、グループで行う部屋もあるというような空間も可能だと思っている。なので、個別最適の学びということが今後空間的にどうなっていくのかということも同時にイメージしながら議論を行っていきたい。 【伊庭委員】 ・20 億円程度の試算がなされているが、1000 人規模の村のため、1 人当たり 200 万円の負担、4 人家族の方で 800 万円の負担をして、 子どもたちの教育のための建物だけではなくて、ソフトの方もお金かかっていく中で、将来のあるべき姿の議論を行い、どんな教育を行っていくのかということから建物を考えないといけないと思っている。英語、フランス語の教育でも、自動通訳みたいなことができるようにもなってしまったりして勉強すること自身の意味がなくなってくる可能性だってないことはない。建物の形状とかっていう議論はまた後にして、将来の教育ってどうなっていくのかということを北川村で考えるべきである。北川村特有のここで自分の人生捨てても子どもたちをここで育てたいと思うような教育というのは一体何なのかという議論をするべきではないか。もう少し先鋭的な議論を行って、そこから導き出されるあるべき建物っていうのは何かを考えたい。学校を立てて改築すると 40 年先 50 年先の話なので、議論を深めたほうがいいのではないかなと思っている。 【柳川 AD】 ・地域住民の感覚というものと先進的な学びというものをどうすりあわせて行くのかがそこもすごく大事になってくると思う。保護者からすると、夢もあるかもしれないけど不安もあり、そのあたりは村をあげて議論していけるような環境になっていけると良いのではないかと感じている。 【柳川 AD】 ・【資料２－２】に基づいて村民会館の複合化について説明。 【阿部委員】 ・畳の空間はリラックスでき、子どもを安全に遊ばすことができるのではないか。

	【弘田委員】 ・公園に砂場があると、ありがたいと感じている。内部というよりも外部の環境も大切にしてもらいたい。 【森本委員】 ・図書館のイメージは良いので、村外からも来てくれるのではないか。 【柳川 AD】 ・図書館もこれまでの図書館とは性質が変わってきていて、今までだと本を読む場所であったが、学びの中で授業の中で子どもたちがやってきて、司書の先生がアドバイスをするような学び、教育的な観点が重要であり、また、土日曜日も利用できるような環境もどうだろうかと考えている。 【山﨑美砂委員】 ・家庭科室や理科室は子どもたちや先生が使用していないときに、村民の方に開放することは良いと感じている。図書館については、村民全体の図書館として、調べたりパソコンをしたりなどいろんな機能を備えていくのは良いと感じている。 【柳川 AD】 ・これまで子どもたちが作成していったものを保管するなど博物館的な機能を付加することも考えている。 【山﨑美砂委員】 ・管理の面は検討しないといけないが、そういった環境は良いと思う。放課後に子どもたちが宿題をしたりするような個室などもあると良いのではないか。 【山﨑和美委員】 ・図書室に関しては、年長になると、遊びの中で気になったことを調べ物をする際にすぐに調べられる状況にするのが良いと感じているが、大きいライブラリーだとその機能が果たせるのか気になっている。 ・食育の面で、料理ができるような空間があったら良いと思う。 【倉斗委員】 ・今回柳川アドバイザーからご提示していただいた写真は、イメージを持ってもらうために出されたものであると理解しており、逆に言えば、教育ビジョンさえ整っていればどういった施設が良いのかが専門家から出てくるものだと考えている。なので、検討委員会では、北川村の教育ビジョン、教育サービスなどソフトの部分を具体的に考えていかないといけないと考えている。そこがクリアになれば、様々な設計を含めて手段を検討できる。今見せて頂いた写真に対して、北川村だとどうなるかという話について、頭の中に「北川村ではこういう教育したいな」ということがあるから、この写真に対する評価が出てくるのだと思うので、その部分をうまくまとめていく作業がこれから重要であると考えている。 【伊庭委員】 ・ソフトの面でお金がかかってくるので、基本的に公民連携の考え方からすると、行政行財政改革っていう視点がどうしても外せない。これから 30 年 40 年という長い期間にわたって北川村さんが財源的にもつのかという検討も一方では必要になってくる。先ほどの事例の双葉町や富岡町にしても、東北の震災のあとの復興資金や原発事故によるお金が非常に潤沢に入ってきている。ふたばの自由学園にしても非常に素晴らしい学校になっているが、これから何 10 年もあの町で維持できるのかという危惧がある。北川村さんの場合も、財源の検討は一方でしっかりとやっておく必要があると感じている。

	【中山委員】 ・ 教育の内容について議論をして行く際に現場の先生方が豊かにそのイメージが持てるのかはすごく大事だと考えている。県内で言うと、例えば香美市大宮小学校は国際バカロレア教育を導入し、特色ある教育を行っているので、異動のある先生方がそういった特色のある学校に異動した際に、どう向き合えているのかといったことが学べるのではないか。そこでは、もうすでに机が四角ではなく台形の形が使われていて、廊下との間の壁がなくオープンスペースがある状況だった。そういうものを見聞きしてくるとイメージもより豊かになって議論が深まっていくと感じた。 【柳川 AD】 ・サウンディングは先週終わったところであるので、今回お示しする予定だったサウンディング結果については、次月に予定していた PFI の定量的な部分の情報と併せてお示ししたいと考えている。 【事務局】 ・【資料３】サウンディング結果報告について簡単に説明。 【GPMO】 ・サウンディングの内容は、１３社からご意見を頂戴しましたが、このサウンディングはあくまでこの議論の検討過程をお伝えしてアイデアをお伺いした内容になっている。そのため、少し空想的であったりする内容もあるかもしれないが、この時点でのご意見として整理して読んでいただければと思う。 【事務局】 ・今後サウンディングの内容は公表するが、内容については企業が特定されないように配慮した形で簡素で公表することはご承知おきいただければと考えている。また、資料の取り扱いにはご注意いただければと思う。 ・次回検討委員会は、1 月 19 日（水）19 時～になる。

第７回北川村文教施設・子育て環境等整備事業基本計画検討委員会　議事録

開催日時	令和４年１年１９日（水）１９：１０～２０：５０
開催場所	北川村立北川小学校　多目的ホール（オンライン併用）
出席者	■　森本委員、小笠原委員、田中委員、山﨑（美）委員、山﨑（和）委員、田所委員、阿部委員 永野委員、伊庭委員、倉斗委員及び中山委員（リモート参加）　計１１名 ■　アドバイザー　柳川アドバイザー ■　GPMO　湯川 ■　事務局　野見山副村長、西岡教育次長、百々次長補佐、溝渕主幹
議題	（１）開会 （２）前回内容の確認 （３）北川村の教育の方向性及びサウンディング結果等について （４）その他 ・次回の検討委員会について
配布資料	・資料１　第６回検討委員会議事録 ・資料２　北川村の教育の方向性及びサウンディング結果等について ・資料３　今後の検討委員会日程について

議事経過	（１）<u>開会</u> 【事務局】 ・事務局挨拶

議事経過	（２）<u>前回内容の確認（第６回検討委員会議事録【資料１】）</u> 【事務局】 ・【資料１】に基づいて説明

議事経過	（３）<u>北川村の教育の方向性及びサウンディング結果等について【資料２】）</u> 【事務局・柳川 AD】 ・【資料２】を基に説明 その後、会場とオンラインに分かれてグループワークを実施。 【柳川 AD】（オンライン上のグループワークを報告） ・中山委員からは、特に幼児教育なども含めて、全体的な中で自分が何をしたいのか、あなたは何をしたいのかという問いかけを意識しながら環境を作っていくことが大切であり、その中で、自己表現あるいは自分を出していけるような子どもたちであってほしいし、私はこうだということがしっかりと言える子どもたちを育ててほしいというご意見があった。また、先生の力量形成によって、そういうことが引き出せる学校環境があるといいのではないかというお話があった。 ・永野委員からは、遊び心満載に新しいキャッチフレーズをいただき、「きらくにたがやす　かかわり　わだち」このそれぞれの言葉の頭をとると北川（きたがわ）になる。どうしても難しい話をしていかなければならない中で、こういう遊び心を持ってみんなが楽しんでいく環境を考え、子どもたちがこの村に魅力を持ってもらい、大人の姿を見て自分もこういうことをやってみようと思ってもらうことが大切なのではないかというご意見をいただいた。 ・倉田委員からは、たくさん学校抱えている自治体とは違って、保小中ひとつずつしかない北川村では、一つこれを成し遂げたならこの村は変わるという重みもあるのかもしれないけども、逆に一つでいいのだから、もっと楽しく大人も楽しく気軽に考えていけるような基本計画書であってほしいと願っているというご意見があった。また、目標とか指針について今後の取り組みの課題になってくると思われるが、具体的にどういうステップで進めていくのか踏み込んで考える状況を今後作っていけると良いのではないかという話が出ていた。 ・伊庭委員からは、財政というものを考えたときに、夢があることはいいが、財政負担を考え、壮大なものを作るだけではなく、簡素であっても魅力的なものはできるとの話があった。そういう中で、今の学習指導要領がはやくも次の改訂を考えていく時期に来ていて、今建物を考えたとしてもできあがるのは数年後であれば、数年間のギャップが出て、設備も新しいものが出てくる可能性もある。施設の空間に付随されていくものについて、教育のあり方も含めて、地域の意見を吸い上げるシステムの中で、柔軟に可変していけるような柔らかさのある建物を目指していくことも大切ではないかという話があった。また、何のためにというところを大事にすべきではないか、地域に発信していくことも多様性を育むことも大事だが、単に外部に向いているだけではなく、村の子どもたちのためではないかというようなことも大切であるという意見も出ていた。

	【事務局】（会場上のグループワークを報告） ・会場の意見であるが、教育の方向性のポンチ絵を見て、この言葉の背景にある意味合いというものがなかなかわかりづらいという正直な感想をいただいた。指針と基本理念の関連性についても、もう少し分かりやすく説明をしてはという意見をいただいた。この点については、これからとりまとめていくにあたって、報告書にわかりやすい言葉でまとめて、次回の検討委員会で提案していきたいと考えている。 ・より魅力的な教育内容について、カッコがきで明記しているが、大切にしている部分は何かということをもう少し絞ったらよいのではないかという意見が出ていた。例えば、英語教育であれば、英語の授業やオンライン英会話タイムなど一対一でのオールイングリッシュの活動も始まっているので、かなり聞く話す力はついてきており、中学校の卒業までに日常的な英会話は可能に、もっと言えば、英検二級を取得できるようになるという高い目標を掲げて、それを特色ある教育内容の目標に掲げることも必要ではないかという意見もあった。そういったところを含め、報告書ではもう少し教育のソフト面の部分を絞った内容で表記していきたいと考えている。 ・大人との関わりというところでは、例えば英会話にしても、英会話できる環境を大人の学び直しや、大人が子どもと関わりたいことを実現できる環境など、子どもたちの学び場に大人も一緒に学べる生涯学習の場といった意味合いで再構築していくというのは大変重要なことではないかという意見もあった。 ・また、誰でも気軽に立ち寄れる場としての学校については、管理面も含めて考えて精査していかないと良い関係にはならないというご意見もいただいた。 ・これらのご意見を踏まえて、次回までに検討して、実際の報告書に反映してまいりたい。あまり硬い文章にならないように、わかりやすく表記も工夫しながらまとめていきたいと考えている。 【GPMO】 ・【資料２―３】【資料２-４】について GPMO 及び事務局から説明。 【山﨑（和）委員】 ・土の違いを確かめながら遊ぶことも必要であり、大切にしているところ。一部芝生にするということはあり得るかもしれない。 【山﨑（美）委員】 ・今の土のグラウンドでは自由にラインが引きやすくて使い勝手が良いというところもあるので、もし子どもたちが芝生で遊んだりすることであれば、例えば中庭とかに芝生を敷くのはあるのかなと思っている。全面的に敷くというイメージはない。 【倉斗委員】 ・芝生については、目的が何か次第である。都市部では緑化率を上げることや砂埃をなくすために芝生化を進めていることも多い。一方で、人工芝は見た目は同じであるが、転んだりした時の摩擦熱などで怪我をする場合もあるので、様々な側面があることを踏まえて検討してもらいたい。また、日本では維持管理は大変であるのはあるが、芝生を維持管理することで地域と関わりを作っていくなど、それを通して何ができるのかを考えていくのが良いと思う。 ・木質化、木造化については、最終的にはコストとの兼ね合いと考えているが、学びの環境としては大変良いと思っている。一方で、屋外の雨晒しの部分はメンテナンスの問題がでてくる。年１回地域と一緒に防腐剤を塗ったりするなど事例があり、学校が地域のものであるということを理解するための木質化という話にもなる。

	・地域の総合スポーツ施設となると、プールを温水化するなどスペックが高くなると思うので、それが必要かは議論をする必要がある。複合化の事例で言えば、グラウンドやプールなどの施設のメンテナンスや維持管理を民間の運営会社に任せることができるので、学校側の負担が減り、学校側にメリットがあると聞いている。民間にどこまで任せるのか次第であるが、両者にとってＷＩＮ―ＷＩＮになるような選択にもなりうると思った。 ・高齢者施設は必ずニーズが出てくるとかあるところでもあるので、そういう方々と異年齢の交流が生まれるということも良いことであると思う。また、重度の障害のあるお子さんのための学校、例えば特別な支援が必要な肢体不自由のお子さんの学校となると、おそらく県内からも集まってくると思う。その子どもたちが学んでいる姿を子どもたちが見聞きしながらともに学ぶ姿がみられる。これら高齢者施設等の併設の事例はたくさんあると思うので、それが北川村全体の仕組み作りの中でマッチするかどうかは検討されたらいいと思った。 【伊庭委員】 ・今倉斗委員が言われたかったことは大部分賛成です。例えば、統合型スポーツクラブに関して、施設の話から入っているが、別に施設がどうこうではなく、プールも体育館も学校ごとにあるのがおかしいという話の中で、サークル活動にしても、学校単位でやっているものを統合型スポーツクラブに全てまとめて統一していきましょうということである。また、そこには本当のプロの専門の指導者がいて、先生達の労力を減らすという大きなメリットもある。 全国には 3000 以上の統合型スポーツクラブがあって経営がうまくいっているのは、そのうちの一割 300 ぐらいって言われている。北川村のような 1000 人規模の自治体であれば、施設そのものを学校の施設ではなくて統合型スポーツクラブの施設として作って、その施設を学校が使う形も良いのではないかと考えており、統合型スポーツクラブの理念をきちんとつくっていくということも大事だと思っている。 ・芝生は何の目的のために実施したいのかを検討するべきである。昔は、芝生は夢のまた夢であったが、芝生で子どもを裸足で走り回らせたいとか、あるいは熱中症防止対策でやりたいとか、子どもの健康のためにやりたいなど、目的をしっかりと定めて方向性を見出していないと、単に維持管理が面倒だから止めておきましょうっていうことにつながる。 ・木質化も同じであり、木質の方が良いと思っている。先ほど言ったように部屋の環境がマイルドになっていくということもあって、同じように目的意識がもうちょっと明確でないといけない。国の方が木質化を進めているのは木材資源を使いたかったというのがその頃はあったが、今は逆に木材が足りなくなってきているという状況である。子どもたちのために木質化が重要というところは議論をしておく必要があると思っている。 【事務局】 ・次回、次々回検討委員会は、2 月 9 日（水）、2 月 21 日（月）になる。

第８回北川村文教施設・子育て環境等整備事業基本計画検討委員会　議事録

開催日時	令和４年２年９日（水）１９：００～２０：４５
開催場所	北川村立北川小学校　多目的ホール（オンライン併用）
出席者	■　小笠原委員、田中委員、山﨑（美）委員、山﨑（和）委員、田所委員、小松委員、阿部委員、弘田委員 伊庭委員、倉斗委員及び中山委員（リモート参加）　計１１名 ■　アドバイザー　柳川アドバイザー ■　GPMO　湯川 ■　事務局　野見山副村長、西岡教育次長、百々次長補佐、溝渕主幹
議題	（１）開会 （２）前回内容の確認 （３）基本計画報告書案について （４）その他 ・今後の検討委員会日程について
配布資料	・資料１　第７回検討委員会議事録 ・資料２　基本計画報告書案、ダイジェスト版について

議事経過	**（1）開会** 【事務局】 ・事務局挨拶

議事経過	**（2）前回内容の確認（第７回検討委員会議事録【資料１】）** 【事務局】 ・【資料１】に基づいて説明

議事経過	**（3）基本計画報告書案についてについて【資料２】）** 【事務局・柳川 AD・GPMO 湯川】 ・【資料２】を基に第１章について事務局から説明 【小笠原委員】 ・P 16 の「学びのサイクル」はどのように読めば良いのか。「見付け出し」の漢字表現は合っているのか確認してほしい。 ・P.18 の「北川村の文教施設」について、「中岡慎太郎館」は含まれるのか。 【事務局】 ・学びのサイクルは、下から読んでいき、「かかわる→みつける→たがやす→つくる」という子どもの思考過程をらせん状に表したものである。また、つくって終わりではなく、つくりだしたものを、かかわりの中でさらにたがやし、新たな価値をつくりだしていくという学びのサイクルを目指していくことを表している。 「見付け出し」の表現は追って確認し修正する。 ・保小中の文教施設やエリアを想定しているので、観光施設である「中岡慎太郎館」は含まれないと考えている。 【資料２】を基に第２章について柳川 AD 説明 【伊庭委員】 「今あるチカラ」は何か定義があるのか。 【柳川 AD】 ・はっきりと明記はしていないが、巻末で取りまとめ予定であるワークショップの中で意見としていただいた子どもたちの良いところや地域の宝などをかけ合わせていければという意味で記載している。 【小笠原委員】

・P.28 の部分で、0～100 歳と記載があるが、なぜ 100 歳なのか。

【事務局】

・ワークショップにおける参加者からの意見の中で「村内すべての人」という意味でいただいた表現をそのまま表記している。この文言については、事務局で協議してまいりたい。

【柳川 AD】

・P.20 の冒頭部分に、まち・ひと・しごと創生総合戦略に「千人の家族が子どもを育む」という表現があるので、「千人の家族が育む」に変更するのはいかがか。

【小笠原委員】

・今検討しているのは、村内だけではなく、村外のひとにも活用してもらう施設を目指していると思われるので、千人という表現も妥当であるのか。

【阿部委員】

・私は 0～100 歳という表現に違和感はない。人生 100 年をイメージしているので、100 歳までということに違和感はないと捉えている。

【倉斗委員】

・0～100 歳という表現に違和感はないが、文章の途中に 0 歳～15 歳という表現もあるので、具体的な年齢にみえるので、表現は検討してもらえればと思う。「みんなで集い」で良いのではないかとも思う。村民をつけるのかどうかも含めて検討できればと思った。

・「今あるチカラの総力戦」での部分であるが、無理はしないという気持ち、ない力を寄せ集めるまでもなくという気持ちを伝えたいとうことだと思うが、一方で今あるチカラだけで良いのかとも思うので、大事なところなので吟味してほしい。

【事務局】

・次回の検討委員会で改めてご意見を踏まえて提示できればと考えている。

【資料２】を基に第３章～４章について柳川 AD 説明

【伊庭委員】

・プレゼンルームについて、将来を見据えると、映像文化についてはアバターアニメーションなどが進んでいくのだろうと思う。また、日本の教育の中で弱いところとして、ディベートをする力であると捉えている。そういった観点から考えると、プレゼンルームで、みんなで議論をする場所を構えるなど、プレゼンをする上での映像資料などがそこにあることで、この場所が重みを増すのではないかと考えている。その辺の書きぶりを少し学校寄りにしてもらえればいいのではないかと考えている。

	・敷地の中でそれぞれがタブレットを持って学習を行うことはもはや当たり前になってきているが、大きな画面をみんなで共有しながらディベートをすることなどはこれから必要になってくるのではないか。そこを少し強化してもらえればと考えている。 【柳川 AD】 ・音楽室にあたるホールや教室空間に関しても、今述べられた機能が必要であろうという認識を持っている。それぞれの部分について、追記してまいりたい。 【倉斗委員】 ・今後これを基に募集要項を作成していく中で、設計者がやりたくなるようなかたちになっていると感じた。考え方が整理されているだけではなく、いろいろなアイデアを出したくなるようなまとめ方になっていると思っている。P.39 のゾーニング図は、北川村の方向性を、強制力なく、かつ思考を掻き立てるようなとりまとめになっているのではないかと考えている。 緑色の部分の供用部分について重要だと感じているのは、PFI の話はこれまでも検討委員会でも出てきているが、この供用部分を地域とともに使っていくとなった時に、今の学校施設を地域とともに使っていくといういまの延長線で考えると学校の先生の負担が増える可能性あるので、まず運用部分を決めてしまえれば、供用部分の使い方に関していろいろなアイデアが出てくるのはないかと思っている。学校側が使いたい時に使えないようなことも言われるが、そういうことも学校を最優先にするというルールで運用するという事例もたくさんあるので、そういった事例収集も今後重要になるのではないかと思っている。 【柳川 AD】 ・クリエーション・コモンズの部分に運営支援管理室というものを記載しているが、それがそういう運営の拠点になると考えている。今指摘があった部分について、今後の検討課題として記載していこうと考えている。 【倉斗委員】 ・例えば、共創をしていくという言葉だと良いのではと感じている。 <u>【資料２】を基に第５章～６章について GPMO 湯川説明</u> 【伊庭委員】 ・PFI かどうかについては、手法選定の議論であるのだが、PFI 事業でしかできないスキームというものがある。一つは、民間資金を活用することを北川村が望むのかどうか。もう一つは、学校施設以外の図書館や博物館などの行政財産を学校施設という行政財産の中に入れるということを望まれるのかどうか。三つ目は民間施設として、塾やクリニックなどを北川村が望まれるのかどうか。この三つのどれかが該当すれば PFI 以外には選択肢がなく、地方自治法上そういうものを作ることは許可されていない。なので、無駄な議論をすることではなくて、北川村さんがこの施設

	全体にどのようなことを期待し希望されるのかということをまとめられた方が手法の議論をするよりは効率的ではないかと考えている。 ・もう一つ、PFI 事業で発注するときに要求水準書という言葉が随分使われているが、これを性能規定書や性能発注基準書という名前にして性能発注をしているのだということを意識づけた方が良いと考える。要求水準って言ってしまうと細かい要求水準という恐れが出てくるので、多分日本で初めてだと思うが、性能発注基準書などの文言に変えていただけると、発注側も受け取る側も誤解がないのではないかと考えている。 ・学校教育の中で教員というものが果たすべき役割については少し議論をしていただいた方が良い。個人的には、教員は学校教育の中で子ども達を教育するっていう部分に注力していただいて、施設の管理や防犯などは教員自身がやらずに民間に委託していくのが効果的だと考えている。各地で学校施設を行政財産ではなくて市民財産とか村民財産という位置づけにしている事例が増えているが、民間の人達あるいは住民の方々が、学校の付帯的なお仕事のお手伝いをするということが意識づけられていくという形がいいと思っている。その辺を少し加味していただければと思っている。 【GPMO 湯川】 ・今回複合化というところで、行政財産の活用という可能性が出てくることから自動的に PFI の手法を選定することはその通りだと思っている。そういった話が文章中にクリアに整理できているのかを確認しておきたい。また、学校教員の部分に関しても、文章中に定性的な評価の部分で記載しているが、しっかりと伝わる表現になっているかを確認しておく。 【小笠原委員】 ・第 4 章と第 5 章のつなぎの文章がないため、なぜ PFI を議論するのかが見えてこない。北川村としてなぜ PPP/PFI を検討しているのか、つなぎの文章が必要だと考えている。加えて、もともと地域住民から村の財政面を心配する声があり、議会からのご指摘もある。しかし、その観点について報告書全体でどこも触れられていないので、追記を検討してもらえればと思う。 【倉斗委員】 ・PFI は一般の方々にはわかりにくい話で、黒船来航みたいに民間の会社がやってくるみたいなイメージを持たれる方もいるのではないかと思うが、他の自治体等で導入されている例を見ても、例えば地元や地域の民間業者も一緒に構成者の中に入れることを条件にしているなど、色々なやり方で地域も入り込みながら地域を盛り上げる手段も見受けられる。そのあたりを少しずつ情報発信していけるといいと思った。

	【柳川 AD】 ・これまで検討してきたことを巻末資料にして、まとめていく。具体的には、まずはこれまでの検討委員会での議事録をすべて掲載したいと考えている。また、ワークショップや住民アンケートのとりまとめについても掲載してまいりたいと考えている。また、この計画の背景のプロセス（検討の過程や検討委員会の構成員等）を本編の方に追加したいと考えている。 【事務局】 ・次回が最後の検討委員会になるが、2 月 21 日（月）になる。場所はいつもの多目的ホールではなく、村民会館 2 階の会議室になる。

■第１回　小学生WS「こんな学校あったらいいな！プロジェクト」　運営内容

【テーマ】ぼくやわたしの「お気に入りの場所」を紹介しよう！

【日時】　令和３年７月２７日（火）　午前９時~午前１０時３０分
【場所】　北川小中学校　多目的ホール
【参加者】　小学４年生、５年生、６年生　25名

【WSの趣旨】　**これから、村の人みんなで、村の人みんなが使える学校を考えていく。**
みんなの思いを、地域の人に届けよう！
小学生のみんなも、その一員として、こういう場所がお気に入りだ！
こんな場所をまたつくってほしい！、という気持ちを伝えていこう！
小学生のこどもたちが、学校空間で感じていることを探る。
お気に入りの場所、人気の場所についてたずね、
どんな場所に惹かれているか、その理由、空間的特徴を探る。

Step１　**5分**　**●ガイダンス**　**担当：教育委員会**
「こんな学校あったらいいな！」プロジェクトの紹介

Step２　**10分**　**●情報提供**
建物をつくる仕事を体験しよう！
担当：設計工房顕塾　柳川奈奈
(5分)　建物をつくること、設計という仕事について簡単に紹介し、
(5分)　「図面」の見方について説明する。

Step３　**45分**　**●ワークショップ**
０．　お気に入りの場所の写真を集めよう！
事前に、各自のChromebookで、お気に入りの場所を写真撮影。
当日、児童本人が、どの場所を撮影していたか、わかる状況を準備。
自分の好きな場所と理由が発表できるよう、事前準備を行う。
(30分)**１．　「お気に入りの場所」に投票しよう！**
それぞれ写真を撮影した場所の中から、一番大好きな場所を選び、
〇シールを張ってもらう。
〇シールには、名前を書いて、図面に貼る。
まずは、６年生から、５年生、４年生。順番に。（学年色別）
前の学年の様子をみて、準備する。
６年生：青、５年生：緑、４年生：黄色。
貼る時は、場所がわからない場合、大人がアシストする。

（15分）**２．　人気の場所、発表！**

投票数の多かった場所を紹介。

なぜそこを選んだか、子どもたちに尋ねる。

３．　こんな場所もあるんだよ！

人気の場所に合わせて、他の特徴的な空間をもつ学校、世界の学校の写真を示して、子どもたちの反応をさぐる。

＊2・3は、場所ごとに、セットで行っていく。

Step４　　5分　●全体共有

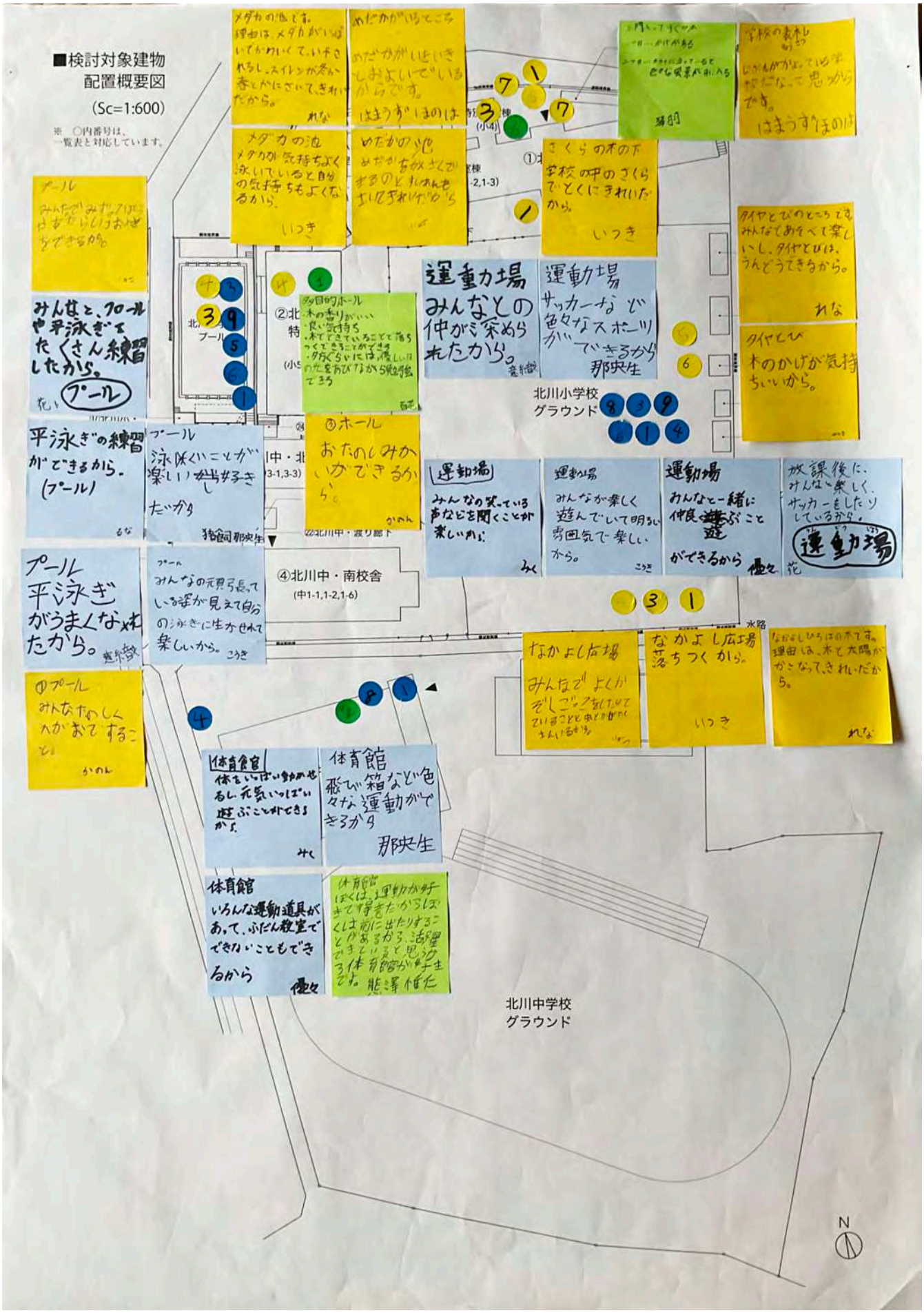
みんなの意見をまとめて、校長先生や村の人に発表する旨、伝達。

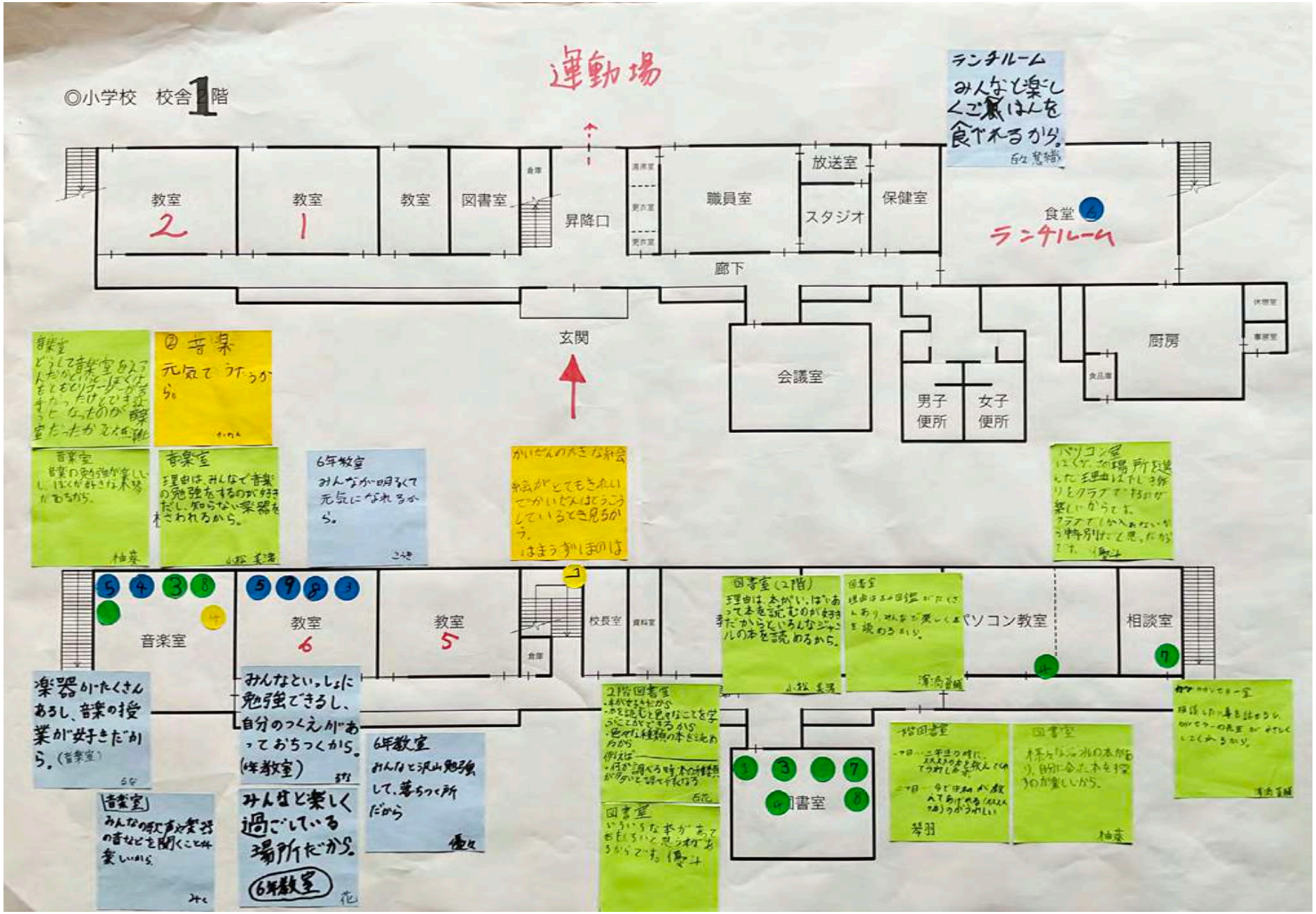
大人もこどもも、みんなで考えていくので、これからも協力して

みんなで学校をつくっていこう！という意識づくりをし、

次回につなげる。

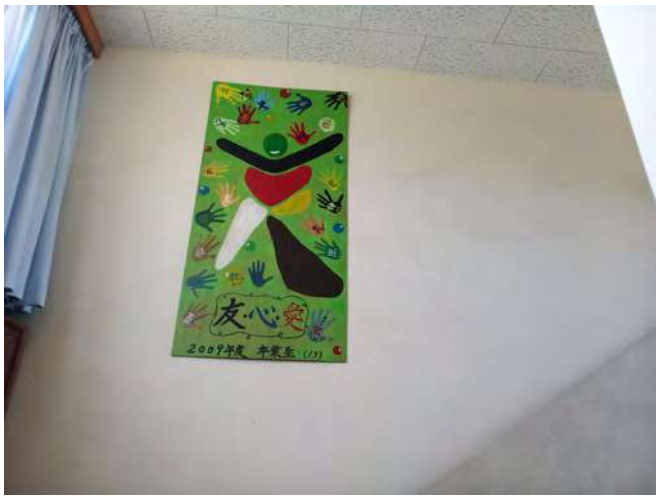
＊全体構成として、児童の状況にもよるため、余裕をみて１時間10分としています。


■検討対象建物
配置概要図
(Sc=1:600)
※ ○内番号は、一覧表と対応しています。
メダカの池です。理由は、メダカがいっぱいでかわいくて、いやされるし、スイレンが冬から春とかにさいてきれいだから。 れな
めだかがいるところしおよいでいるからです。 はまうすぎほのか
メダカの池 メダカが気持ちよく泳いでいると自分の気持ちもよくなるから。 いつき
めだかの池 めだかがたくさんいるのとれいれいもさいてきれいだから
学校の表札 じがんがかかっていて学校だなって思うからです。 はまうすぎほのか
さくらの木の下 学校の中のさくらでとくにきれいだから。 いつき
タイヤとびのところでもみんなであそべて楽しいし、タイヤとびは、うんどうできるから。 れな
タイヤとび 木のかげが気持ちいいから。
プール みんなでみずをかけあったりおよいだりできるから。
みんなと、クロールや平泳ぎをたくさん練習したから。 プール
平泳ぎの練習ができるから。(プール)
プール 泳ぐことが楽しいから好きだから
プール 平泳ぎがうまくなれたから。
プール みんなの元気ぶりを長っている姿が見えて自分の泳ぎに生かせれて楽しいから。
プール みんなたのしくかおですること。 かのん
多目的ホール ・木の香りがいい ・良い気持ち ・木でできていることで落ちつくできることができる ・ダンスなどには、楽しいなのだ。をあびながら勉強できる
③ホール おたのしみかいができるから。
運動場 みんなとの仲が深められたから。
運動場 サッカーなどいろいろなスポーツができるから 那央生
運動場 みんなの笑っている声などを聞くことが楽しいから。 みく
運動場 みんなが楽しく遊んでいて明るい雰囲気で楽しいから。
運動場 みんなと一緒に仲良く遊ぶことができるから 優々
放課後に、みんなで楽しく、サッカーもしたりしているから。 運動場
なかよし広場 みんなでよくかけっこごっこをしたりしていることと虫とかがいっぱいいるから
なかよし広場 落ちつくから。 いつき
ながなしひろばの木です。理由は、木と太陽がかさなってきれいだから。 れな
体育食堂 体をいっぱい動かせるし、元気いっぱい遊ぶことができるから。 みく
体育館 飛び箱など色々な運動ができるから 那央生
体育館 いろんな運動道具があって、ふだん教室でできないこともできるから 優々
体育館 ぼくは、運動がもっとできるようになりたいから、ぼくは前に出たりすることがあるから、活躍できていると思うから体育館がもっとすきです。 熊澤惟太
④北川中・南校舎
(中1-1,1-2,1-6)
北川小学校グラウンド
北川中学校グラウンド
水路
N


◎小学校　校舎1階
運動場
教室 2
教室 1
教室
図書室
倉庫
昇降口
職員室
放送室
スタジオ
保健室
食堂
ランチルーム
廊下
玄関
会議室
男子便所
女子便所
厨房
音楽室
教室 6
教室 5
校長室
パソコン教室
相談室
図書室
ランチルーム
みんなと楽しくご飯を食べれるから。
音楽室
どうして音楽室あるんだろうと思ったけど、ぼくはもともとリコーダーが苦手だったけどでも音楽室だったからそれが無駄
音楽室
元気でうたうから。
音楽室
音楽の勉強が楽しいし、ぼくが好きな木琴があるから。
音楽室
理由は、みんなで音楽の勉強をするのが好きだし、知らない楽器をさわれるから。
6年教室
みんなが明るくて元気になれるから。
かいだんの大きな鏡
鏡がとてもきれいでかいだんはどうこうしているとき見たから。
パソコン室
ぼくがこの場所を選んだ理由は下しき作りとクラブでパソコンが楽しいからです。
楽器がたくさんあるし、音楽の授業が好きだから。（音楽室）
みんなといっしょに勉強できるし、自分のつくえがあっておちつくから。（6年教室）
6年教室
みんなと沢山勉強して、落ちつく所だから
音楽室
みんなの歌声や楽器の音などを聞くことが楽しいから。
みんなと楽しく過ごしている場所だから。
6年教室
図書室（2階）
理由は、本がいっぱいあって本を読むのが好きだからいろんなジャンルの本を読めるから。
図書室
絵本はその図鑑がたくさんあり、みんなで楽しくそれを読めるから。
2階図書室
・本がたくさんあるから
・本を読むと見たことを学ぶことができるから
・色々な種類の本を読めるから
例えば
・何か調べる時本の種類が多いと調べやすくなる
図書室
いろいろな本があっておもしろいと思うものがあるからです。
図書室
1階図書室
一日一冊、三年生の時に、えいえいの本を教えてもらうのが楽しかった。
二日一冊、今では中の人数へるのがうれしい
図書室
様々なジャンルの本があり、自分に合った本を探すのが楽しいから。
カウンセラー室
相談しに来る時、カウンセラーの先生がやさしいとこみたいから。

北川村立
北川小学校

北川小学校


友心愛

月　日　曜日

二階図書室

私のお気に入りの場所が二段図書室な理由は、二つあります。

一つ目は私は本が好きだからです。本を読すことで、いろんなことを知ることができるからです。

二つ目は、色々な種類の本を読めるからです。例えば、何かを調べたい時に、本の種類が多いと、調べるにとが調べやすくなるからです。

月　日　曜日

多目的ホール

私のお気に入りの場所が多目的ホールの理由は、木の香りがして、良い気持になれて、木でできていて、落ちつくことができるからです。夕方ぐらいには、優しい日の光をあびながら、勉強することができるからです。

月　日　曜日

音楽室

どうして音楽室をえらんだかというと、ぼくはもともとリコーダーが苦手だったけどできるようになったのがここを選びました。

月　日　曜日

体育館

ぼくは、運動が好きで得意だからぼくは前に出たりすることがあるからなんか活躍できていると思うから体育館が好きです。

月　日　曜日

音楽室

ぼくが音楽室を好きな理由は、音楽の勉強をする時に、みんなで楽しく合奏ができるし、ぼくが好きな木琴があって、毎回音楽室に行く時に、ワクワクしてしまうからぼくは、音楽室が好きです。

月　日　曜日

図書室

ぼくが図書室を好きな理由は、たくさんある本の中から自分に合う本を探すのが楽しいし、様々なジャンルの本があるので、毎回ちがう感覚で楽しめるから、図書室が好きです。

月　日　曜日

パソコン室

ぼくが、この場所を選んだ理由は、ぼくは、パソコンクラブに入っていてパソコンで下じきやシールなどを作るのが楽しいからです。ここは、クラブなどの他にはほとんど力ギがかかって入れないから特別に関じました。だからパソコン室が好きです。

月　日　曜日

図書室

○ぼくが、この場所を選んだ理由は、本がいっぱいあっていろいろなおもしろい本もタくさんあるからです。それに、本がとてもたくさんあるから選びやすいのでぼくは、図書室が好きです。

二階図書室

私がこの場所にした理由は、三年生の時に、どの本を借りるかなやんでいた時に、オススメの本を教えてくれた事がうれしかったからです。私が、みんなに本を好きになってもらうために、こまっている人がいたらオススメの本を教えてあげています。

だから今では、

正門入ってすぐの木

二つ目は

私がこの場所にした理由は、木の下が、かげになっているからです。二つ目は、木の下に立っていると色々な、風景が目に入ってくるからです。

月　日　曜日

プール

ぼくがプールをえらんだ理由は、五つあります。

一つ目、熱い日にスッとしたきもちがいいから。

二つ目、水泳の時間が好きだから。

三つ目、約四十五分、五年教室からはなれるから。

四つ目、歩いるけと水がほぼ透明だから。

五つ目、授業なのに青空が見えるから。

月　日　曜日

放送室

ぼくが放送室をえんだ理由は三つあります。

一つ目、週に二回かけて放送しています。

二つ目、電気機器が好きの。

三つの理由があるから放送室が好きです。

カウンセラー室

僕がこの所にした理由は、自分がもやもやしている時など想談したい事がある時、カウンセラーの先生が優しく話を聞いてくれもやもやが無くなるし、カードゲームなどで楽しくしてくれるからです。

図書室

僕がこの場所にした理由は、本や図鑑などがたくさんあり、落ちつけるし、おもしろい本があり、みんなで楽しく本が読め、同じ趣味の人とは一緒に仲良く読めるからです。

月　日　曜日

図書室

私が図書室を選んだ理由は、いろんな物語の本がいっぱいあって本を選ぶのが楽しいからと静静かな場所で本が読めるし、静静かなので落ちつくからです。

月　日　曜日

音楽室

私が音楽室を選んだ理由は、音楽の勉強でいろんな楽器や、聞いたことない名前の楽器が使えるからと、みんなで歌ったりするのがすごく楽しいからです。

月　日　曜日

プール

ぼくがプールにした理由は、水の中で楽しく体をうごかしたりダイエットにもなるのでプールが好きだからです。

月　日　曜日

音楽室

ぼくが音楽室にした理由は、楽器でいろんな音を出したりして演奏をするのが好きだからです。

プール

プールは、楽しく、
平泳ぎがうまくなれ
たから

運動場

みんなで遊んで仲
を深められるから

ランチルーム

みんなでご飯を食べれるから

図書室

自分の知らないことや物語など簡単に見たり、知ったりすることが出来るからです。

運動場

休み時間にサッカーなど走ったり動いたりして、ふだんから体力をつけたり健康にも良いので運動場は、大事なところだと思ったからです。

体育館

体育の授業で跳び箱やマット運動などいろいろな体験などが出来るからです。

運動場

みんなが楽しく遊んでいて明るい雰囲気で楽しいから。

教室

みんなが明るくて楽しい雰囲気だから。

プール

みんなの頑張っている姿が見えて自分の泳ぎに生かせれて楽しいから。

体育館

跳び箱など色々な運動ができる場所だから

運動場

サッカーなどの運動ができるから

プール

プールも好きだし、泳ぐことができるから

プール

クロールをみんなでたくさん練習したから

運動場

休み時間にみんなで楽しく遊んだり放課後にみんなと楽しくサッカーをしたりしたから

６年教室

みんなと楽しく過ごしている場所だから

音楽室

みんなの歌声と楽器の音を聞くことが楽しいから

運動場

みんなの笑っているところなどをみるのが楽しいから

体育館

体を動かすことができるし、元気いっぱいに遊ぶ事ができるから

体育館

体育館ではいろんなことができて楽しいし、道具がいっぱいあるから

運動場

いろんな遊び道具があって、みんなとたくさん関わって遊ぶことができるから

６年教室

たくさん勉強をして、みんなと会話ができるし、リラックスして楽しく過ごすことができるから

プール

平泳ぎなどの練習ができるから

６年教室

みんなと勉強ができて、自分の机があって落ち着くから

音楽室

楽器がたくさんあって楽しいし、音楽の授業が好きだから

■第２回　小学生WS「こんな学校あったらいいな！プロジェクト」　運営内容

【テーマ】「こんな学校楽しいだろうな」を考えよう！

【日時】　令和３年１０月１２日（火）　１３時４０分～１５時２０分
【場所】　北川小中学校　多目的ホール
【参加者】　小学４年生、５年生、６年生　24名　グループ：同学年（全６班）

【WSの趣旨】　**もし、新しい学校ができるとしたら、どんな場所があるといい？**
こんな学校があったら楽しいだろうな、もっと楽しくするには？
みんなでアイディアを考えてみよう！
現状に対する思いを集める。
様々な写真をスライドで見せ、イメージをふくらませ、
こんな学校があったら、楽しそう！というアイディアを考える。

Step１　**5分**　**●ガイダンス**　**担当：教育委員会**
「こんな学校あったらいいな！」プロジェクトの紹介

Step２　**5分**　**●情報提供**
みんなの好きな場所を、もっと楽しくするために
担当：設計工房顕塾　柳川奈奈

Step３　**35分**　**●ワークショップ１**
１．　もっと楽しくするには、どうしたらよいか？　考えてみよう。
前回のワークショップで考えた好きな場所について
もっとこうしたらいいな！と思うことを考えて見よう！
２．　（進み具合をみて可能なら）みんなの意見を覗いてみよう！

（休憩）　**10分**

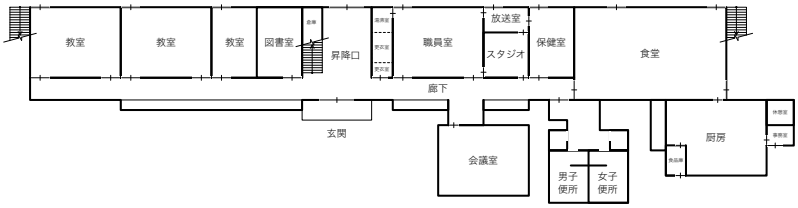
Step４　**15分**　**●情報提供**
こんな学校、楽しそう？　**担当：設計工房顕塾　柳川奈奈**

Step５　**25分**　**●ワークショップ２（写真をみながら）**
１．　お気に入りを見つけよう！
印象に残った写真、こんな場所があったらいいなと思った写真を
選んでみよう！
２．　理由を考えてみよう！
どうしていいな、と思ったか、理由を考えて、書いてみよう。
ポストイットに書く。

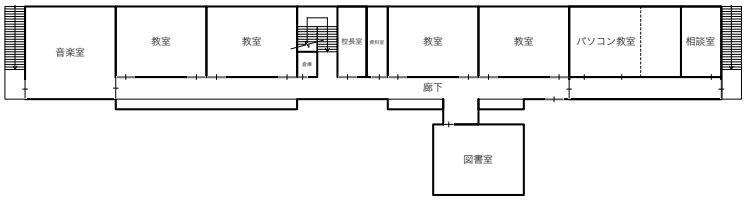
Step６　**5分**　**●全体共有**
みんなの意見をまとめる。
みんなの思いを大人の人に届ける約束をして、終了。

◎第２回　ワークショップ　ワークシート

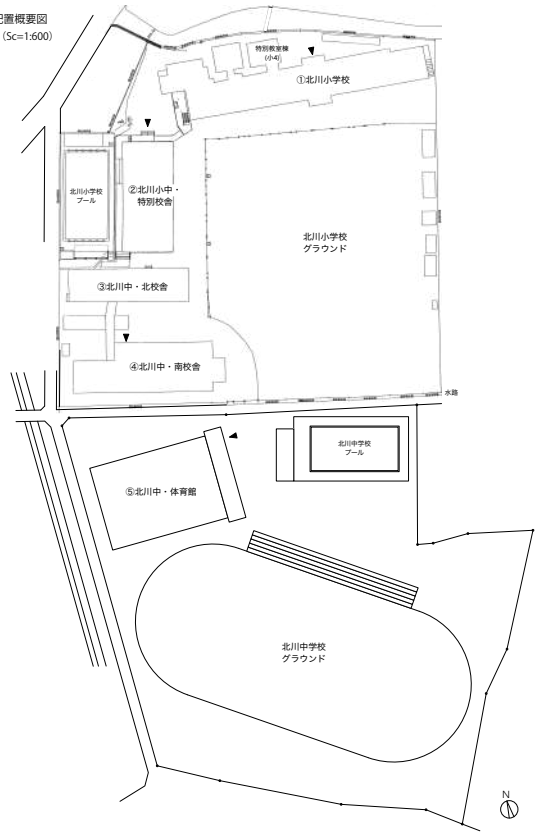
◎小学校　校舎２階



◎小学校　校舎１階



■校舎配置概要図
（Sc=1:600）



１．お気に入りの場所で、考えてみよう！

考える場所の名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２．もっと楽しい場所にするアイディアを考えてみよう！

３．みんなで楽しく使う、アイディアを考えよう！

4年

外であそぶときつかれて休むときに日かげで休む[illegible]むところが[illegible]しいほ

外で自由にあそべるところがいい。じんこうしばがほしい。

学校の近くにカフェを作ってほしい。

おもしろい場所がほしい。(ゆったりコーナー)

外でいろいろなかんさつをしたい。

ゆずのとけいをほしい。

先生たちが休けいやゆったりできるところがあってほしい(しょくいん室)

にぎやかでカラフルなトイレがほしい。

教室などのところにサインをほしい。つけて

北川村の有名なところなどをしれるミュージアムがいい

学校で作った野菜をマルチェで売ったりしたい。

海外みたいな部屋で楽しく英語をやりたい。

工作室がほしい。

図書室の椅だんがいい(図書室)

地いきの人もいっしょに読めるところがいい!(図書室)

きれいな、どうしばがほしい。こけても安心な地面がほしい

へやに、少し、アスレチックみたいなのがほしい。

工作室がほしい。休み時間も工作をしたいそれをもって帰りたい。

広くて、かいほうかんのあるところがいいです。(図書館)

みんなで1つの図書室にしたい地いきの人や、小さい子ともふれあえるから。

本がありすぎて、本を返すときに大変。(図書館)

マットをしいて、ごろごろしたい。(図書室)

教室は広くて、つくえをつなげたい。

英語のへやがほしい。きせつによって、へやをかえてほしい。

ごうかなトイレがほしい。手あい場は、小さいようにして、大小の手あい場をもってほしい。

先生たちが休けいできるしずかなスペースがいいと思います。

かたとかうでがつかれるから、マッサージ機を買ってあげる。

給食は、食*どうみたいなところがいい。(ばいきんみたいなもの)

ゆずのとけいだいを目じるしにしたい。

北川村のかんこう地を見れる、ミュージアムでなにかあるといい。

ろうかにも本がもってこいい。ちがくていい。(教室)

しば[illegible]のところで[illegible]がいい。(図書室)

やすみに本がよめていい。(図書室)

[illegible]があってどこがよばれて来てよいいい(英語のへや)

そのつくりのへやがあってたのしそう。そのぶくろをつくれるからいい。

いろいろたりないのもんだいができる。

[illegible]いろがまるくてかわいいえらしいはなせるからいい。

先生がはなしがおわったとき[illegible]くりできるばしょ。

北小とあるはら[illegible]とよいと思う。

力[illegible]がほしい。まるいのがほしい。

ごうかなトイレがほしい。手をあらうところも小さがほしい。

先生たちがやすめるところがほしい。(しずかなところ)

マッサージさがほしい。(先生のため)

本がありすぎて本をかえすところがわからない。(図書室)

かきのんもいっしょに本をよめる。友だちもできるなかよくなる(図書室)

楽しく英語ができる教室がほしい。

ものづくりの教室がほしい。道具がいっぱいがいい。休み時間にもいける。

外でのびのびあそべる場所がほしい。

学校の近くにカフェがほしい。

めいろみたいな図書室がほしい。

ゆずのとけいがほしい。(ゆずのはたでいい)

4年

階だんではなく広場で集まる方がいい。かいだんではなく広い場所で集まるほうがいい。

みつでのぼらないからめんどう

ざいりょうがいっぱい あっていい。

じぎょうのときや休み時間のところに工作のできるところがほしい。 みのる キュウ作室

えを書くかみのだいがあるとうれしい。つくえがいっぱいになるから。 ほのは

ろうかがせますぎてやだ

楽しく英語の勉強できるところがほしい。

こっきとかあっていい。

楽しくて、みんなで英語ができていい。

ほのは　英語

赤ちゃんといっしょだと泣き声がうるさくて集中できないからいやだ

ねっころがれて、ゆったりと本が読めていい。

本をさがし広いところで読むと気持がいいい。 みのる

みんなでよめれて赤ちゃんもよめていい！ 図書室

かいだんは急いでてこける。あぶない!!

ほのは

楽しい本があっていい。かいだんのところ

大きすぎて本をさがしにくい。 みのる

1人で静かに読めるところがいい。 図書室

1人で読むのはいい。1人でよみたいときはいい。 図書室

1人でゆっくりみえるでい 図書室

いちかちいちかいからやだ。いすが大きくなっていてそくいトしつ

先生たちが自由に放課後などにおきゃくできる場所がほしい。 しょくいんしつ

先生のことを考えると先生もらくでいられて、ゆったりとおきゃくができるようなスペースがあっていいなとおいて、そのときだけでもねころがってできるしょくいん室。 ほのは

いろがかわらないつくるでいい。

カラフルでいい。 トイレ ほのは

カラフルなトイレがほしい。 トイレ

めかちかちかしてやだ トイレ

みつになってやだ

みつになるからやだ。みじかければいい。

ごはん

あついときかぜをしてくれるからいい。グランド

じゆうにあそべて広いからいい。グラウンド

すぐグラウンドに行けてらくだ。かぜがかいだんのぼらんくていい。まちがえやすいあるかがに教室からグラウンドまい行けるようにしたら体みじかんもいい。はいあそべるから。

やねにゆずのめじるしがあるといい。北川村やなってわかる。山風

やねのうえにべんきょうほしているところ

入り口の隠しゆずの木を1本植えたい

楽しいばしょの広場が、お色をつくって出たちのかくさつできるところがいい。それをかざれるところをほしい。

しばふの広場で理科の勉強ができていい。

暑いときあついからやだ。

理科

あたしたちがおいしいするときうるさい。

か

ゆずのてんじがいいいい北川村はゆずがゆうめい。

ほのは

ゆずのてんじがいいいい　北川村はたのしい。

山にあるお木の絵美術。

木がいっぱいの学校がいい。

きかこわれそうでやだ

かいだ。

木のいいにおいがしそう。でもボールがはさまりそう。

ほのは

カフェがあると友だちと行ける。インスタもとれる。

カフェがあったら日なんど食べみにさえりす。

もし学校の近くにあったらのみに行く

まるしへがあったらみんなとマルシェと行ける。インスタ。

マルシェがあるとごはんをかえる。

ほのは

おじいちゃんとかもいっしょにマルシェに行ける。

ほのは

新聞とかは。北川村のようはは、しんできるところ。てかんこう客にみてもらう。

ほのは

5年

(北川小学校)
ミュージアム
↓
北川小の歴史
北川村の

木でできたカフェ
(学校の近く)
(カフェ)

気分が上がって授業は受けれるけど、集中できなさそう(英語ルーム)

おもしろい部屋
アスレチックとかがありそうだから。

むずかしい本が読むことができる。
図書室

ろうかにも本を読める所がほしい(教室の近く)

(学校のめじろし)
慎太郎とゆずの全同像

(生もの広場)
生ものが自由に過せる所

楽しく英語ホーム

ものづくりルーム
工具がそろっていた。

(集会)
イスにすわって集まりたい

(物づくり部屋)
自分がみんなとDIYができる

みんなで一つは集中できないかもしれない
(図書室)

アルツェ
いろんなしょう品をうれるから

大きな本だな
かりだんで読む
図書室

個室がほしい(図書室)

(食どう)自由に
お弁とうを持ってきて、
みんなで食べれる所

(概算室)
教室とつなげてほしい

カフェ
オツャし

学校の目印がもうこ分かりやすいし、学校のシンボルマークがもうこかっこいい。
(目印)

本がたくさんあるし、落ち着くし、過ごしやすい。
しれの雰囲気)

さらにも展示室があると、勉強しやすい。(展示室)

おれがあるとPRしやすいし、見やすいから良い。
(PR部屋)

大きい本棚に囲まれし本を読むしと、ちげん想的。
(図書室)

様々な工具もあって楽しむだし、工作の所は、研究所みたいでかっこいい。(工作の教室)

カフェみたいでおちついだし、便利だと思う。(カフェ)

海外の物も取り入れらて、他国の文化を分かる。
(英語の教室)

みんなで仲良く本が読めること、自分が好きな本の紹介ができるから良い。
(図書室)

ちょっとせまそうで集中できなさそう。(集会所)

理科室は、外でも使用できるし、外で勉強したり、発想がおもしろいし、室内もかっこいい。
(理科室)

なんなに不思議な所があると、ユーもだな発想でおもしろい。
(多目的室)

みんなでごはんも食べるし、しつもようとしても楽しくて、毎日の給食が楽しみになる。
(食堂)

勉強ですぐ使える外での授業
(理科)

先生たちの1人部屋
(先生)

外であそんだり、勉強したあとに、すずめる
(かげ)

PRコーナは、便利で、北川を知ってもらえる。
(PR)

楽しくすわって会話や、行事で使えそう
(しば)

ものづくりをしながら道具の名前が覚えられる
(DIYの部屋)

先生が近くにいる
(しょくいんしつ)

マルシェに、北川村のゆずを使った料理を出したい。
(マルシェ)

本だなが高いとこわい
(図書室)

英語を勉強しながら外国風っくうかんで入れる
(英語の部屋)

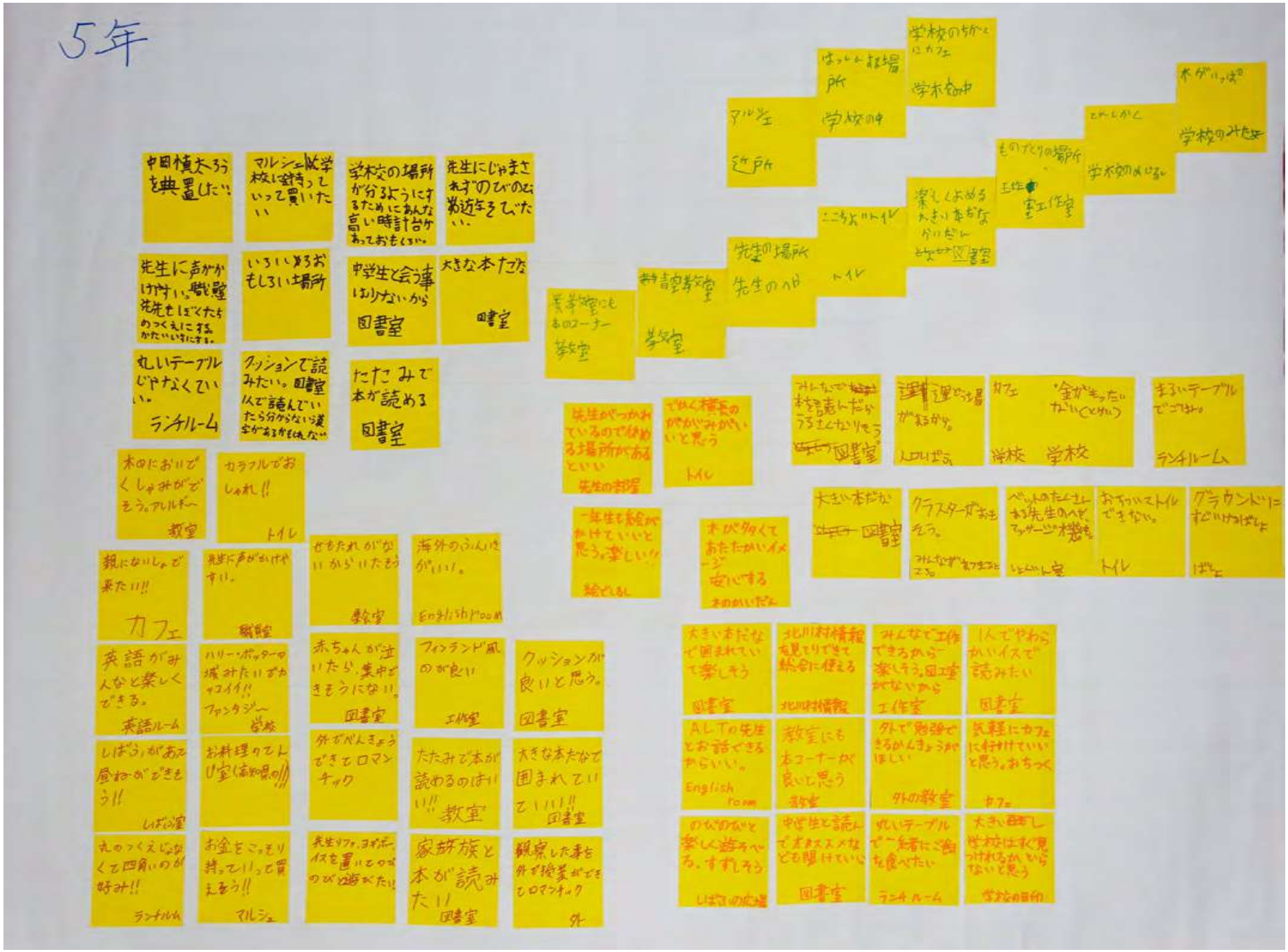
カラフル
みんなで、低学年が洗える
(トイレ)

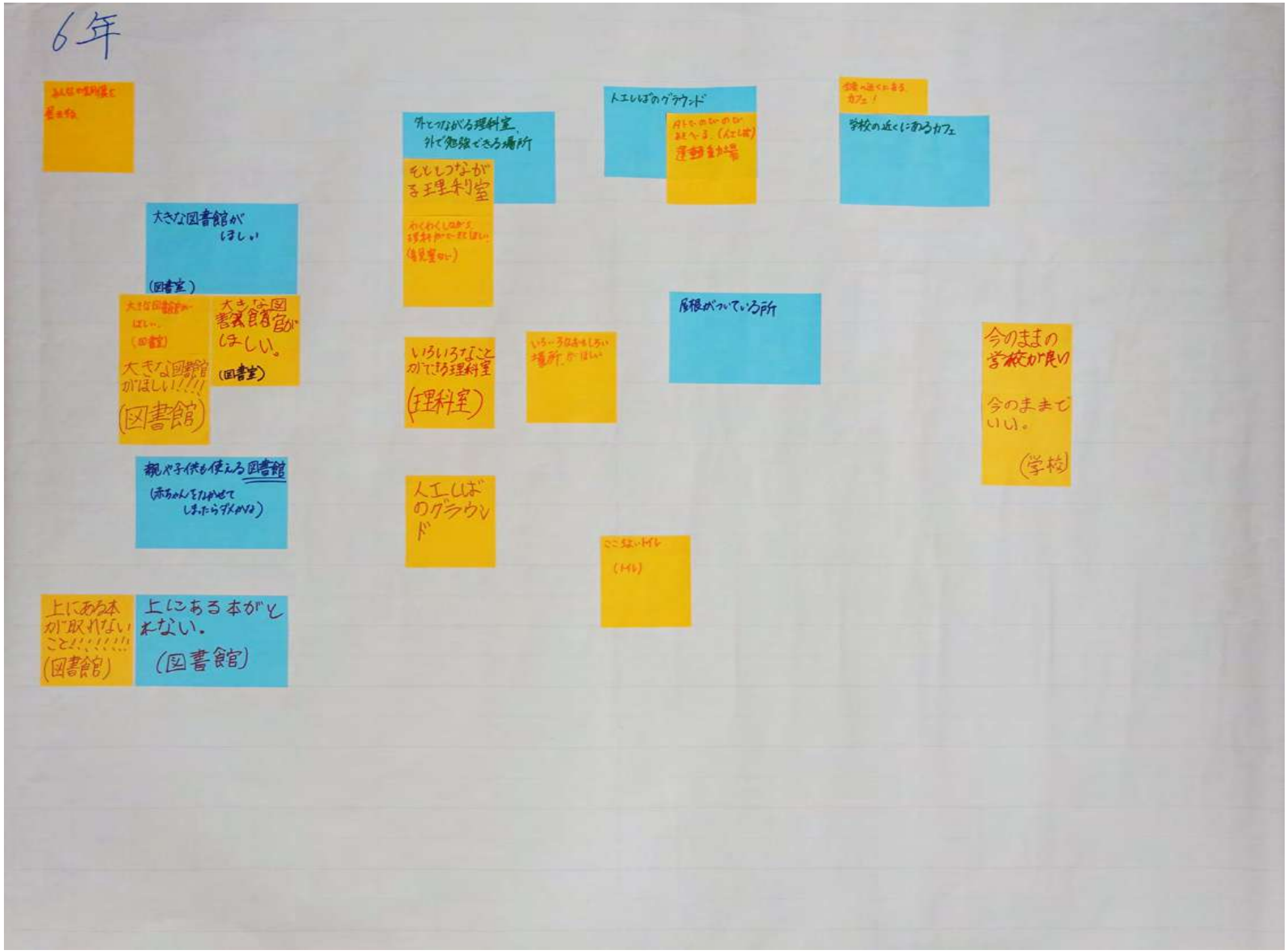
カフェみたいでキレイ、夜に出フ
(カフェ)

どんな人がどんな本を読んでいるか分かる(オススメ)
(図書室)

木のにおい(メリット)
カビが生える(デメリット)
しっけ(デメリット)
(木)

学校に目印がある。校長先生の顔がでる
(学校)


5年
中岡慎太郎を典置したい
マルシェ 学校に持ってきていって買いたい
学校の場所が分るようにするためにあんな高い時計台があっておもしろい。
先生にじゃまされずのびのび学校をしたい。
先生に声がかけやすい。黒板先生とぼくたちのつくえにする。かたいいすにする。
いろいろおもしろい場所
中学生と会う事はあまりないから
図書室
大きな本だな
図書室
丸いテーブルじゃなくていい。
ランチルーム
クッションで読みたい。図書室 人で読んでいたら分からない漢字があるかもしれない
たたみで本が読める
図書室
木のにおいでくしゃみがでそう。アレルギー
教室
カラフルでおしゃれ!!
トイレ
親にないしょで来たい!!
カフェ
先生に声がかけやすい。
職員室
ぜもたれがないからいたそう
教室
海外のふんいきがいい。
English room
英語がみんなと楽しくできる。
英語ルーム
ハリー・ポッターの城みたいでかっこいい!! ファンタジー
学校
赤ちゃんが泣いたら、集中できそうにない!。
図書室
フィンランド風のが良い
工作室
クッションが良いと思う。
図書室
しばふ、があって昼ねができそう!!
しばふ室
お料理クラブ 調理室(高知県の!!)
外でべんきょうできてロマンチック
たたみで本が読めるのはいい!! 教室
大きな本だなで囲まれていていい!!
図書室
丸のつくえじゃなくて四角いのが好み!!
ランチルーム
お金をこっそり持っていって買えるよう!!
マルシェ
先生ソファ、ヨガボール、イスを置いてのびのび遊びたい!
家族と本が読みたい!
図書室
観察した事を外で授業ができてロマンチック
外
先生がつかれているので休める場所があるといい
先生の部屋
でかく横長のがいいと思う
トイレ
みんなで本を読んだらうるさくなりそう
図書室
運動できる場がまるかも。
入口ひろい
カフェ
学校
金がもったいないとかいう
学校
まるいテーブルでごはん。
ランチルーム
一年生も絵がかけていいと思う。楽しい!!
絵でいる
ふかふかであたたかいイメージ
安心する
本のかいだん
大きい本だな
図書室
クラスターがおもそう。
みんなが集まってくる。
ベットのたんすにある先生のへやマッサージ機も。
いとかい室
おちついてトイレできない。
トイレ
グラウンドにすべりだいがあったらいいなぁ
ばしょ
大きい本だなで囲まれていて楽しそう
図書室
北川村情報 友だちができて総合に使える
北川村情報
みんなで工作できるから楽しそう。図工室がないから
工作室
1人でやわらかいイスで読みたい
図書室
ALTの先生とお話できるからいい。
English room
教室にも本コーナーが良いと思う
教室
外で勉強できるかんきょうがほしい
外の教室
気軽にカフェに行けていいと思う。おちつく
カフェ
のびのびと楽しく遊べる。すずしそう
しばふの広場
中学生と読んでオススメなども聞けていい
図書室
丸いテーブルで一緒にご飯を食べたい
ランチルーム
大きい岩し 学校はすぐ見つけれるかいらないと思う
学校の目印


6年
外とつながる理科室、外で勉強できる場所
もっともっとつながる理科室
人工芝のグラウンド
学校の近くにあるカフェ
大きな図書館がほしい
(図書室)
大きな図書館がほしい。
(図書室)
大きな図書館がほしい!!!!!
(図書館)
屋根がついている所
いろいろなことができる理科室
(理科室)
今のままの学校が良い
今のままでいい。
(学校)
親や子供も使える図書館
(赤ちゃんをなかせてしまったらダメかな)
人工芝のグラウンド
きれいなトイレ
(トイレ)
上にある本が取れないこと!!!!!!
(図書館)
上にある本がとれない。
(図書館)

6年

人工しばがある外（中庭）○

中庭に人工芝はめ込んだら走りやすい。○

人工芝がほしい。バドミントンなどできるから。○

和のコーナー（和室）

たたみがある広い和室が良い

○たたみがある教室　たたみで本を読める。

○みんなで集まれる場所があるといい。遠くからでも見えるから。

みんなが良く見える（背が低い人でも）

階段があって段差があるから見やすい

木がいっぱいある学校
~~気持~~気持ちがいい

木いっぱいの学校が良い（いつでも木がにおい）

木だけで、体験館とか、図書館などを作ってほしい。実際に触ったりすると、落ちつくから。

木がつかったらいい香りにおいなし自然を感じれて気持ち良いから。○

虫がいたらよく観察できる。○

いけでも虫や植物を見れる

色々な植物や虫について、調べれるし、気分転かんになるから。○

外でも勉強ができる。○

背が低い人でも見れる。○

丸い机があるとれを動かさないでいいから楽。○

星空や天体の展示をしてほしい。（アンパンマンの展示してほしい人多いから）○

・星空　・ゆず　・アンパンマン　展示してほしい

プラネタリウム

情報発信をしてくれるところがあってほしい（JRとか新聞など遠いから）

×階段で本を読むのはいやだ。
理由 落ちたらこわいから。

×大きい階段で本を読んだり座ったりすることはいやだ。理由 人が通ったときに邪魔だから。

×背が低い人は本を取りにくい

×大きな階段×走ると転んでしまうから危ない×

×赤ちゃんの口ふき布で本を巻いて読めないから

赤ちゃんが泣いたりしたら落ち着いて読めない

赤ちゃんが泣いたり、遊んだりしてはしゃぐときに、静かに本を読めない。

落ちついて読めない。×

■第１回　中学生WS「みんなの学園を考えよう！プロジェクト」　運営内容

【テーマ】「みんなの学校」へのリクエストをリサーチしよう！

【日時】　令和３年７月２７日（火）　午後１時３０分～午後３時
【場所】　北川小中学校　多目的ホール
【参加者】　中学１年生、２年生、３年生　20名（各学年２グループ、計６グループ）

【WSの趣旨】　**これから、村の人みんなで、村の人みんなが使える学校を考えていく。**
今使っている生徒として、学校の状況や思いを伝え、役立てもらおう！
こんな場所が好き、この場所は大切にしたい、もっとこうしてほしい、
もっとこんなふうにできたらいいのに、という思いを語り合う。
中学生の生徒が、学校空間で感じていることを探る。
現在の学校空間を見返すところから、スタートし、次回につなげていく。
書かれた思いから、生徒たちの思い、行動を探る。

Step１　**5分**　**●ガイダンス**　**担当：教育委員会**
「みんなの学園を考えよう！」プロジェクトの紹介

Step２　**10分**　**●情報提供**
建物を考えること、とは？
担当：設計工房顕塾　柳川奈奈
5分 建物を考えること、その仕事について簡単に紹介し、
5分 「図面」の見方について説明する。

Step３　**45分**　**●ワークショップ**

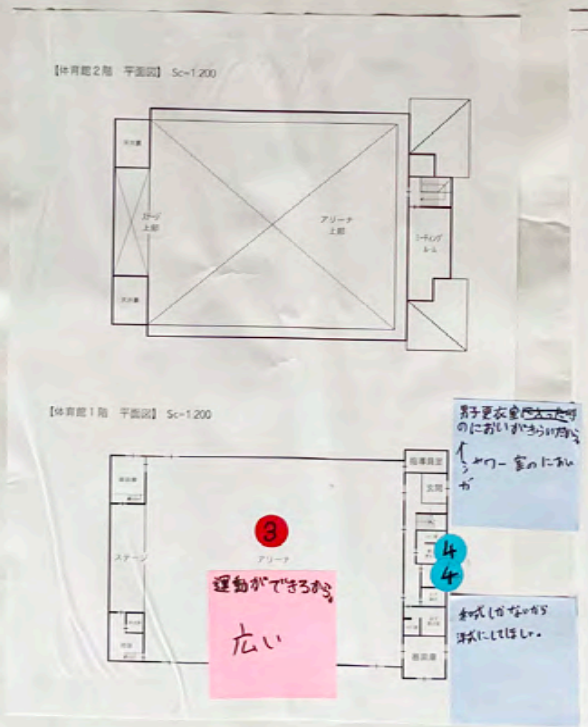
各自（10分）　**１．　私のリクエストを考えてみよう！**
日頃使っている学校全体の環境をイメージして、
気に入っているところ、使いやすいところ：場所と理由
使いにくくて困っているところ、工夫・改善したいところ：場所と理由

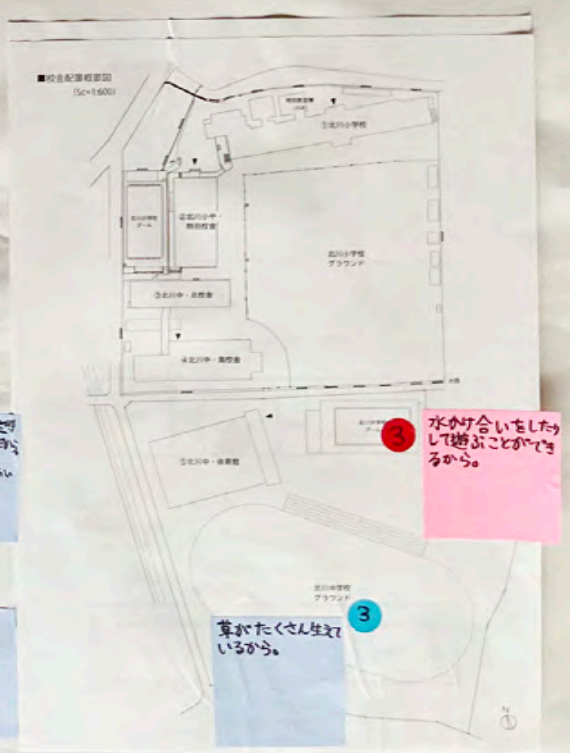
ｸﾞﾙｰﾌﾟ（一人５分）　**２．　班の中で、リクエストをまとめよう！**
進行役を決める。
記述役を決める。
ぞれぞれ書いたことを発表する。
発表内容に対して、班の中で語り合い、リクエストを深める。
発表者以外の人が語った意見を黄色の付箋に記述し、貼る。
＊全体で、１人あたりの時間をその都度、お知らせします。

Step４　**30分**　**●全体共有**
各班ごとに、語り合ったことを発表する。
大人もこどもも、みんなで考えていくので、これからも協力して
みんなで学校を考えていきたい、という思いを共有し、
次回につなげる。

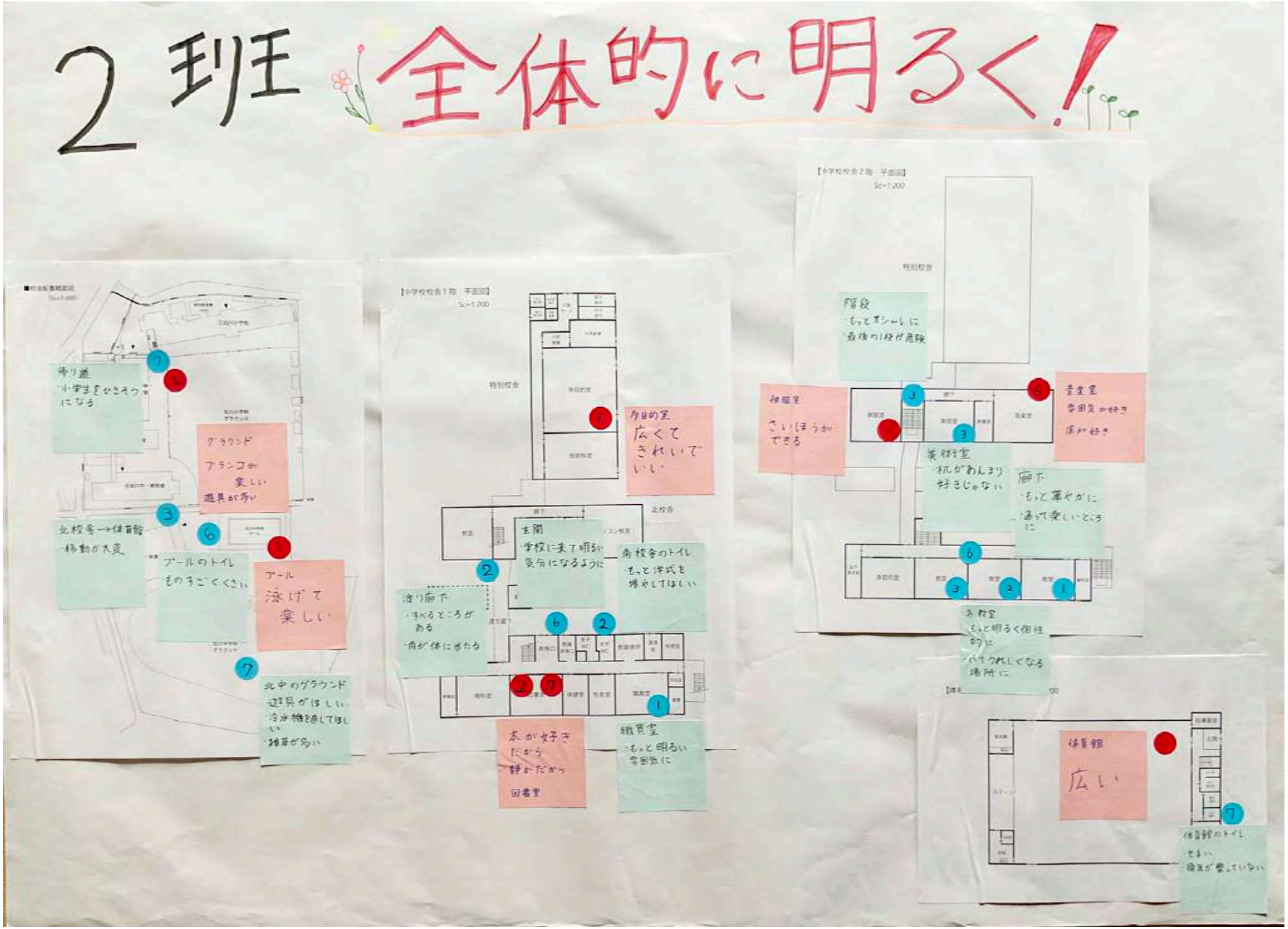
1班

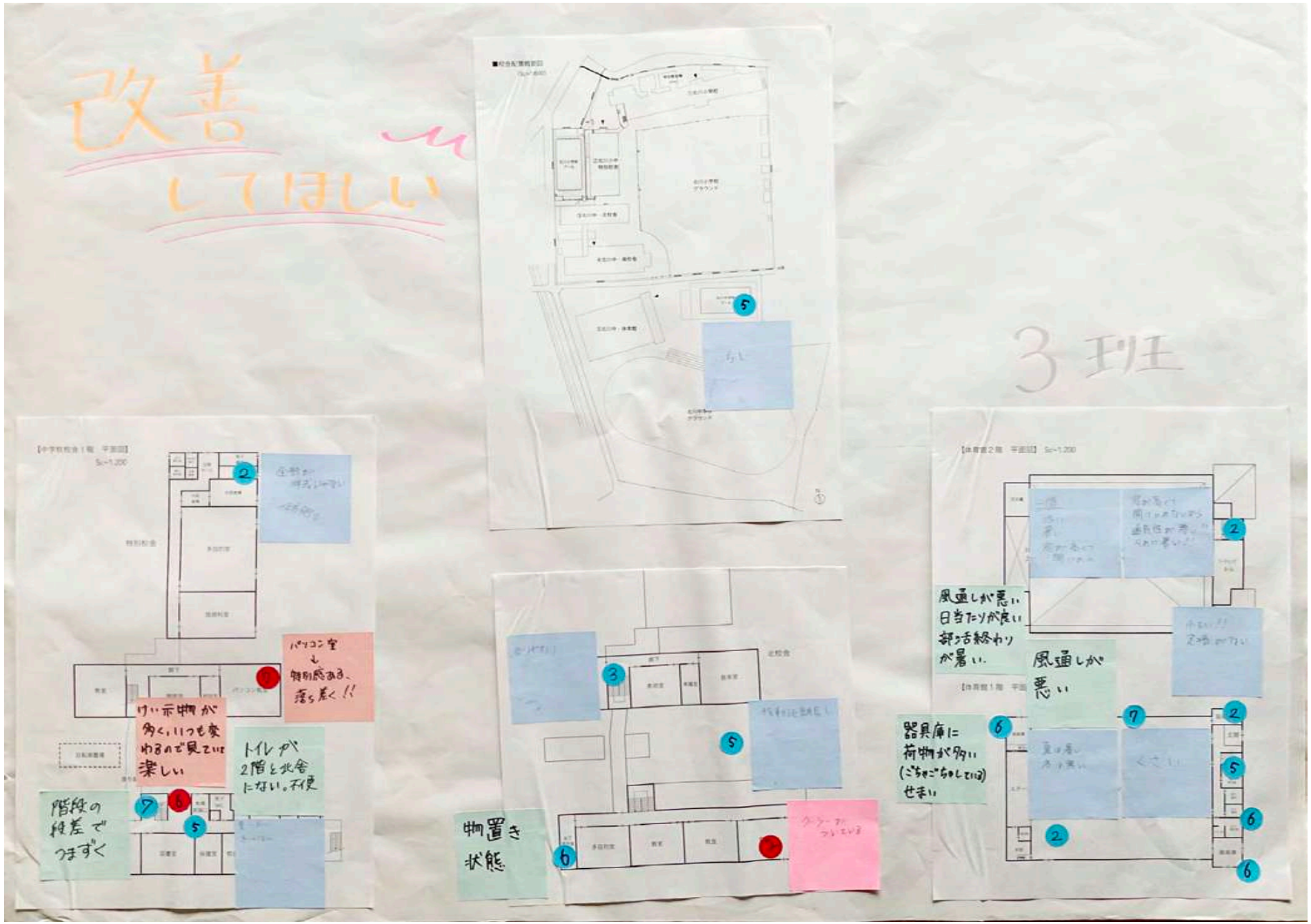
【中学校校舎1階　平面図】
Sc=1:200
特別校舎
多目的室
北校舎
教室
パソコン教室
南校舎
図書室
保健室
教務室
職員室
4
雨の日に渡り廊下を歩いていたら雨が入ってきてぬれるから。

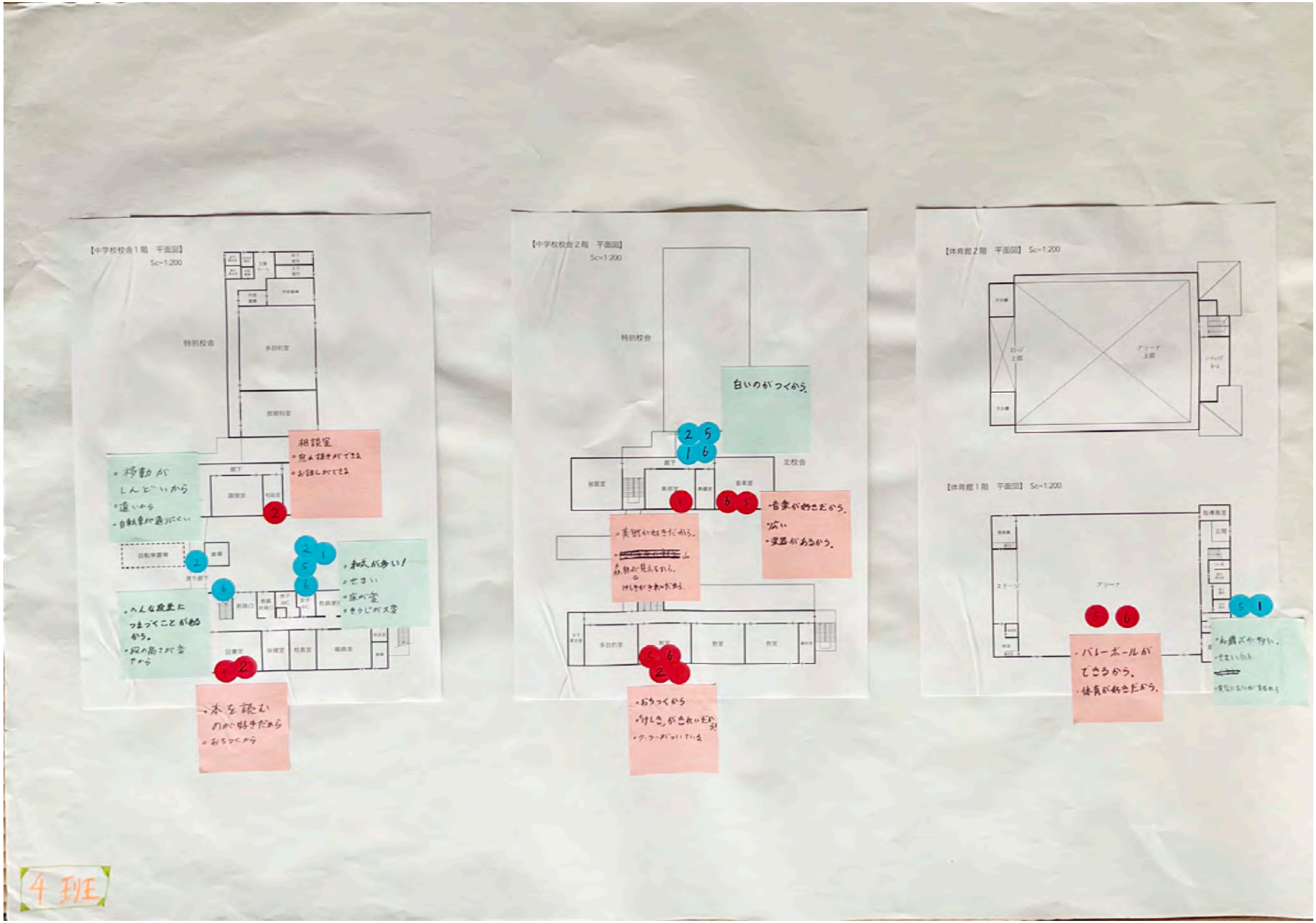

【体育館2階　平面図】Sc=1:200
アリーナ
【体育館1階　平面図】Sc=1:200
ステージ
アリーナ
3
運動ができるから。
広い
4
4
男子更衣室
のにおいがきらいだから
くさい
多くしがなかなか
減らしてほしい。


■校舎配置概要図
(Sc=1:600)
北川小学校
北川小学校
グラウンド
北川中・北校舎
北川中・南校舎
北川中・体育館
3
水かけ合いをしたりして遊ぶことができるから。
3
草がたくさん生えているから。

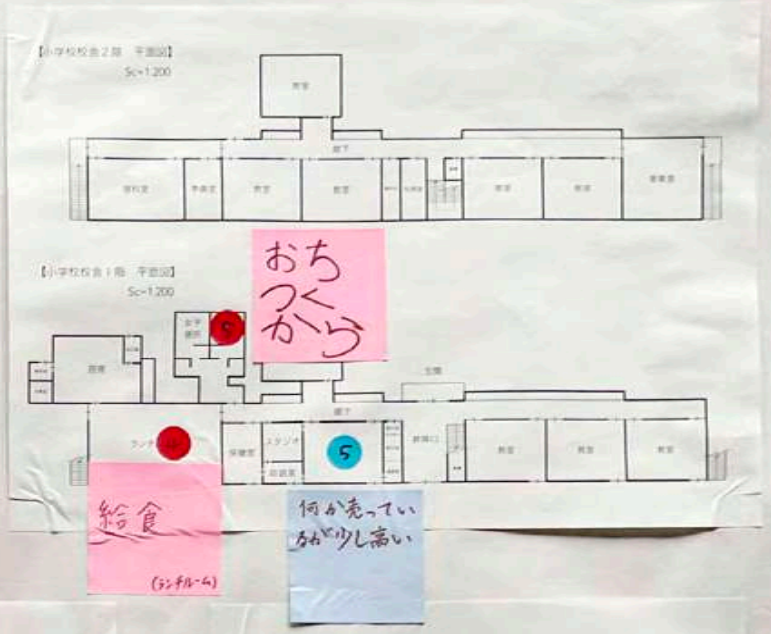
2班 全体的に明るく！

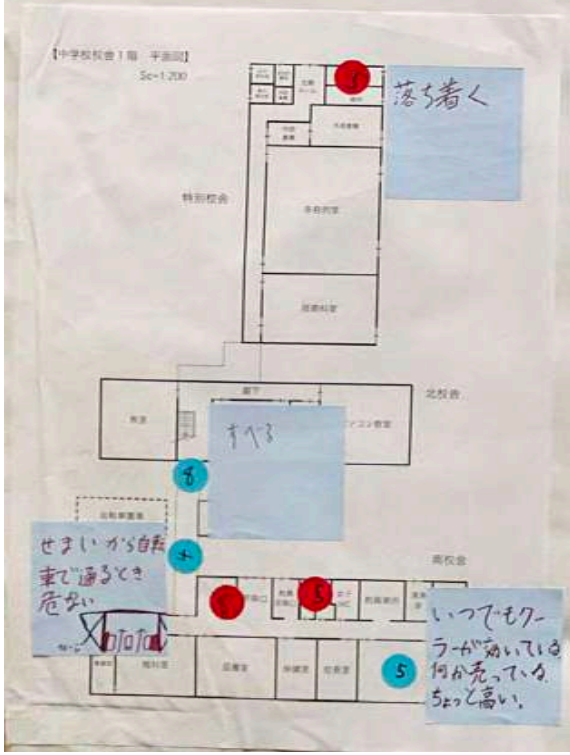

帰り道
小学生をひきそうになる
グラウンド
ブランコが楽しい
遊具が多い
北校舎→体育館
移動が大変
プールのトイレ
ものすごくくさい
プール
泳げて楽しい
北中のグラウンド
遊具がほしい
冷水機を直してほしい
雑草が多い
特別校舎
多目的室
広くてきれいでいい
北校舎
玄関
学校に来て明るい気分になるように
南校舎のトイレ
もっと洋式を増やしてほしい
渡り廊下
すべるところがある
雨が体に当たる
本が好きだから
静かだから
図書室
職員室
もっと明るい雰囲気に
階段
もっとオシャレに
最後の1段が危険
体育館
さいほうができる
音楽室
雰囲気が好き
床が好き
美術室
机があんまり好きじゃない
廊下
もっと華やかに
通って楽しいところに
各教室
もっと明るく個性的に
入ってうれしくなる場所に
体育館
広い
体育館のトイレ
せまい
換気が悪くていやい

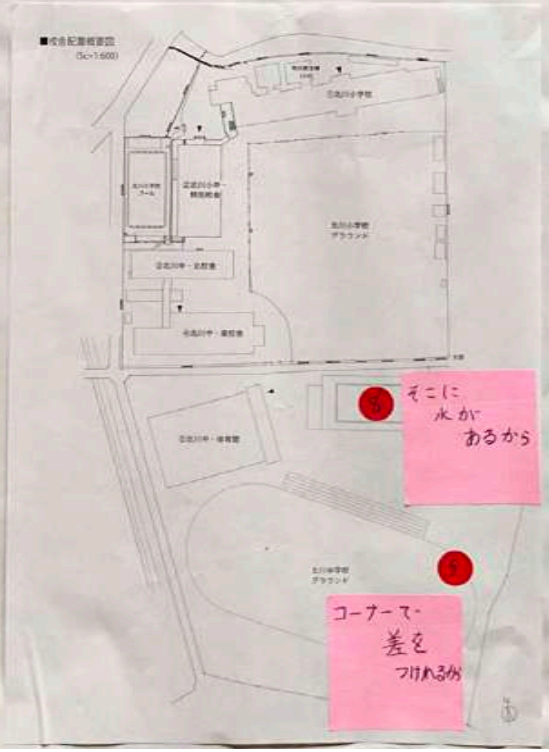

改善してほしい
3 エリア
パソコン室も特別感あり、落ち着く!!
けい示物が多く、いつも変わるので見ていて楽しい
トイレが2階と北舎にない。不便
階段の段差でつまずく
物置き状態
風通しが悪い
日当たりが良い
部活終わりが暑い。
風通しが悪い
器具庫に荷物が多い(ごちゃごちゃしていて)せまい

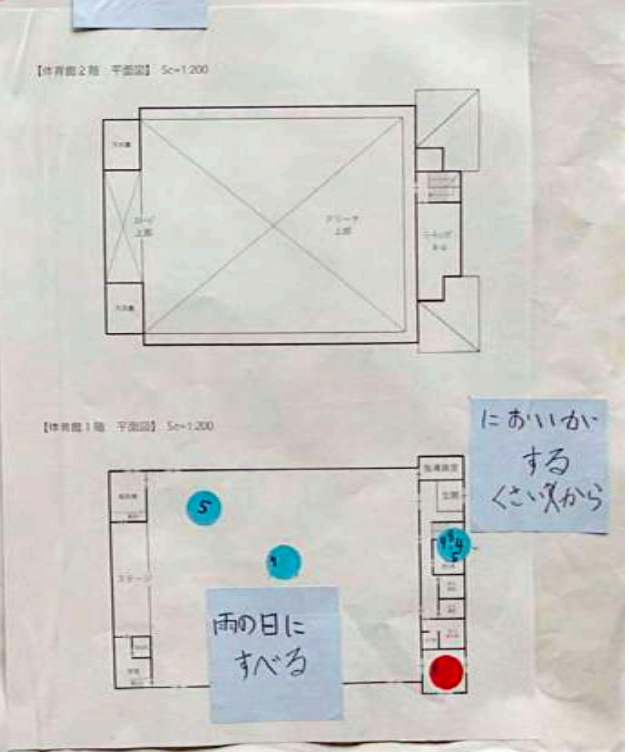

【中学校校舎1階　平面図】
Sc=1:200
特別校舎
多目的室
技術科室
廊下
調理室
相談室
自転車置場
倉庫
渡り廊下
図書室
保健室
校長室
職員室
相談室
・話をすることができる
・お話しができる
・移動がしんどいから
・遠いから
・自転車が通りにくい
・和式が多い！
・せまい
・床が変
・きうじが大変
・へんな姿勢につまづくことがあるから。
・段の高さが変だから
・本を読むのが好きだから
・おちつくから
【中学校校舎2階　平面図】
Sc=1:200
特別校舎
北校舎
廊下
校長室
教室
白いのがつくから。
・音楽が好きだから。
・広い
・楽器があるから。
・美術が好きだから。
・景色が見えるから。
・けしきがきれいだから。
・おちつくから
・けしきがきれいだから
・クーラーがついている
【体育館2階　平面図】Sc=1:200
アリーナ上部
【体育館1階　平面図】Sc=1:200
ステージ
アリーナ
・バレーボールができるから。
・体育が好きだから。
・和室が多い。
・せまい
4班

5班


【小学校校舎2階　平面図】
Sc=1:200
【小学校校舎1階　平面図】
Sc=1:200
おちつくから
給食
(ランチルーム)
何か売っているが少し高い


【中学校校舎1階　平面図】
Sc=1:200
落ち着く
特別校舎
北校舎
南校舎
すべる
せまいから自転車で通るとき危ない
いつでもクーラーが効いている何か売っている ちょっと高い。


■校舎配置概要図
(Sc=1:600)
そこに水があるから
コーナーで差をつけれるから


【体育館2階　平面図】Sc=1:200
【体育館1階　平面図】Sc=1:200
においがするくさいから
雨の日にすべる

■第２回　中学生WS「みんなの学園を考えよう！プロジェクト」　運営内容

【テーマ】新しい学びの場所について考えてみよう！

【日時】　令和３年１０月１４日（木）　午前１０時４０分～午前１２時３０分
【場所】　北川小中学校　多目的ホール
【参加者】　中学１年生、２年生、３年生　17名（２～３人の班）

【WSの趣旨】　**楽しく、いきいきと、みんなで学び合うために**
学校にあるとよい場所・空間について考えて見よう！
楽しく、いきいきと、みんなで学び合う場所って、どんな場所だろう？
学校での学習はもちろん、夏休みの自主研究、自習などで使えるとしたら
どんな場所があるといい？　何がほしい？　何があるとよい？

Step１　**5分**　**●ガイダンス**
前回の振り返り　**担当：教育委員会**
今回のワークショップの趣旨　**担当：設計工房顕塾　柳川奈奈**

Step２　**15分**　**●準備作業**
社会のオフィスや、大学の学びの場所をのぞいてみよう！
社会のオフィスの写真をみせ、今と社会とのつながりを知る。
楽しく、生き生きと、みんなで学び合うための場所の秘密を探る。
＊最近のオフィス空間の事例、大学のラーニングコモンズの事例

Step３　**25分**　**●情報提供**
大学の研究室「くらけん」をのぞいてみよう！
－「くらけんツアー」からイメージをひろげてみよう！－
（15分 案内　＋　５分 質問コーナー）
担当：千葉工業大学　創造工学部
デザイン科学科　倉斗研究室

（休憩）　**10分**

Step４　**40分**　**●ワークショップ**
各自　**１．　こんな場所があったらいいな**
↓　**２．　こんなふうに学べたら楽しそうだな**
ｸﾞﾙｰﾌﾟ
こんなことができるコーナーがあるといいな！
こんなことやれるといいな！
こんな場所、こんな家具、こんな設備、こんなモノがあるといいな！
いろいろな場面を想像して考えてみる。

Step５　**10分**　**●全体共有**
各班ごとに、語り合ったことを発表する。
次回は、これらアイディアを総合的にとりまとめてみることが目標。

北川中 こんな場所
ワークショップ
令和3年10月14日
多目的ホール
中学生 1・2・3年
ほっと一息
リラックスしたい…
リフレッシュしたい!!
リラックスする場所
屋上
きれいな空気を吸うため
見晴らし
リフレッシュ
新しい学びの場にあたらしい場所
こんな学校だったら!!
全部の教科が一つの教室になってほしい
移動が楽だから
こんな行事はどうだろう?
中学生らしく
文化祭
小中一緒にやりたい気持
時間の使
こんなもあったらなぁ
ペット
寝れる所
校内にミニシアター(全校で)
ゆったり
本がいっぱいある図書室
音楽演奏が出来る所
クラスで自由にDIY
何か料理が出来る所
こういう時間があったら……
場所も(自分なりに作れる場)
料理も!!
部活動を充実してほしい
食べるところを楽しくしたい!!
バイキングがほしい
良い学食
これもリフレッシュ!!
着るものが変わると気持ちが変わる?
制服じゃなくて私服にしてほしい
ほんとうにすごせる場所って大切!!
遊ぶ所がほしい
ゲームができる所
先生がいない教室
体育館にエアコン

■第１回　保小中 教職員ワークショップ　運営内容

【テーマ】「北川学園」らしい、「つながり合う学び」とは？

【日時】　令和３年７月２９日（木）　午前１０時～午前１１時３０分
【場所】　北川小中学校　多目的ホール
【参加者】　保小中教職員　23名　　４班にわかれて実施

【WSの趣旨】　保・小・中の一体化教育をめざす北川村として、
子どもたちに育みたい力とは、どんな力でしょうか？
そのために、どんな場面でつながりをつくっていけるとよいでしょうか？
保・小・中の一体化教育を目指していこうとする際、大切になることは
こどもたちを、だれと、どうつなげ、どう分節するか、のメリハリです。
それは、学校規模や子どもたちの性質によっても異なります。
今回は、それぞれの立場から、北川のこどもたちにとって、どういう
つながりやメリハリをつくっていきべきか、について、考えていきます。

Step１　**5分**　**●ガイダンス**
保・小・中　一貫をめざして　担当：教育委員会
本日の進め方について　　担当：柳川

Step２　**25分**　**●情報提供　『（仮）多様なつながりが育む学びと空間のつくられ方』**
担当：千葉工業大学　倉斗綾子先生

Step３　**45分**　**●ワークショップ**

０．　自分の役割を示し合う。
保育所、小学校低学年、小学校高学年、中学校の担当を決める。
担当をシールに記入し、名札のように胸に貼ってください。
＊ファシリテーターを選定し、語り合いの中で出てきた内容を
付箋に記録して頂きたく、お願い申し上げます。

１．　これからも「大切に続けたい」教育・行事・活動とは？
北川っ子たちの「よいところ、大切に伸ばしていきたいところ」を書き出し
そのチカラの育成に関係する「大切に続けたい教育・活動」を具体的に記入。
できるだけ、現状の様子を詳しく記入して下さい。
その際、つながり合っている「お相手」、一緒に行う「集団構成」を記入。

２．　さらに「チャレンジしてみたい」教育・行事・活動とは？
北川っ子たちの「よいところ、大切に伸ばしていきたいところ」を書き出し
そのチカラをより一層、育むため「チャレンジしてみたい教育・活動」とは？
その際、つながり合えるとよい「お相手」、一緒に行う「集団構成」を記入。

３．　これから「フォローアップしたい」教育・行事・活動とは？
北川っ子たちの「気になるところ、乗り越えてほしいところ」を書き出し
子どもたちを支え、応援するため「フォローアップしたい教育・活動」とは？
その際、つながり合えるとよい「お相手」、一緒に行う「集団構成」を記入。

Step４　**15分**　**●全体共有**

各班ごとに、まとめを発表

まとめ方：

「大切に続けたい」　「チャレンジしてみたい」　「フォローアップしたい」

この３つのカテゴリーに分けて、模造紙にまとめて下さい。

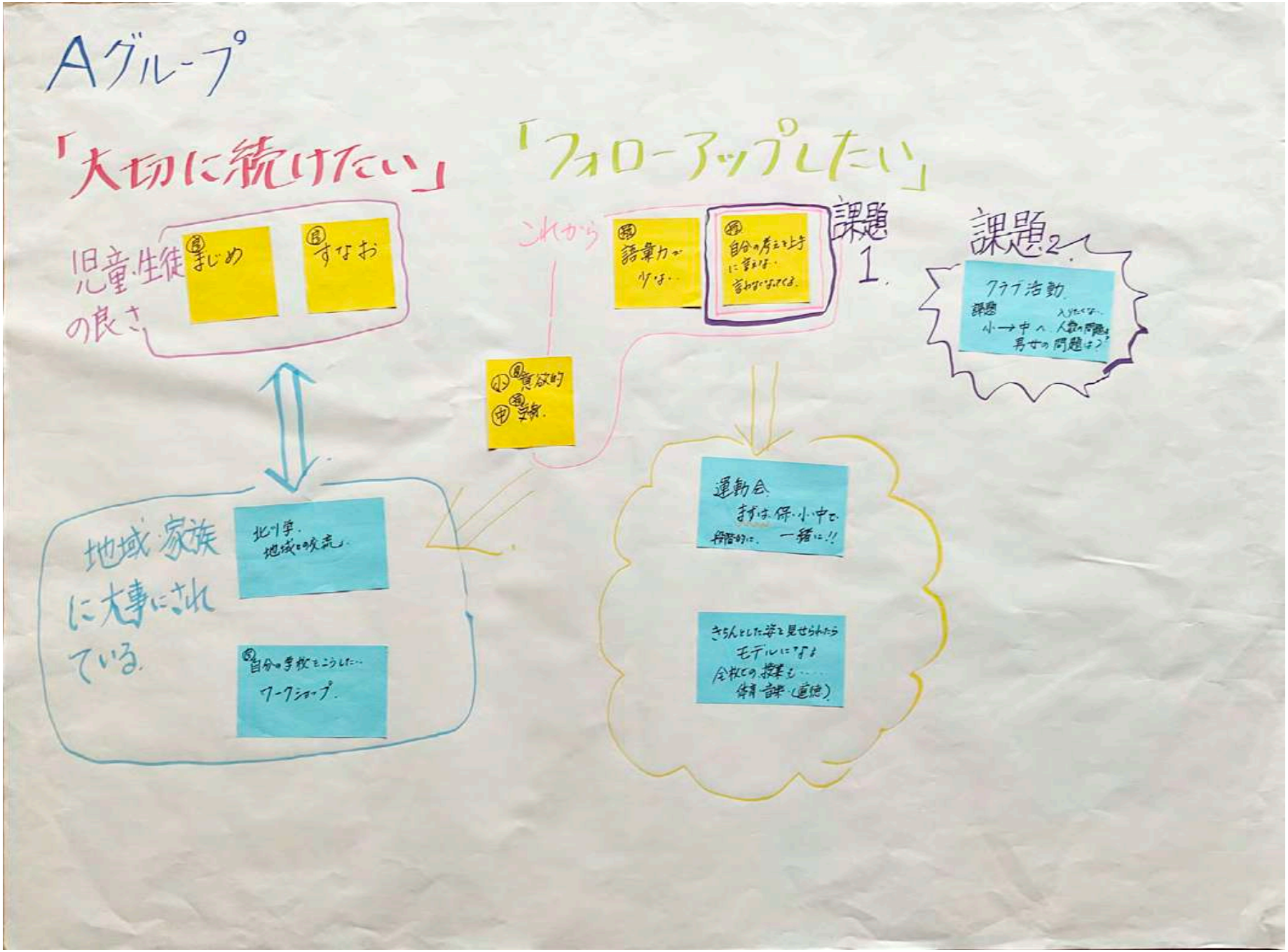
参考

◎つながり合えるとよい「お相手」

EX. 幼児、低学年、高学年、中学生、〇年生と〇年生、高校生、大学生
県外の学校の同学年、世界の子どもたち、地域の人、県外で働く人
〇〇で働く人、高齢者　等々

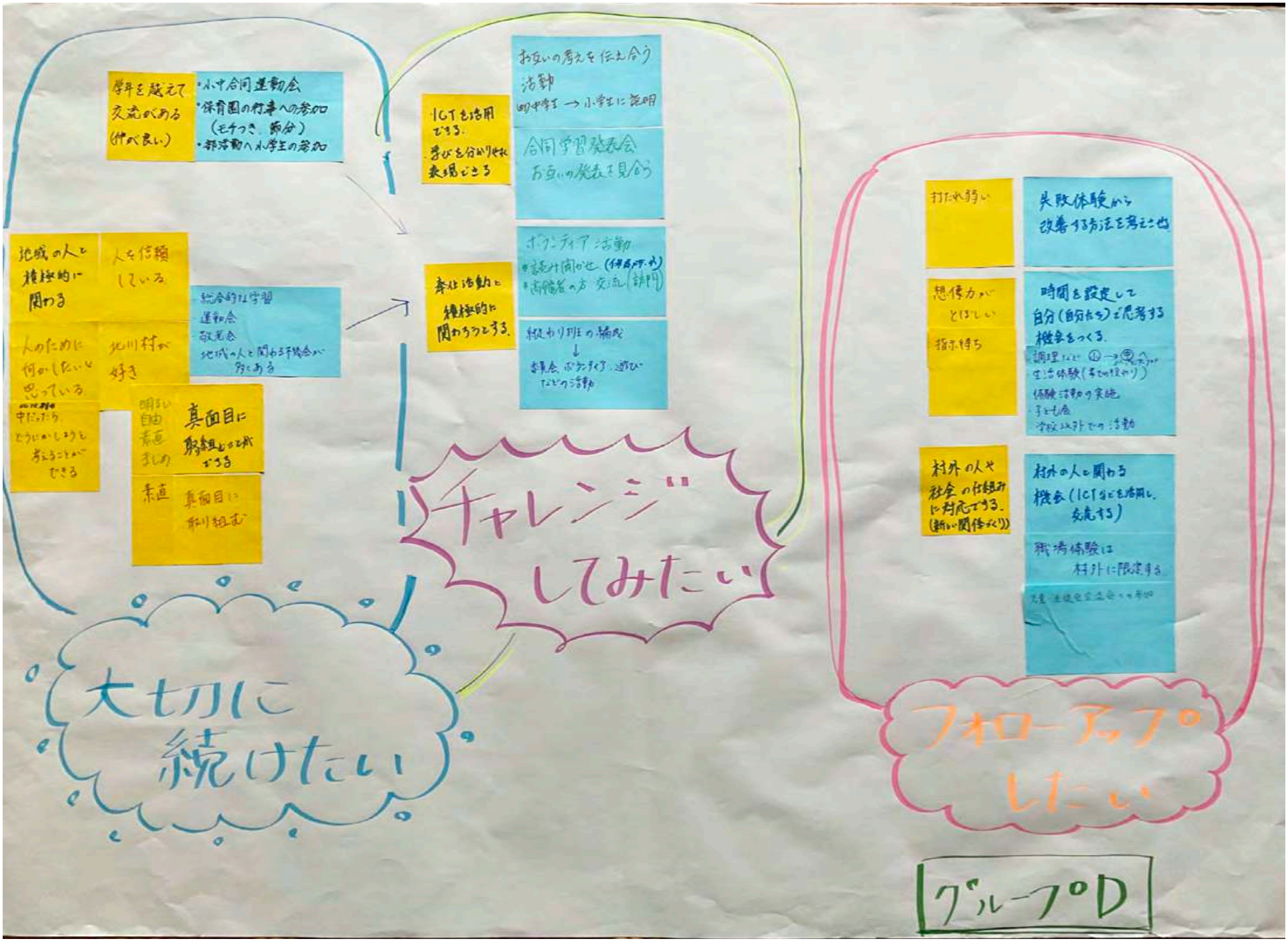
◎記入の仕方

北川っ子のチカラ	→	**教育・行事・活動**
様々な世代の人 と深い関わりが もてる子ども	→	学校（すべての学年）と 地域を一緒に行う大運動会 村民みんなで 保・小・中　→　地域の人たち
物怖じしない 子ども ICTを生かせる 子ども	→	オンラインでつながり合って、 北川学を活用して 北川村の情報発信ツールを作成 実際にプレゼンする 中　→　東京の同世代


Aグループ
「大切に続けたい」
「フォローアップしたい」
児童・生徒の良さ
まじめ
すなお
これから
語彙力が少ない…
自分の考えを上手に言えない。言わなくなってくる。
課題1.
課題2.
クラブ活動
課題
小→中へ 人数の問題は？ 男女の問題は？
入りたくない…
小 意欲的
中 学級
地域・家族に大事にされている。
北小学 地域の交流
自分の学校でこうした… ワークショップ
運動会
まずは保・小・中で 段階的に 一緒に!!
きちんとした姿を見せられたら モデルになる
全校での授業も…… 体育・音楽（道徳）

B班
・運営委員会の組織
・生活・総会の時間で地域とつながり
中学生から小学校・高学年に向けて 小学校のうちにしておけば、身に付けていればよかった事など体験し交えての講話(講演会)
一日先生
保育園の先生に音楽や図工
教員が保育所へ
互いの教育や成長を知る
広がりをもっていく
村外との学校とつながってみる
(学習成果の伝え合い)
運動会(小中合同←保育園)
地域の人も
互いのことをよく知っている
北川っ子の良いところ
Good!

①
中学校
小学校
同りに、嫌なことを言う人がいない。
小学校からずっと同じメンバーですごしている。
言われたことをやっていれば、ある程度ものごとが成り立つ環境がある。
学年間での上下関係があまりない。
素直
素朴
素直
まじめ
(続ける力はある?)
挨拶が良くできる
仲間を助ける活動
優しさ
思いやり
つねに受け入れられる姿勢
素直
まじめ
保育園児との一緒の活動
たてわり班・交流・クラブ
仲間を大切にする子ども
やるきのある子ども
いろんな事に興味を持てる子ども
小学校のリーダーとして活動できる子ども
あいさつ
歌
日頃から
音楽会
行事
図書室の整備 本の購入
学年ごとの活動が多い。(体験 行事…)
話をする
学年ごとで仲が良い
明るい
あいさつができる
礼儀正しい
外遊びが好き
まったい
積極性に欠ける
目標をもちたがい
精神的な弱さ
② ③ チャレンジ・フォローアップ
精神的な弱さ
積極性に欠ける
行事毎に中学生・小学生に分けられる場面
小中で一つの学級を多く悩みと解決していける活動
縦割りグループで
自分たちの生活を主体的に改善していく力
(自治活動力)
変えていく力
(チャレンジ力)
(発想力)
(向上心)
生徒会活動を日常的に行う。対話・談話を増やす。
→小学校 高学年も一緒に行って学校改革
村外での体験
(本物を見る機会を増やす)
→小学校 高学年を中心に知的好奇心をはぐくむ。
自分の(将来の)目標をもって意欲的に活動する力
大人学で地域(外)の方 働いている(生活)姿を見たり 思いを知り、職業観を育つ (あこがれ、いろいろな職を知る)
社会に出ても自ら(もちろん)自ら発揮できる力
教科 行事等で目標を立て 振り返り、達成感を 味わう体験を重ねる (先生方、教師方からの評価)
地域内外の教育方一緒に活動 交流
教科 行事
まったい
地域の人々との交流
同じ輪にならないように組み合わせを考える
小中 作品 発表 交流
オープンスペースに談話できる所!!


学年を越えて交流がある（仲が良い）
・小中合同運動会
・保育園の行事への参加（モチつき、節分）
・部活動へ小学生の参加
地域の人と積極的に関わる
人を信頼している
人のために何かしたいと思っている
北川村が好き
中だったら、どうにかしようと考えることができる
明るい 自由 素直 まじめ
真面目に取組むことができる
素直
真面目に取り組む
統合的な学習
運動会
敬老会
地域の人と関わる行事が多くある
ICTも活用できる。学びを分かりやすく表現できる
お互いの考えを伝え合う活動
（中学生→小学生に説明）
合同学習発表会
お互いの発表を見合う
ボランティア活動
・高齢者の方 交流（訪問）
奉仕活動に積極的に関わろうとする。
終わり班の編成
↓
敬老会、ボランティア、遊びなどの活動
チャレンジしてみたい
大切に続けたい
打たれ弱い
失敗体験から改善する方法を考えた
想像力がとぼしい
指示待ち
時間を設定して自分（自分たち）で思考する機会をつくる。
調理など
生活体験（手での見わり）
体験活動の実施
・子ども会
学校以外での活動
村外の人や社会の仕組みに対応できる。（新しい関係づくり）
村外の人と関わる機会（ICTなども活用し、交流する）
職場体験は村外に限定する
フォローアップしたい
グループD

■第２回　保小中 教職員ワークショップ　運営内容

【テーマ】「北川学園」らしい、保小中一体化のあり方とは？

【日時】　令和３年１０月１３日（水）　１５時１５分～１６時４５分
【場所】　北川小中学校　多目的ホール
【参加者】 保小中教職員 28名

【WSの趣旨】　**保・小・中の一体化教育をめざす北川村として、**
どのような運営や施設を構築していったらよいか？
前回のワークショップで出された課題点をもとに、
具体的なアイディア・要望を出し合う。
前回のワークショップでみえてきた北川村のこどもたちへの教育的な課題
それを具体的が学校の活動へと落とし込んでいくためのアイディア、
あるいは、行政や地域への協力をお願いしたい内容、施設面への要望を
いくつかの視点を軸に、皆で考えてみる。

Step１　**10分**　**●ガイダンス、情報提供**　　担当：設計工房顕塾　柳川奈奈

Step２　**20分**　**●情報提供**　　担当：教育委員会

Step３　**50分**　**●ワークショップ**

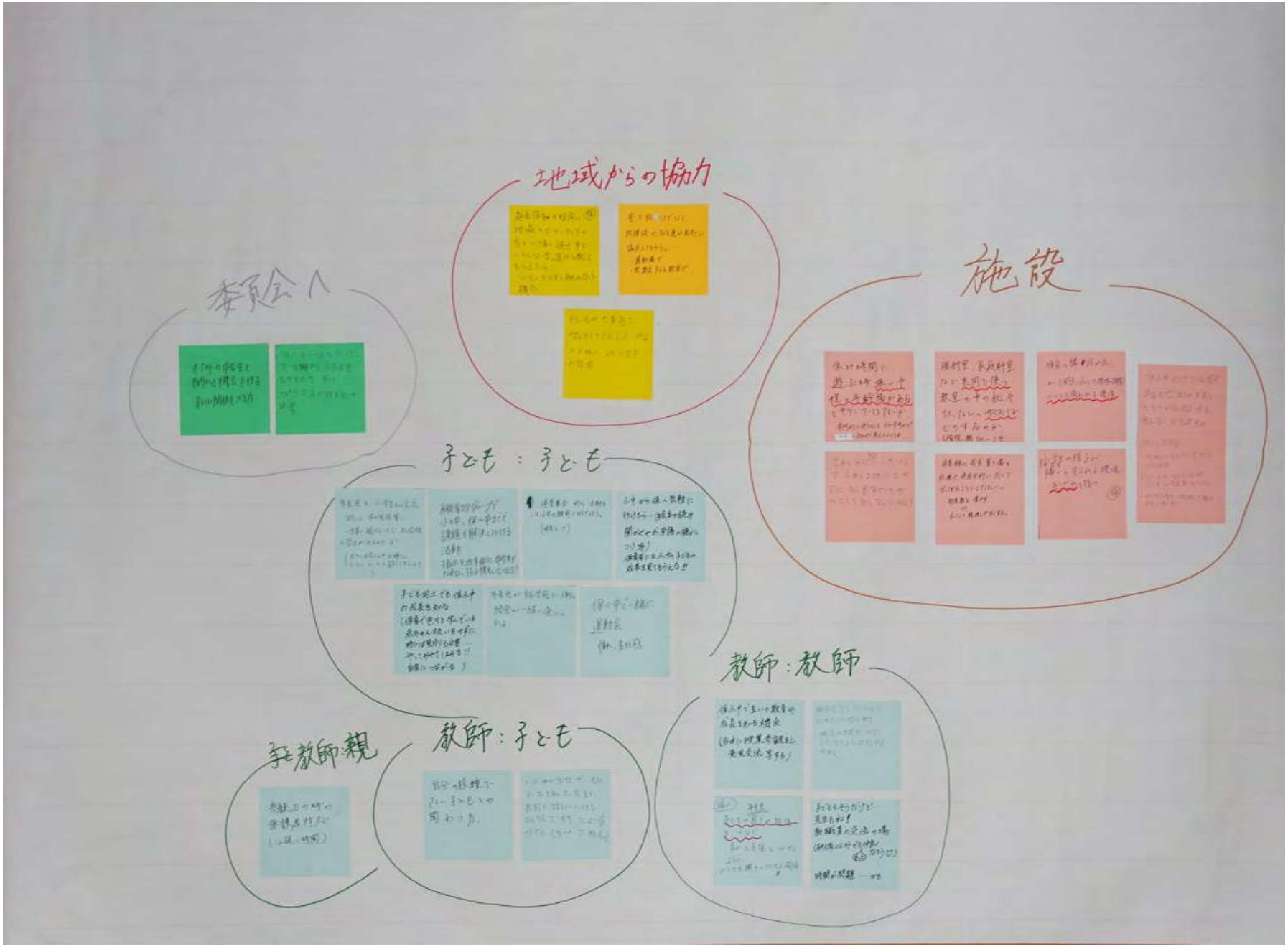
１．施設が一体になったイメージで「保小中一体」を考える

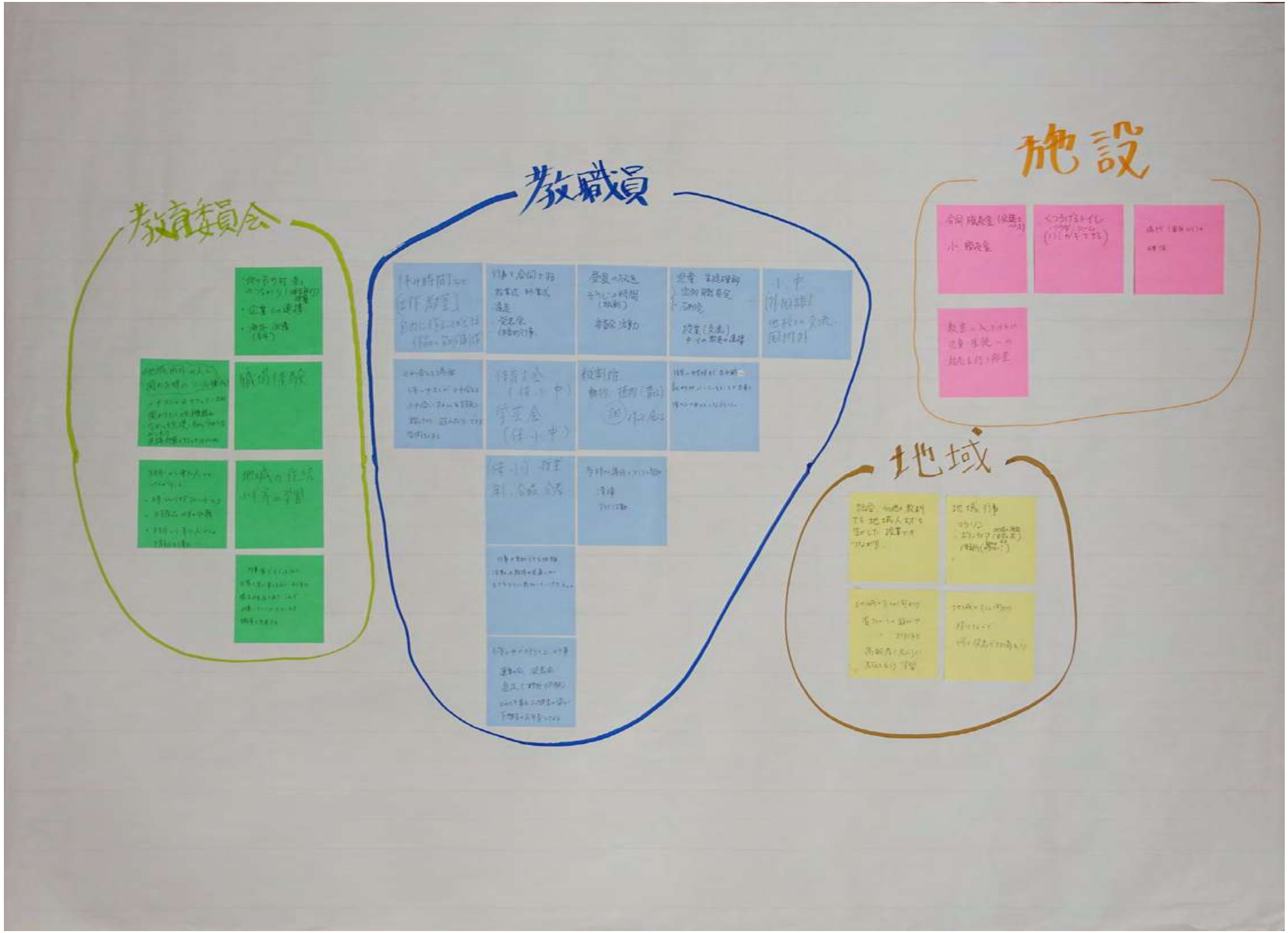
以下の課題点を中心に、北川ならではの保小中一体のあり方を考える
教職員すべてで考えていけるとよいこと
教育委員会に協力してもらいたいこと
地域で協力してもらえるとよいこと
施設への要望

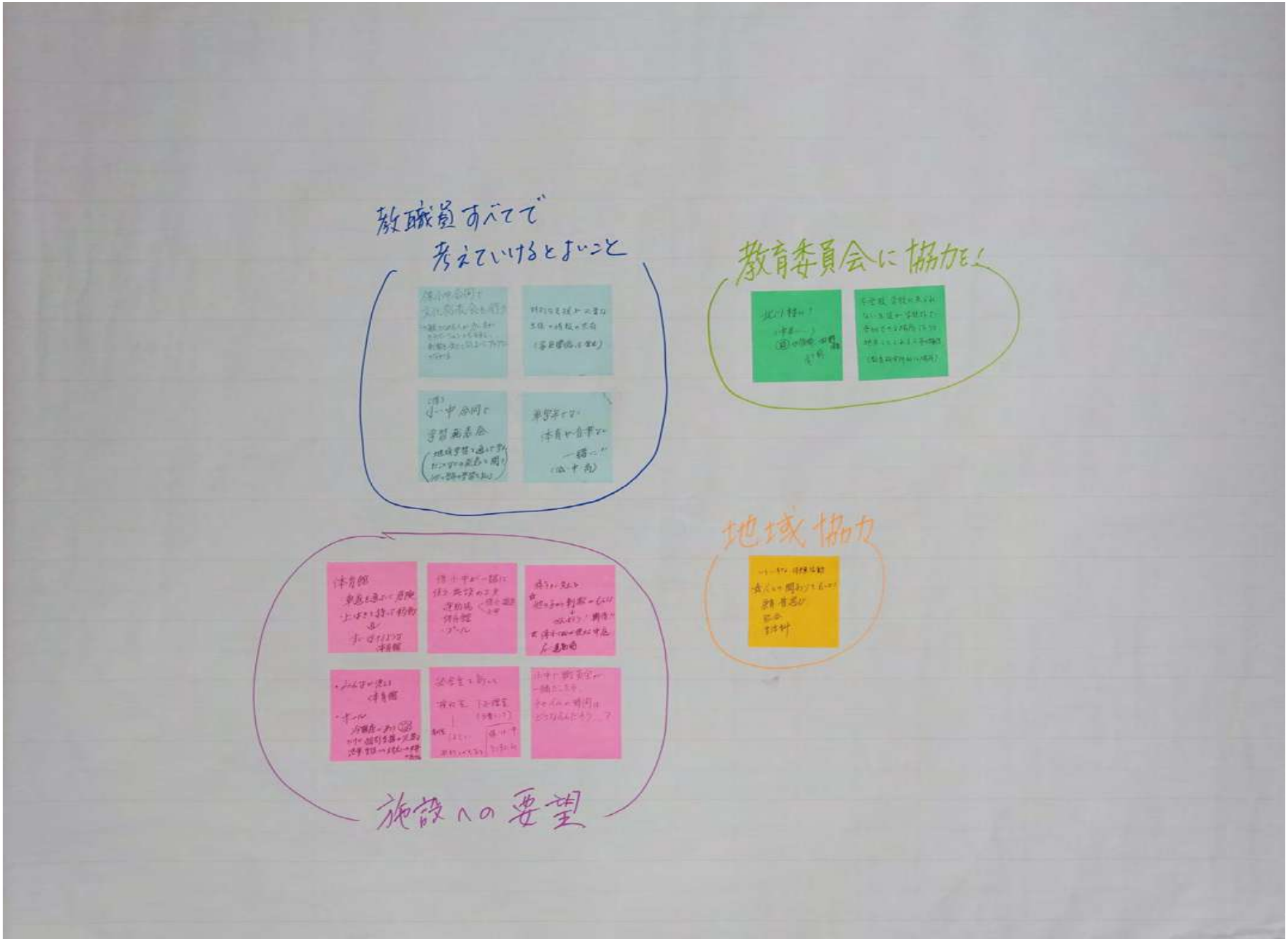
【課題点】

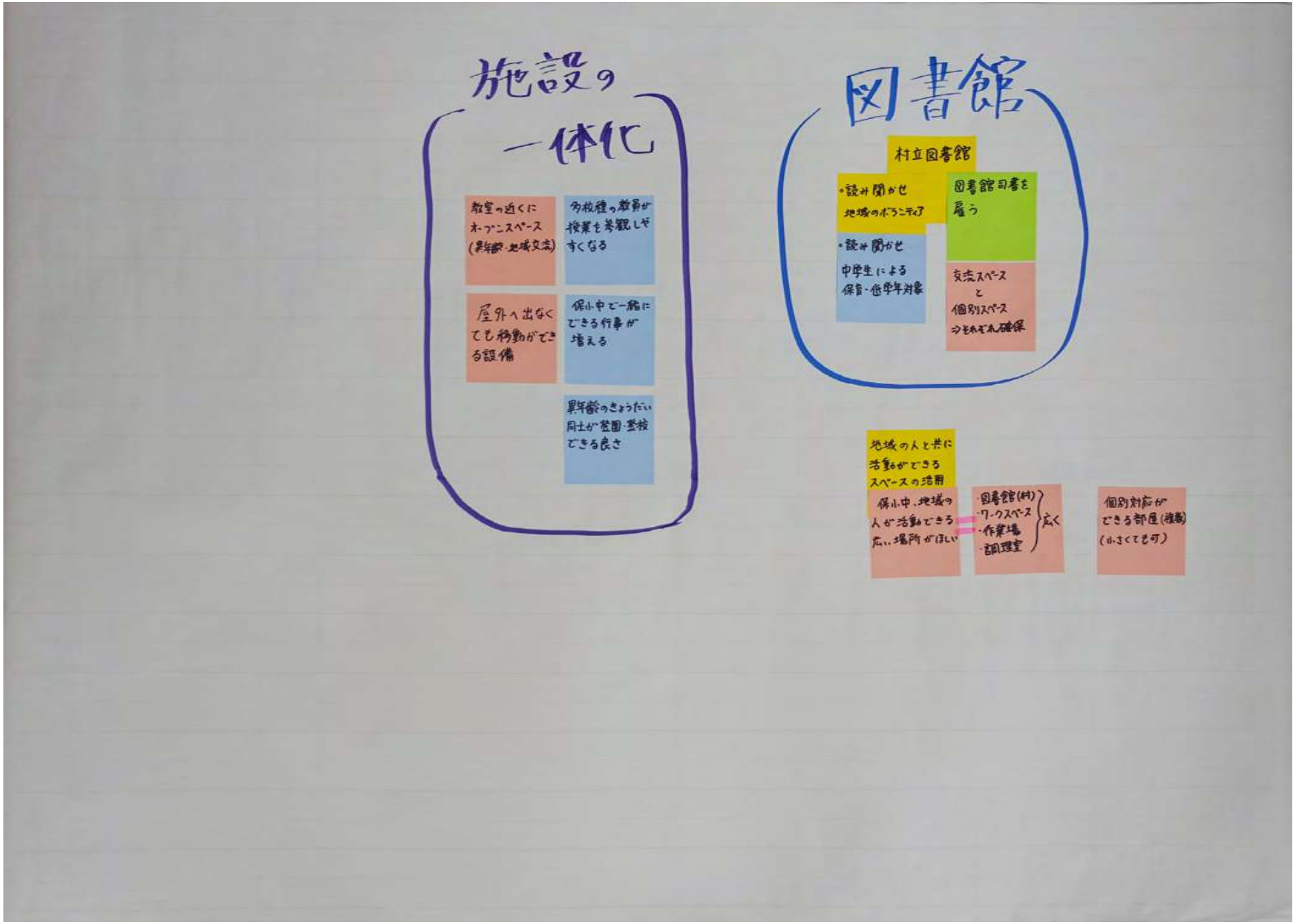
●より一層、保小中連携を実践していくに、考えたいこと
●同一学年だけでなく、多様な集団で行うと有効な活動とは？
どんな集団構成で、どんな活動を行うとよいか？
授業、生活、放課後、行事…
●保小中一体で行うとよい行事
どんな行事を、どんなふうに行うと良いか？
●日常の中で、保小中がどんな場面でふれあえるとあるとよいか？
●地域の方との関わりの可能性
学習、生活、行事
●校外での経験を、どの学年で、どんなふうに行うとよいか？
●北川村の外、外から来た人とのつながりをいかした学びには、
どんな可能性があるだろう？
学習、生活、行事

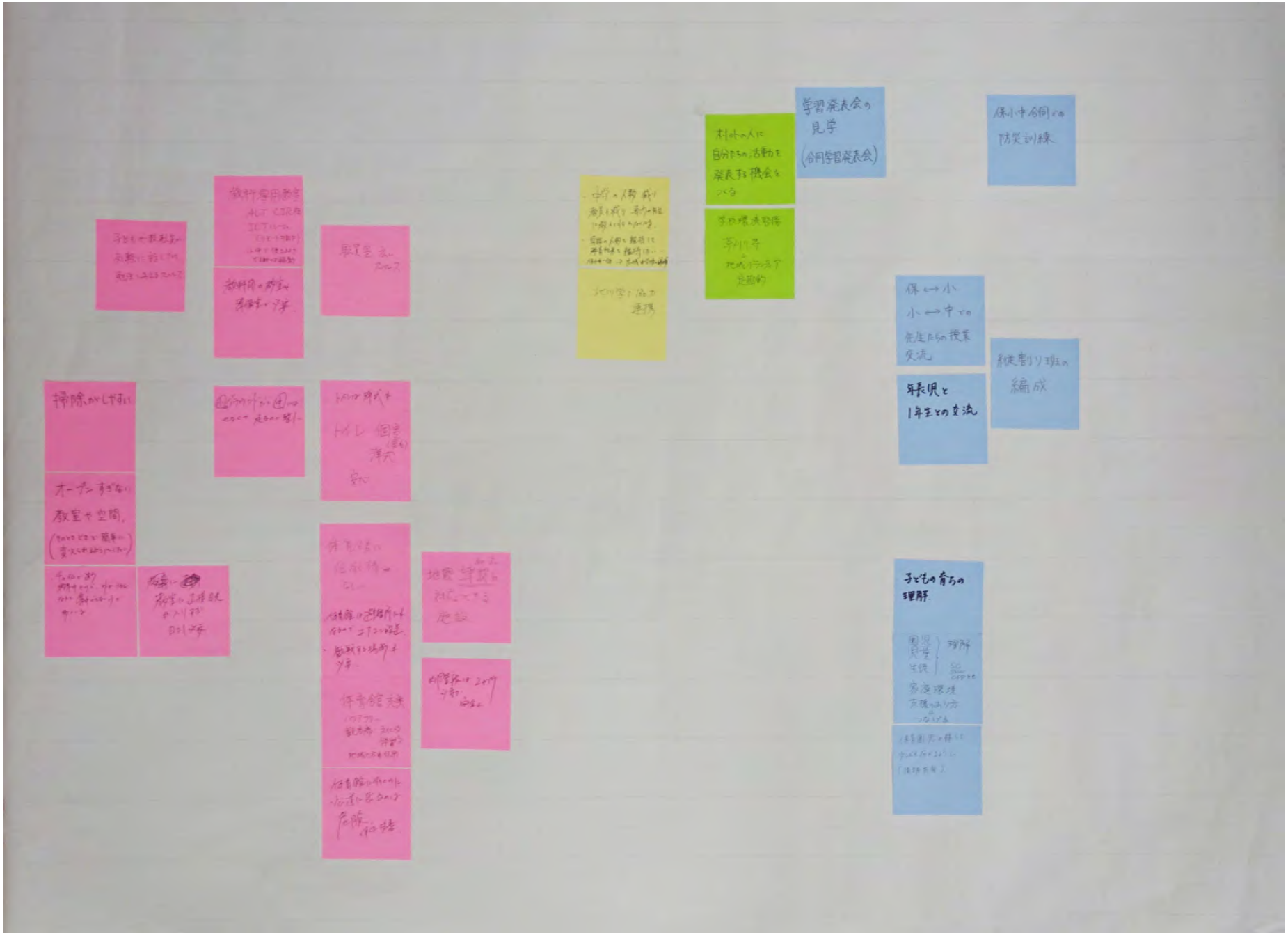
Step４　**10分**　**●次回にむけて**


地域からの協力
参観会へ
施設
子ども：子ども
教師：教師
教師：子ども
子ども教師親


教育委員会
教職員
施設
地域


教職員すべてで
考えていけるとよいこと
教育委員会に協力を!
地域協力
施設への要望


施設の一体化
教室の近くにオープンスペース（異年齢・地域交流）
多校種の教員が授業を参観しやすくなる
屋外へ出なくても移動ができる設備
保小中で一緒にできる行事が増える
異年齢のきょうだい同士が登園・登校できる良さ
図書館
村立図書館
・読み聞かせ
地域のボランティア
図書館司書を雇う
・読み聞かせ
中学生による
保育・低学年対象
交流スペース
と
個別スペース
⇒それぞれ確保
地域の人と共に活動ができるスペースの活用
保小中、地域の人が活動できる広い場所がほしい
・図書館(村)
・ワークスペース
・作業場
・調理室
広く
個別対応ができる部屋(複数)
(小さくても可)


学習発表会の見学
(合同学習発表会)
保小中合同での防災訓練
村外の人に自分たちの活動を発表する機会をつくる
保↔小
小↔中での先生たちの授業交流
縦割り班の編成
年長児と1年生との交流
掃除がしやすい
オープンすぎない教室や空間。
トイレ 個別洋式
子どもの育ちの理解

■第１回　地域ワークショップ 運営内容

【テーマ】未来につなげたい「北川村のたからもの」再発見！

【日時】　令和３年６月３０日（水）　午後７時～午後８時３０分
【参加者】　北川村地域の方、保護者の方
【場所】北川小中学校　多目的ホール　31名（オンラインでの参加者あり）
【グループ構成】　６人ずつ程度（オンライン参加の方が別途）

【WSの趣旨】　**北川村らしさ・これからへの思いを語り合い、共有し、**
保育園や学校づくりで生かしていく、村民皆さまの村への夢を集めます！
第２回では、これらを大切にいかすためにできること、始めてみたいこと
必要なもの、必要な場所、機能を考えていくワークショップを予定。

Step１　**15分**　**●情報提供**

本事業について　　担当：教育委員会
ワークショップについて　　担当：柳川
進め方の説明

Step２　**10分**　**●班ごとに　自己紹介**

名前、育ったところ、参加した理由

Step３　**25分**　**●その１『北川村のいいところ、再発見！』**

5分　各自、記入

・北川村の好きなところ、残したいこと
（長所、場所、特徴、特色、地域ならではのもの、などなど）
・北川村の学校・保育園のよさ、つなげていきたいこと
（長所、特徴、場所、もの、思い出、行事、などなど）

20分 班内で語り合ってみよう！（その１）

黄色カードの内容から
・書いた内容、なぜそう思ったか？　の発表
・その方の思い重ねて、感想、思い、イメージの広がりを

25分　●その２『北川村の気になるところ、再共有！』

5分　各自、記入

・村や学校・保育園で、改善できたらな、と思うこと
・これから工夫していけたらいいな、と思うこと
・不安、気になること

20分 班内で語り合ってみよう！（その２）

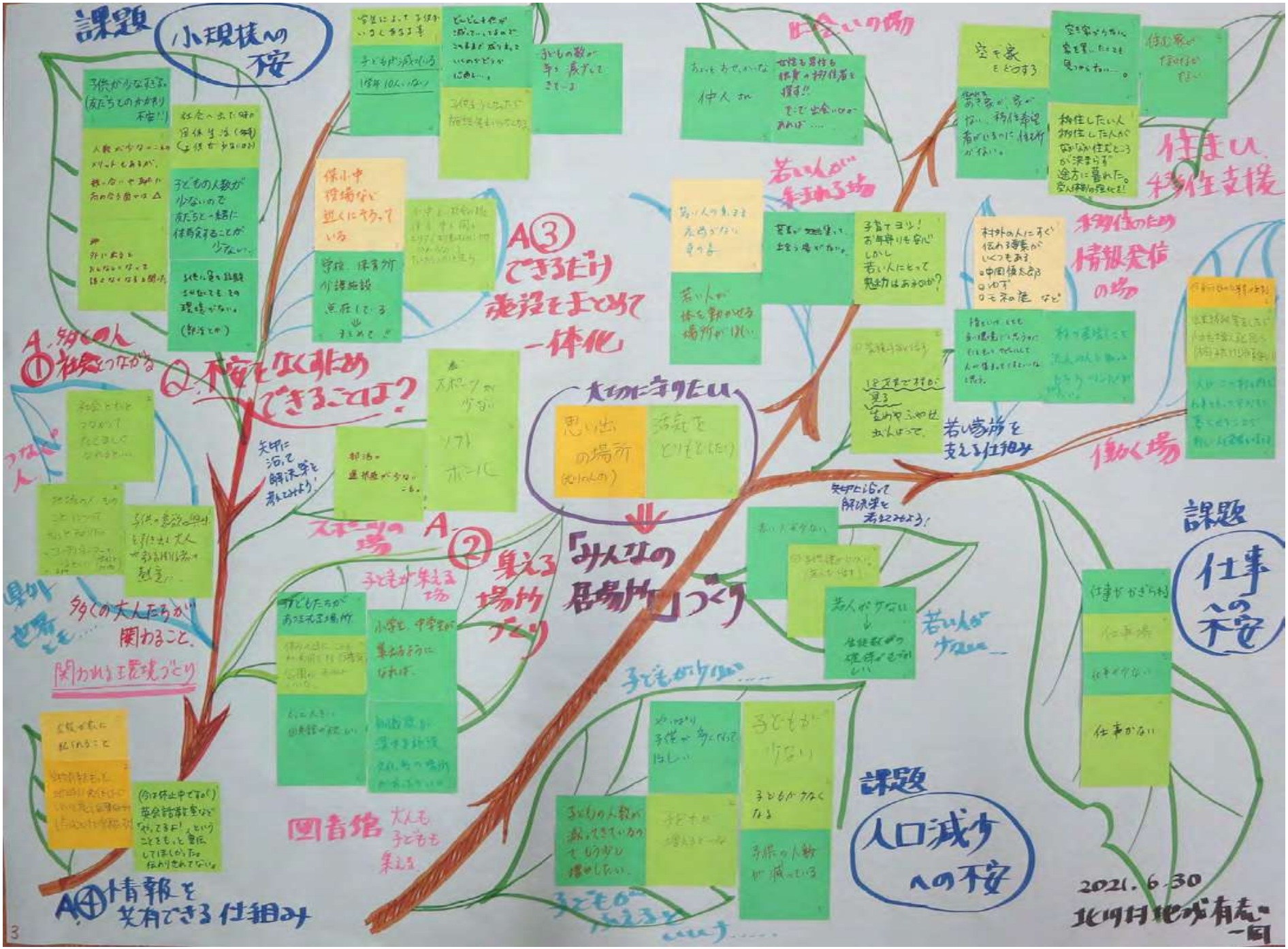
緑色・白色カードの内容から
・書いた内容、なぜそう思ったか？　の発表
・その方の思い重ねて、感想、思い、イメージの広がりを

Step４　**15分**　**●全体共有**

各班ごとに、まとめを発表

北川村・保育園 学校づくり
第1回 地域ワークショップ
（語り合い考え合う会）
「たからもの」はやっぱり子どもたち
北川の子どもたちのいいところ 素敵なところ
子供
北川村の子供 人なつっこい 笑顔
素直で元気な子ども達
子どもたちの真剣さ 一生懸命
素直な子が多い 協力し合う
子どもたち 割とまじめ。協力しあう。
大切に
こんな環境で育つ子どもたち
学校 つなげたい 安・取組 行事
大切に
保育園のいいところ
食育がしっかりしている。
保育から学校へのつながり多い
体験が多い。
いくつになっても結びついている保育園の先生方
いかしたい
少人数のいいところ
子供数
学校 保育所
・少人数なので みんなの名前を知っている みんなの良いところを
人数が少ないから こども同士の関係がすごくいい!!
学校
学校 みんなで取り組み みんなで支えあう
地域と子どもたち ふれあいの場
みんなで交流ひろば
地域の人々のいいところ 素敵なところ
人々の魅力 発信したい 知ってもらいたい…
北川村の大切さ
郷土愛
つながり合ってもっと活動に
子どもの頃から地域の一員に
地域住民同士の距離の近さ
人同士の助け合い
人がいる。 助け合いの心がある。
地域の人たちが優しい。よく関わってくれる
子どもが あいさつしてくれるようになった
子どもたちの歌声が聞こえてきてよかった
地域の人と学校 子供達との かかわりも多様に
地域の人々と子どもたちの交流
2

モノ(物) コト(行い)
トコロ(場所) ヒト
にかほの発信したい!!
地域ごとの行事
どんど焼き
中岡慎太郎
中岡慎太郎先生
中岡慎太郎の志
木槿焼
槙太郎窯
この2つは心がキーワード!?
これらをどうやって未来につなげよう?
モネの庭
モネのスイレン
レストランのメニュー
モネの庭
フェスとの交流
外国人がうろうろ
北川温泉
モネの庭
豊かな自然
自然
豊かな自然
自然が豊かで空気が美しい
自然がたくさんあるところ
自然いっぱい
山はもちろん川・海もある
発信拠点
いろんなお店
もちつき
ジビエ美味い
山菜美味
昔ながらのごはん
食べ物
森林鉄道
遊ぶ
天然林
まがいらず
夜がいい
きせつをかんじる
時間の流れがゆったりして気持ちが落ち着く
自然と共に生きている
情報だけじゃ伝わらない
感じてもらえる魅力!!
やっぱりゆず!!
北川村の柚子
ゆず
たかねのを育てる!
日本一の柚子園
柚子の文化をつくる!!
子どもの目から
いろいろな仕事のイメージを生き方を
見せてあげたい
北川村にあるいろいろな仕事
もちろん産業としてつなげる
仕組みづくり
北川学とつなげて
気軽に来て!!
飛行場は近い
ヘリと交通が便利
県内中心地から近いわけではないが
道路は大切な「つなげ役」
大人たちが遊んできた場所
公園は自然
公園がない!!!
安心安全な川遊びができるところが実はない
遊び場
公園ってどんな場所?
子どもも楽しめてあつまれる?


課題
小規模への不安
子供が少なくなる。(友だちとのかかわり不安!!)
子どもの人数が少ないので友だちと一緒に体験することが少ない。
学校によって子供がいるし、ないし
子どもが減っている
1学年10人いない
子どもの数が年々減少してきている
保小中 授業など近くにやっている
学校、保育所、介護施設 点在している → まとめて
A③ できるだけ施設をまとめて一体化
A. ① 多くの人と社会とつながる
Q. 不安を少なくしかためできることは?
つなぎ人
多くの人たちが関わること。
関われる環境づくり
スポーツの場
A. ② 集える場所づくり
子どもが集える場
子どもたちが高ぶる場所
小学生、中学生が集まれるようになれば。
図書館 大人も子どもも集える
A④ 情報を共有できる仕組み
大切にしたい
思い出の場所(ゆりかもめ)
活気をとりもどしたい
「みんなの居場所」づくり
出会いの場
仲人さん
女性も男性も結婚の相手を探す!! ←出会いの場があれば……
若い人が集まる場
若い人が体を動かせる場所がほしい
空き家をどうする
空き家が、家がない。移住希望者がいるのに住宅がない。
移住したい人 移住した人が なかなか住むところが決まらず途方に暮れた。受入体制の強化を!
住まい、移住支援
移住のため情報発信の場
村外の人に伝わる要素がいくつもある
若い世代を支える仕組み
働く場
若い人がいない
若人がいない → 住民数が少ない 復活がむずかしい
若い人が少なくなる
子どもが少ない……
子どもが少ない
子どもが少なくなる
子供の人数が減っている
子どもの人数が減ってきているのをもうすこし増やしたい
子どもが集えるようにしたい……
課題
仕事への不安
仕事がかぎられている
仕事がない
課題
人口減少への不安
2021.6.30
北川村地域有志一同

■第２回　地域ワークショップ　運営内容

【テーマ】「こんな場所、あったらいいな！」－ みんなの居場所を考えよう！ －

【日時】　令和３年１０月１４日（木）　午後７時～午後８時３０分
【場所】　北川村　村民会館　大ホール
【グループ構成】　６人ずつ程度 21名　（オンライン参加の方あり）

【WSの趣旨】　**もし、学校を新しくすることができるならば、学校のそばに、あるいは、隣接して、どのような環境があるとよいのかを、みんなで考える。**
第１回目の課題点からみえてきた、あったらよい場所に加えて、
できるだけ多くの村民に活用してもらえる場所のイメージを考える。

Step１　**5分**　**●情報提供１**
本事業の趣旨、WSの意味　　担当：教育委員会

Step２　**20分**　**●情報提供２**
村に必要な「みんなの居場所ー〇〇のような場所」　担当：柳川

◎前回のワークショップの内容、アンケートから、課題共有
前回のワークショップから見えてきた村の課題

◎様々な場所の事例
村の課題解決にむけて、あるとよい場所のイメージを広げる
・村の魅力を発信する場所
例えば、道の駅のような、観光案内所のような、移住支援…
・子どもたちが社会の人とつながる場所
・村の産業や仕事を知ることができる場所
例えば、交流ひろば、村づくり活動拠点、サテライトオフィス…
・子どもたちが集まれる場所、子ども連れで遊べる場所
例えば、公園、図書館、交流ひろば…
・若い人が集まれる場、出会いの場
・みんながふれあえる場、ちょっと立ち寄れる場
例えば、カフェ、キッチンカウンター、みんなの保健室…

Step３　**50分**　**●「みんなの居場所」をデザインしよう！**
「～なふうに〇〇できる、△△みたいな場所があったらいいな！」
班に別れて、３つまで、あったらよい場所のアイディアを考える。
３つの課題・視点を中心に、アイディアを出し合う。
視点１．子どもたちが使える場所、子どもたちにとって必要な場所
視点２．村民みんな、多くの人に、有効に使ってもらえる場所
視点３．村の活性化につながる場所
5分　各自、記入
・自分だったら、どんな場所があるといいか？

25分 場所のイメージを、班内で語り合ってみよう！

・それぞれの意見を出し合って、本当に必要なものを選ぶ。

・その具体的なイメージを語りあう。

Step４　15分　●全体共有

各班ごとに、まとめを発表

●「みんなの居場所」をデザインしよう！

「～なふうに〇〇できる、△△みたいな場所があったらいいな！」

班に別れて、３つまで、あったらよい場所のアイディアを考える。

３つの課題・視点を中心に、アイディアを出し合う。

視点１．子どもたちが使える場所、子どもたちにとって必要な場所

視点２．村民みんな、多くの人に、有効に使ってもらえる場所

視点３．村の活性化につながる場所

◎様々な場所の事例

村の課題解決にむけて、あるとよい場所のイメージを広げる

・子どもたちが集まれる場所、子ども連れで遊べる場所

例えば、公園、図書館、交流ひろば…

・若い人が集まれる場、出会いの場

・みんながふれあえる場、ちょっと立ち寄れる場

例えば、カフェ、地域食堂、みんなの保健室…

・村の魅力を発信する場所

例えば、道の駅のような、観光案内所のような、移住支援…

・子どもたちが社会の人とつながる場所

・村の産業や仕事を知ることができる場所

例えば、交流ひろば、村づくり活動拠点、サテライトオフィス…

子どもにとってHappy

「村ピアノ」置く。

公園

・学校おわって遊べる。友達といっしょに。

カフェ

子づれで『カフェ』行きにくい。

高い値。大人も子どもとつながれる場所

村民にとってHappy

運動できる場所

ジムetc 体力作り。

自然体験できる場所

キャンプ、料理もできる。

地域食堂

拠点、つながりともちたい！

図書館は今でも一応ある。

『地域』はみんなが使ったいイメージ

行きやすそうな名前やふんいき作りを！

放課後子どもが立ち寄れる

お泊まり体験の場

星座観察

キャンプ用品。コテージ

村のよさ

災害時のたて出しの経験にもつながる。

まきわり。料理も自分たちでメニューきめる。

村のお店からおろしてもらう。

ゆずジュースなど村の特産を。

観光案内所

子どもが案内できるように。

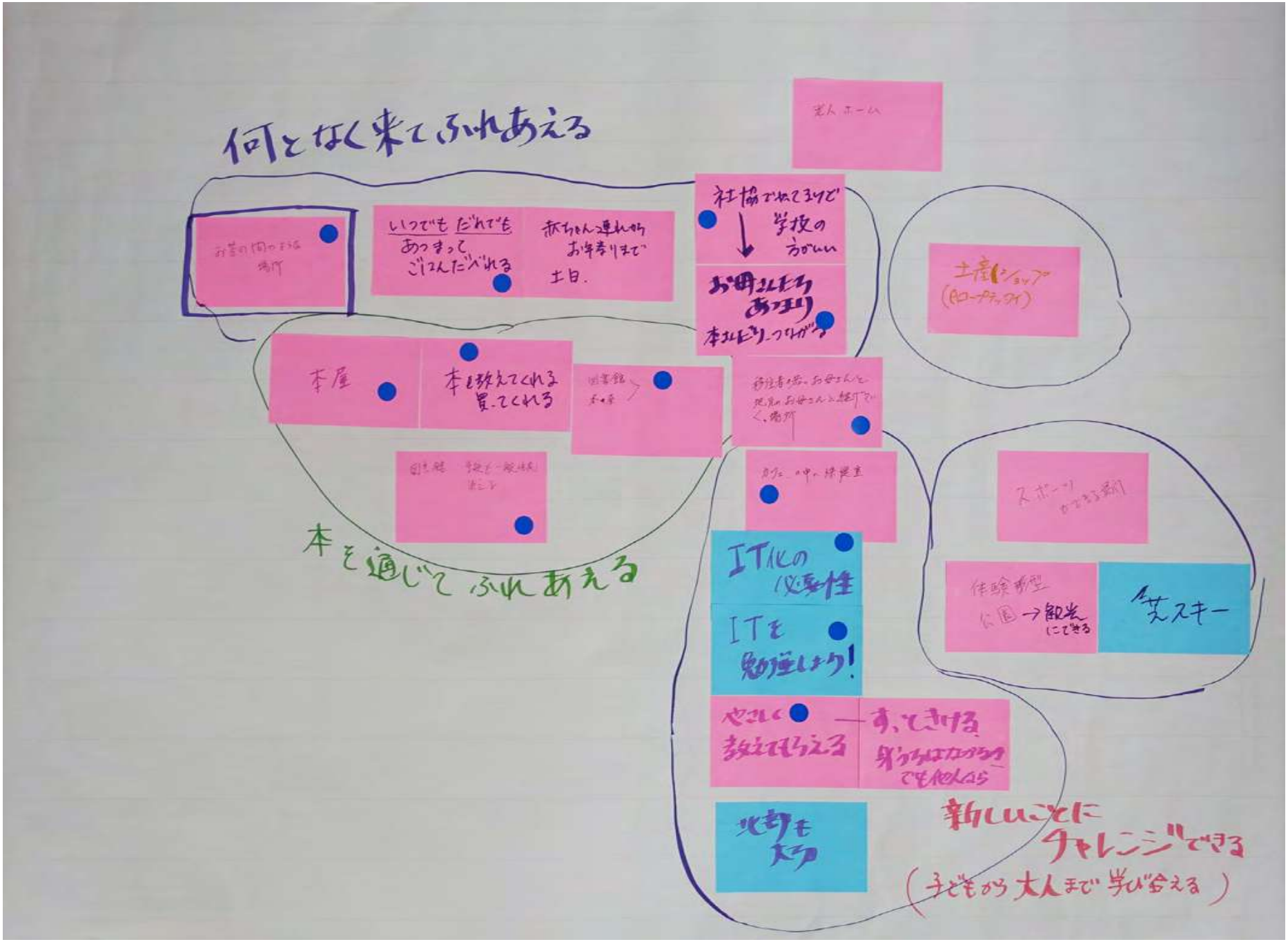
大人から知恵を学ぶ。

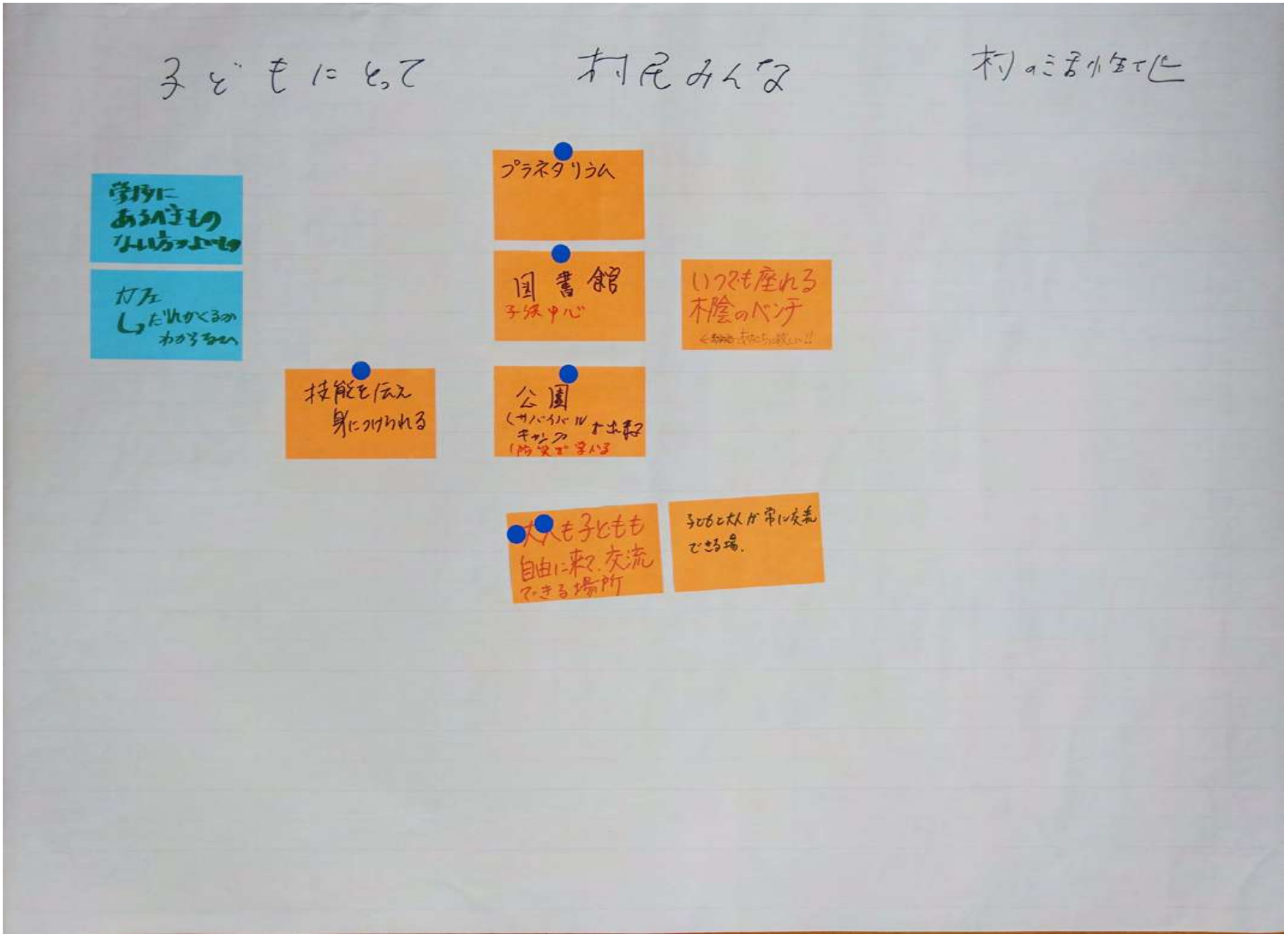
生きる力

人と話にいく。人とつながれる。

つながりやたくましさをつちかう。

子どもの作品（新聞など）を展示


何となく来てふれあえる
お茶の飲める場所
いつでも だれでも
あつまって
ごはんたべれる
赤ちゃん連れから
お年寄りまで
土日.
社協でやってるけど
学校の
方がいい
お母さんたち
あつまり
本ルビ
つながり
土産ショップ
(ロープウェイ)
本屋
本を教えてくれる
買ってくれる
図書館
移住者が来、お母さんと
児童、お母さんと
集まってくる場所
本を通じてふれあえる
カフェ、中、休憩室
スポーツ
ITの
必要性
ITを
勉強しよう!
体験型
公園→観光
にできる
笑スキー
やさしく
教えてもらえる
すぐできる
分からなかったら
でも他人から
北海道
大学
新しいことに
チャレンジできる
(子どもから大人まで学び合える)


子どもにとって
村民みんな
村の活性化
学校にあるけものないほうがよい
カフェ
だれがくるかわからない
プラネタリウム
図書館
子育中心
いつでも座れる木陰のベンチ
技能を伝え身につけられる
公園
(サバイバルキャンプ
防災学習
大人も子どもも自由に集い、交流できる場所
子どもと大人が常に交流できる場.

子ども
村民みんな
村の活性化
アフター5を楽しむ場所
体験広場
山の学校
・川の遊び方
・山の遊び方
・火たいたり
駄菓子屋エル
自由度の高い調理室
大きい調理室と少人数で使用可能な調理室が複数あったらな…。
図書館
図書館
病院
健康公園
0歳～100歳みんなが集える総合施設
大人の食堂
夜の食事
赤のれん
若い人の遊ぶ場所
(中間屋)
移住支援センター
道の駅!!
地域の旬の野菜やいすが気軽に手に入る場所。
観光案内所と交流ひろばが一緒になったような人々が集える場所。
集落情報交換基地
アンテナショップ
・木材販売

村の活性化
雇用促進
短波ラジオ
村の住民が作る
村をHappy
村外の人(外国も含む)
とネット上で気軽に
交流できるしくみ
図書館を中心とした
コミュニティー
みんな同じ
文化
村の外の子と
つながれる
カフェ
子供が運営する
模擬カフェ
広い部屋に
スクリーン
時々上映会など
スタジオ、カラオケ
視聴覚ルーム
子どもにとってHappy
みんなの保健室
(ちょっとした悩みができる場所)
ジムも
地域の先輩教室
(お絵かきなど…)
が来るとか
子供の遊べる
遊具
芝生広場
子どもは
しんどい
いつも
一人の重荷が
大きい
時間がない
(何かしたいとは
思ってるけど…
集まれる場所
大切
荷物が
たいへんそう

ワークショップおよび検討委員会における意見　とりまとめ資料

基本計画の策定にむけて、使い手となりうる方々として児童・生徒、教職員、地域住民の方々を対象に、今ある施設に対して、あるいは、これから必要となる環境について、さらに、これから行ってみたいと考えている活動について、意見を頂いた。

また、それらを検討委員会にて資料として報告し、意見をふまえた内容で検討をすすめた。

そこで、ワークショップの中で出された意見、また検討委員会にて出された意見について、それぞれの場面、回ごとではなく、すべての意見を見通して、今後の運営や施設のあり方の検討に役立てられるよう、テーマごとにとりまとめることとした。なお、テーマによっては、重複して掲載している意見もあるので、ご了承頂きたい。

また、それぞれの意見の背景が分かるよう、右欄に記号をふり、明らかにすることとしている。それぞれの意見が提示された、検討委員会の内容やワークショップの対象者とテーマについては、凡例記号と合わせて、一覧に示す。

◇検討委員会

	内容	凡例記号
第１回　検討委員会	北川村の現状、今後の進め方について	※1
第２回　検討委員会	複合化にむけて PPP/PFI について	※2
第３回　検討委員会	子どもたちの現状について 教育の方向性について	※3
第４回　検討委員会	社会とつながる学びについて 就学前教育のあり方について	※4
第５回　検討委員会	保小中一体化を目指す学校施設の機能と 既存活用の可能性について 電子図書について（参考）	※5
第６回　検討委員会	保小中一体化及び複合化を実現する建物の 可能性について	※6
第７回　検討委員会	教育の方向性について（指針や理念等） サウンディング結果について	※7
第８回　検討委員会	基本計画報告書（案）について	※8
第９回　検討委員会	基本計画報告書について（仮）	※9

◇ワークショップ

対象者	回数	テーマ		凡例記号
北川小学校 １～３年生	各学年 ごとに	学校のお気に入りの場所は？ 「こんな学校楽しいだろうな」を考えよう！		○-1
				○-2
				○-3
北川小学校 ４～６年生	第１回	ぼくやわたしの「お気に入りの場所」を 紹介しよう！	４年生	○#1-4
			５年生	○#1-5
			６年生	○#1-6
	第２回	「こんな学校楽しいだろうな」を考えよう！	４年生	○#2-4
			５年生	○#2-5
			６年生	○#2-6
北川中学校 １～３年生	第１回	「みんなの学校」へのリクエストをリサーチしよう！		◎#1
	第２回	新しい学びの場所について考えてみよう！		◎#2
教職員 （保小中）	第１回	「北川学園」らしい、「つながり合う学び」とは？		■#1
	第２回	「北川学園」らしい、保小中一体化のあり方とは？		■#2
地域住民	第１回	未来につなげたい「北川村のたからもの」再発見！		◇#1
	第２回	「こんな場所、あったらいいな！」 －　みんなの居場所を考えよう！　－		◇#2

＊　北川小学校４～６年生については、３学年同時にワークショップを実施しているが、意見の内容が、学年で大きな差異がみられたことから、学年も含めて記すこととした。

＊　中学校の第１回ワークショップでは、好きな場所の理由を□嫌いな場所の理由を□で色付けしている。

1．これからの教育のあり方：課題と今後の取り組み、教育への思い

教育のあり方	これまでの取り組み、成果、課題	・北川学は地域資源を活用しながら子ども達が探究的な学習を深めており、聞いたり 伝えたり表現したりする力も身についてきている。この活動を行うに当たっては、地 域の方々の協力を得て活動が成り立っており、大変感謝している。また、オンライン 英会話では、保育から中学校までネイティブの方との会話を通してスピーキングやヒ アリングの力を高めている。今後も特色ある取組として継続して取り組んでいきたい。	※1
		・北川学を本格的に初めて3 年目になるが、いわゆる地域学としての学びの他、企業と連携した様々な活動等を通して、北川村ならではの学びの有り様を構築していきたい。	※3
		・ここ数年、保小中の連携は深まり、学校が活性化していると理解している。それぞれの先生が現場に出向いていただいて交流も進んでいる。北川学においても、地域住民も喜び、子どもたちも元気になっているという状態だ。	※3
		・映像コンテストや新聞づくりコンクールの受賞が世間に認められたことは、学校の先生や子どもたちの努力でできたことではあるが、現状の施設の中でもできたことである。 今の取り組みが良いとするならば、新しい学校をつくることでその取り組みが、さらに効率的に、より良いものにならないといけないと思っており、さらなる取り組みに期待したい。	※3
		・北川の子は、素直で真面目で、人懐っこい部分や人を信じている部分など良さがある。 課題としては、北川村のような良い環境ではなく、不慣れな環境になった場合に、自分の力が発揮できないことや人見知りになってしまう部分もあると感じてい る。	※3
		・自分を小さい頃から知っている大人たちに対して恥ずかしがったりする部分もあるので、そういったものを克服できるようなチャレンジ精神を養う環境を整えられ たら。	※3
	教育の特色づくり独自性	・中山間地域の教育の現状をみてきた経験から、子どもは素直に育っているが自分の ことを表現しながらコミュニケーションを取ることがなかなかできないという似たような中山間地域の子ども達の実態がある。そのような環境の中で、学校でどのように育てていくのかが先生方の悩みだと認識している。	※3
		・一旦、教育課程の網を外して、多角的に教育を捉えてもいいのではないか。もっと 言えば、学習指導要領に基づかず、中山間地域なりの教育のあり方を検討して、今 ある常識を外して中山間地域の子どもの課題解決を図るようなチャレンジをしていただきたい。	※3
		・先生方が気になっている集団行動などの能力の部分については、多様性や個別最適 といった言葉があるように、国際的に活躍できる人材を育てるような観点もある。 そういう点では、北川村の子どもたちの人懐っこさなど素晴らしいと思っていて、 北川村のブランド・特性としてあるのではないか。	※3
		・より視野の広い子どもを育てているが、逆に子ども達の中では 自分を縛り付けている地域に対して嫌悪感を持ち始めるという状況もでてくるし、 教育を素晴らしくすればするほど、子どもが村外へ出て行くという状況はある。そ ういうこともあるという認識を持って、良い教育が裏目に出ないような取り組みも必要ではないか。	※3
		・4 月 28 日に開催された保小中教職員が参加されたワークショップでされた意見 「ICT の活用が進んでいるからこそ、子どもたち同士の繋がりや本物に触れるとい う体験を大切にしてもらいたい」という意見に注目している。自然に囲まれてい る、一次産業があるのは北川村「だからこそ」である。少人数の環境などは高知市とは違う環境に恵まれている。そういう点が保小中教職員ワークショップででたのではないかと理解している。	※3
		・基本計画を検討している中で、今回御提案いただいた農業プロジェクトの目的や目標については北川村の農業プロジェクトとしてはトーンが低いのではないか。本村 の実態や総合戦略の方向性も踏まえて基本計画を検討しているという側面もあるこ とから、今後提案をいただければありがたい。	※3
		・15 年一貫教育をする際に、軸みたいなものはほしいと考えている。例えば、ゆずを育てるというだけではなく、収穫する加工する販売するなど 1 次産業 2 次産業 3 次産業、6 次産業までの仕組みをある程度学べる経験できるそういう教育 現場を作っていくんだとすれば、拾っていくものがまた出てくると考えている。そ ういう意味でも教育ビジョンの軸はほしい。	※4
		・ゆずをきっかけに様々な職業があるのだと知ってもらう複合施設になれば良いのではないかと思っている。PFI の話もあったが、収入が得られるようにするなどそこ をどのように組み合わせていくのかになる。	※4
		・モネの庭という財産をどのように捉えるのか。雑談レベルではあるが、名称を北川 学園ではなく、モネの庭学園がいいのではと話したこともあった。コンセプトの中 に、芸術とか文化がテーマとして入っても良いのではと思っている。	※4

教育のあり方	独自性の 維持 力量形成	・異動がある公立学校の特色を踏まえて、大きく進めすぎてしまうと新しく赴任し た先生が追いつかなくなるようなことも考えられる。そこが、私立と大きく異な る点であると考えている。そのため、新しく赴任してきた方も対応できるよう な、地域に根付かせていくようなシステム、仕組みを構築することが必要であ り、今後の課題でもある。	※6
		・地域住民の感覚というものと先進的な学びというものをどうすりあわせて行くのかがそこもすごく大事になってくると思う。保護者からすると、夢もあるかもしれな いけど不安もありそのあたりは村をあげて議論していけるような環境になってい けると良いのではないかと感じている。	※6
教育のあり方 （項目別）	義務教育 学校化 保小中 一体化	・一貫教育はぜひやってもらいたいと考えている。小学生や中学生が小さい子とふ れ合い、労ることを知ることは重要である。また、世代間交流を行い、お互いを 知れることはいいことだと思う。一方で、保育所がどのように関わるのかはわか らない部分もあり、一体的な校舎について今後具体的に進めていってもらえれば と思う。	※6
		・少ない人数であるので、小さいときから お兄ちゃんお姉ちゃんと交流できる方がよりよく学習できると思う。	※6
		・中学生の時期にでてくる課題において、乳幼児期に何か対応できることがあれば、 保小中一体化は意味があると考えている。	※3
		・全体的な意見として、教育の内容を検討する際に、保育所の学びが小学校、中学 校の学びに対して後で付け足されている印象がある。自主的、主体的な学びとい うのは、幼児期からある学びの１つである。保育所にもしっかりとした学びがあ るのだという位置付けをしてもらって、保小中の学びを連携させてほしい。	※6
	幼保一体化	・保護者のみなさんは、お仕事に行かれる方がほとんどで子どもを預かってほしいというニーズが高い。	※3
		・保育については待機児童なく６ヶ月、１年から対象の方々を預かっていると把握し ている。	※3
		・小１プロブレムについては、近年小学校へは５名ほどの入学になっているが、教職員が温かく迎え入れて、教職員同士の連携は具体的に進んでいるので、現在はそこ まで問題は少なくなってきていると認識している。	※3
		・学校教育法に基づく幼稚園機能も併設することで、就労していない層（保育所の利 用をしない層）にもアプローチしていくことも重要ではないか。	※3
		・認定こども園制度を検討している。保を置き去りにしているわけではなく、制度の中で、幼も含めて 15 年通して一貫で学んでいくというメッセージを出し たいと考えている。	※4
		・特に幼児教育なども含めて、全体的な中で自分が何をしたいの か、あなたは何をしたいのかという問いかけを意識しながら環境を作っていくこと が大切であり、その中で、自己表現、あるいは自分を出していけるような子どもたち であってほしいし、私はこうだということがしっかりと言える子どもたちを育ててほしい。	※7
		・先生の力量形成によって、そういうことが引 き出せる学校環境があるといいのではないか。	※7
	少人数よさ	・学校、保育所　少人数なのでみんなの名前を知っている みんなの良いところをしっている。	◇#1
		・少人数であるので、みんなのことをよくしっている環境。	■ #1
		・小学校からずっと同じメンバーで　過ごしている	■ #1
		・人数が少ないからこそ縦の関係がすごくいい！！（学校）	◇#1
		・少ない子供の数（きめ細かいよさ）	◇#1
		・子供の人数が少ないことで、一人一人に目がいき届きやすい。みんな知っている。	◇#1
	小規模への 不安	・人数がすくないことのメリットもあるが、競い合いや互いに高め合う面では△	◇#1
		・子どもの人数が少ないので友だちと一緒に体験することが少ない	◇#1
		・子供が少なすぎる。（友だちとのかかわり　不安！！）	◇#1
		・子供に色々経験をさせたくても、その環境がない。（部活とか）	◇#1
		・外に出るとおとなしくなって、話さなくなると聞いた。	◇#1
		・社会へ出た時の団体生活（子供が少ないので）	◇#1
		・学年によって子供がいなくなる事	◇#1
		・子どもが減っている。　学年10人いない	◇#1
		・子どもの数が年々減少してきている	◇#1
		・どんどん子どもが減っているので、このままで成り立っていくのかどうか心配…。	◇#1

2．北川村の子どもたちの特性

子どもたちの特性 良いところ	真面目 素直	・まじめ	■ #1
		・すなお	■ #1
		・明るい、自由、素直、まじめ	■ #1
		・北川の子は、素直で真面目で、人懐っこい部分や人を信じている部分など良さがある。	※3
		・素直で元気な子ども達	◇#1
		・素直な子が多い	◇#1
		・都会の子たちが忘れてしまった素直さ、子どもらしさ	◇#1
		・【小】素直	■ #1
		・【中】素直（２）	■ #1
		・【中】まじめ（続ける力はある？）	■ #1
	素朴	・【中】素朴	■ #1
		・小中学校の生徒たちの素朴なところをのばしてやってほしい。	◇#1
	礼儀正しい	・【小】礼儀正しい	■ #1
		・【中】礼儀正しく真面目であるところ	■ #1
		・【中】基本的な生活習慣が身についている生徒が多い。	■ #1
	あいさつ	・【小】あいさつ	■ #1
		・【小】あいさつが進んですることができる。	■ #1
		・【小】明るい　あいさつができる	■ #1
		・【中】挨拶がよくできる。	■ #1
		・【中】元気にあいさつできる子	■ #1
	優しい	・【小】優しい	■ #1
		・【小】仲間を大切にする子ども	■ #1
		・【中】仲間・友だちを大切にできる子	■ #1
		・【中】優しさ、思いやり	■ #1
		・【中】常に受け入れられる姿勢	■ #1
		・【中】思いやりがある。やさしい。	■ #1
		・【中】人、ものに対して思いやりのあるところ。	■ #1
	協力し合える	・協力し合える	◇#1
		・子どもたち割とまじめ。協力し合う。（高校で北川の子がほめられることがよくある。）	◇#1
	縦の つながり	・【保】小さい子を思いやったり、大きい子にあこがれをもったりしているところ （・やさしさ、・意欲）	■ #1
		・【小】互いのことをよく知っている。	■ #1
		・【小】学年を超えて仲がよい	■ #1
		・学年を越えて、交流がある。（仲が良い）	■ #1
	人との関係	・【小】人懐っこさ	■ #1
		・人を信頼している	■ #1
		・北川村の子供　人なつこい所　幸せそうな顔	◇#1
		・北川の子は、素直で真面目で、人懐っこい部分や人を信じている部分など良さがある。	※3
		・地域の人と積極的に関わる	■ #1
		・奉仕活動に積極的に関わろうとする。	■ #1
	積極性	・人のために何かしたいと思っている。	■ #1
		・北川村の中だったら、どうにかしようと　考えることができる	■ #1
		・【保】いろいろなことに興味関心をもって、やってみようとするところ (遊び) くり返したり、試したり、ﾁｬﾚﾝｼﾞ したり	■ #1
		・【小】やるきのある子ども	■ #1
		・【小】いろんな事に興味をもてる子ども	■ #1
		・【小】いろいろなことにチャレンジしようとする	■ #1
		・【中】何事も前向きに取り組もうとする。	■ #1
	一所懸命	・子供たちが真面目で一生懸命	◇#1
		・【中】宿題などやりきれる生徒が多い。	■ #1
		・【中】何事にも一生懸命に取り組むところ。手の抜き方を知らない。	■ #1

子どもたちの特性 良いところ	好きなこと 得意なこと	・【小】外遊びが好き	■ #1
		・【小】体を動かす事が好き	■ #1
		・【小】歌	■ #1
		・【小】読書が好き	■ #1
		・ICTを活用できる	■ #1
		・学びを分かりやすく表現できる	■ #1
	村への思い	・北川村が好き	■ #1
		・小中学生が北川村に愛着をもっている。	◇#1
		・子どもたち　村のことが大好き	◇#1
		・子どもたちが北川村が好き　北川愛が強い！！	◇#1
		・子供達が北川村のこと（ゆずや中岡慎太郎など）をよく学んでいて誇りに思っている。	◇#1
子どもたちの特性 課題・ 育てたいチカラ	課題	・社会に出ても、ものおじしやすい	■ #1
		・課題としては、北川村のような良い環境ではなく、不慣れな環境になった場合に、自分の力が発揮できないことや人見知りになってしまう部分もあると感じてい る。	※3
		・自分の思い・考えを言葉として相手に伝えるのが弱いところがある。	■ #1
		・自分の考えを言えない。言わなくなってくる。	■ #1
		・【小】意欲的　→　【中】受け身	■ #1
		・積極性に欠ける	■ #1
		・受け身的な所がある。もっと自分から前に出てほしい。	■ #1
		・精神的な弱さ	■ #1
		・打たれ弱い	■ #1
		・まったい	■ #1
		・気になること…？ 村の子どもたちは良い子すぎて、村から出たときつぶされないだろうか…。	◇#1
		・外に出るとおとなしくなって、話さなくなると聞いた。	◇#1
		・想像力がとぼしい。	■ #1
		・指示待ち	■ #1
		・目標をもちにくい	■ #1
		・こどもはしんどい。楽になれる場所が必要。時間がない、何かしたいと思っているけど… いつも一人（当たり）の重荷が大きい	◇#2
	教育への 思い	・社会とつながってたくましくなれるといい	◇#1
		・机上の学習より、身体で体験できる学びが増えたらいいな	◇#1
		・子供の意欲や興味を引き出せる大人や教育関係者の熱意	◇#1
	育てたい チカラ	・自己発揮できる力	■ #1
		・自分の（将来の）目標をもって　意欲的に活動する力	■ #1
		・自分たちの生活を主体的に改善していく力（自治活動力）	■ #1
		・変えていく力（チャレンジ力）（発想力）（向上心）	■ #1
		・村外の人や社会の仕組みに対応できる（新しい関係づくり）	■ #1
		・自分を小さい頃から知っている大人たちに対して恥ずかしがったりする部分もあるので、 そういったものを克服できるようなチャレンジ精神を養う環境を整えられ たら。	※3
教育環境への課題	少子化 小規模	・子供が少なすぎる。（友だちとのかかわり　不安！！）	◇#1
		・人数がすくないことのメリットもあるが、競い合いや互いに高め合う面では△	◇#1
		・外に出るとおとなしくなって、話さなくなると聞いた。	◇#1
		・社会へ出た時の団体生活（子供が少ないので）	◇#1
		・子どもの人数が少ないので友だちと一緒に体験することが少ない	◇#1
		・子供に色々経験をさせたくても、その環境がない。（部活とか）	◇#1
		・学年によって子供がいなくなる事	◇#1
		・子どもが減っている。　学年10人いない	◇#1
		・子どもの数が年々減少してきている	◇#1
		・どんどん子どもが減っているので、このままで成り立っていくのかどうか心配…。	◇#1

3．学校における今後の活動・取り組みのイメージ

課題にむけた 取り組みについて	育てたい チカラ	・自己発揮できる力	■ #1
		・自分の（将来の）目標をもって　意欲的に活動する力	■ #1
		・自分たちの生活を主体的に改善していく力（自治活動力）	■ #1
		・変えていく力（チャレンジ力）（発想力）（向上心）	■ #1
		・村外の人や社会の仕組みに対応できる（新しい関係づくり）	■ #1
		・自分を小さい頃から知っている大人たちに対して恥ずかしがったりする部分もあるので、 そういったものを克服できるようなチャレンジ精神を養う環境を整えられ たら。	※3
	教育の 取り組み	・まちがっていてもかまわないので、自分の考えを発表する場面をつくる。	■ #1
		・失敗体験から改善する方法を考えさせる。	■ #1
		・生活体験（家での役割り）　体験活動の実施	■ #1
		・教科 行事等で目標をたて、振り返り、達成感を味わう体験を重ねる （友だち教師等からも評価）	■ #1
		・行事や係活動の中で、活躍できる場面を増やすことで、積極性を鍛える。	■ #1
		・時間を設定して、自分（自分たち）で思考する機会をつくる	■ #1
		・お互いの考えを伝え合う活動　例　中学生→小学生に説明	■ #1
		・同じ集団にならないように組み合わせを考える。	■ #1
保小中で 取り組みたいこと	連携授業 縦割り	・子ども同士でも保小中の成長を知る（保育で色々と学んでいる。赤ちゃん扱いをせずに、 時には見守りも必要…。やってみせて、ほめる！！　自信につながる。）	■ #2
		・きちんとした姿を見せられたらモデルになる　全校での授業も…　体育・音楽（道徳）	■ #1
		・（保・小）授業、劇、合唱、合奏	■ #2
		・単学年でなく、体育や音楽など一緒に！！（低・中・高）	■ #2
		・調理など　小→中へ　バージョンアップ	■ #1
		・小・中【外国語】　他校との交流、国内外	■ #2
		・縦割り班の編成	■ #2
		・小中で一つの課題を与え、協力し、解決していける活動（縦割りグループで）	■ #1
		・縦割りグループで、小と中、保～中までで、課題を解決していける活動 指示を出す側に中学生がなれば、指示待ちしなくなる？	■ #2
		・縦割り班　動物、植物（育てる）、畑：作って食べる	■ #2
		・縦割り班の編成→　委員会、ボランティア、遊びなどの活動	■ #1
		・昼食の放送　そうじの時間（縦割り）　委員会活動	■ #2
		・生徒会活動を日常的に行う。対話・談話をふやす。→小学校高学年も一緒に行って学校改革	■ #1
	こども間の ふれあい	・小中から保へ気軽に行けたら…　（絵本の読み聞かせやお昼寝の寝かしつけ等） 保護者にも小中の子どもの成長を見てもらえる！	■ #2
		・ふれあえる場面　保～中までがふれ合える、ふれ合いタイムを設定し、 話したり遊んだりできる空間を作る	■ #2
		・年長児と小学生の交流　例えば、休み時間等に一緒に遊べることで、社会性の学びが あるのでは？（大きいお兄さんやお姉さんたちにルールを教えてもらったり…）	■ #2
		・休み時間など【工作教室】自由に作ることができる作品の共同制作	■ #2
		・読み聞かせ（保育所、小）	■ #2
		・異年齢きょうだい同士が登園・登校できる良さ	■ #2
		・年長児と一年生との交流	■ #2
		・年長児が就学前に１年生と給食が一緒に食べられる。	■ #2
	こどもと 教員	・小中の生徒が今まで教わった先生に、気軽に話にいける、相談できるふんい気づくり （スペース、機会）	■ #2
		・自分の校種でない子どもとの関わり方	■ #2
	行事	・保小中で一緒にできる行事が増える	■ #2
		・行事面で、中学生が小学生に教えられる場面	■ #1
		・行事を合同でする　始業式、終業式、遠足、発表会、体育的行事	■ #2
		・保小中で行うとよい行事　運動会、発表会、遠足（野外炊飯） どの行事も上級生の姿が下級生のお手本となる	■ #2
		・小中合同で一日中、山でいろいろ　理由：行事をふやしてほしい	◎#2
		・小学校と中学校で一日中遊んでいても、寝ていても、いろいろしてよい日　理由：したい	◎#2
		・一週間に１回、全校でスポーツ	◎#2
		・いきなり何かが始まる（全校）・ゲーム大会　理由：したい	◎#2

保小中で 取り組みたいこと	（運動会）	・保小中で一緒に運動会　　憧れ・責任感	■ #2
		・運動会　まずは保小中で一緒に！！（教育的な側面を大切にして、 まずは保小中。段階的に地域との行事に広げていく。）	■ #1
	（学校祭）	・体育祭と文化祭（今はない！）の両方を年内に！（行事がもっと欲しい）	◎#2
		・高校にあるような文化祭 理由：今のままだと、ぱっと終わってしまうから。楽しそう。	◎#2
	（発表会）	・体育大会（保・小・中）　学芸会（保・小・中）	■ #2
		・学習発表会の見学（合同学習発表会）	■ #2
		・（保）小中合同で学習発表会（地域学習を通して学んだことなど の発表を聞き、他の学年の学習を知る）	■ #2
		・合同学習発表会　お互いの発表を見合う	■ #1
		・学習発表会の見学　例えば、年長児が見にいける時間の確保 生活科や総合学習で学んだことを発表する姿を見たり、 生活発表会を例えば一年生がみたり （現在は、コロナで難しいですが…）行事の交流	■ #1
		・保小中合同で、文化発表会を行う　→観てくれる人が多い方が、 モチベーションにもなるし、刺激を受けて向上心アップにつながる	■ #2
		・小中　作品発表交流	■ #1
		・（保・小）授業、劇、合唱、合奏	■ #2
		・体育集会的な活動を（保）小中の縦割り班で行う（体育レク）	■ #2
		・行事や参加できる体験活動は、期待や見通しがもてるように 参加していけたら…。	■ #2
	（修学旅行）	・小中合同旅行　理由：修学旅行以外にも県外へ行きたい	◎#2
		・中学校全員で、修学旅行　理由：楽しそう	◎#2
	（参観日）	・参観日の時の保護者対応（こん談、時間）	■ #2
	クラブ活動	・部活動を増やしてほしい！	◎#2
		・クラブ（１～６年の）を作ってみたらいいと思う。	○#2
		・多様な集団で行う有効　　清掃、クラブ活動	■ #2
		・クラブ活動　一貫を考えると小→中つなげていけるとよい しかし、男女の問題、人数の問題入りたくない…など（課題がある）	■ #1
	防災教育・ 防災訓練	・保小中合同での防災訓練	■ #2
		・保小中が合同で、防災訓練を行い、小学校高学年・中学生が保育園 児の手伝いをする。お互いの発達段階を知ることで、思いやりの 気持ちを育てる。	■ #1
		・中学生から小学校高学年に向けて、小学校のうちにしておけば、 身に着けていればよかったことなど体験を交えての講話（座談会） →　中学生から小学生にむけて	■ #1
		・防災については、子どもにとって重要である。学校施設の中で普段から防災のこと を学べるのは大切だと考えている。	※5
		・園として防災を地域の方と一緒に取り組むのは少ない。みんなで一緒にできることとなれば望ましい。	※5
		・防災学習を学校でやっていくのは良いと思った。	※5
保小中の学校運営 について	教職員間の 交流	・保育～中学校まで各年齢の育ちや大切にしているところを共有し 保→小→中へとつながていく。	■ #2
		・保小　子ども（年長児）の良さや特性をつなぐ 良かった支援をいかせるように　いつでも聴きに行ける関係	■ #2
		・こどもの育ちの理解	■ #2
		・子どももそうだけど、先生もね！教職員の交流の場（研修以外でも、もっと仲良くなろう） 時間が問題…かも。	■ #2
		・児童・生徒理解：定例職員会、研修	■ #2
		・保育園児の様子を少しでも分かるように（情報共有）	■ #2
		・職員会等を保小中でどのように行うか？	■ #2
		・授業（交流）：中・小の教員の連携	■ #2
		・一日先生　保育所の先生に音楽や図工　教員が保育所へ　→　互いの教育や成長を知る	■ #1
		・保⇔小、小⇔中での先生たちの授業交流	■ #2

保小中の学校運営について	教職員間の交流	・多校種の教員が授業を参観しやすくなる	■ #2
		・保小中で互いの教育や成長を知る機会（自由に授業参観をし、意見交流する）	■ #2
		・特別な支援が必要な生徒の情報の共有（家庭環境も含む）	■ #2
		・園児、児童、生徒の理解　SC ・SSW・CPPとも家庭環境、支援のあり方⇒つなげる	■ #2
		・施設の共有だけで終わってしまう可能性がある。	■ #2
学校が社会と連携し行いたいこと	村外へ	・社会性　初めての場でもものおじせずに（守られていない場所へでかけさせることが大切）	■ #1
		・北川の中にとどまらない活動	■ #1
		・広がりをもっていく。村外の学校とつながってみる	■ #1
		・地域やオンラインだけでなく、近隣校とつながる	■ #1
		・児童生徒会交流会への参加	■ #1
		・村外の人と関わる機会（ICTなどを活用し、交流する。）	■ #1
		・村外での体験（本物をみる機会をふやす）→小学校高学年を中心に知的好奇心をはぐくむ。	■ #1
		・総合的な学習の時間で、村外の人に自分たちの活動を発表する機会をつくる。 →　自信をつけさせる。小も中も	■ #1
		・職場体験は村外に限定する。	■ #1
学校と地域が連携し行いたいこと	子どもの地域参画	・子ども会	■ #1
		・学校以外での活動	■ #1
		・地域行事　・マラソン　・ボランティア（地域の施設：ゆずの花） ・保育所（夏休み、お手伝い）	■ #2
		・ボランティア活動	■ #1
		・高齢者の方　交流（訪問）の	■ #1
		・地域の方との関わり　祭りなどで何か発表できる場を！！	■ #2
	地域連携地域協力	・北川学（教科・行事）：　地域内外の方　一緒に活動　交渉	■ #1
		・北川学で地域(外)の方、働いている(生活)姿を見たり、思いを知り、 職業観を身につける。（あこがれる。いろいろな職を知る。）	■ #1
		・総合、その他の教科でも、地域人材を生かした授業でのつながり	■ #2
		・北川学で協力　連携	■ #2
		・いろいろな体験活動　☆人との関わりをもっと！　食育、昔遊び、総合、生活科	■ #2
		・地域の方との関わり　昔ながらの遊びや物づくり　高齢者の名人に教えてもらう学習	■ #2
		・（地域と一体の図書館で）読み聞かせ　地域ボランティア	■ #2
		・延長保育の時間に、地域ボランティアの方と一緒に遊ぶ中で いろんな昔遊びを教えてもらえたら　いろいろな方と触れ合う機会	■ #2
		・登下校だけでなく、放課後の子ども達の見守りに協力してもらう。 ・運動場で　・放課後子ども教室で	■ #2
		・こどもたちのよりよい環境のため　みんなが協力することが必要	◇#1
	行事で	・運動会　保・小・中と村民　一緒にすれば	◇#1
		・運動会を村民運動会と一緒にやったらにぎやかでいいと思う	◇#1
		・運動会　まずは保小中で一緒に！！（教育的な側面を大切にして、 まずは保小中。段階的に地域との行事に広げていく。）	■ #1
	生き方教育	・北川村にあるいろいろな仕事　モネ、温泉、建設 etc… 学校の時代にいろいろな職業体験をする	◇#1
		・幸せに生きている大人を見ながら、子どもたちは夢をもつと思う	◇#1
		・大人がチャレンジする村　子どもたちにも夢を	◇#1
		・将来の生き方の夢を持てる学びを取り入れられたら　夢があれば、やる気スイッチが入る！	◇#1
		・北川村で働いて家庭をもてるようになるための基盤づくり （農業体験とかイベントを毎年行って、一次産業に興味を持ってもらう。）の	◇#1
		・子ども達に農業体験をたくさんして欲しい。ゆず、お米など　一連の農業体験を！！	◇#1
		・学校教育の現場で農業体験のカリキュラムを入れていく	◇#1
		・（例）１年生でつぎ木をうえる　→　６年生柚子の収穫など ポテンシャルの高い農家さんの指導をけてみる	◇#1
		・残したい事　・ゆずを中心とした第一次産業	◇#1
		・「北川村」という名前を広めるための存在	◇#1
		・Uターンしてくれるような工夫	◇#1
		・働くところがある。（産業）	◇#1
		・住むところがある。	◇#1
		・家をたてれる。（土地）	◇#1

学校と地域が連携し行いたいこと	情報共有	・地域の人・もの・ことについて、もっと知りたい ・コーディネーターがいるといい（学校と地域）　　・資料	◇#1
		・統合や行事等で協力してくれる人・内容の人材バンクリストの作成	■ #2
		・学校行事をもっと地域に発信したらいいと思う。回覧板とかで（今はコロナで出来ないが）	◇#1
		・広報が家に配られること。	◇#1
		・（今は休止中ですが）英会話教室など「やっているよ！」ということを もっと宣伝してほしかった。伝わりきれていない。	◇#1
	施設運営	・図書館　勉強ができる。地域の人も来れる。 ミーティングルーム：休日でも子どもが集まって何かを計画したり	■ #1
		・地域食堂　給食を地域の人も食べられるように　　食育を地域に	■ #1
教育委員会に支援してほしいこと	保小中	・保小中一体を行ううえでは、教員の交流も必要　プラスαの教員数が必要	■ #2
		・行事等だけでなく、日常を見に来てもらい、子どもの様子や生活を 見たうえで、改善していくべきところを職員と共有する。	■ #2
	少人数対応	・中学の人数減り、教員も減り、専門の先生に教えてもらえなくなる	■ #2
		・学級の人数を維持して、教育効果を維持したい　保小中一体　→　広域中学校の議論	■ #2
	子ども支援	・不登校、学校にこられない生徒が学校外で参加できる場所作りと 担当してくれる人員の確保（教育研究所的な場所）	■ #2
		・北川村に！（中芸は…）跡：加領郷、田野保育、米ヶ岡	■ #2
	運営支援	・（図書館設置の場合）図書館司書を雇う	■ #2
		・学校環境整備　草刈り等　→　地域ボランティア定期的に	■ #2
	村外連携	・村外の中学生と関わる機会を作る　新しい関係をつくる力	■ #2
		・村外の人に自分たちの活動を発表する機会をつくる	■ #2
		・他の市町村、県とのつながり（修学旅行、視察）	■ #2
		・地域内外の人と関わる時のツール（使い方も） 小中などではそろっているが、関わりたくても機器がなかったり 使い方がわからなかったり…。直接対面できるときはいいが…。	■ #2
		・村外から来た人とのつながりは ・まず北川村フィールドワーク　・特産品、ゆずの収穫　・村外から来た人からの情報も得る	■ #2
		・地域の伝統、ゆず等の学習	■ #2
		・職場体験	■ #2
		・企業との連携	■ #2
		・海外（県外）派遣	■ #2

学校運営について（子どもの思い）	休み時間	・普通の休み時間は15分ほしい（足りない）	◎#2
		・お昼休み40分（休める時間がもっとほしい）	◎#2
		・休み時間をもう少し長くしてほしい。（昼休みは例外）	◎#2
		・休み時間にみんなで遊んだり、好きなことをしたい	◎#2
		・自分の時間を自由に使える	◎#2
	制服	・学校の制服がほしい。	○#2
		・月の特定の日だけ私服登校OK　理由：特になし	◎#2
		・制服じゃなくて私服にしてほしい	◎#2
		・パジャマでいきたい	◎#2
	その他	・宿題をなくしてほしい	◎#2
		・テストをなくしていほしい	◎#2
		・学校にタクシーで行きたい。	○#2
		・めんきょがいらない車に、乗りほうだい。	○#2

4．北川村の「たからもの」：モノ・ヒト・トコロ・コト（文化・活動）

宝物（魅力・資源）	村	・思い出の場所（北川の人の）	◇#1
	ゆず	・北川村の柚子	◇#1
		・ゆず	◇#1
		・ゆず（の取り組み）	◇#1
		・北川村の好きなところ　どこに行っても柚子の木が見れる	◇#1
		・日本一の柚子園	◇#1
		・ゆずのおすしがおいしい	◇#1
		・秋　ゆず収穫時の　JAあたりの　ゆずの香り	◇#1
	自然	・自然	◇#1
		・自然	◇#1
		・豊かな自然	◇#1
		・豊かな自然	◇#1
		・豊かな自然があるところ	◇#1
		・自然が豊かで景色が美しい	◇#1
		・自然がたくさんあるところ	◇#1
		・自然がいっぱい	◇#1
		・美しい自然　山　川	◇#1
		・豊かな自然　それを生かしたモネの庭	◇#1
		・山　川　自然にあふれているところ　ウォーキングしたら最高です。	◇#1
		・汚れていない自然が当たり前のように豊かにある	◇#1
		・山と海が近い	◇#1
		・山も川もあって、海も近い。	◇#1
		・川がある。海に近い	◇#1
		・川遊びスポット、ホタルのスポット　沢山！！	◇#1
	遊び	・川で遊べる	◇#1
		・巻ノふち　川遊びができる環境	◇#1
	自然と暮らし	・自然と共に生きている（知恵・工夫）	◇#1
		・のどかで、鳥の声がよく聞こえる。カエルとか。カブトムシも飛んでくる！　自然が身近	◇#1
		・豊かな自然（ほうねんえびのいる田んぼ、お宮前の水路　どじょう）	◇#1
		・実生のゆず	◇#1
		・自然がいっぱい！！ ・秋の柚子　黄色くなる　いいにおい　・田んぼの風景　・川（カニ、あゆなど）	◇#1
		・季節を常に感じられる！　・山菜　・鮎　・梅仕事　・田植え　モネの庭　・ゆず	◇#1
		・夜がいい　季節を感じる	◇#1
		・時間の流れがゆったりして、気持ちが落ち着く	◇#1
		・自然がいっぱい。季節の音（虫、鳥、風）	◇#1
		・においがあること（風、土、草、雨）	◇#1
		・コロナでも蜜にならずに、自然遊びができる！	◇#1
	祭り	・お弓祭　伝統	◇#1
		・お弓祭り	◇#1
		・地域ごとの行事	◇#1
		・どんど焼き	◇#1
		・地域行事をのこす　神祭（おみこし等）	◇#1
		・お祭りが元気がなくなっている。昔はもっとにぎやかだった。	◇#1
	文化・遺構	・森林鉄道がある	◇#1
		・森林鉄道　遺こう	◇#1
		・天然林（島の宮　木積の宮　馬路村　宗ノ上の５km川上など）	◇#1
		・まがいぶつ（4/8が北川村にある）	◇#1
		・木積焼　慎太郎窯　北川村の文化の拠点の一つだ（った）と本気で思う。	◇#1
	名所	・モネの庭　フランスとの交流　外とつながろうとする心	◇#1
		・モネの庭　モネのスイレン　レストランのメニュー	◇#1
		・モネの庭	◇#1
		・モネの庭　北川温泉	◇#1

宝物（魅力・資源）	有名なヒト	・中岡慎太郎先生	◇#1
		・中岡慎太郎の志	◇#1
		・慎太郎（館）	◇#1
		・いろんな分野の達人がいる。・りんてつ　・ゆず　・田舎寿司　・猟　・木積焼き　漬物	◇#1
		・地域の人の特技をいかした活動でいきいき	◇#1
	食	・昔ながらのごはん　　・田舎寿司　・かんばもち　・野草	◇#1
		・昔ながらのごはん　←　昔ながらの大切な事を失くさず、継承していってほしい。	◇#1
		・もちつき　　食べ物　柚子の入った物　・魚　・鹿　・猪	◇#1
		・おいしいラーメン　・卵　・田舎ずし（サニーマートでいつも思う。）	◇#1
		・食堂　・ゆず　・給食	◇#1
		・手つかずの自然	◇#1
		・農家のポテンシャルの高さ	◇#1
		・ゆず産業　　・ゆず以外にも生産物がたくさんある	◇#1
		・ゆず以外　・みょうが　・米　・ブルーベリー　・わさび　・トマト　・ピーマン ・農産物がたくさんある	◇#1
		・ジビエ美味い　山菜美味い	◇#1
		・自然　・農業　・温泉　・食堂　・かんばもち	◇#1
		・道の駅みたいなところがあれば、特産物などを買える。村外からもわざわざ来ると思う。	◇#1
		・いろんなお店	◇#1
		・北川村の農作物やジビエ、魚などを使った料理教室がほしい。	◇#1
	村民こども	・子供	◇#1
		・北川村の子供　人なつこい所　幸せそうな顔	◇#1
		・素直で元気な子ども達	◇#1
		・素直な子が多い　協力し合える	◇#1
		・北川の子は、素直で真面目で、人懐っこい部分や人を信じている部分など良さがある。	※3
		・小中学校の生徒たちの素朴なところをのばしてやってほしい。	◇#1
		・子供たちが真面目で一生懸命	◇#1
		・子どもたち割とまじめ。協力し合う。（高校で北川の子がほめられることがよくある。）	◇#1
		・都会の子たちが忘れてしまった素直さ、子どもらしさ	◇#1
		・小中学生が北川村に愛着をもっている。	◇#1
		・子どもたち　村のことが大好き	◇#1
		・子どもたちが北川村が好き　北川愛が強い！！	◇#1
		・子供達が北川村のこと（ゆずや中岡慎太郎など）をよく学んでいて誇りに思っている。	◇#1
	村民大人	・人　みんな優しい　おだやかで…	◇#1
		・県外に長くいて帰って来た時にも、ふつうに自然にあたたかく ・迎え入れてもらったちうような人と人とのつながり	◇#1
		・ジイさん　バアさんが多い	◇#1
		・おばちゃんのやさしいところ　でもいざという時消極的になるところがある	◇#1
		・地域の人たちが優しい。よく関わってくれる。	◇#1
		・あたり前に知らない人同士でもあいさつしている	◇#1
		・やさしい人柄　助け合い	◇#1
		・人がいい。助け合いの心がある。	◇#1
		・車がパンクしてもみんなが助けてくれる	◇#1
	地域	・村のためにがんばっている方　多い　　個人　村　etc	◇#1
		・顔の見えるコミュニティの大きさ→子どもたちが安心して暮らせそう	◇#1
		・子供達と地域の人々の交流があり、地域で見守られていて、安心する。	◇#2
		・安心して暮らせるところです	◇#1
		・安心感　村に帰ってくるとホッとしています。	◇#1
		・全員の顔がわかる	◇#1
		・地域住民同士の距離の近さ	◇#1
		・近所づきあいがある	◇#1
		・人同士の助け合いが多いし、素直な人柄	◇#1

宝物（魅力・資源）	立地の条件	・どこでも車で行けて便利（駐車場も完備）	◇#1
		・県内中心地からめちゃめちゃ遠いわけではない。 （だから高知市・南国市まで通学する高校生が結構いるかも。）	◇#1
		・生活するのに便利　銀行、役場、お店、学校、コンパクトに集まっている ・国道に近いので便利	◇#1
		・飛行場が近い　わりと交通が便利	◇#1
		・わりと田舎！！だけど住んでみたら、それなりに不便なく生活できるところ。	◇#1
		・北川村には信号機がない（住民のマナーがよい）	◇#1
宝物（活動）	学校	・学校が楽しいヒケツ　ずっと一緒にいる時間が長くいろいろ乗り越え、家族のような関係に	◇#1
		・「人間関係」この村で経験できる財産	◇#1
		・「楽しい！っていえる学校が素敵ですね！	◇#1
		・あいさつ	◇#1
		・こどもがあいさつできる	◇#1
		・子供たちみんなアイサツができる！ビックリしました。	◇#1
		・なぜか北川の子は水泳が得意	◇#1
		・そうじ◎	◇#1
		・学校　・ランチルーム給食　・手話	◇#1
		・皆で食べる給食を続けて行きたい。（昔からだった）	◇#1
		・上級生がお茶の用意をし、お世話する。上級生意識が育つ	◇#1
		・手話　人権の学習	◇#1
		・手話の取り組み	◇#1
	保育所	・保育所　体験が多い	◇#1
		・保育所　食育がしっかりしている	◇#1
		・いくつになっても続いている保育園の先生方とのつながり	◇#1
		・保育から学校へのつなぎが手厚い	◇#1
	少人数よさ	・学校、保育所　少人数なのでみんなの名前を知っている みんなの良いところをしっている。	◇#1
		・少人数であるので、みんなのことをよくしっている環境。	■ #1
		・小学校からずっと同じメンバーで　過ごしている	■ #1
		・人数が少ないからこそ縦の関係がすごくいい！！（学校）	◇#1
		・少ない子供の数（きめ細かいよさ）	◇#1
		・子供の人数が少ないことで、一人一人に目がいき届きやすい。みんな知っている。	◇#1
	教育目標	・保育園や小学校での社会性の育成、基礎基本の徹底。授業の受け方 目上の人との関わり方、学習の仕方、掃除への取り組み方等【中】	■ #1
		・小中でやるべきことをやりきらせていく教育 小学校のときから、やりきるように鍛えられている。	■ #1
		・保育園や小学校のときの、一生懸命やることの価値を実感させる、　教育【中】	■ #1
		・保育所での学びの芽生えを大切にする取り組み →　学校での学びへとつながっている。【保】	■ #1
		・あいさつを始めとするの運営委員会の取り組み	■ #1
		・少人数なので、いろんなことを自分も参加しやらなければいけない場面が多い。【中】	■ #1
	行事取り組み	・保育園の行事への参加（もちつき、節分）	■ #1
		・音楽集会、行事	■ #1
		・小中合同の行事。【中】（小中合同運動会）	■ #1
		・運動会（小中合同←保育参加）　地域の人も	■ #1
		・運動会、敬老会	■ #1
		・運動会での全学年の親子競技	◇#1
	学習取り組み	・映像コンテストや新聞づくりコンクールの受賞が世間に認められたことは、学校の先生や子どもたちの努力でできたことではあるが、現状の施設の中でもできたことである。 今の取り組みが良いとするならば、新しい学校をつくることでその取り組みが、さらに効率的に、より良いものにならないといけないと思っており、さらなる取り組みに期待したい。	※3
		・自分の学校をこうしたい　ワークショップ	■ #1
	学習取り組み 保小中一体	・保育園児との一緒の活動　学校たんけん：小学生が園児を案内	■ #1
		・異学年の活動が多い。（掃除、体育） 水泳：５年生と園児→入学時に６年生と１年生	■ #1
		・部活動への小学生の参加	■ #1

宝物（活動）	学習取り組み 北川学 地域交流	・北川村の学校のよさ　地域学習に力をいれているところ。他にこんな学校ないのでは？	◇#1
		・総合的な学習	■ #1
		・北川学　地域との交流	■ #1
		・北川学は地域資源を活用しながら子ども達が探究的な学習を深めており、聞いたり 伝えたり表現したりする力も身についてきている。この活動を行うに当たっては、地 域の方々の協力を得て活動が成り立っており、大変感謝している。また、オンライン 英会話では、保育から中学校までネイティブの方との会話を通してスピーキングやヒ アリングの力を高めている。今後も特色ある取組として継続して取り組んでいきたい。	※1
		・北川学を本格的に初めて3 年目になるが、いわゆる地域学としての学びの他、企業と連携した様々な活動等を通して、北川村ならではの学びの有り様を構築していきたい。	※3
		・ここ数年、保小中の連携は深まり、学校が活性化していると理解している。それぞれの先生が現場に出向いていただいて交流も進んでいる。北川学においても、地域住民も喜び、子どもたちも元気になっているという状態だ。	※3
		・生活、総合の時間で地域とつながり	■ #1
		・小中の総合の時間を通して、地域の方の思いや願いをきく。【中】	■ #1
	地域へ出る 活動	・地域行事への参加。【中】	■ #1
		・小中のこども　地域のために活動（小中）	◇#1
		・子どもがあいさつしてくれるようになった。	◇#1
		・子どもたちの歌声が聞こえてきてよかった	◇#1
	地域の方の 協力	・学校行事に保護者地域の協力	◇#1
		・子どもたち（北川小中・みどり保育所） 村の人々がいつも見守ってくれている　協力して下さる	◇#1
	教育環境	・自然に囲まれていて、生き物とふれられる環境。	■ #1
		・保護者の方も教育熱心。	■ #1
		・地域の人と関わる機会が多くある。	■ #1
		・地域の人にも大切にされてきた環境。	■ #1
		・周りに嫌なことを言う人がいない。	■ #1

５．村民が感じる北川村の課題

地域の課題と取組み	活性化	・活気を取り戻したい	◇#1
	少子化	・子どもが少ない　子どもが少なくなる	◇#1
		・子供の人数が減っている。	◇#1
		・子どもの人数が減ってきているので、もう少し増やしたい。	◇#1
		・子どもが増えるといいな	◇#1
		・やっぱり子どもが多くなってほしい。	◇#1
		・子供達が少ない。（若者を増す）	◇#1
		・家族手当を増す	◇#1
		・18才まで村が見る　生めやふやせがんばって	◇#1
	定住	・若人が少ない　→　生徒数の確保がむずかしい	◇#1
		・若人が少ない。	◇#1
		・子育てヨシ！お年寄りも安心。　しかし、若い人にとって魅力はあるのか？	◇#1
	道路	・夜の町の中　通り　学校の外が街灯がなくてこわいので、明るくなればいいなと思う。	◇#1
		・道路がほしい	◇#1
		・道路がくずれる事が多い	◇#1
	就労支援	・仕事がかぎられる。	◇#1
		・仕事が少ない。	◇#1
		・仕事場。仕事がない	◇#1
		・自分の好きな事業ができる	◇#1
		・人がこの村の内で仕事をもって安心して暮らせることで、新しい若者も増える	◇#1
		・企業誘致等をしたら、人口も増えると思う（柚子だけじゃ難しい）	◇#1
		・サラリーマン農家を探す	◇#1
		・人口が下がりつづけている。→特徴を生かし切れていいないのでは？	◇#1
	移住支援	・産業の現実と教育の現場のカベを取り払って、移住者をもっと呼び込む ・キャンペーンを打ち出すべき ・子供を増やすには移住者を増やすことだと思う。	◇#1
		・子どもが少ない。→　柚子や自然を通した体験で交流　→　あわよくば移住してもらう	◇#1
	住宅政策	・移住したい人、移住した人が、なかなか住むところが決まらず途方にくれた。 受け入れ体制の強化を！	◇#1
		・空き家をどうする	◇#1
		・住む家がなかなかない。	◇#1
		・住めれる空き家が、家がない。移住希望者がいるのに、住む所がない。	◇#1
		・空き家が少ない。家を書いたくても見つからない…。	◇#1

6．複合化、PPP/PFIにむけて

施設の複合化	イメージ	・（複合化のイメージ）複合というと、１つ１つの施設を 同じ施設に入れるとイメージしがちであるが、パレットに色んな色が混ざるように 保小中の施設を混ぜることで北川村色がでるようにするのが今回目指す複合化と思っている。例えば、技術室の横で、村の方々が日曜大工をやっているような状況がいいのでは。	※2
	学びを軸に	・人口が減っていく中、全ての学級で複式学級になると、あまり良い印象を持 っていない人もいる中で、その対応としてＩＣＴを活用して他の学校の子どもたちと繋がって、複式学級特有の状況を和らげていくことなどが求められる。子どもたちの教育を本当に支援していく空間を作ってもらいたいし、地域から受け入れられるエリアであり、保育や学校であるというような構想をとりまとめていただくことを期待している。	※3
		・学びの保証というのが当初のスタートだったと考えている。学びがしっかりできる施設が基本中の基本だと考えている。その中で、コミュニティスクールを標榜していく中で、病院や診療所やカフェもあってもいいが、まずは子どもたちが安心して いられる場所であってほしいし、学びが確立される空間を作ってほしい。	※4
	地域交流のあり方	・小規模校では、地域との繋がりが強くて、その地域の活動が伝統的になったりして いる事例は多い。一人の子どもに関わる地域の方、大人の数は都市部よりも多いの ではないか。	※3
		・子どもたちの特性を踏まえて、地域の方に開かれた交流施設をつくっていく方向性は、現状の子どもたちの課題を解決するのに向いている。	※6
		・これまで学校というのは入りづらいイメージがあったが、外部と交流できるよう になると親近感もわき、地域でも子どもに声をかけやすくなる。	※6
		・大人との関わりというところでは、例えば英会話にしても、英会話できる環境を 大人の学び直しや、大人が子どもと関わりたいことを実現できる環境など、子ども たちの学び場に大人も一緒に学べる生涯学習の場といった意味合いで再構築してい くというのは大変重要なことではないか。	※7
		・子ども達の学びを考えたときに、必ずしも地域の方たちといつも触れ合っていることは適切ではないということもあり、 空間構成については追って示していきたい し、メリハリを効かせた空間を整理して提案していきたい。基本計画を踏まえて、 設計者のイメージが膨らむようなものを作っていけたらと思っている。	※5
	地域共用使い合い	・学校を拠点にして交流することを考えたとき、交流施設があるというよりは、家庭科室とランチルームみたいな場所が放課後になるとフードラボになって村の方々も来ることができたり、田舎寿司のような郷土料理をつくるところに子どもも来ていいよとか、また、図工室や技術室のような設備がある場所についても、ファブラボ みたいに３Ｄプリンターなどデジタル系のものとかが置かれていることで村の方々 も使えるようにするなどが考えられる。同じように、ミュージックラボとか、サイエンスラボ、スポーツラボなど学校全体が村のラボになっていくようなこともできるのではないかと考えている。大きな学校だと学校で使われる時間が多くなってし まうのでなかなか難しいが、少ない人数であればやりやすいと思っている。村の大人たちも学ぶ場所であるという考え方で特別教室を活用していくことは、PFI を検 討し民間事業者に運営を任せるのであれば可能ではないか。	※4
		・学校の地域開放について、地域の人が使っているときは子ども達が使えないとか子 ども達が使っているときは地域が使えないっていうイメージを持たれがちだが、そ れも空間の作り方によっては、あっちでおじいちゃんがやっているけど、こっちで は授業をやっているとかっていうようなこともあり得る。「あの人はいつも何を作 っているのだろう」みたいなことから、子どもたちが自然と交流して行く環境って いうのは作っていけると思うので、そのあたりの可能性を広げていけるといい。	※4
		・教育施設でも、使っていない場合は単なる箱であるため、そういった使っていない時間は自由に使える仕組みを作ることは、これからの複合化のあり方のひとつなのだと思う。	※4
	村民会館との複合化	・学校と村民会館の合築は大賛成である。地域の中で暮らしている中で、特に調理室 はよく使うと思うが、別々でなくとも学校にあれば十分足りるのではないかという 気持ちもある。交流と言う観点からも同じような発想で良いのではないか。	※5
		・同じような施設は不要だと思っていたが、村民会館を学校に複合化させるのは良い案だと思う。ただ、村民会館が野友地区の災害避難拠点になっているので問題ない のかは気になるところである。（災害拠点づくりの内容をうけて）素晴らしい考えだと思う。	※5
		・公共施設マネジメントの考え方で、アセットマネジメント（※実際の所有者に代わ って管理・運用を行う業務）の観点からも良いと考えている。大人と子どもの活動 時間は異なるので、多目的ルームが使えそうであるし学校と村民会館と一緒にす るのは私も良い考えだ。	※5

施設の複合化	村民会館との複合化から生まれるイメージ	・今も北川村文化祭として村民会館で長い期間展示をしているが、そういうのも学校空間の一角で行っていくというのも 1 つあるのではないか。その期間が、例えば、子供たちの様子を見る授業参観の期間になるということもある。あるいはイベントや 発表会みたいなものを学校の体育館を使い、子供たちが運営をサポートする側に なって、例えばフランクフルトを焼いてお爺ちゃんお婆ちゃんに提供する等の機会にも使っていける可能性が広がっていく。教育の方にも大変効果が出てくると考 えている。特に、北川村の課題になっている新しいチャレンジあるいは自分でいろ んな機会をつくっていける場面も増えていく学校になっていくのではないかという ことを感じている。	※5
		・以前、美術館を検討したときには、美術館は廊下でいいのではという考えもあっ た。そういう意味では、学校が美術館になっていって、ビエンナーレやトリエンナ ーレが行われていくのは非常に面白いと思う。	※5
		・モネの庭もあるので、アートと絡めた取り組みもできるのでは ないかと考えている。	※5
		・これまで子どもたちが作成していったものを保管するなど博物館的な機能を付加す ることも考えている。	※6
PPP/PFI	あり方	・教育施設は収益がなかなか見込めないと考えている。教育環境を安定して保ちつつ、北川村オリジナルなPFIのかたちが検討されていると思っている。	※2
		・経済的資産というよりも、文化的資産となることを大切にすべきである。	※7
		・北川村の基本計画検討委員会について、私はすごいと思っていて、多分民間に公募 してもこれ以上のアイデアが出てくる民間企業はそんなにないと思う。だから、今 後公募していろんな施設を公民連携で整備を行うにしても、通常のやり方で公共が 発注して民間が提案を出してから、提案の中から選ぶというやり方ではどうもうま くいかないなという認識をすごく持っている。民間の方々と公共だけでなく、住民 の方々などいろんな人が集まってきてみんなで作り上げるようなプロセスが大切だ と思う。今までの公民連携と違うスキームを考えなきゃいけないと思ってちょっと 悩ましくなっている。今日参考になったのは、子供の創作に使える点であり、本を 子供達が作る教育など面白いことができると感じた。	※5
PPP/PFI（可能性）	複合化の機能	・PFI については、民間企業からすると収入が得られることが重要になるので制約が ない方が良い。京都の御池中学校の事例を見れば、カフェレストラン、イタリアン レストラン、高齢者施設や保育園もあって乳児園も様々ある。そういった事例を踏まえれば難しくはない。	※4
	高齢者	・高齢者施設は必ずニーズが出てくるとかあるところでもあるので、そういう方々と 異年齢の交流が生まれるということも良いことであると思う。また、重度の障害の あるお子さんのための学校、例えば特別な支援が必要な肢体不自由のお子さんの学校となると、おそらく県内からも集まってくると思う。その子どもたちが学んでい る姿を子どもたちが見聞きしながら、ともに学ぶ姿がみられる。これら高齢者施設等 の併設の事例はたくさんあると思うので、それが北川村全体の仕組み作りの中でマ ッチするかどうかは検討されたらいい。	※7
PPP/PFI（可能性）	スポーツ	・地域の総合スポーツ施設となると、プールを温水化するなどスペックが高くなると 思うので、それが必要かは議論をする必要がある。複合化の事例で言えば、グラウ ンドやプールなどの施設のメンテナンスや維持管理を民間の運営会社に任せること ができるので、学校側の負担が減り、学校側にメリットがあると聞いている。民間 にどこまで任せるのか次第であるが、両者にとって WIN ―WIN になるような選 択にもなりうると思った。	※7
		・統合型スポーツクラ ブに関して、施設の話から入っているが、別に施設がどうこうではなくプールも 体育館も学校ごとにあるのがおかしいという話の中で、サークル活動にしても、学校単位でやっているものを統合型スポーツクラブに全てまとめて統一していきまし ょうということである。また、そこには本当のプロの専門の指導者がいて、先生達 の労力を減らすという大きなメリットもある。 全国には 3000 以上の統合型スポー ツクラブがあって経営がうまくいっているのは、そのうちの一割 300 ぐらいって言 われている。北川村のような 1000 人規模の自治体であれば、施設そのものを学校 の施設ではなくて統合型スポーツクラブの施設として作って、その施設を学校が使 う形も良いのではないかと考えており、統合型スポーツクラブの理念をきちんとつ くっていくということも大事だと思っている。	※7
	芝・運営	・芝生については、目的が何か次第である。都市部では緑化率を上げることや砂埃を なくすために芝生化を進めていることも多い。一方で、人工芝は見た目は同じであ るが、転んだりした時の摩擦熱などで怪我をする場合もあるので、様々な側面があ ることを踏まえて検討してもらいたい。また、日本では維持管理は大変であるのは あるが、芝生を維持管理することで地域と関わりを作っていくなど、それを通して 何ができるのかを考えていくのが良いと思う。	※7

		・芝生は何の目的のために実施したいのかを検討するべきである。昔は、芝生は夢の また夢であったが、芝生で子どもを裸足で走り回らせたいとか、あるいは熱中症防 止対策でやりたいとか、子どもの健康のためにやりたいなど、目的をしっかりと定 めて方向性を見出していないと、単に維持管理が面倒だから止めておきましょうっ ていうことにつながる。	※7
	放課後	・学童保育も一体的に考えていかないといけないと考えている。 ・現在、放課後こども教室においては 20 名ほどが参加している。また、学力ステップアップ教室も村民会館で開催していて、そちらにも自分の学年の対象日に児童が参加している。 子ども会の卓球やバレーに所属している子は、週 2 ～ 3 回体育館の方で活動しており、これが放課後の小学生の過ごし方になる。中学生公営塾は 7 月から夜間に開催している。 活動などのコーディネーターについては配置に向けて検討していく。 ・放課後に子どもたちが宿題をしたりするような個室などもあると良いのではないか。	※3 ※3 ※6
PPP/PFI	運営管理	・私の 50 年前の和歌山県での経験であるが、個人図書館の取り組み（大人の生き様 や年上の人間が生徒に話をするなど）は意味があったと感じている。そういった取り組みを企画・運営するコーディネーターの存在は重要である。	※3
		・管理の面は検討しないといけないが、そういった環境（地域共用）は良いと思う。	※6
		・誰でも気軽に立ち寄れる場としての学校については、管理面も含めて考え て精査していかないと良い関係にはならない。	※7
		・特別教室の住民利用を考える際に、日中は貸館により様々な教室をそこで行いたいという話も出ているが、学校と住民参加の調整をきちんとコーディネートできる人 の常駐というものは大事になってくる。ソフトのマネジメントが大変重要になって くる中で、どういう運営体制を組んでいくのかは PPP も関連してくる内容になると 考えており、この辺りを精査して行くことが今後大切になってくると考えている。	※5
PPP/PFI	既存施設 村民会館 の機能	・現在、教育委員会の事務局が村民会館に入っているので、これをどう考えていくかということが 1 つ重要なポイントになる。また、その時役場をどう考えていくのか ということにも関わってくる内容なのではないかと思っている。	※5
		・村民会館にある教育委員会についてであるが、役場自体は耐震補強もしているので、立て直すなどはもったいない話である。ただ、役場（施設）の機能の見直しに ついては現在検討事項に入っており、教育委員会の場所についても平行して検討し ていきたい。	※5
今後にむけての 検討課題課題	共考 共創	・そもそも村として一貫校化することや複合化をするのは、手段であって、目的が あると理解している。その目的をみなさんと共有していくことが重要であると理 解している。	※6
		・指針と 基本理念の関連性についても、もう少し分かりやすく説明をしては。	※7
		・どうしても難しい話をしていかなければならない中で、こういう遊び心を 持ってみんなが楽しんでいく環境を考え、子どもたちがこの村に魅力を持ってもら い、大人の姿を見て自分もこういうことをやってみようと思ってもらうことが大切 なのではないか。	※7
		・保小中ひとつずつ しかない北川村では、一つこれを成し遂げたならこの村は変わるという重みもある のかもしれないけども、逆に一つでいいのだから、もっと楽しく大人も楽しく気軽 に考えていけるような基本計画書であってほしいと願っている。	※7
		・北川村の基本計画検討委員会について、私はすごいと思っていて、多分民間に公募 してもこれ以上のアイデアが出てくる民間企業はそんなにないと思う。だから、今 後公募していろんな施設を公民連携で整備を行うにしても、通常のやり方で公共が 発注して民間が提案を出してから、提案の中から選ぶというやり方ではどうもうま くいかないなという認識をすごく持っている。民間の方々と公共だけでなく、住民 の方々などいろんな人が集まってきてみんなで作り上げるようなプロセスが大切だ と思う。今までの公民連携と違うスキームを考えなきゃいけないと思ってちょっと 悩ましくなっている。今日参考になったのは、子供の創作に使える点であり、本を 子供達が作る教育など面白いことができると感じた。	※5
	視察の 必要性	・保育所を一緒にすることの意味についてご発言があったが、今後一貫校や 複合化に舵を切っていく場合は、全国で一貫校化などの事例がたくさんあるの で、そういった事例も踏まえて検討していければと思う。	※6
		・ 教育の内容について議論をして行く際に現場の先生方が豊かにそのイメージが持 てるのかはすごく大事だと考えている。県内で言うと、例えば香美市大宮小学校は 国際バカロレア教育を導入し、特色ある教育を行っているので、異動のある先生方 がそういった特色のある学校に異動した際に、どう向き合えているのかといったことが学べるのではないか。 そこでは、もうすでに机が四角ではなく台形の形が使わ れていて、廊下との間の壁がなくオープンスペースがある状況だった。そういうも のを見聞きしてくるとイメージもより豊かになって議論が深まっていくと感じた。	※6

今後にむけての 検討課題課題	教育に ついての 具体化 深化	・北川村特有のここで自分の人 生捨てても子どもたちをここで育てたいと思うような教育というのは一体何なのか という議論をするべきではないか。もう少し先鋭的な議論を行って、そこから導き 出されるあるべき建物っていうのは何かを考えたい。学校を立てて改築すると 40 年先 50 年先の話なので、議論を深めたほうがいいのではないかなと思っている。	※6
		・今の学習指導要領がはやくも次の改訂を考えて いく時期に来ていて、今建物を考えたとしてもできあがるのは数年後であれば、数 年間のギャップが出て、設備も新しいものが出てくる可能性もある。次の教育と北川村の教育がマッチしているのか、が重要。	※7
		・子どもって非常に大変で忙しいだろうなって言うのがよくわかった。我々の子どもの頃は、大人のいないところに行きたくてしょうがなかった。いろんなことをやら されるという思いがあったが、今は大人の人たちが自分たちを守ってくれてなんか いいことをやってくれてるんだっていう感覚をもっている。昔は自分が子供の頃は 1 クラス 55 人教室で、自分が通っていた学校は小学校だけで 1200 人いた。自分の クラスの友達の中には 20 人ぐらいは名前も顔もわからない人がいた。今では与え られてくるものが多くなって情報量も多くなってくる中で、子どもたちがこれから 本当に育っていくのに何が必要なのかいつも迷っている。ただ、我々の育った 60 年前とはずいぶん違う状況も確かなので、今の子どもたちのために何が出来るのか 真剣に考えなければいけないと考えている。	※4
		・北川村の教育ビジョン、教育サービスなどソフトの部分を具 体的に考えていかないといけないと考えている。そこがクリアになれば、様々な設 計を含めて手段を検討できる。 今見せて頂いた写真に対して、北川村だとどうなる かという話について、頭の中に「北川村ではこういう教育したいな」ということが あるから、この写真に対する評価が出てくるのだと思うので、その部分をうまくま とめていく作業がこれから重要であると考えている。	※6
		・教育を通じて子育て世代を呼び込むことと子どもたち の教育をより良くすることが目的だと理解している。前者については、教育だけ ひとを呼び込むのは非常に難しい。 そのため、就業環境や医療などの北川村のフ ァンダメンタルズ（基礎的な要素）が整備されないと難しい。後者については、 一貫校化は、子どもたちにとって、各校種の接続をスムーズにするというのが大 きい。上級生が下の子どもたちとの交流することで、人の繋がりとか人の豊かさ みたいなものが育まれるメリットがあると思う。 一貫校化することが、どのよう な効果を得られるのかという分析はしっかり検討すべきであると思っている。加えて、 2 つの目的に対して北川村の子どもたちにとって、どのような効果がある のかを分析できればと思っている。	※6

７．施設について

7-1　施設・建物のあり方

施設・建物のあり方	全体	・施設の空間に 付随されていくものについて、教育のあり方も含めて、地域の意見を吸い上げるシステムの中で、柔軟に可変していけるような柔らかさのある建物を目指していくことも大切ではないかという話があった。また、何のためにというところを大事にす べきではないか、地域に発信していくことも多様性を育むことも大事だが、単に外 部に向いているだけではなく、村の子どもたちのためではないかというようなことも大切である。	※7
		・全校共有のスペース（他学年との交流を増やす）	◎#2
		・全部の教科が一つの教室になってほしい。　・移動が楽だから。	◎#2
		・自然に囲まれていて、生き物とふれられる環境。	■ #1
		・掃除がしやすい	■ #2
	保小中	・様子が見える　☆他の子から刺激がもらえる　→　がんばろう！期待！ ☆保小（低）が使える中庭、広い運動場	■ #2
		・保小中が一緒に使う施設の工夫　　みんなが使える体育館 ・運動場（保小遊具、小中）・体育館　・プール	■ #2
		・理科室、家庭科室など、共同で使う教室の中の机やイスなどの サイズは、どうするのか（階段、棚など…）　色	■ #2
		・休み時間に遊ぶ時、保～中ほどの年齢幅があるとキケンではないか 専門的に使うのは、どの学年から？→　そこに合わせて考えてはどうか？	■ #2
		・小学校のグラウンドだと、中学校には狭くて、走るのが難しい。	■ #2
		・チャイムが違う　　授業中だけど、外がうるさくなると集中できない子が多くいる。	■ #2
	地域連携	・０歳～100歳みんなが集える総合施設 ・（地域の）活気を取り戻したい	◇#2 ◇#1
		・地域の人と共に活動ができるスペースの活用	■ #2
		・保小中、地域の人が活動できる広い場所がほしい ＝図書館（村）、ワークスペース、作業場、調理室	■ #2
		・保小中としてではなく、村と学校の共有できることは何かを考えることも大切 ・村と図書館、・婦人会等に給食センター利用OK ・プールの一般利用OK年寄りの健康増進、　・技術室等の機会の村との共有（備品等）	■ #2
	施設の一体化（配置）	・保小中、役場など近くにそろっている。	◇#1
		・学校　保育所　介護施設　点在している　→　まとめて！！	◇#1
		・小中と校舎が別々。保小中と同じエリア（移動するときもカサがいらない）だったらいい。	◇#1
		・体育館に行くのに、公道にでるのは危険　すぐに改善	■ #2
		・体育館　・車道を通っていく危険　・上履きをもって移動→　すぐ行けるような体育館	■ #2
		・屋外へでなくても移動ができる設備（保小中にむけて）	■ #2
		・今ある施設配置にこだわらず、今ある土地にどのように配置すべきか、ベストを考える。 （利便性）（保小中にむけて）	■ #2
		・移動距離が長い	◎#1
	建物	・施設の空間に 付随されていくものについて、教育のあり方も含めて、地域の意見を吸い上げるシステムの中で、柔軟に可変していけるような柔らかさのある建物を目指していくことも大切ではないかという話があった。	※7
		・財政というものを考えたときに、夢があることはいいが、財政 負担を考え、壮大なものを作るだけではなく、簡素であっても魅力的なものはできる。	※7
		・子どもが少なくなったら、施設等もいらなくなる	◇#1
		・今のままの学校がよい。	○#2-6
		・今のままでいい。	○#2-6
	防災	・地震・津波（海から、山から、ダムから）に対応できる施設	■ #2
		・体育館は避難所にもなるので、エアコン設置	■ #2
		・内階段は２箇所必要か　安全上	■ #2
		・阪神淡路大震災などの経験を踏まえて、こういった防災備品が増えてきているのは実感している。実際、災害が発生した際にはモノに頼らない対応が重要である。	※5
		・防災については、子どもにとって重要である。学校施設の中で普段から防災のこと を学べるのは大切だと考えている。	※5
		・園として防災を地域の方と一緒に取り組むのは少ない。みんなで一緒にできることとなれば望ましい。	※5
		・防災学習を学校でやっていくのは良いと思った。	※5

建物のあり方	木造 木質化	・木がいっぱいある学校。気持ちがいい。	○#2-6
		・木がいっぱいの学校がいい。	○#2-4
		・木いっぱいの学校がよい。（いつでも木のにおい）	○#2-6
		・木がいっぱい。	○#2-5
		・木だけで、体育館とか、図書館とかを作ってほしい。 気持ちが良くて、すがすがしい気持ちと落ち着くから。	○#2-6
		・木が多かったらいいにおいだし、自然を感じられて気持ち良いから。	○#2-6
		・木がたくさんあると、落ち着くし、過ごしやすい。	○#2-5
		・木のいいにおいがしそう。でも、ボールがはさまりそう。	○#2-4
		・木のにおい（メリット）	○#2-5
		・カビがはえる（デメリット）、しっける（デメリット）	○#2-5
		・きがこわれそうでやだ。	○#2-4
		・木質化も同じであり、木質の方が良いと思っている。先ほど言ったように部屋の環 境がマイルドになっていくということもあって、同じように目的意識がもうちょっ と明確でないといけない。国の方が木質化を進めているのは木材資源を使いたかっ たというのがその頃はあったが、今は逆に木材が足りなくなってきているという状 況である。子どもたちのために木質化が重要というところは議論をしておく必要が あると思っている。	※7
		・木質化、木造化については、最終的にはコストとの兼ね合いと考えているが、学び の環境としては大変良いと思っている。一方で、屋外の雨晒しの部分はメンテナン スの問題がでてくる。年１回地域と一緒に防腐剤を塗ったりするなど事例があり、 学校が地域のものであるということを理解するための木質化という話にもなる。	※7
	象徴性	・学校の目印があると分かりやすいし、ｼﾝﾎﾞﾙﾏｰｸがあるとかっこいい。	○#2-5
		・学校の場所が分かるようにするため、あんな高い時計台があっておもしろい。	○#2-5
		・ゆずのとけいだいをめじるしにしたい。	○#2-4
		・ゆずのとけいがほしい。（ゆずのはたでもいい）（２名）	○#2-4
		・やねにゆずのめじるしがあるといい。北川村やなって、わかる。	○#2-4
		・やねのうえにべんきょうしているところ	○#2-4
		・入り口の門のよこに、ゆずの木を１本植えたい。	○#2-4
		・北小とゆうはたをたてるとよいと思う。	○#2-4
		・慎太郎とゆずの銅像	○#2-5
		・みんなが銅像を展示する。	○#2-6
		・学校に目印がある。校長先生の顔がでる。	○#2-5
		・大きいし、学校はすぐ見つけられるから、いらないと思う。	○#2-5
		・とけいは、金がもったいない。	○#2-5
	その他 設備	・水力発電　→ソーラーパネルをすてるときかんきょうにわるいから	○#2
		・おそうじロボ（そうじを児童でしてくれるから）	○#2

7-2　幼保一体施設・義務教育学校　専有空間

幼保一体施設	保育環境	・保育園は、小学生の様子が隣から見られる環境　　あこがれを持つ	■ #2
	異年齢対応	・保育の隣接が良いが、いつでも関われる環境（発達に応じた環境の保障）	■ #2
		・場所（園庭など）の確保	■ #2
	広さ 可変性	・施設の広さについて、現在の年長が６名、年中４名、年少３名で人数も少なく、現在の状況で十分ではないかと考えている。ただ、今後人数がさらに減ることで、年 長も一緒になると、その状況に合わせて用途が変更できるようになると良い。	※6
義務教育学校 学習環境	教室環境	・普通教室が現在よりも狭くなる というイメージがつきにくい。特に中学生は体が大きくなる時期であり、現在はゆったりと学習ができる環境だが、それが狭くなることによって少し窮屈になるので はないかという印象を持った。	※5
		・写真をみた感じでは狭くないと思ったが、電子黒板など多くの備品があるので少し 狭くなると感じている。可動式については、防音ができていれば可動式の間仕切り は使い勝手が良くて魅力的である。	※6
		・もっと広くしてほしい。	○#2
		・教室は広くてつくえをつなげたい。	○#2-4
		・教室に直接日光が入りすぎ。ひさし必要	■ #2
		・もっと明るく個性的に。いてうれしくなる場所に。	◎#1
		・木のにおいでくしゃみがでそう。アレルギー	○#2-5
		・てんじょうに木があっていい。たかくていい。	○#2-4
教室	コーナー	・つかまえた生き物を虫カゴにいれて、１週間くらいてんじする部屋をつくってほしい。	○#2
		・教室にも本のコーナーがあると良いと思う。	○#2-5
		・教室にも、本のコーナー	○#2-5
		・たたみで本がよめるのはいい。	○#2-5
		・たたみがある教室	○#2-6
		・本のコーナー（和室）	○#2-6
		・たたみがある和室が良い	○#2-6
		・たたみで本がよめる	○#2-6
	家具 しつらえ	・タブレット端末が導入されたことで机が狭くなっているのではないかと感じている。どう対応するかは気になっている。	※6
		・机の大きさについて、現在、文部科学省省の委員会でもタブレットが導入されてど うなるのかという議論は継続して行っている状況である。タブレットが全員に配ら れている段階で全員同時に自分の手元で何かを見るということもできるとなった時 に、一斉に同じ方向を向いている机ということも将来的にどうなるのかわからない というような議論もある。 現にヨーロッパなど他の外国の学校を見てみると、低学 年ではテーブル形式で４人とか６人とかで学習するスタイルもあり、その辺りは現 在過渡期なので議論しにくい部分もあるが、少し柔軟に考えてもいいのではないか というふうに思っている。北川村のことで言えば、児童生徒数が非常にコンパクト な規模感ということは、逆に捉えると非常に柔軟な運用ができることにもなるの で、例えば一斉的な全員で前を向いて先生の黒板の場面を見るような授業をする空 間もあれば、グループで行う部屋もあるというような空間も可能だと思っている。 なので、個別最適の学びということが今後空間的にどうなっていくのかということも同時にイメージしながら議論を行っていきたい。	※6
		・座るソファがほしい。（つかれたら座れるから。ヨギボーなど）	○#2
		・遊ぶ物がもっとほしい。・ゲーム機がほしい。（休み時間にゲームがしたいから）	○#2
	設備	・れいぞう庫がほしい。（ジュースを持参して冷やしたいから。）	○#2
		・れいぞうこ（れいとうこ）すいとうのお茶がぬるくなった時、氷を新しいのをいれれるから	○#2
		・コーラ冷水機がほしい。（休み時間にコーラがほしい）	○#2
		・ロボット　理由：常に楽しくおれそう。先生がいない時に使う。	○#2
		・クーラーがついている。	◎#1
	既存に対し（好きな理由）	・おちつくから。けしきがきれいだから！クーラーがつくている。	◎#1
		・勉強がいっぱいできるから。友達がいるから。	○-1
		・勉強したりみんなと遊んだりして思い出の場所だから。	○-2
		・勉強ができるから。やのわかこ先生が大すきだから。	○-2
		・みんなと楽しく過ごしている場所だから。	○#1-6
		・みんなとたくさん勉強して、落ち着く所だから	○#1-6
		・みんなといっしょに勉強できるし、自分のつくえがあっておちつくから。	○#1-6
		・みんなが明るくて元気になれるから	○#1-6

ｵｰﾌﾟﾝｽﾍﾟｰｽ（新設）	活動イメージ	・教室の近くにオープンスペース（異年齢・地域交流）	■ #2
		・オープンスペースに談話できる所！！	■ #1
		・子どもや教職員が気軽に話したり、勉強しあえるスペース	■ #2
		・ろうかにも、本を読めるところがほしい。（教室の近く）	○#2-5
		・いろいろなおもしろい場所がほしい。	○#2-6
		・いろいろおもしろい場所。	○#2-5
		・おもしろい場所がほしい。	○#2-4
		・アスレチックとかがありそう。	○#2-5
		・へやに少しアスレチックみたいなのがほしい。	○#2-4
	しつらえ	・オープンすぎない教室や空間（そのときどきで簡単に変えられるようにしたい）	■ #2
		・オープンスペースは小学生低学年にとっては魅力的であるが、中学生がそれと同じようなものが必要なのかは考える必要があると思う。	※5
		・丸い机があるし、机を動かさなくてもいいから楽。	○#2-6
	個別対応室	・個別対応ができる部屋（複数）（小さくても可）	■ #2
エントランス	校門	・登校するときに、気持ちよく入りたいので、自分のどう像を置いてほしい。	○#2
		・（正門入ってすぐの木）かげがある。木の下に立っていると、色々な風景が目に入る。	○#1-5
	表札	・じぶんがかよっている学校だなって思うからです。	○#1-4
		・入り口のマークが好きだから。いっつもこの入り口をくぐっていたから。	○-3
昇降口	既存に対し	・掲示物が多く、いつも変わるので見ていて楽しい。	◎#1
	しつらえ	・学校に来て、明るい気分になるように	◎#1
		・そのまま靴で学校に入れる靴をぬぐのがめんどくさい	◎#2
北校舎 ↔ 南校舎	既存に対し	・雨の日に、渡り廊下を歩いていたら、雨が入ってきてぬれるから。	◎#1
		・すべることころがある。雨が体に当たる。	◎#1
		・すべる。	◎#1
		・せまいから、自転車で通るとき危ない。	◎#1
		・移動がしんどいから。遠いから。自転車がとおりにくい。	◎#1
小学校 ↔ 多目的	既存に対し	・帰り道、小学生をひきそうになる	◎#1
北校舎 ↔ 体育館	既存に対し	・北校舎→体育館　移動が大変	◎#1
通路空間（廊下）	イメージ	・学校と体育館がつながっている（移動が楽）	◎#2
		・教室の窓からでたら、すぐにプール	◎#2
		・屋上に畑　理由：移動が楽	◎#2
		・ベルトコンベアで給食を運んでもらう。楽だから。生活しやすくなる。	○#2
		・ベルトコンベアーで給食をはこぶのは、こわれたら給食がたべられなくなるからいや。	○#2
	サイン	・（手づくりサインに対して）一年生も絵がかけていいと思う。楽しい！！	○#2-5
		・（手づくりサインに対して）教室などのところにサインをつけてほしい	○#2-4
	既存に対し	・もっと華やかに。通って楽しいところに。	◎#1
		・白いのがつくから。	◎#1
通路空間（階段）	イメージ	・給食の時間に、ご飯を運ぶときに大変なので、エスカレーターか、エレベーターをつけてほしい。	○#2
		・階段をエスカレーターにして、行き来できるようにしてほしい。（半分だけ階段にする。）階段だとこけそうで、早く行くことができなくて、おくれそうになるときがあるから。けがしてる人や骨折した人が、楽に行き来できるから。	○#2
		・エスカレーターを下りる用と上がる用２台ずつ。行列になったとしても、２台ずつあれば、けんかにならず、行き来することができるから。	○#2
		・エスカレーターをつけるという人がいたけど、いいと思った。	○#2
		・エスカレーターがほしい。	○#2
		・エレベーター 車いすの人が階段を上がり下りしづらい時にエレベーターがあると誰でも楽に上の階や下の階にいくことができるから。	◎#2
	既存に対し	・（小学校２F）絵がとてもきれいで、かいだんはとうこうしているとき見るから	○#1-4
		・（南校舎１F）階段の段差でつまづく。	◎#1
		・（南校舎１F）変な段差につまづくことがあるから。段の高さが変やから。	◎#1
		・（北校舎２F）滑りやすい。	◎#1
		・（北校舎２F）もっとおしゃれに。最後の１段が危険。	◎#1
		・（体育館）窓が高くて開けられないから、通気性が悪い！！それに暑い！！	◎#1
屋上	イメージ	・てんぼう台をつけてほしい。	○#2

トイレ	洋式	・洋式トイレをもっと増やしてほしい。	○#2
		・（南校舎１F）もっと洋式を増やしてほしい	◎#1
		・（南校舎１F）和式が多い！せまい。床が変。掃除が大変。	◎#1
		・（特別校舎）全部が洋式じゃない。体育館も。	◎#1
		・（体育館）和式しかないから、洋式にしてほしい。	◎#1
		・（体育館）和式が多い。せまいから。変なにおいがするから。	◎#1
		・トイレ洋式も	■ #2
		・トイレ　個室（男も）洋式　安心	■ #2
	配置	・（南校舎１F）トイレが２階と北校舎にない。不便。	◎#1
		・２階にトイレ　理由：トイレのためだけに下にいくのが大変だから。	○#2
		・といれを２階においてほしい。→下に行くのに時間がかかるから。	○#2
		・２階にもトイレを作る。	○#2
	しつらえ	・にぎやかで、カラフルなトイレがほしい。	○#2-4
		・いろがからふるでいい。	○#2-4
		・カラフルでいい。・カラフルなトイレがほしい。	○#2-4
		・カラフルで、おしゃれ！！みんなで低学年が洗える。	○#2-5
		・めがちかちかしてやだ。	○#2-4
		・おちついてトイレできない。	○#2-5
		・ここちよいトイレ	○#2-5
		・ここちよいトイレ	○#2-6
	（既存）	・（南校舎１F）夏暑い。冬寒い。	◎#1
		・（特別校舎）落ち着く。	◎#1
		・（小学校）おちつくから。	◎#1
		・（体育館）せまい。換気がととのっていない。	◎#1
	手洗い	・ごうかなトイレがほしい。手をあらうところも大・小ほしい。	○#2-4
		・ごうかなトイレがほしい。 手あらい場は、小さい子ように大小の手あらい場を作ったらいい。	○#2-4
		・でかく横長のかがみがいいと思う。	○#2-5
更衣室	既存に対し	・物置き状態	◎#1
	しつらえ	・色んな場所に鏡をせっち（身なりをチェック）	◎#2

特別支援教室	しつらえ	・これまで特別支援学級ができるたびに、中を改修してきた経緯があるので、レイアウトを簡単に変えられるのはいいと考えている。	※6
		・特別支援学級についても、間仕切りを設けると同時に、どこの場所に設置するのかも重要である。プライバシーの観点からも、落ち着いた空間も重要であるので、そ ういった内容も追記していきたい。	※6
その他支援環境	必要な空間	・個別対応ができる部屋（複数）（小さくても可）	■ #2
		・教室に入りづらい児童・生徒への対応を行う部屋	■ #2
保健室	しつらえ	・ほけん室を広くしたい。けがした人をはこぶやつもほしい。あるけないかもしれないから。	○#2
相談室	相談	・子どもが何かしら相談する場所があったらいいではないかと思う。	※5
	既存に対し	・息抜きができる。お話ができる。（好きな理由）	◎#1
カウンセラー室	既存に対し	・相談したい事を話せるし、カウンセラーの先生がやさしくしてくれるから。（好きな理由）	○#1-5

職員室	職員室 環境	・職員室広いスペース	■ #2
		・先生方がやすめるところがほしい。	○#2
		・先生がつかれているので、休める場所があるといい。	○#2-5
		・先生たちが休けいやゆったりできるところがあってほしい。	○#2-4
		・先生が仕事がおわったとき、ゆっくりできる	○#2-4
		・先生たちが休けいできるしずかなスペースがいいと思います。	○#2-4
		・先生たちがやすめるところがほしい。（しずかなところ）	○#2-4
		・かたとか、うでがつかれるから、マッサージ機を買ってあげる。	○#2-4
		・マッサージきがほしい。（先生のため）	○#2-4
		・ベットのたくさんある、先生のへや。マッサージ機も。	○#2-5
		・先生たちの一人部屋	○#2-5
		・あんな不思議なところがあると、ユーモアな発想でおもしろい。	○#2-5
		・いすがちいちゃいから、やだ。いすがおおきくしてほしい。	○#2-4

職員室	配置 こどもとの 関係	・先生に声がかけやすい。	○#2-5
		・先生に声がかけやすい。先生もぼくたちのつくえにする。かたいいすにする。	○#2-5
		・教室とつなげてほしい。	○#2-5
		・先生が近くにいる。	○#2-5
		・わたしたちが、わいわいするとき、うるさい。	○#2-4
	職員交流	・子どももそうだけど、先生もね！教職員の交流の場（研修以外でも、もっと仲良くなろう） 時間が問題…かも。	■ #2
		・先生たちが、自由に放課後などお話できる場所がほしい。	○#2-4
		・先生のことを考えると、先生もらくでいられて、ゆっくりとお話できるソファか クッションをおいて、そのときだけでも、ねっころがってできるしょくいん室。	○#2-4
	既存に対し	・もっと明るい雰囲気に	◎#1
		・いつでもクーラーが効いている。何か売っている。ちょっと高い。	◎#1
		・何か売っているが、少し高い。	◎#1
会議室	保小中	・合同職員室（会議スペース）　小職員室	■ #2
	使い方	・雨の日とかに遊びたいので、しょうぎ場にしてほしい。	○#2
更衣室・トイレ	しつらえ	・くつろげるトイレ（パウダールーム、歯磨きができる）	■ #2

7-3　地域共用空間（特別教室＋複合化の可能性）

教科学習空間	全校共用	・全校共有のスペース（他学年との交流を増やす）	◎#2
		・全部の教科が一つの教室になってほしい。　・移動が楽だから。	◎#2
		・教科専用教室　ALT、CIR、ICTルーム（リモート可能）　小中で使えるよう、できれば複数	■ #2
		・教科用の教室や準備室が必要	■ #2
		・教室というのは教科名で付けられて しまうところがあるが、そこでは何をやる部屋なのかという観点で、改めて特別教 室のあり方を考えるなかで、一緒にしておいた方がいいものが見えてくると思って いる。	※5
		・カリキュラムあるいは先生方がどういうことを大事に授業を行うのかによっても組み合わせは変わってくるのだろうと考えている。今は基本計画なので、いろんな可能性があるというところを考えながら進めさせていただくのも１つ。その中 で、最終的にはこの組み合わせがいいのではないかというようなところを見つけて いけるといいのではないかと思っている。	※5
		・（例）ワーキングスペースという名 前で理科室と家庭科室を１つの教室で作っている。小学校だけなので調理実習が大 変少ないと言うこともあり、理科と兼用で使うということは全く問題ない状況であ る。	※5
		・（例）理科室兼家庭科室を取っていて、空いている方を使ったり、どちらかが空いてれば広げて使ったりという形で運用している。調理室はランチルー ムの奥にあり、ここで調理実習をしてランチルームで試食をするという使い方をし ている。このような形で効率的に使用頻度を考えて作っている例もあるので、柔軟 に考えていけたらいいと感じた。	※5
		・（例）音楽室みたいな音を出す部屋はオープンでなく閉めきっておく構造が 必要になるし、外国語教室も音を出す部屋であり、逆に音が外から入ってきても嫌 である。そういうことから、音を遮る機能をどういう部屋につけるのかも考えてお く必要があると思った。	※5
		・（例）小学校の図工は、イメージだとアートなので一般的に美術室とな るが、技術家庭の学習として技術室を兼用している例もある。現在木工金 工などものづくりの学習を扱う授業時数が減ってきているので、図工と技術家庭の 学習を１つの教室で使用する例もある。	※5
	地域共用	・０歳～100歳みんなが集える総合施設	◇#2
		・地域の人と共に活動ができるスペースの活用	■ #2
		・保小中、地域の人が活動できる広い場所がほしい ＝図書館（村）、ワークスペース、作業場、調理室	■ #2
		・保小中としてではなく、村と学校の共有できることは何かを考えることも大切 ・村と図書館、・婦人会等に給食センター利用OK ・プールの一般利用OK年寄りの健康増進、　・技術室等の機会の村との共有（備品等）	■ #2
		・家庭科室や理科室は子どもたちや先生が使用していないときに、村民に開放することはよい	※6
ラボ （生活科・理科）	しつらえ	・理科室などを増やしてほしい。理由：いちいち中学校までいのが、めんどうだから。	○#2
		・理科室は、外でも使用できるし、外で勉強とは、発想がおもしろい。室内もかっこいい。	○#2-5
		・いろいろなことができる理科室	○#2-6
		・いろいろなりかじっけんができる	○#2-4
		・外とつながる理科室。外で勉強できる場所	○#2-6
		・そととつながる理科室	○#2-6
		・わくわくしながら、理科ができてほしい。（観察など）	○#2-6
ラボ（工作）	活動 イメージ	・工作室がほしい	○#2-4
		・ものづくりの場所	○#2-5
		・ものづくりのへやがあって、たのしそう。ものがたくさんつくれるからいい。	○#2-4
		・みんなで工作できるから、楽しそう。図工室がないから。	○#2-5
		・工作が作れる場所がほしい。	○#2
		・自然をいかして　木を使った授業（何か作る）	○#2
		・ものづくりの教室がほしい。道具がいっぱいがいい。休み時間にもいける。	○#2-4
		・じゅ業のときや休み時間のところに工作のできるところがほしい。	○#2-4
		・工作室がほしい。休み時間も工作したい。それをもって帰りたい。	○#2-4
		・自分がみんなとDIYできる	○#2-5
		・クラスで自由にDIY	◎#2
	しつらえ	・様々な工具もあって、楽しそうだし、工作の所は、研究所みたいでかっこいい。	○#2-5
		・フィンランド風のが良い	○#2-5
		・えを書くかみのだいがあるとうれしい。つくえがいっぱいになるから	○#2-4
		・工具がそろっている。	○#2-5
		・ざいりょうがいっぱいあっていい。	○#2-4
		・ものづくりしながら、道具の名前を覚えられる。	○#2-5

ラボ（美術）	既存に対し	・美術が好きだから。森林がみえるから。⇒けしきがきれいだから。	◎#1
		・机があまり好きじゃない。	◎#1
ラボ（家庭科） （キッチンラボ）	既存に対し	・（被服室）さいほうができる。（ので好き）	◎#1
	しつらえ	・家庭科室が現在は別々である調理室と被服室とをまとめて一緒にして、地域の方も 活用できるというのはとても良いと思う。	※5
		・自由度の高い調理室　・大きい調理室と少人数で使用可能な調理室が複数あったらな…。	◇#2
		・加工施設　村の特産品を使った商品を作れる誰もが使える施設。 食品を作ってみたいと思ったときに、皆が使える加工機器がそろっている。 フリーズドライの機械など子どもたちも授業で使えるといいので、学校に近くにあるとよい	◇#2
	活動 イメージ	・何か料理出来る所	◎#2
		・食育の面で、料理ができるような空間があったら良いと思う。	※6
ラボ（たたみ）		・畳の空間はリラックスでき、子どもを安全に遊ばすことができるのではないか。	※6
ホール（音楽）	広さ しつらえ	・もっと広くしてほしい	○#2
		・もっと楽器を増やして教室の幅を広げると、もっと楽しく音楽の授業ができると思う。	○#2
		・ダンスができるカガミの部屋がほしい。	○#2
		・防音室がほしい。	○#2
		・カラオケができる場所	○#2
		・カラオケボックス（ストレス発散になるから）	○#2
	楽器等	・音楽　楽器が沢山ある所	◎#2
		・楽器を増やしてほしい	○#2
	既存に対し	・音楽が好きだから。広い。楽器があるから。	◎#1
		・雰囲気が好き。床が好き。	◎#1
		・歌やけんばんハーモニカができるから。	○-2
		・いろんな楽器があって、音やひびきもそれぞれちがうくていろんな音が楽しめる。 歌を歌うと気分が良くなって気分がいいまま教室に帰れるから。	○-3
		・図書室だったら、本がもっと増えていろんな本が読めるようにしたい。 音楽室だったら楽器が増えていろんな楽器を使えるようにしたい。 知らない楽器もほしい。図書室や音楽室など広くしたい。	○-3
		・元気でうたうから。	○#1-4
		・もともとリコーダーが苦手だったけど、できるようになったのが音楽室だったから。	○#1-5
		・音楽の勉強が楽しいしぼくが好きな木琴があるから。	○#1-5
		・みんなで音楽の勉強をするのが好きだし、知らない楽器をさわれるから。	○#1-5
		・楽器がたくさんあるし、音楽の授業が好きだから。	○#1-6
		・みんなの歌声や楽器の音などを聞くことが楽しいから。	○#1-6
放送スタジオ	活動 イメージ	・短波ラジオ：村の住民がつくる番組、リスナーとDJがつながる	◇#2
		・スタジオ、カラオケ（あるとよい）	◇#2
プレイルーム （英語などの活動） （多目的）	活動 イメージ	・楽しく英語の勉強できるところがほしい。	○#2-4
		・楽しくて、みんなで英語ができていい。	○#2-4
		・楽しく英語ができる教室がほしい。	○#2-4
		・英語がみんなと楽しくできる。	○#2-5
		・楽しく英語ホーム	○#2-5
		・英語のへやがほしい。きせつによって、へやをかえてほしい。	○#2-4
		・ALTの先生とお話できるからいい	○#2-5
	しつらえ	・海外みたいな部屋で楽しく英語をやりたい	○#2-4
		・海外の物を取り入れると、他国の文化も分かる。	○#2-5
		・英語の勉強をしながら、外国風のくうかんで入れる。	○#2-5
		・ハリーポッターの城みたいでカッコイイ！！　ファンタジー	○#2-5
		・海外のふんいきがいい。	○#2-5
		・こっきとかあっていい。どこかおぼえれていい。	○#2-4
		・気分が上がって、授業は受けられるけど、集中できなさそう。	○#2-5
ホール（多目的）	しつらえ	・広くてきれいでいい	◎#1
		・木の香りがいい、良い気持ち	○#1-5
		・木でできていることで落ちついてできることができる。	○#1-5
		・休み時間集まれるように　理由：雨の時、みんなで遊べる所がないから	○#2
		・ホール　冷暖房があり◎　だけど、個別支援が必要な児童・生徒への対応→天井が高ければ	■ #2
	既存に対し	・夕方には優しい日の光をあびながら勉強できる	○#1-5
		・おたのしみかいができるから。	○#1-4
		・入学式のときに一番最初にいったところだったから。	○-2

集まれる場所 （大階段）	しつらえ	・みんなが集まれる場所があるといい。後ろの人でも見えるから。	○#2-6
		・みんながよく見える。（背が低い人でも）	○#2-6
		・階段があって、段差があるから、見やすい。	○#2-6
		・背が低い人でもみれる。	○#2-6
		・イスにすわって集まりたい。	○#2-5
		・階だんではなく広場で集まる方がいい。	○#2-4
		・かいだんではなく、広い場所で集まるほうがいい。	○#2-4
		・ちょっとせまそうで、集中できなさそう。	○#2-5
		・せもたれがないから、いたそう。	○#2-5
		・みつでのぼらないかんから、めんどい。	○#2-4
		・クラスターがおきそう。	○#2-5
		・ろうかがせますぎて、やだ。	○#2-4
給食調理室	小学校	・給食室を新しく　検収室：専用室ほしい、下処理室（３層シンク） 雨もりとかもある。保・小・中　ランチルーム	■ #2
ランチルーム	しつらえ	・ていぷるがまるくて、かおがみえるし、はなせるからいい。	○#2-4
		・丸いテーブルで一緒にご飯を食べたい。	○#2-5
		・丸いテーブルでごはん。	○#2-5
		・丸のつくえじゃなくて、四角いのが好み！！	○#2-5
		・丸いテーブルじゃなくていい。	○#2-5
		・みつになってやだ。	○#2-4
		・みつになるからやだ。今じゃなければいい。	○#2-4
		・給食	◎#1
		・みんなで楽しくごはんを食べれるから。	○#1-6
		・みんなでごはんを食べると、いつもよりとても楽しくて、毎日の給食が楽しみになる。	○#2-5
	活動 イメージ	・現状の面積比較をするとこの多目的ホールと現行のランチルームはほぼ同じ大きさである。 （ここで）自校給食ができてしまうというようなことも可能なのではないかと考える。	※5
		・子どもたちからもこのランチルーム的な環境を守 っていきたいという声が上がっていたので そこはこれまでと同じように作ってい きたいと考えている。地域の方からも、そこに入って 一緒に給食を食べるようなこ とができないかというようなお話も出ているので、１つの案と してまた改めてお示 しをさせていただきたい。この多目的ホールを地域も含めた食堂のよう な形にさせ ていただくのもいいのではないかと考えている。	※5
		・この多目的ホールの隣にプールがあるが、そのプールの隣に道路がある。 このプールは年代的にはもう解体すべき時が来ているので、解体して広場にして外につな がっていくような場所にしていくというようなことも可能なのではないかと考えており、 そういうことを含めると、地域交流拠点というような形でのランチルー ムの有り様という ものが可能性として開けていくのではないかと思う。	※5
		・給食は、食どうみたいなとこがいい。（ばいてんみたいなもの）	○#2-4
		・自由におべんとうを持ってきて、みんなで食べれる所	○#2-5
		・給食でなく、バイキング形式か食堂	◎#2
		・バイキングがほしい。学食が良い！！	◎#2
		・デザートなどを自由に食べれるところ！バイキングみたいな…	◎#2
		・自販機（飲料・お菓子）がほしい（日々のいやし）	◎#2
		・食べ物を売っているこう売を作ってほしい！	◎#2
		・パイナップルの木がほしい。	◎#2
		・べにいもタルト、ガトーショコラ、大福を売ってほしい。	◎#2
		・やきとり、マックのテリヤキバーガー、食べほうだい	◎#2
		・スシローのメロンのアイス食べたい	◎#2
		・腹へったら、せせり食べれるようにしてほしい	◎#2

●複合化：食堂・カフェ、売店

地域食堂	イメージ	・地域食堂　給食を地域の人も食べられるように　　食育を地域に	■ #1
		・いつでも、だれでも、あつまって、ごはん食べれる	◇#2
		・来てふれあえる場所	
		・『地域』はみんなが使っていいイメージ	◇#2
		・行きやすそうな名前やふんいき作りを！	◇#2
		・放課後、子どもが立ち寄れる	◇#2
大人の食堂 「あかのれん」	イメージ	・大人の食堂　夜の食事	◇#2
		・若い人の遊ぶ場所（中間層）	◇#2

カフェ	イメージ	・学校の近くにあるカフェ。（２名）	○#2-6
		・学校の近くにカフェ	○#2-5
		・学校の近くにカフェがほしい。（３名）	○#2-4
		・気軽にカフェにいけていいと思う。おちつく	○#2-5
		・木でできたカフェ（学校の近く）	○#2-5
		・カフェがあったら、土日など飲みにきたりする。	○#2-4
		・カフェがあると友だちと行ける。インスタもとれる。	○#2-4
		・もし、学校のちかくにあったら、のみに行く	○#2-4
		・親にないしょで、来たい！！	○#2-5
		・オシャレ	○#2-5
		・カフェみたいでオシャレだし、便利だと思う。	○#2-5
		・カフェみたいでキレイ。役に立つ。	○#2-5
		・子供が運営するカフェ（仮想通貨とオリジナル商品作り）	◇#2
		・子づれで『カフェ』行きにくい	◇#2
		・高齢者も大人も、子どもとつながれる場所	◇#2
		・接点、つながりを持ちたい！	◇#2
		→　だれがくるかわからない。学校にあるべきもの、ない方がよいもの（しっかり考えたい）	◇#2
		・ちょっとした買い物やカフェがあればよい。（店員は高齢者も雇ってほしい）	◇#2
道の駅	イメージ	・地域の旬の野菜やゆずが気軽に手に入る場所	◇#2
		・ゆず販売所	◇#2
		・お土産ショップ（Aコープテッタイ）	◇#2
		・アンテナショップ	◇#2
マルシェ	イメージ	・みんなとマルシェと行ける。インスタ	○#2-4
		・マルシェがあると、ごはんもかえる。	○#2-4
		・おじいちゃんとかもいっしょに、マルシェに行ける。	○#2-4
		・いろんなしょう品をうれるから	○#2-5
		・学校で作った野菜をマルチェで売ったりしたい。	○#2-4
		・マルシェに北川村のゆずを使った料理をだしたい。気持ちが知れそう	○#2-5
		・学校にお金を持っていって買いたい。	○#2-5
		・お金をこっそり持っていって買えそう！！	○#2-5
		・まるしょがほしい。（２名）	○#2-4
		・マルシエは、近所	○#2-5
店舗	本屋	・本屋（最寄りになくて、買えない）	◇#2
		・図書館、本屋	◇#2
	売店 コンビニ等 店舗	・飲み物（ジュース）がでてくる機械がほしい。	○#2
		・れいぞうことれいとうこがほしい。こおりがとけたりするから。 一人ひとりのこおおり入れがほしい。	○#2
		・コンビニや売店（村の中に）　　村の中にある売店が少ないし、 コンビニとかもあったらいいから。（食べ物や飲み物だけでなく、 地域の物を使った料理も売っていたらいいと思う）	◎#2
		・コンビニ	○#2
		・売店	○#2
		・お店　ほうかご、おやと行く。村民とふれあえる。	○#2
		・出店（やたい）	○#2
		・無料屋台がほしい。（お腹がすいたら食べれるから）	○#2
		・無料お菓子屋がほしい。（お菓子が食べたいから）	○#2
		・駄菓子屋（こどもが）アフター５（ファイブ）を楽しむ場所	◇#2
		・通学・帰宅の買食（買い物）禁止がなくなったらいい。	◇#1

●複合化：医療福祉施設

病院	地域・交流	・病院（あるとよい）	◇#2
老人ホーム	地域・交流	・老人ホーム（あるとよい）	◇#2
老人ホーム	地域・交流	・老人ホーム（あるとよい）	◇#2
その他	新しい行い	・ホテル	○#2
	新しい行い	・キャンプ場	○#2
	新しい環境	・村の中に病院や交番があったらいいと思う。 村の中にないと、田野とかまで行かないといけなくなるから。 交番があると、すぐに落とし物をもっていけるから。	◎#2

●居場所になりうる公共空間　→　ラーニング・コモンズを地域図書館とした場合の活用イメージにつながる

リラックスできる場所	ゆったりすごせる場所	・休憩するスペース（勉強の疲れをいやす）	◎#2
		・ものすごく休けいできるところ	◎#2
		・屋上　きれいな空気を吸うため　息抜き	◎#2
		・ながめがきれいなとこ	◎#2
		・リラックスできるところ！　→ソファとか！	◎#2
		・床がたたみの部屋（和室）　ねやすい　くつろぎやすい	◎#2
		・ソファ（超大きい）リラックスするため	◎#2
		・ソファ（リラックスしたい）	◎#2
		・学校の椅子がソファ　理由：今のが固い	◎#2
		・クッション（リラックス）	◎#2
		・ベット（寝たい）	◎#2
		・ベット（寝たい）	◎#2
	休まる場所	・寝れる所　理由：机は固い	◎#2
		・静かにできる場所（休けい）　静かにできるところがほしい	◎#2
		・泊まれるスペース（てつやしたいときがある。）	◎#2
		・温泉（部活後の疲れをいやす）	◎#2
みんなでわいわいすごせる場所	こどもたち専用の場所	・仲を深める　・みんなが気軽に来れる	◎#2
		・全学年が集まって、楽しく話したり、遊んだりできる場所！	◎#2
		・先生が知らない秘密の部屋がほしい。	◎#2
		・しゅみのものができる場	◎#2
		・チェキをとれる用の場所	○#2
何となく気軽に行け好きに過ごせる場所いろんな活動が出来る場所	活用のイメージ	・Wifiのあって何でも持ちこめる休めるところ　理由：休み時間に遊んだりしたい	◎#2
		・ネットカフェみたいな個室でいる時間　理由：じぶんだけの場所っぽいのができるから	◎#2
		・カフェ的なもの　理由：ひまな時に…	◎#2
		・好きな音楽を聞けるところ！一人で！　ソファとかすわれるところも！	◎#2
		・休みの日でも　自由にいけて　勉強するスペースやカフェがある場所	◎#2
		・下校がおわったあとの宿題する場所がほしい。	○#2
		・自由になんでもしていい場所がほしい。（絵を描いたりとか） あったら、リラックスできそう。楽しそう。	◎#2
		・みんながリラックスできる所がほしい。 →宿題する場所や音楽を聞いたり、本を読んだりする所など。	○#2
		・校内ミニシアター（全校で）	◎#2
		・映画かんほしい	◎#2
		・広い部屋にスクリーン　時々上映会など	◇#2
こどもたちが集まる場所	イメージ	・子どもたちがあつまれる場所	◇#1
		・小学生、中学生が集えるようになれば	◇#1
学校と地域 子どもと地域 地域の多世代 村内と村外 様々なふれあいの場	ふれあう	・子どもたちとふれあう機会と場所を	◇#1
	ふれあう	・地域の人々と、学校・子供達とのかかわりを多様に	◇#1
	ふれあう	・住民と子供達（学校）のオープンな関係。共に楽しめること。	◇#1
	地域・交流	・子どもと大人が常に、交流できる場所	◇#2
	ふれあう	・小さい子供達が近所にいないので、若い人のことがあまり分からない。	◇#1
	交流ひろば	・様々な世代の交流（場）	◇#1
	交流ひろば	・地域間の交流が以外と少ない薄い	◇#1
	交流ひろば	・北川村のいろいろすごい方がたくさんおられる思うので、いろんな交流を持てたらいいな。	◇#1
	交流ひろば	・どなたかつないでくれる人が居たらよいと思っていたが、 自分からいかないといかんと思った！でもやっぱりハズカシイ。	◇#1
	交流ひろば	・施設のことなんかはわからない。 私が生きている内に作ってほしい。大いにでかけてゆきます。	◇#1
	ふれあう	・直接行かずとも、子供と地域の人がデジタルで交流できたら（子供達が教える役で）	◇#1
	地域・交流	・地域の先輩教室（お年寄りなど…が先生になる）	◇#2
お茶の間のような場所	地域・交流	・お母さんたちの集まり　本をよんだり、つながる場　→　社協でやっているけど （つながりはつくるが）集まる場所は、学校の方がいい。	◇#2
	地域・交流	・赤ちゃん連れから、お年寄りまで、土日	◇#2
	地域・交流	・移住者の若いお母さんと、地元のお母さんと繋げていく場所	◇#2
	地域・交流	・大人も子どもも自由にきて、交流できる場所	◇#2

みんなの保健室	地域・交流	・ほけん士を利用して、だれでも皆、気軽に利用できる。	◇#2
	地域・交流	・みんなの保健室（ちょっとした話ができる場所）。　ジムも	◇#2
	地域・交流	・カフェの中の保健室	◇#2
若い人が集まれる出会いがうまれる場所	若い人集まる	・若い人の集まる広場がない　気の毒	◇#1
	若い人集まる	・若い人体を動かせる場所がほしい	◇#1
	若い人集まる	・若者が集まって出会う場がない。	◇#1
	出会いの場	・女性も男性も独身の移住者を探す！！　そこで出会い♡があれば…	◇#1
	出会いの場	・ちょっとおせっかいな仲人さん	◇#1
	新しい環境	・プラネタリウム（・若い人どうし、語り合える場所として）	◇#2
村の通り道で	地域・交流	・いつでも座れる木陰のベンチ←あちこちに	◇#2

7-4　地域共用ラーニングコモンズ（図書館）

既存図書館に対し（図書コーナー）	図書（中）	・本を読むのが好きだから。落ち着くから。	◎#1
		・本が好きだから。静かだから。	◎#1
	図書（小1）	・本がいっぱいあって楽しいから。	○-2
		・１年の頃から図書室で読むのが好きでした。だから私は本を読むのが好きになりました。ぶ厚い本がいっぱいで好きです。（１階の図書室）	○-3
		・お気に入りの本があるし、いっぱいいろんな本があっていっぱい本が読めるから。	○-3
		・いろんな本がすごくいっぱいあってわかりやすくおぼえやすいところに本がある図書室があったら楽しいと思いました。	○-3
		・本が好きでいろいろな面白い本がいっぱい置いているから。	○-3
		・教室と同じくらいの広さで、オセロや将棋、カードゲームで遊べる部屋。本が１万冊以上ある部屋。（図鑑や歴史の本やお話）	○-3
		・本が好きでたくさん本を借りて思い出もあるし、好きな本もたくさんあるから。	○-3
		・本や図書館がもっとほしいです。雨や外で遊べない時の物を少しほしいです。テレビやニュースが見れるところがほしい。	○-3
	図書（小2）	・本や図鑑がたくさんあり、みんなで楽しくよめるから。	○#1-5
		・本が好きだから	○#1-5
		・本を読むといろいろなことを学ぶことができるから	○#1-5
		・いろいろな種類の本を読めるから	○#1-5
		・何か調べる時、ほんの種類が多いと調べやすくなる。	○#1-5
		・いろいろな本があって、おもしろいと思う本があるから。	○#1-5
		・様々なジャンルの本があり、自分に合った本を探すのが楽しいから。	○#1-5
		・本がいっぱいあって、本を読むのが好きだからと、いろんなジャンルの本を読めるから。	○#1-5
図書館（本をよむ）	イメージ希望	・本がいっぱいある図書館	◎#2
		・ゆっくりいろんな本が読める所がほしい。	◎#2
		・大きい図書館（学校の近く）一人で読める個室　みんなで集まれる所マンガ小説、いろんな本	◎#2
		・大きな図書館がほしい。（４名）	○#2-6
		・部屋をもっと広くして、本をふやしてほしい。（ぶあつい本）とくに物語と、ちょっとマンガもほしい。	○#2
		・もっと広くして、本を増やして欲しい。	○#2
		・もっとむずかしい本を多くしてほしい。	○#2
		・おりょうりや竹の本がほしい。	○#2
		・図書室はもっと本をふやしてほしい。場所もひろくしてほしい。いすもつくえもふやしてほしい。１週間に１回、中学生といっしょに読みたい。	○#2
		・本がいっぱいあって、もっとひろくなってほしい。そふぁがいい。本が好きなひとがよろこぶ。	○#2
		・ｸｯｼｮﾝなどがほしい。理由：かたいｲｽよりやわらかいｲｽで集中しながらよめると思うから。	○#2
		・本がたくさんあっていい。	○#2-4
		・大きすぎると本がさがしにくい。	○#2-4
		・本がありすぎて、本を返すときに大変。本がありすぎて本をかえすところがわからない。（２名）	○#2-4
		・楽しくよめる大きい本だな	○#2-5
		・大きな本だな（２名）	○#2-5
		・大きな本だなでかこまれていていい！！	○#2-5
		・大きい本だなに囲まれていて、楽しそう。	○#2-5
		・大きい本棚に囲まれて本を読むと、げん想的。	○#2-5
		・本棚が高いとこわい。	○#2-5
（一人でよむ）	イメージ希望	・個室がほしい。	○#2-5
		・一人でしずかに読めるところがいい。	○#2-4
		・一人でやわらかいイスで読みたい	○#2-5
		・一人でゆっくりみえるっていい。	○#2-4
		・一人でよむのはいい。一人でよみたいときはいい。	○#2-4
		・一人で読んでいたら、分からない漢字があるかもしれない。	○#2-5
		・大きい図書館（学校の近く）　一人で読める個室	◎#2

（図書館の空間）	イメージ	・本をさがし広いところで読むと気持ちがいい。	○#2-4
		・めいろみたいな図書室がほしい。	○#2-4
		・本が多くて、あたたかいイメージ。安心する。	○#2-5
		・広くて、かいほうかんのあるところがいいです。	○#2-4
		・ねっころがれて、ゆったりと本がよめていい。	○#2-4
		・マットをしいて、ごろごろしたい。	○#2-4
		・先生ソファ、ヨギボーイスを置いて、のびのび遊びたい。	○#2-5
		・クッションで読みたい。（２名）	○#2-5
		・たたみで、本が読める。	○#2-5
		・しばふのところでよめるからいい。	○#2-4
		・やすみに本がよめていい。	○#2-4
（階段状の空間）	イメージ	・図書室の階だんがいい。	○#2-4
		・大きな階段で読む	○#2-5
		・かいだんは急いでこける。あぶない！	○#2-4
		・大きな階段✕　転ぶし、こけるから。	○#2-6
		・大きい階段で本を読んだり、座ったりすることはいやだ。 理由：人が通ったときが集中できないから。	○#2-6
		・階段で本を読むのは、いやだ。理由：落ちたらこわいから。	○#2-6
		・上にある本がとれないこと！！！（２名）	○#2-6
（本をしらべる） （本をさがす） （本にふれる）	イメージ 希望	・総合ですぐ読んだり、調べたりできる場所	◎#2
		・図書館には、交流スペースと個別スペース→　それぞれを確保	■ #2
		・下の図書館は、ほんかくてきな図書館にして、上のほうは、少しだけ 本をおいて、こしつのスペースを作ってほしい。（べんきょうとかできるから）	○#2
		・２階図書室はよく人が来るから、ろう下みたいに通路があるといい。	○#2
		・おもしろかった本をしょうかいするところがほしい。	○#2
		・図書室の中に専用のタブレットを置き、好きな本の場所をタブレットで調べられるように したい	○#2
		・北川村で有名なものを置いてほしい。	○#2
		・いろいろなカードゲームが勢揃いしてみんなが楽しく遊べるところがほしい(２階の図書室)	○-3
（ミーティング ルーム） （プレゼンルーム） (ICTを使って) （メディア機器を 使って）	イメージ 希望	・図書館　勉強ができる。地域の人も来れる。 ミーティングルーム：休日でも子どもが集まって何かを計画したり	■ #1
		・視聴覚ルーム（あるとよい）	◇#2
		・広い部屋にスクリーン　時々上映会など	◇#2
		・えいがかん	○#2
		・校内ミニシアター（全校で）	◎#2
		・映画かんほしい	◎#2
		・広い部屋にスクリーン　時々上映会など	◇#2
		・プラネタリウム（・若い人どうし、語り合える場所として）	◇#2
		・村外の人（外国を含む）とネット上で気軽に交流できるしくみ （村の状況、子どもの状況）みんな同じ文化　⇒　村外の子とつながれる	◇#2
		・本を教えてくれて、買ってくれる（購入の手伝いをしてくれる）	◇#2
		・IT化の必要性（保健室、オンライン診療などへの対応）	◇#2
		・ITを勉強しよう！（高齢者も）（スマホ～パソコン～さらに）	◇#2
		・やさしく教えてもらえる	◇#2
		・すっときける（身内は、なかなか…、でも、他人なら）	◇#2
		・（こうした取り組みは）北部に大切	◇#2
		・テレビとか見れるところがあったらニュースとか見れる。	○-3
		・校しゃの中にテレビをおいて、ドラマ（勉強に関係あるもの）をみたい。	○#2
		・テレビがほしい。	○#2
		・ゲームができる所　・ゲームきほしい	◎#2
		・ゲームがほしい。	○#2
	既存に対し	・（パソコン中）特別感がある。落ち着く！！	◎#1
		・（パソコン小）下じきづくりをクラブでするのが楽しいからです。 クラブでしか入れないから特別だと思ったからです。	○#1-5
		・パソコンルームを面積の中で計算して提案いただいている。これまでであれば情報 関係の 部屋が必要だったが、もう通常の教室の中でパソコンを使って学習できるので、情報の部屋 は必要がないと思ったがどうか。	※5

（地域共用）	使い方のイメージ	・図書館を中心としたコミュニティー	◇#2
		・図書室の整備、新しい本の購入	■ #1
		・図書館（あるとよい）	◇#2
		・今でも一応ある	◇#2
		・子供中心	◇#2
		・村立図書館（と学校との関係）	■ #2
		・図書館　学校も一般住民　使える	◇#2
		・図書館、本屋	◇#2
		・もっと大きい図書館がほしい。	◇#1
		・休みの日にこどもが利用できる図書館・公園があればいいな。	◇#1
		・知識欲が深まる施設。文化的な場所があったらいい。	◇#1
		・大人も子どももワクワクドキドキ村の未来を描ける場所、つくりたいですね	◇#1
		・みんなで１つの図書室にしたい。地いきの人や小さい子ともふれあえるから。	○#2-4
		・ちいきの人もいっしょに本をよめる。ともだちもできなかよくなる。	○#2-4
		・地いきの人も一しょに読めるところがいい。	○#2-4
		・家族と本が読みたい。	○#2-5
		・みんなでよめれて、赤ちゃんもよめていい。	○#2-4
		・みんなで仲良く本が読めると、自分が好きな本の紹介もできてよい。	○#2-5
		・中学生とよんで、オススメなども聞けていい。	○#2-5
		・中学生と会うことは少ないから	○#2-5
		・どんな人が本を読んでいるか分かる（オススメ）	○#2-5
		・むずかしい本が読むことができる。	○#2-5
		・親や子どもも使える図書館。（赤ちゃんを泣かせてしまったらダメかな。）	○#2-6
		・図書館など、魅力的な提案であると思う。	※5
		・図書館のイメージは良いので、村外からも来てくれるのではないか。	※6
		・北川村の子どもたちの特性について、大事にしたいと考えているのは図書館と考えている。友達や先生だけではなく、村内外の大人と学習を深めたり相談したりし ながら探究的な学びを展開できる空間として、従来の図書館とは違う機能を持たせ た空間を考えている。	※5
		・図書館をどういう整備にするのかは、村民にも実際に来ていただき、交流の場とするにはそれなりの図書が必要になると考えている。書籍としての図書をど う捉えるのか、時代に合わせ電子図書をどう捉えるのか、それにより図書館のあり方が変わってくる。	※5
		・手に取る子どもによっては変わると思う。場所について、自分たちが経験した図書館、図書室という場所ではなく、新しい図書館のあり方というのはキーワードになると思った。	※5
		・図書館もこれまでの図書館とは性質が変わってきていて、今までだと本を読む場所 であったが、学びの中で授業の中で子どもたちがやってきて、司書の先生がアドバ イスをするような学び、教育的な観点が重要であり、また土日曜日も利用できる ような環境もどうだろうか。	※6
		・図書室に関しては、年長になると、遊びの中で気になったことを調べ物をする際にすぐに調べられる状況にするのが良いと感じているが、大きいライブラリーだとその機能が果たせるのか気になっている。	※6
		・図書館については、村民全体の図書館として、調べたりパソコンをしたりなどいろんな機能を備えていくのは良いと感じている。	※6
		・学校の公民連携を考えていく際、現状の文科省の方針だけではなく、将来を見据えた観点で整備しないといけない。これから 30 年～50 年のスパンで考えていくと、 これからの教育がどのようになっていくのか、メディアドゥの技術などをどう捉え 反映していくのか、考えていくことが大切である。電子図書館と名前がついている が、これは情報を出版し発信する技術であり、これから北川学などの学習の中にそのような先端技術を取り込むことも検討しながら、将来を見据えた学校施設を考え ていければと思う。 その中の１つの手段として面白いと思ったのが、子供たちが 自分たちでいつでも本を作って出版できるという可能性を秘めていること。図書館 という場所は、本を読むだけではなくて本を作るところだと整理していくと面白い ことができてくるだろうと思う。	※5
		・面積指標について、圧倒的に足りないという認識を持っており、検討する中で場所・コストなどいろんな問題も出てくると思う。そういう中で、手にとって読める 書籍も平行して置くことも必要。みんな家で閉じこもって読むだけではなく、一緒 にその辺で寝っ転がりながら読み、あるいは本を作るというような１つのラボのよ うな場所にもなりうる可能性があり、それが新しい図書館のあり方となる。しか も、そこから発信して外につながっていける可能性もあり、北川村の子ども達だか らこそ、図書館の使い方によって有効に働く可能性が広がるのではないかなという 印象をもった。	※5

（地域共用）	共用の課題	・赤ちゃんといっしょだと、泣き声がうるさくて集中できないからいやだ。	○#2-4
		・赤ちゃんの泣き声で、本が集中して読めないかも。	○#2-6
		・赤ちゃんが泣いたりしたら、落ち着いて本が読めない。	○#2-6
		・赤ちゃんが泣いたり、遊んだりしてほしいときとか、本がよめない。	○#2-6
		・落ち着いて読めない。×。	○#2-6
		・赤ちゃんがが泣いたら、集中できそうにない。	○#2-5
		・みんなで一つは集中できないかもしれない。	○#2-5
		・みんなで本を読んだら、うるさくなりそう。	○#2-5
資料ｷﾞｬﾗﾘｰ （学びの博物館）	イメージ	・北小にも展示室があると、勉強しやすい。	○#2-5
		・北川村情報をみたりできて、総合に使える	○#2-5
		・北川村の有名なところなどをしれるミュージアムがいい。	○#2-4
		・北川村のかんこう地を見れるミュージアムてきものがあるといい。	○#2-4
		・ゆずのてんじがいい。北川村は、ゆずがゆうめい。	○#2-4
		・ゆずのてんじがいい。北川だから。	○#2-4
		・山にある木の種類。	○#2-4
		・北川小学校ミュージアム　→　北川小の歴史、北川村の歴史	○#2-5
		・中岡慎太ろうを典置（展示）したい。	○#2-5
		・お料理のてんじ室（高知県の！！）	○#2-5
		・星空や天体の展示をしてほしい。	○#2-6
		・アンパンマンも展示してほしい、（写真や本など）の	○#2-6
		・星空、ゆず、アンパンマン　展示してほしい。	○#2-6
		・プラネタリウム	○#2-6
情報発信	地域の魅力発信	・情報発信をしてくれるところがあってほしい。（PRとか、新聞など置いているところ）	○#2-6
		・PRしやすいし、見やすいからよい。	○#2-5
		・PRコーナーは便利で、北川を知ってもらえる。	○#2-5
		・新聞とかはって、かんこう客にみてもらう	○#2-4
		・北川村のじょうほうはっしんできるところ。	○#2-4
		・学校の中に、はっしんする場所	○#2-5
		・子育てにはとても良い環境だと思うので、そこをもっとアピールして 人が集まってくるといいなと思う。	◇#1
		・村外の人にすぐ伝わる要素がいくつもある。 ・中岡慎太郎　・ゆず　・モネの庭　など	◇#1
		・村全体がとても広い！！その場所その場所で特徴がある。	◇#1
		・村の素晴らしさを沢山の人に知ってもらうツールがあまりない。	◇#1
		・ゆずジュースなど、村の特産を。	◇#2
		・村のお店から、おろしてもらう。	◇#2
		・子どもが案内できるように。	◇#2
		・子どもの作品（新聞など）を展示	◇#2
		・人と話に行く、人とつながる	◇#2
		・交流ひろばが一緒になったような人々が集える場所	◇#2
		・交流拠点的なものを含む	◇#2
		・集落の情報発信基地（あるとよい）	◇#2
	移住視線	・移住支援センター（あるとよい）	◇#2
	雇用促進	・雇用促進（あるとよい）	◇#2

7-5　屋内運動施設

アリーナ	使い方 イメージ	・体育館充実　バリアフリー　観客席　文化的・体育的　地域の方も使用	■ #2
		・休み時間に遊べる体育館がほしい。	■ #2
		・小学校の体育かんを作って、やすみじかんにあそべるようにしてほしい。	■ #2
		・休み時間に卓球。	○#2
	しつらえ	・体育自習ルーム	○#2
		・観戦する場所　必要	○#2
		・体育館に低鉄棒がほしい	○#2
	設備	・体育館にエアコン	◎#2
		・エアコンがあったら、楽しくなると思う。	○#2
		・クーラーをつけてほしい。	○#2
		・クーラーを付ける。夏は暑いから。	○#2
		・でん気がすぐにつくようになったら、体育が早くできて楽しいことができる。	○#2
		・ランニングマシーンがあったら、たくさん走れる。	○#2
		・冷水機があったら、すぐに水がのめる。	○#2
		・れいすいきがほしい・	○#2
		・コーラーやアクエリが出る冷水機を置く。冷水機がこわれているから。	○#2
	既存に対し	・広い、運動ができるから。	◎#1
		・ひろい。	◎#1
		・バレーボールができるから。体育が好きだから。	◎#1
		・夏は暑い。冬は寒い。	◎#1
		・風通しが悪い。日当たりが良い。部活終わりが暑い。	◎#1
		・風通しが悪い。	◎#1
		・雨の日にすべる。	◎#1
		・飛び箱などいろいろな運動ができるから	○#1-6
		・いろんな運動道具があって、ふだん教室でできないこともできるから	○#1-6
		・体をいっぱい動かせるし、元気いっぱい遊ぶことができるから	○#1-6
		・ぼくは運動が好きで得意だから、前に出たりすることがあるから、 活躍できていると思うから。	○#1-5
		・先生がすわるようないすがほしい。ベットがほしい。	○#2
		・汚い。暑い。窓が高くて開けられない。（体育館２階）	◎#1
器具庫	保小中 しつらえ	・体育館の用具置き場を校種や使用目的に応じて、分けられるように してほしい。　部屋数を増やす　or　広くして整理しやすくする	■ #2
		・器具庫に荷物が多い。（ごちゃごちゃしている）せまい。	◎#1
指導員室	既存に対し	・小さい。足場がない。	◎#1
更衣室	既存に対し	・男子更衣室のにおいがきらいだから。シャワー室のにおいか。	◎#1
		・においがする。くさいから。	◎#1
		・くさい	◎#1
		・くさい	◎#1
体を動かすことに 関する場所	イメージ	・運動できる場所（あるとよい）	◇#2
		・体を動かすちょっとした器具があればよい	◇#2
		・スポーツが少ない　　部活動の選択肢が少ないこと	◇#1
		・温水プール。高齢者の健康増進と子供たちの授業と併用	◇#2
		・いつでも遊べる、動ける場所がほしい。	◎#2
		・体育館⇒好きなときに入れて、遊べるようにしてほしい！！	◎#2
		・遊ぶ所がほしい	◎#2
		・遊具をふやす。（シーソーなど）	○#2
		・サンドバック	◎#2
		・ジム（ダイエットグッズ）	○#2
		・ジム（ダイエットグッズ）	○#2
		・トランポリンがほしいという意見がいいと思う。理由：下級生もトランポリンが好きそう。	○#2
		・床がトランポリン	◎#2

●プール

中プール	既存に対し	・水かけ合いをしたりして遊ぶことができるから。	◎#1
		・泳げて、楽しい。	◎#1
		・みずがあるから。	◎#1
		・汚い	◎#1
中プール（トイレ）	既存に対し	・ものすごく、くさい	◎#1
小プール	既存に対し	・夏になってプールがなかったら暑いし汗だくになるから。	○-3
		・みんなたのしくえがおですること。	○#1-4
		・みんなでみずでっぽうやあたらしいおよびをできるから。	○#1-4
		・みんなとクロールや平泳ぎをたくさん練習したから。	○#1-6
		・平泳ぎの練習ができるから	○#1-6
		・平及びたうまくなれたから。	○#1-6
		・泳ぐことが楽しいし、好きだから	○#1-6
		・みんな頑張っている姿が見えて、自分の泳ぎに生かせれて楽しいから。	○#1-6
	しつらえ	・プールは泳げるしすずしくいれるから楽しいと思う。プールの幅を広くしてほしい。	○-3
		・泳ぐだけじゃ何か足りないので、スベリ台をつけてほしい。	○#2
		・ウォータースライダーをつくってほしい。もっと楽しくするために。	○#2
		・冬でもプールに入れるよう、温水プールをつくってほしい。室内プール。（温水シャワー）	○#2
		・おんすいプールがほしい。（しつない、ゆずいり）	○#2
		・室内に温水プールがほしい。かみなりの時にできない時におよぐ。 プールができないとざんねんだから。ゆずをいれる。	○#2
		・プールに浮き輪をおいてほしい。	○#2
		・プールのたからものがいっぱいになってほしい。しょうぶしあって楽しめるから。	○#2
		・具合が悪くなった時のために、仮みん室をつくってほしい。（ねるところ）	○#2
		・水族館のように、魚をおいてほしい。	○#2

7-6　屋外学習/運動環境

幼保一体施設	外部・園庭	・建物については、学校施設内だけではなく、園庭や外の学びも重要であり、乳幼児にとって大切な遊具も検討してもらいたいと考えている。	※6
		・土の違いを確かめながら遊ぶことも必要であり、大切にしているところ。一部芝生 にするということはあり得るかもしれない。	※7
教室に近い屋外環境	既存に対し	・（南庭・桜の木の下）学校の中のさくらで、とくにきれいだから。	○#1-4
		・（２年教室前）きゅう子がいるし、白い遊ぶやつがおきにいりだから。ありのすとか時々できているし、運動場よりちょっとすずしいから。	○-2
		・（運動場の入り口）自然感があって自然の中にいる感じがして素敵だから。	○-3
軒下空間（運動場へ続く）	日陰空間のイメージ	・屋根がついているところ	○#2-6
		・外であそんだり、勉強したあと、すずめる。	○#2-5
		・外であそぶとき、つかれて休みときに、日かげで休むところがほしい	○#2-4
		・あついとき、がーどしてくれるからいい。	○#2-4
		・ろうかをあるかずに、教室からグラウンドに行けるようにしたら、休みじかんめいいっぱいあそべるから。	○#2-4
		・すぐグラウンドにいける場所	○#2-5
		・すぐにグラウンドに行けてらく。わざわざかいだんのぼらんくていい	○#2-4
前庭・めだかの池	既存に対し	・メダカがいっぱいで、かわいくていやされるし、スイレンが冬か春とかにさいてきれいだから。	○#1-4
		・めだかをかんんさつできるのと、すいれんもさいてきれいだから。	○#1-4
		・めだかがいきいきとおよいでいるからです。	○#1-4
		・メダカが気持ちよく泳いでいると自分の気持もよくなるから。	○#1-4
		・石のすいそうをガラスとかで、とうめいにしてほしい。→とうめいにすると、メダカも見れるし、理科でもかんたんに実験できるから。	○#2
		・メダカの水をきれいにしてほしい。→メダカの水がきたないかた、かえてあげた。	○#2
		・今だとえさのときぐらいしかメダカがみえないので、とうめいのいれものがいい。えさもやりたい。	○#2
外教室	イメージ	・しばふの広場や池をつくって虫たちのかんさつできるところがいい。それをかざれるところがほしい。	○#2-4
		・しばふの広場で理科の勉強ができていい。	○#2-4
		・外でいろいろなかんさつをしたい。	○#2-6
		・生きもの広場　生きものが自由に過ごせる所	○#2-5
		・虫がいたら、よく観察できる。	○#2-6
		・いつでも虫や植物を見れる。	○#2-6
		・色々な植物や虫について、調べれるし、気分転かんになるから。	○#2-6
		・外で勉強できるかんきょうがほしい。	○#2-5
		・外でも勉強できる。勉強ですぐ使える。外での授業。青空教室	○#2-4
		・外で勉強できてロマンチック	○#2-5
		・観察したことを外で授業ができて、ロマンチック	○#2-5
畑	既存に対し	・畑をひろくしてほしい。たいくさんそだてられるし、りかや生かつでたくさんできるから。みんなでそだてれるのたいけんができるから。	○#2
		・はたけがほしい。	○#2
生き物にふれられる場所	イメージ	・ZOO、アクアルーム	○#2
		・魚かいたい。	○#2
		・４年生がうさぎを飼いたいという意見がいいと思う。理由：北川に動物を飼ってせわすることがないから。	○#2
		・うさぎなど、動物を飼ってみたい。理由：動物の勉強がすくできそう。飼い方を学べる	○#2
		・動物コーナーがほしい（学校でいやされたいから）	○#2
		・学校で動物をかうのは、いいと思う。	○#2
		・動物がほしい。	○#2
		・動物園	○#2
		・動物園のように、サルやゴリラなどおいてほしい。	○#2
		・動物園みたいにしてほしい	◎#2
タイヤとび	既存に対し	・木のかげが気持ちいいから	○#1-4
		・みんなであそべて楽しいし、タイヤとびはうんどうできるから。	○#1-4
吊り輪（遊具）	既存に対し	・いっぱい遊べるし体力とかつけれるし、いろんな技ができるようにしたいから。	○-3

なかよし広場	既存に対し	・いろんな木があるし、でかい石があって山にいるみたいに感じるから。	○-3
		・もっと遊ぶ物を増やしたり、すべり台も大きさがちがうのがあったら楽しいと思う。	○-3
		・虫がいる。風が気持ちいい。石の卵があって遊べる。（４名）	○-1
		・落ち着くから	○#1-4
		・みんなでよくかぞくごっこをしたりしていることと、虫とかがたくさんいるから。	○#1-4
		・理由は木と太陽がかさなってきれいだから。	○#1-4
		・ままごとができるようにしてほしい。	○#2
		・木の下にベンチをおいてほしい。カがいるから、カがこないようにしてほしい。	○#2
		・木のところにベンチを置いてほしい。カがこないようにしてほしい。 例えば、もみじの木の下。なぜなら、秋、すごくきれいだから。	○#2
		・うんていのかげでべんちをおいてくれるとゆっくりできる。風がきもちいい。おすすめ。	○#2
		・カがこないようにしてほしい。ベンチがほしい。	○#2
		・カがいて、かゆくてあそべないから、カをへらす木かなにかをつけてほしい。	○#2
		・広場のみぞをなくしてほしい。あぶないから。	○#2
		・みぞをくふうしてうめてほしい。	○#2
		・草がたくさん生えているから。	◎#1
		・遊具がほしい。冷水機を直してほしい。雑草が多い。	◎#1
		・ひまつをとばすといけないから、あくりるばんがほしい。	○#2
グラウンド	いろいろな運動環境イメージ・しつらえ	・ソフトボール	◇#1
		・みんなで遊べる道具が少ないので、外でも、バスケやテニスコートなどがほしい。	○#2
		・バスケットする場所（たいめん）	○#2
		・運動場の砂でけがをしたら、とてもいたいから、人工しばにして ほしい。砂だけだと、サッカーが少ししにくいから、人工しばにしてほしい。	○#2
		・サッカーコート（芝　人工芝にしてほしい）	◎#2
		・今の土のグラウンドでは自由にラインが引きやすくて使い勝手が良いというところ もあるので、もし子どもたちが芝生で遊んだりすることであれば、例えば中庭とか に芝生を敷くのはあるのかなと思っている。全面的に敷くというイメージはない。	※7
	設備イメージ	・めいろをぐらうんどにつくれば、高・中・小、みんなでたのしめる。	○#2
		・グラウンドはアスレチックを作ってほしい。→低学年にたのしんでもらえるから。	○#2
		・シーソーやのぼりぼう（プラスチック）きんとれ場をおいてほしい。	○#2
		・ぼうけんの森遊具	○#2
		・トランポリンがほしい。	○#2
		・ジップラインをグラウンドに行くまどから、体育会につなげると楽になる。	○#2
		・暑い時に休むことのできる場所がほしい。	○#2
		・水やお茶、ジュースを飲める所をもっと増やしてほしい。	○#2
	既存に対し	・超広くてボールでもいっぱい遊べる。 いろいろな遊具（タイヤ跳び、ジャングルジム）があって楽しい。 虫がたくさんいる。一輪車の練習がしやすい。	○-1
		・いろいろ遊べて楽しいから。	○-2
		・すきなサッカーもできるし、スペースも広いから好きです。 ゴールとか広いから一番のお気に入りです。	○-3
		・サッカーが好きでほぼ毎日使った思い出がたくさんあるから。	○-3
		・ブランコが楽しい。遊具が多い、	◎#1
		・運動場にトンネルがあったらみんなが遊べる。	○-3
		・遊具が大きくてトンネルとか高い遊具があったら楽しそう。 前の幼稚園でこんなので遊んだ時とっても楽しかったから。	○-3
		・運動場が広くて遊具がいっぱいあって、教室が広い学校。 すべり台や他のスポーツ、テニスとかができる場所がほしいです。	○-3
		・運動場にいろいろな遊び道具があったら休み時間も楽しくなる。 例えば縄跳びや長縄跳び、卓球台。	○-3
		・みんなが楽しく遊んでいて明るい雰囲気で楽しいから。	○#1-6
		・みんなと一緒に仲良く遊ぶことができるから	○#1-6
		・みんなとの仲が深められたから。	○#1-6
		・みんなの笑っている声などを聞くことが楽しいから。	○#1-6
		・放課後にみんなと楽しくサッカーしたりしているから。	○#1-6
		・サッカーなどいろいろなスポーツができるから	○#1-6

●公園・遊び場（複合化の検討含む）

公園・遊び場	必要性	・遊び場	◇#1
		・公園がない！！！モネの庭は住民の公園ではない。 子どもたちが気軽に集まれる場所がない？	◇#1
		・安全安心な川あそびができるところが実は…ない。自然はあふれているのに。	◇#1
		・自然が多くて、安全な公園がない！！　絶対欲しい！！	◇#1
		・自然の中で遊ぶ余裕　大人も子供も	◇#1
	使い方 イメージ	・公園　好きなときに遊べる動ける場所。好きなときに入れる、運動できる建物	◎#2
		・学校おわって遊べる。友達といっしょに	◇#2
		・公園に砂場があると、ありがたいと感じている。 内部というよりも外部の環境も大 切にしてもらいたい。	※6
		・体験広場	◇#2
		・キャンプや料理もできる、お泊り体験の場	◇#2
		・星座観察	◇#2
		・キャンプ用品　コテージ	◇#2
		・まきわり　料理も自分たちでメニューきめる	◇#2
		・災害時の炊き出しの経験にもつながる。	◇#2
		・大人から知恵を学ぶ	◇#2
		・生きる力　つながりやたくましさをつちかう。	◇#2
		・技能を伝え、身に付けられる（縄結びなど）	◇#2
		・防災が学べる（サバイバルキヤンプが出来る）	◇#2
		・川の遊び方、・山の遊び方、火たいたり（山の楽校）	◇#2
		・公園があればいい（総合公園的なもの）	◇#2
		・健康公園	◇#2
		・体験型公園　→　観光にできる	◇#2
		・子供が遊べる遊具	◇#2
		・芝生広場	◇#2
		・芝スキー	◇#2
		・「村ピアノ」置く	◇#2
		・学校の中に大きいツリーハウスほしい。	◎#2
芝生の中庭	イメージ	・外でのびのびあそべる場所がほしい。	○#2-4
		・外で自由にあそべるところがいい。じんこうしばがほしい。	○#2-4
		・じゆうにあそべて広いからいい。	○#2-4
		・のびのびと楽しく遊べる。すずしそう。	○#2-5
		・楽しくすわって、会話や行事で使えそう。	○#2-5
		・しばふがあって、昼ねができそう！！	○#2-5
		・晴れのとき、あついからやだ。	○#2-4
		・きれいなじんこうしばがほしい。こけても安心な地面がほしい。	○#2-4
		・中庭に人工芝があったら、走りやすい	○#2-6
		・人工芝がほしい。バトミントンなどできるから。	○#2-6
		・外でのびのびあそべる。（人工しば）　運動場	○#2-6
		・先生にじゃまされず、のびのび遊びたい。	○#2-5
		・人工しばがある外。	○#2-6
		・人工しばのグラウンド。	○#2-6
		・人工しばのグラウンド。	○#2-6
		・人工しばふ。運動場があるから。	○#2-5

北川村住民のみなさまへ

子どもを育む環境づくり　アンケート実施のお願い

北川村では、教育委員会を中心に、未来を担う子どもをはぐくむため、どんな環境が必要なのかを、地域の方々みんなで考えていく活動として、地域や小・中学校の子どもたちのワークショップを実施し、検討をすすめております。

この検討は、保育所・小学校・中学校の建物の建て替えの可能性の検討に加え、保育や教育などの子育て環境のあり方はもちろん、大人を含めて有効活用でき、地域のみんなが日本に誇れる、北川村にしかない環境づくりを目指しております。

そこで、ワークショップに参加してくださる方々だけでなく、より多くの方々のご意見を頂きたく、アンケートを実施させて頂きます。このアンケートの回答は、可能であれば、ぜひ、ご家族みなさま、お一人おひとりで回答頂きたいと思います。回答結果は、第２回、第３回地域ワークショップで検討する保育所・学校に隣接する公共施設のあり方や、子どもたちを育むためのいきいきとした地域活動が生まれる地域拠点の計画に反映させてまいります。お忙しいところ、大変恐縮ですが、回答にご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

〇アンケートは、子どもを育むための環境づくりの質問として、問１～問 6 で

構成されています。回答時間は、5分程度ですので、お気軽にご回答ください。

〇ご回答の方法は、「アンケート回答用紙」にご記入ください。

ご記入後は、同封している返信用封筒で、北川村教育委員会までご提出ください。

できるだけ多くの皆様のお声をお聞きしたいので、ご家族のみなさま、お一人おひとり、ご回答いただけるとありがたいです。

〇ご回答期限は、令和3年10月8日（金）です。

〇ご不明な点がございましたら、下記まで、お問い合わせください。

【問い合わせ先】 北川村教育委員会 （担当　西岡・百々　）

電話番号 0887-32-1223　　FAX 番号 0887-32-1132

E メール　kyouiku@vill.kitagawa.lg.jp

子どもを育む環境づくり　アンケート

●**回答は、別紙の回答用紙に、お一人おひとり、ご記入ください。**

問1　回答して下さる方の状況について、おたずねします。

問1-1　回答して下さる方の年代を教えてください。（回答用紙に番号を転記）

① 高校生以下
② 高校生～20 代未満
③ 20 代
④ 30 代
⑤ 40 代
⑥ 50 代
⑦ 60 代
⑧ 70 代
⑨ 80 代以上

問 1-2　お子さんの状況を教えてください。（回答用紙に番号を転記、複数回答可）

① 未就学（小学校入学前）の子どもがいる。
② 小学生の子どもがいる。

③ 中学生の子どもがいる。

④ 高校生の子どもがいる。

⑤ 高校生以下の子どもは、いない。

問2 文教施設のあり方検討の活動について、おたずねします。

問 2-1 地域ワークショップや検討委員会などで検討が行われていることをご存知ですか？

（回答用紙に番号を転記）

① はい ② いいえ

問 2-2 問 2-1 で、「①はい」を選択された方のみ

何でお知りになられたか、下記の選択肢から、お選びください。

（回答用紙に番号を転記、複数回答可）

① 第１回地域ワークショップに参加した

② 村からの広報やチラシ「みんなの学園」を考えよう！をみた

③ 村内放送

④ 村のホームページや SNS の発信

⑤ 参加された方などからきいた

⑥ 村民会館の展示をみた

⑦ 保育所・学校からきいた

⑧ その他 ※回答用紙（ ）内にご記入ください。

※裏面につづく

問3 今後のワークショップにむけて、おたずねします。

問 3-1 これから、コロナ禍の状況をみつつ、地域ワークショップを実施予定ですが、参加してみたいと思われますか？（回答用紙に番号を転記）

① 参加したい　② 参加してみたいが、参加しにくい　③ 興味がない

問 3-2 問 3-1 で、「②参加してみたいが、参加しにくい。」を選択された方のみ

その理由があれば、ご記入ください。（回答用紙に理由を記入）

問4 北川村の子どもたちが、のびのび育つために、学校や保育所のそばにあると良いものを、下記の選択肢から3つ、順位をつけてお選びください。（回答用紙に番号を転記）

① 図書館

② 公園

③ スポーツ施設

④ 村の歴史、自然、名所、産業、観光、文化、特産品、活動等にふれられる情報拠点

⑤ 子どもが放課後集まれる場所

⑥ 子どもたちと村民がふれあえる場所

⑦ 子どもが多様な体験ができる場所

⑧ その他　※回答用紙（　　）内にご記入ください。

問5 北川村の子どもたちが、社会とつながった学びにいかせる場所として、また、大人たちも利用できる場所として、学校や保育所のそばにあるとよいと思うものを、下記の選択肢から3つ、順位をつけてお選びください。（回答用紙に番号を転記）

① 図書館

② 公園

③ スポーツ施設

④ 村の歴史、自然、名所、産業、観光、文化、特産品、活動等にふれられる情報拠点

⑤ だれでも立ち寄れる場所（カフェなど）

⑥ 若者が集まれる場所

⑦ 地域活性化のための自主活動や、誰でも借りられるミニオフィス空間

⑧ 村外の人とふれあえる場所

⑨ その他　※回答用紙（　　）内にご記入ください。

<u>問6</u>　少子化、および、学校の少人数化に対して、村や地域が一丸となって、特に取り組んだら良いと思うことを、<u>下記の選択肢から1つ</u>お選びください。（回答用紙に番号を転記）

① 子どもが、村の良さを知り、多くの体験や情報発信ができる環境をつくること

② 村を訪れる人を増やすこと

③ 定住者を増すため、住環境等への支援を行うこと

④ 若者のふれあい、出会いの場を支援すること

⑤ その他　※回答用紙（　　）内にご記入ください。

ご協力いただき、ありがとうございました。

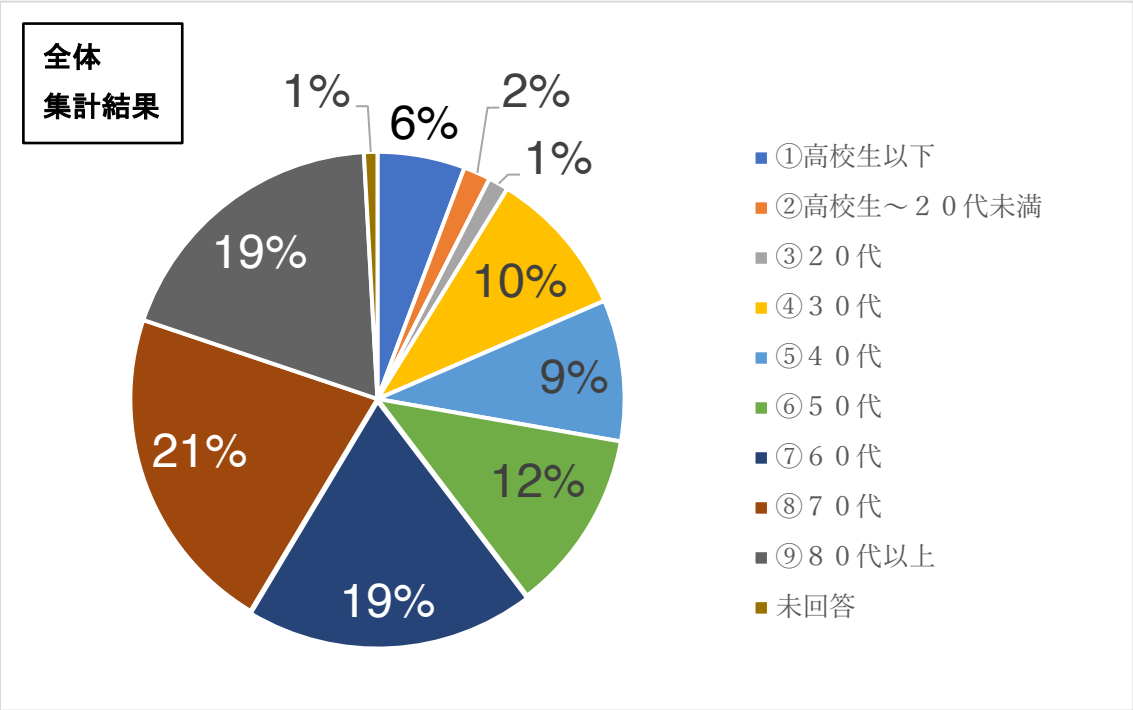
子どもを育む環境づくり　アンケート
集計結果、および、分析

先日、村内にて実施しましたアンケートの集計結果について、分析内容とともに、取りまとめ、ご報告させて頂きます。

●実施期間　令和3年9月27日（月）～10月12日（火）
●回答総数　**227名**　住民約18%　が回答　（227/1230 = 0.1846）

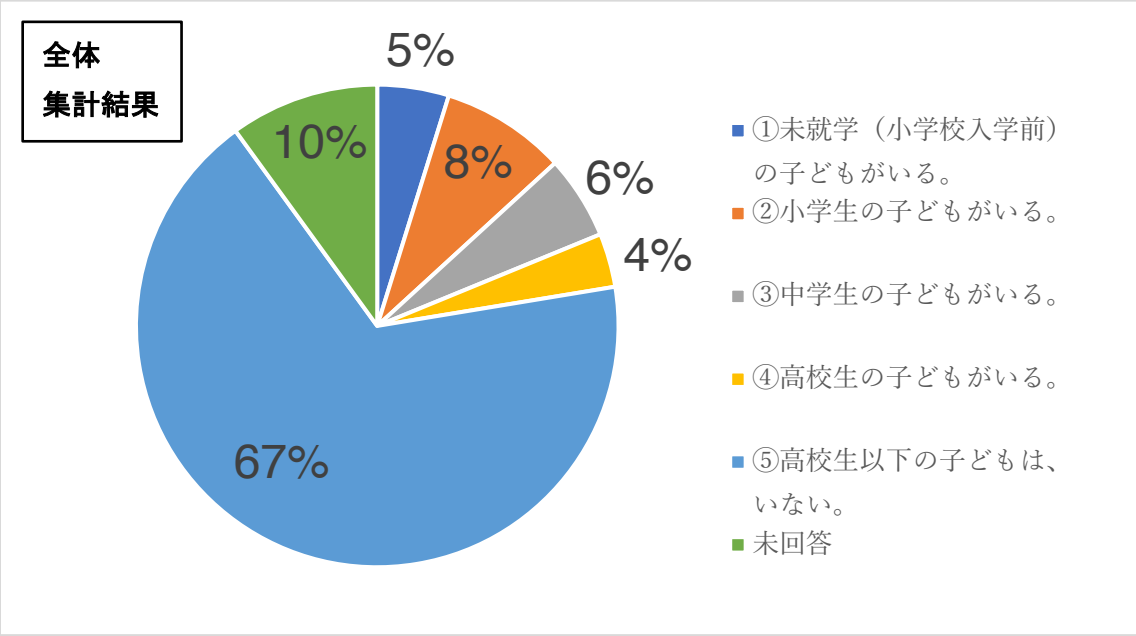
以下、設問ごとの結果をまとめます。

問1　回答して下さる方の状況について、おたずねします。
問1-1　回答して下さる方の年代を教えてください。



【問 1-1　まとめ】
・①～⑥５０代以下の方が全体の 40%。20 代以下で９%の回答がみられた。
・６０代以上の方は、約 60%と半数以上となった。

問 1-2 お子さんの状況を教えてください。



【問 1-2　まとめ】

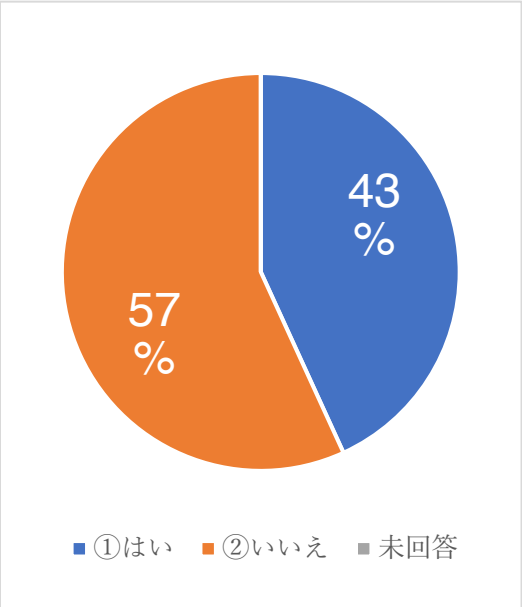
・複数回答した方もあるため、高校生以下の子どもがいると回答された方は全体の 14.5%。約 85%以上の方は高校生以下の子どもがいない方だった。

・また、小学生以下の子どもを持つ方は 13%。

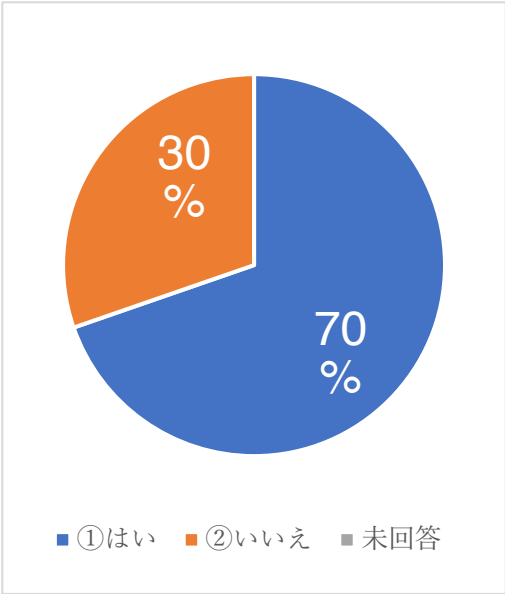
問2 文教施設のあり方検討の活動について、おたずねします。

問 2-1 地域ワークショップや検討委員会などで検討が行われていることをご存知ですか？

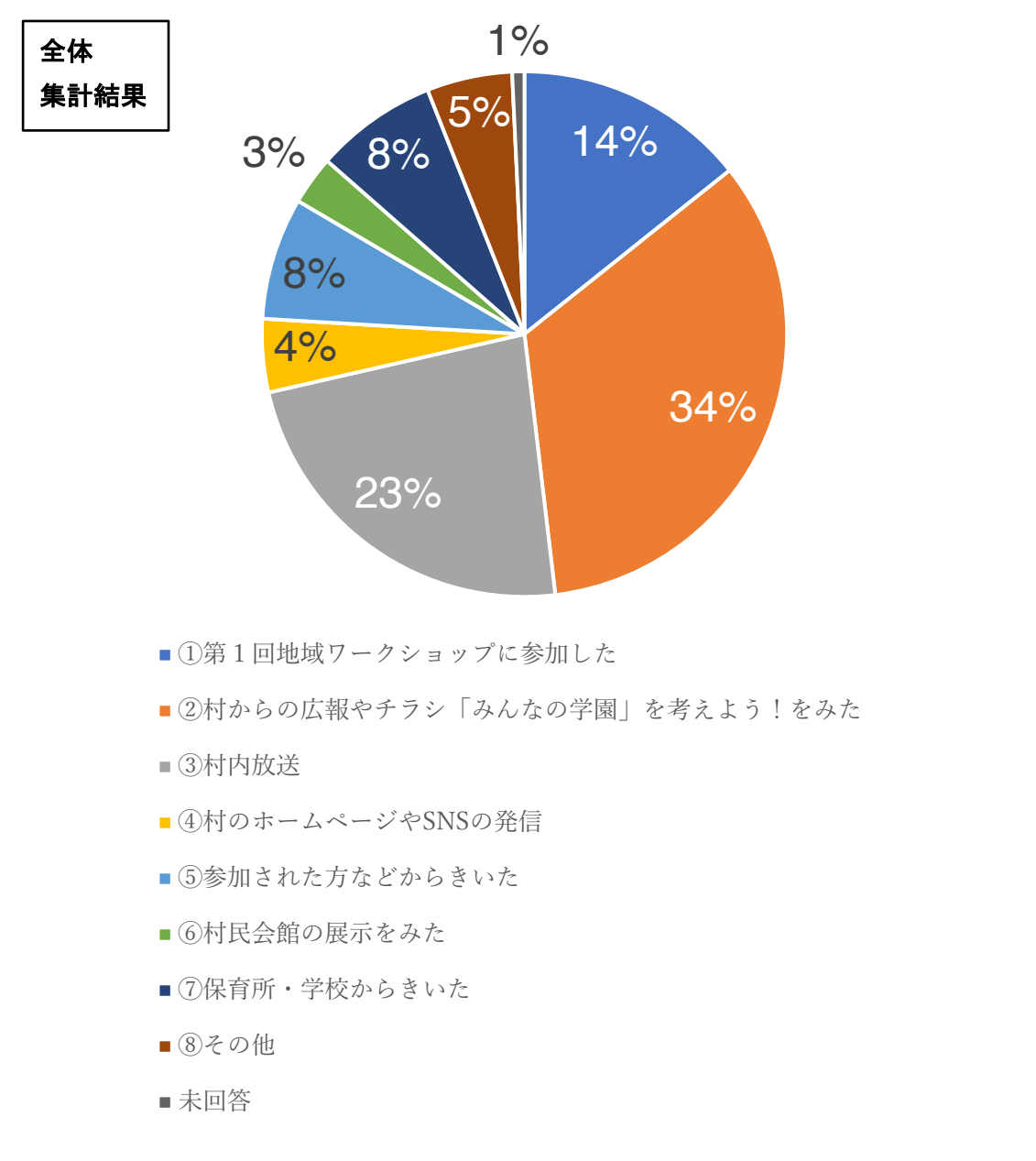
① 全体



②高校生以下の子どもがいる人



問 2-2 **問 2-1 で、「①はい」を選択された方のみ**
何でお知りになられたか、下記の選択肢から、お選びください。

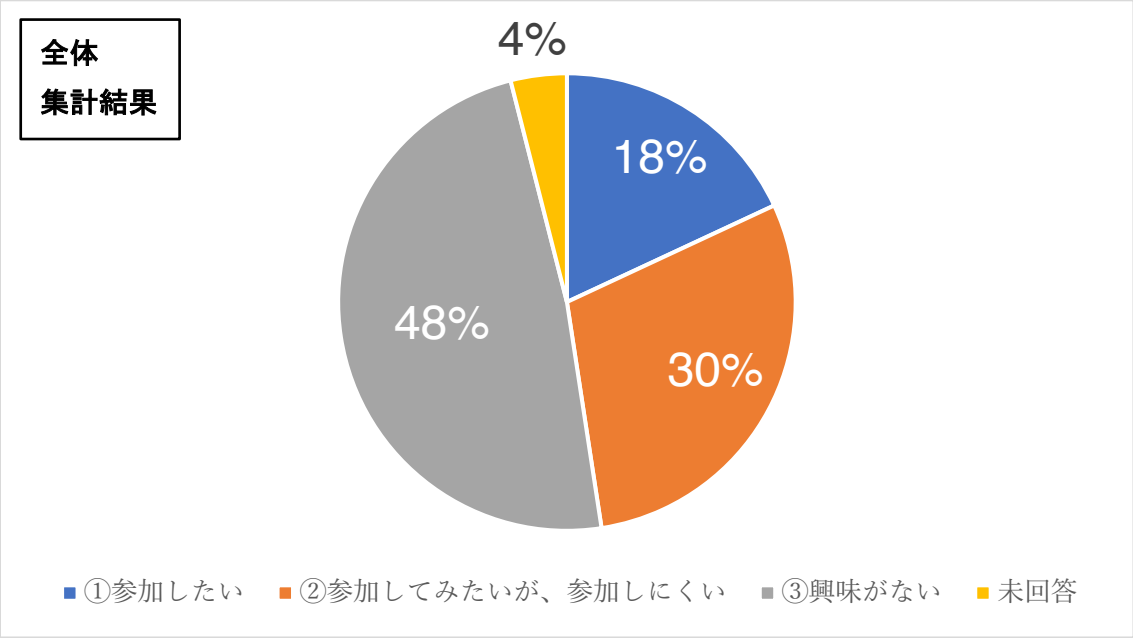


【問 2-1、問 2-2　まとめ】

・アンケートに回答された方の中で、文教施設のあり方検討が行われていることを知っている方は、全体の 40%以上。高校生以下の子どもをもつ方は 70%という状況だった。
・何で、検討活動を知ったか、については、ワークショップに参加された方と広報やチラシをみられた方を合わせると、50%近い状況だった。
・アンケートに回答された方は、文教施設のあり方検討について、関心の高い方が、ご協力下さった状況と見受けられる。

問3　今後のワークショップにむけて、おたずねします。

問 3-1 これから、コロナ禍の状況をみつつ、地域ワークショップを実施予定ですが、参加してみたいと思われますか？



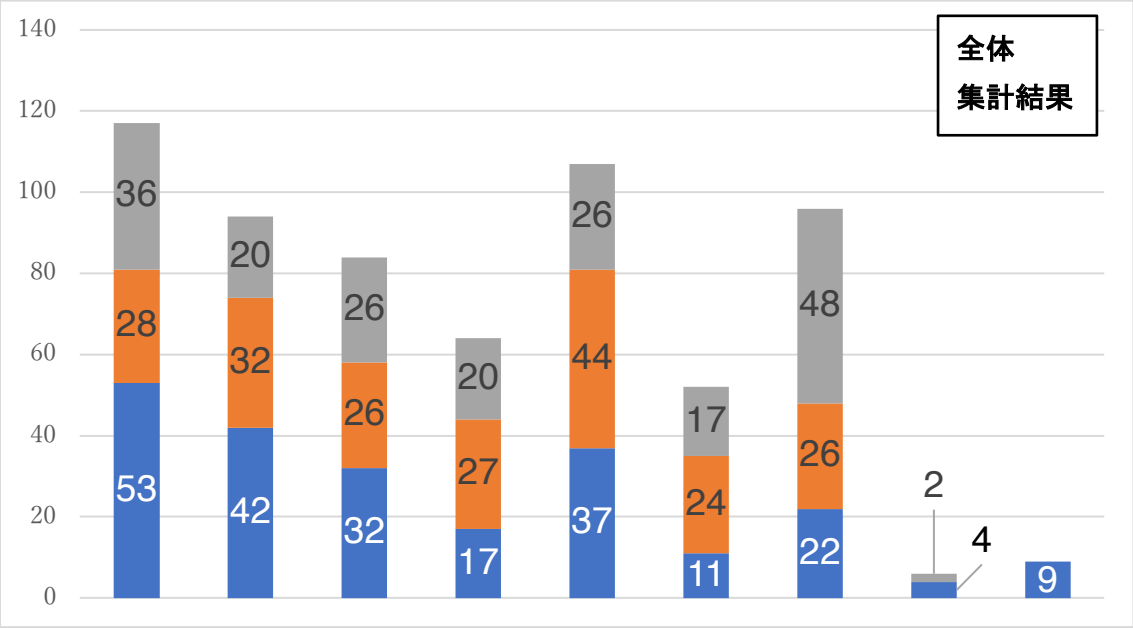
問 3-2 問 3-1 で、「②参加してみたいが、参加しにくい。」を選択された方のみその理由があれば、ご記入ください。

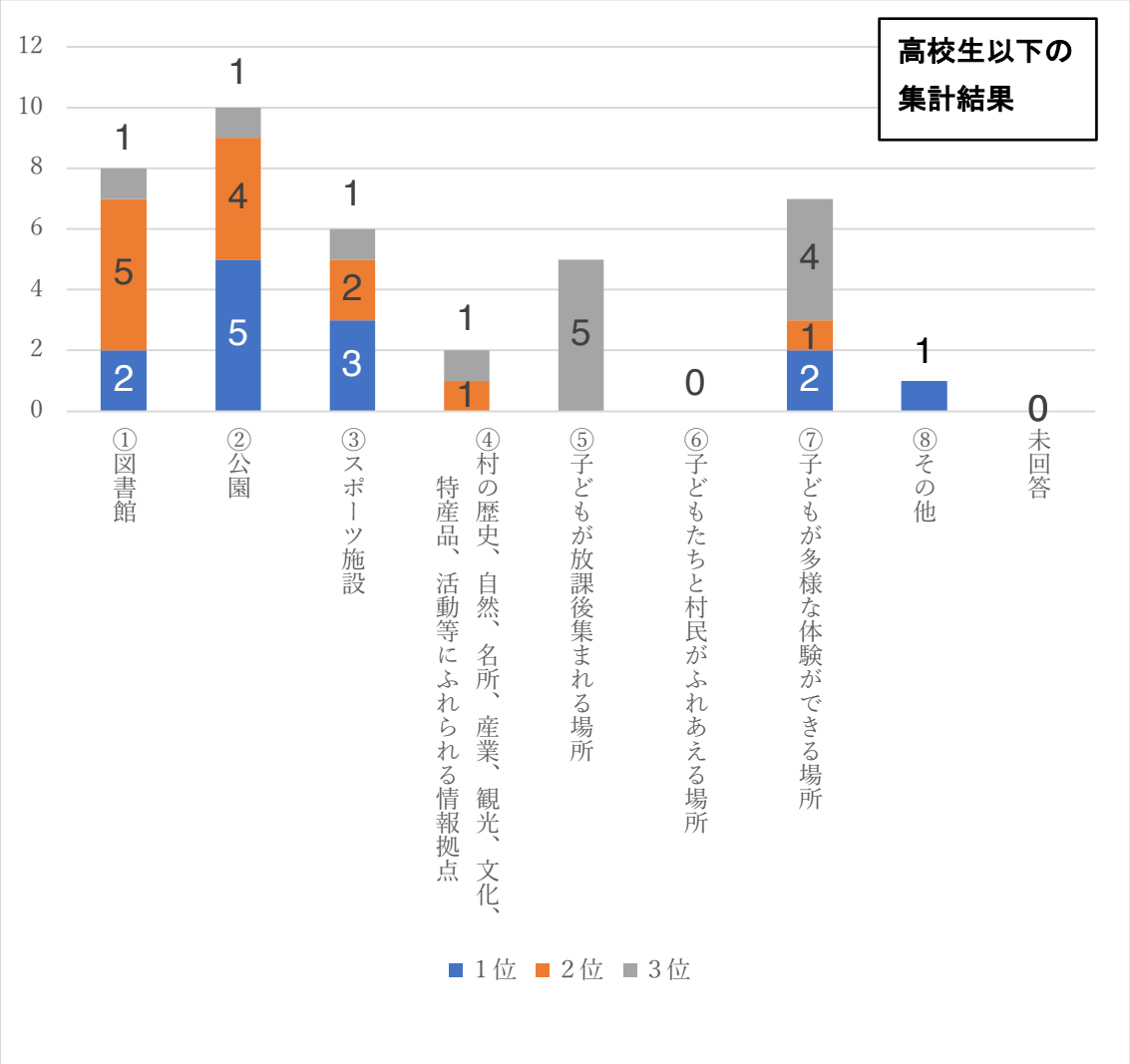
・時間がない。仕事で参加できない。夜家を出られない。（10 名）
・子どもが小さいので。（２名）
・高齢だから。健康上の理由がある。身体が不自由。（12 名）
・交通面の課題。車がない。遠方のため。夜の外出が不安。（６名）
・関心はあるけど親世代ではない。（２名）
・子どもがいないためイメージしづらい。意見を出しづらい。（３名）
・よく分からないから。ワークショップとは何か分からない。（３名）
・コロナが心配。
・村全体が元気になってほしい。他市町村より住みやすい村にしたい。
・活動を見守りたい。
・見聞きするのはよいが、参加は。
・意見を言っても採用されないとわかっているし、
学校を建てることからズレて子育てに視点が合わないから。

【問 3-1、問 3-2　まとめ】

・半数近くの方が参加したい、参加してみたいと答えている。
・しかし、参加してみたいが、しにくい理由として、高齢の方は、身体上の理由や、交通面の課題、現状への理解がうすい等の理由が多くみられる。また、子育て世代では、忙しいなどの時間的な理由や、子どもがいて参加しづらい、わからない等の理由がみられた。

問4　北川村の子どもたちが、のびのび育つために、学校や保育所のそばにあると良いものを、下記の選択肢から3つ、順位をつけてお選びください。





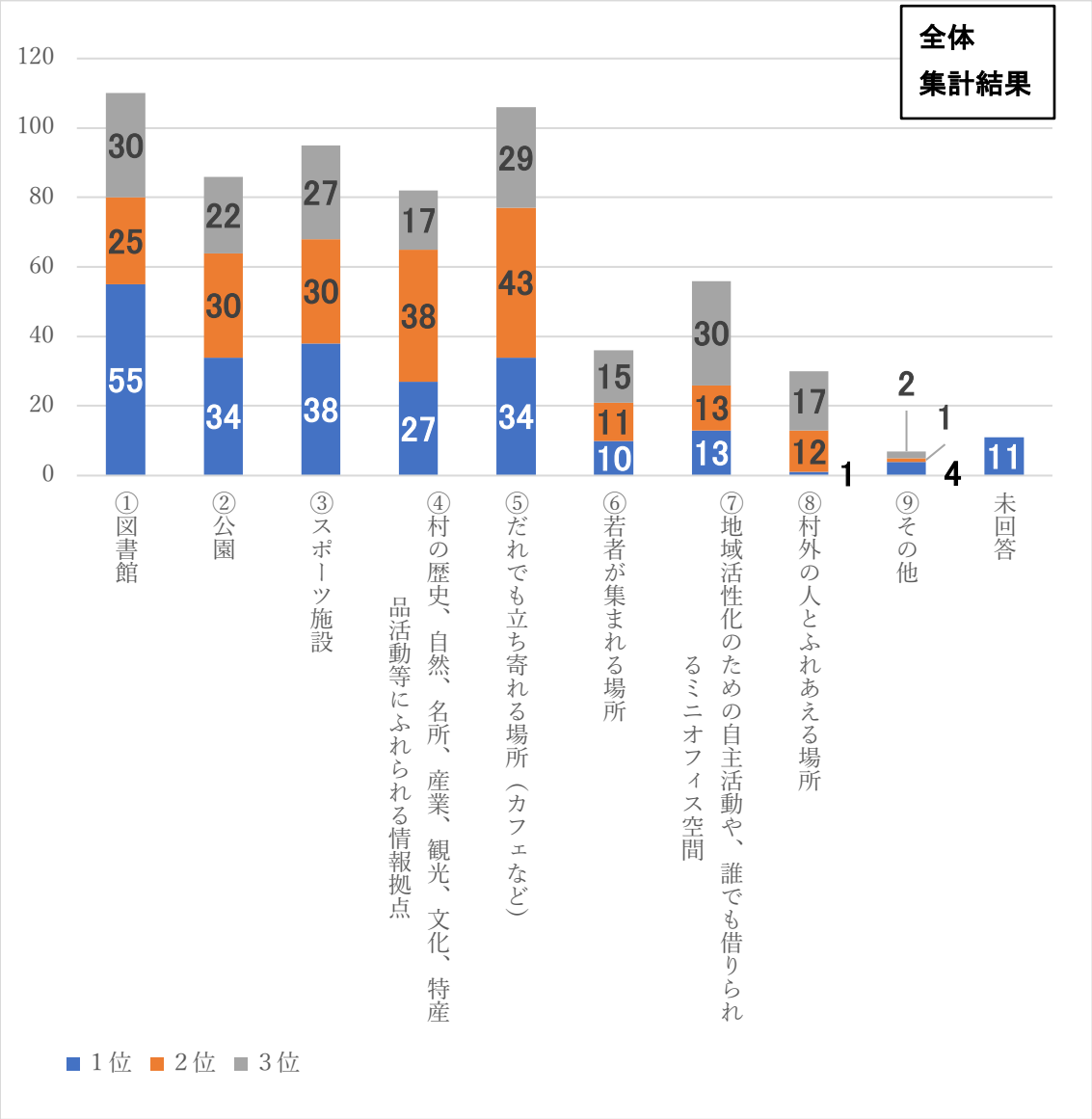
⑧その他のご意見

・コンビニ。
・公園の中に北川ミニを作る。
・それなりの施設が野友地区に集中してあるので、新しく作らなくても現在ある施設を十分活用しきる。先ず有る施設を十分に活かして使う工夫をすることが大事と思う。
・図書館やスポーツ施設、カフェ等あっても良いが無くてもかまわない。学校のそばにある必要もない。既存のもので十分であると思うが新たに作るという話であれば全く納得できる話ではない。
・この少子化の時代、新しい施設を作って無駄な浪費をするよりも、他に考えるべきことがあるのではないかと思う。

【問４　まとめ】

・最も要望が多かったのは、「図書館」機能であり、１位のみでも、合計でも要望が非常に高い。
・１位のみでは、「図書館」に次ぎ、「公園」「こどもが放課後集まれる場所」スポーツ施設となる。
・１位、２位、３位合計では、「こどもが放課後集まれる場所」や「こどもが多様な体験ができる場所」の順位が上がる。
・興味深いのは、「高校生以下」のみの集計の場合、公園を希望する人が多く全体集計と比較し、傾向が異なる。特に「こどもが放課後集まれる場所」は比較的順位が下る。
・また、その他の意見の中で、今ある施設を活かすべき、との意見や、学校のそばにある必要もない、といった意見がみられる。

問5　北川村の子どもたちが、社会とつながった学びにいかせる場所として、また、大人たちも利用できる場所として、学校や保育所のそばにあるとよいと思うものを、下記の選択肢から3つ、順位をつけてお選びください。



⑨その他のご意見

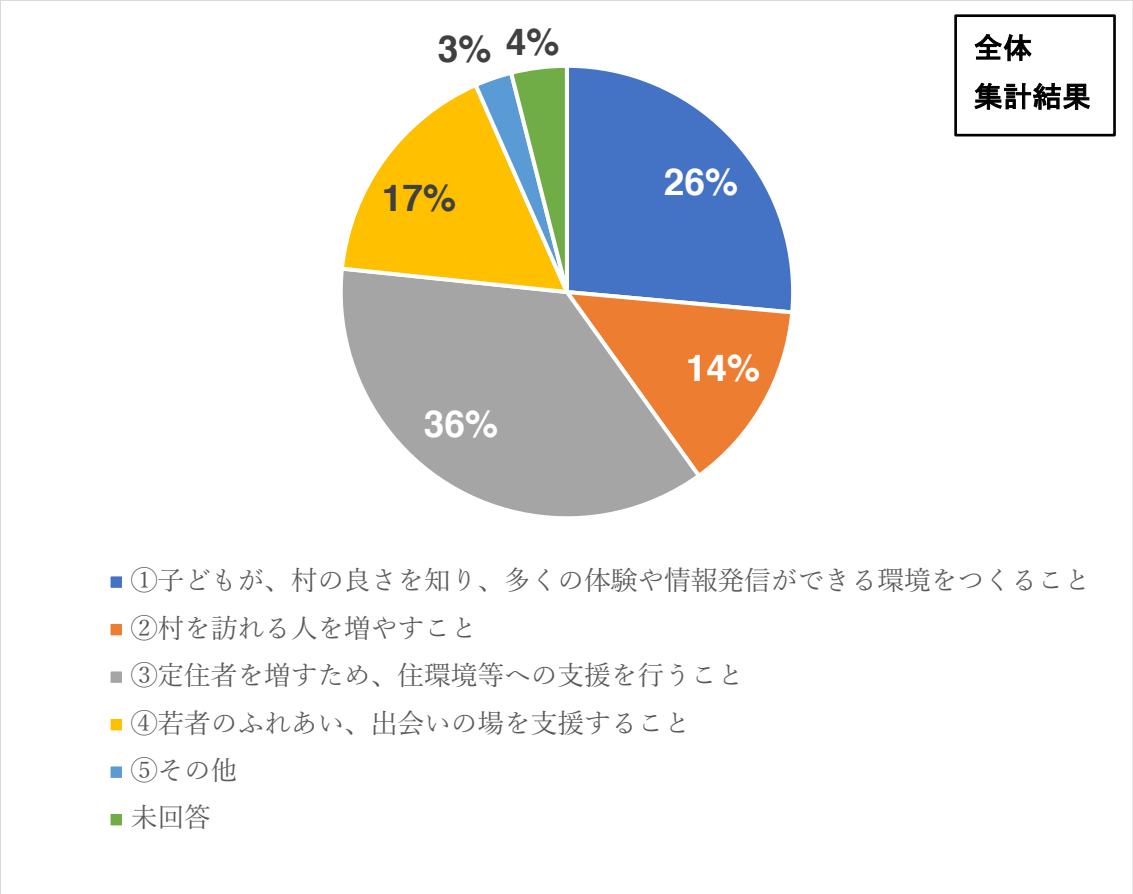
・コンビニ
・自由に参加できる塾
・プール
・図書と書籍販売とカフェを同一施設に。
　企業や TSUTAYA などと合同で経営。
・その他
（問４と同意見として、既存施設の活用、必要性がない等の意見あり。）

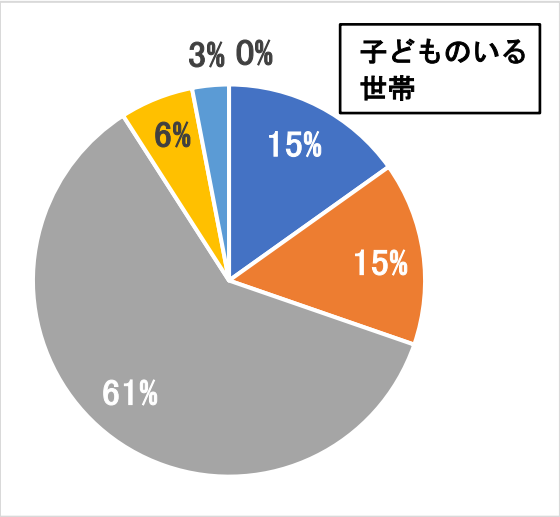
【問５　まとめ】

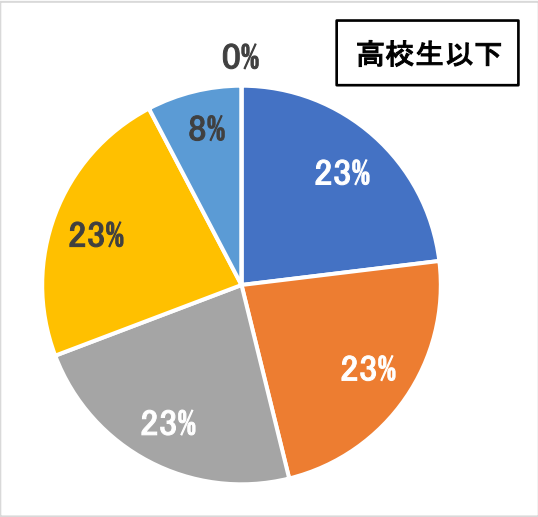
・最も要望が多かったのは「図書館」機能。それに次ぎ「だれでも立ち寄れる場所（カフェなど)」「スポーツ施設」の要望が高かった。また、この傾向はどの世代をみても、同様の傾向だった。

・図書とカフェが選択肢にあったため、同一施設として運営への意見あり。

問6　少子化、および、学校の少人数化に対して、村や地域が一丸となって、特に取り組んだら良いと思うことを、下記の選択肢から1つお選びください。







⑤その他のご意見

・村の良さに加え、北川村にないものを多く示すことが大切。
・子どもに意見を持たせることをした方が良いと思う。自主性を育む。
・保小中同じ敷地内にあると便利。
・今回のアンケート内容とは関係ないが、世の中にはどんな職業があるか等を知るチャンスを与えてやってほしい。
（専門分野の方々を迎えて話を聞く等）
・起業などへの支援。
・産業・雇用の創出。
・昨今の社会では難しい。
・１つ選んで重点的に取り組んで済む問題ではない。

【問６　まとめ】

・少子化や、学校の少人数化に対して取り組むべき課題として、全体的にみて1/3 以上の人が「定住者を増やすため、住環境等への支援を行うこと」を選んでいる。さらには、子どものいる世帯では、この選択肢が６０％を越え子育て世代として、少子化対策が望まれていることが顕著な結果となった。
・また、高校生以下の世代で「若者のふれあい、出会いの場を支援すること」が、多世代と比較し、極めて多く、若者のみで集まれる場所を求めている結果が見受けられる。
・加えて、高校生以下の世代では、「若者のふれあい、出会いの場を支援すること」と同率で、「子どもが、村の良さを知り、多くの体験や情報発信ができる環境をつくること」「村を訪れる人を増やすこと」の選択肢が並んでいる。
・さらに、その他の意見では、職業に対する多様性を伝える機会への要望や、産業、雇用への意見もみられた。

≪簡易な検討の計算表（記載例）≫　（単位：千円、年）　　入力変数（コスト削減要素）　　入力変数（コスト要素）

■前提条件

PFI方式試算例			従来型手法	採用手法の条件	採用手法	前提条件の入力方法
手法			従来型手法		①BTO・BOT・BOO・RO	採用手法（「①BTO・BOT・BOO・RO」、「②DBO」、「③BT」、「④指定管理者制度」）から選択して下さい。DB方式は「③BT」を選択して下さい。包括的民間委託、公共施設等運営権方式は「④指定管理者制度」を選択して下さい。（BOT・BOOは固定資産税等は考慮されていません。）
事業期間	整備期間		2年	従来手法=採用手法	2年	1年間に設定してあります（変更できません）。
	維持管理・運営期間		15年	従来手法=採用手法	15年	1～50年間から選択して下さい。「③BT」を選択した場合には起債償還期間と想定して選択してください。
費用・収入	整備費		2,669,195	10%削減	2,402,276	従来型手法の整備費と、採用手法におけるコスト削減割合（%）を記入して下さい。
	維持管理・運営費（1年当たり）	人件費（運営維持管理費）	5,126/年	10%削減	4,613/年	従来型手法の維持管理・運営費と、採用手法におけるコスト削減割合（%）を記入して下さい。
		ユーティリティー費		10%削減	0/年	従来型手法の維持管理・運営費と、採用手法におけるコスト削減割合（%）を記入して下さい。
		修繕費	35,000/年	10%削減	31,500/年	従来型手法の維持管理・運営費と、採用手法におけるコスト削減割合（%）を記入して下さい。
		合計	40,126/年	10%削減	36,113/年	人件費、ユーティリティ費、修繕費から自動計算されます。人件費、ユーティリティー費、修繕費を0にして合計欄のみの入力とすることも可能です。
	利用料金収入（1年当たり）				0/年	従来型手法の利用料金収入と、採用手法における収入増加割合（%）を記入して下さい。
資金面の内容	現在価値への割引率		0.2%	従来手法=採用手法	0.2%	現在価値への割引率を記入して下さい。（標準は2.3%になります。）
整備費に対する資金調達の内容	整備費に対する補助金・交付金の割合		整備費の40%		整備費の40%	整備費に対する補助金・交付金の割合（%）を記入して下さい。
	整備費に対する起債の割合		整備費の50%		整備費の50%	整備費に対する起債の割合（%）を記入して下さい。
	整備費に対する一般財源の割合		整備費の10%		整備費の10%	整備費に対する一般財源の割合（%）を記入して下さい。
	整備費に対する民間資金の割合		—		整備費の0%	「100%－（補助金・交付金の割合＋起債の割合＋一般財源の割合）」が自動計算。BT・DB、DBOでは0%。
	小計		100%		100%	小計が100%になることを確認して下さい。
整備費に対する公共側の資金調達	補助金・交付金の金額		1,067,678		960,910	整備費の資金調達について、補助金・交付金の額が自動計算されます。
	起債金額		1,334,598		1,201,138	整備費の資金調達について、起債の額が自動計算されます。
	一般財源の金額		266,920		240,228	整備費の資金調達について、一般財源の額が自動計算されます。
	起債金利		0.1%	従来手法=採用手法	0.1%	起債金利を%で入力して下さい。
	起債償還期間		15年	従来手法=採用手法	15年	維持管理・運営期間になります。
	起債償還方法		元利均等	従来手法=採用手法	元利均等	期限一括、元利均等、元金均等から選択して下さい。
採用手法における整備費の資金調達	資本金額		—		25,000	SPCに必要な資本金額を記入して下さい。（標準は10百万円）
	借入金額		—		0	「民間資金の金額－資本金額」が自動計算。借入金額は整備費から資本金を減じた金額と仮定。
	借入金利		—		0.5%	民間事業者の借入金利を入力して下さい。
	民間事業者の借入期間		—		15年	維持管理・運営期間になります。
採用手法の内容	割賦金利		—		0.5%	公共が民間事業者に支払う整備費の対価の割賦金利は借入金利と同じと仮定。
	割賦期間		—		15年	公共が民間事業者に支払う整備費の対価の割賦払いは維持管理・運営期間と同じと仮定
	法人税等		—		33.60%	実効税率は29.97%を入力してあります。
	調査等費用		—		20,000	調査等費用を記入して下さい。（標準をPFI,DBOで35,000千円、DBで25,000円としています。）
採用手法の民間事業者の収益	採用手法における対価の調整		—		3,439/年	採用手法における対価の調整額で、民間事業者のEIRRに必要な収益相当額が自動計算されます。
	民間事業者のEIRR（※）		—		5.0%	民間事業者の収益（資本金に対する配当等の利回り）を記入して下さい。（標準は5%になります。）

≪簡易な検討の計算表（記載例）≫　（単位：千円、年）　　入力変数（コスト削減要素）　　入力変数（コスト要素）

■前提条件

PFI方式試算例			従来型手法	採用手法の条件	採用手法	前提条件の入力方法
手法			従来型手法		②DBO	採用手法（「①BTO・BOT・BOO・RO」、「②DBO」、「③BT」、「④指定管理者制度」）から選択して下さい。DB方式は「③BT」を選択して下さい。包括的民間委託、公共施設等運営権方式は「④指定管理者制度」を選択して下さい。（BOT・BOOは固定資産税等は考慮されていません。）
事業期間	整備期間		2年	従来手法=採用手法	2年	1年間に設定してあります（変更できません）。
	維持管理・運営期間		15年	従来手法=採用手法	15年	1～50年間から選択して下さい。「③BT」を選択した場合には起債償還期間と想定して選択してください。
費用・収入						
	整備費		2,669,195	10%削減	2,402,276	従来型手法の整備費と、採用手法におけるコスト削減割合（%）を記入して下さい。
	維持管理・運営費（1年当たり）	人件費（運営維持管理費）	5,126/年	10%削減	4,613/年	従来型手法の維持管理・運営費と、採用手法におけるコスト削減割合（%）を記入して下さい。
		ユーティリティー費		10%削減	0/年	従来型手法の維持管理・運営費と、採用手法におけるコスト削減割合（%）を記入して下さい。
		修繕費	35,000/年	10%削減	31,500/年	従来型手法の維持管理・運営費と、採用手法におけるコスト削減割合（%）を記入して下さい。
		合計	40,126/年	10%削減	36,113/年	人件費、ユーティリティ費、修繕費から自動計算されます。人件費、ユーティリティー費、修繕費を0にして合計欄のみの入力とすることも可能です。
資金面の内容	利用料金収入（1年当たり）				0/年	従来型手法の利用料金収入と、採用手法における収入増加割合（%）を記入して下さい。
整備費に対する資金調達の内容	現在価値への割引率		0.2%	従来手法=採用手法	0.2%	現在価値への割引率を記入して下さい。（標準は2.3%になります。）
	整備費に対する補助金・交付金の割合		整備費の40%		整備費の40%	整備費に対する補助金・交付金の割合（%）を記入して下さい。
	整備費に対する起債の割合		整備費の50%		整備費の50%	整備費に対する起債の割合（%）を記入して下さい。
	整備費に対する一般財源の割合		整備費の10%		整備費の10%	整備費に対する一般財源の割合（%）を記入して下さい。
	整備費に対する民間資金の割合		―		整備費の0%	「100%－（補助金・交付金の割合＋起債の割合＋一般財源の割合）」が自動計算。BT・DB、DBOでは0%。
	小計		100%		100%	小計が100%になることを確認して下さい。
整備費に対する公共側の資金調達	補助金・交付金の金額		1,067,678		960,910	整備費の資金調達について、補助金・交付金の額が自動計算されます。
	起債金額		1,334,598		1,201,138	整備費の資金調達について、起債の額が自動計算されます。
	一般財源の金額		266,920		240,228	整備費の資金調達について、一般財源の額が自動計算されます。
	起債金利		0.1%	従来手法=採用手法	0.1%	起債金利を%で入力して下さい。
	起債償還期間		15年	従来手法=採用手法	15年	維持管理・運営期間になります。
	起債償還方法		元利均等	従来手法=採用手法	元利均等	期限一括、元利均等、元金均等から選択して下さい。
採用手法における整備費の資金調達	資本金額		―		25,000	SPCに必要な資本金額を記入して下さい。（標準は10百万円）
	借入金額					「民間資金の金額－資本金額」が自動計算。借入金額は整備費から資本金を減じた金額と仮定。
	借入金利					民間事業者の借入金利を入力して下さい。
	民間事業者の借入期間					維持管理・運営期間になります。
採用手法の内容	割賦金利					公共が民間事業者に支払う整備費の対価の割賦金利は借入金利と同じと仮定。
	割賦期間					公共が民間事業者に支払う整備費の対価の割賦払いは維持管理・運営期間と同じと仮定
	法人税等		―		33.60%	実効税率は29.97%を入力してあります。
	調査等費用		―		20,000	調査等費用を記入して下さい。（標準をPFI,DBOで35,000千円、DBで25,000円としています。）
採用手法の民間事業者の収益	採用手法における対価の調整		―		3,439/年	採用手法における対価の調整額で、民間事業者のEIRRに必要な収益相当額が自動計算されます。
	民間事業者のEIRR（※）		―		5.0%	民間事業者の収益（資本金に対する配当等の利回り）を記入して下さい。（標準は5%になります。）